

改訂2版 橋梁補修の解説と積算 改定情報

(2023年7月)

ページ	項目	改訂箇所	備考
目次	第1章 鉄橋 作業編	⑧-3 芯出し調整工 名称変更	
6	第1章 ① 落橋防止装置工	積算基準対応表	橋梁架設工事の積算 (令和5年度版)
12	第1章 ② 主桁連結工	積算基準対応表	橋梁架設工事の積算 (令和5年度版)
27	第1章 ④ 橋体補強工 (耐荷力向上)	積算基準対応表	橋梁架設工事の積算 (令和5年度版)
31	第1章 ⑤ 橋体補強工 (耐震性向上)	積算基準対応表	橋梁架設工事の積算 (令和5年度版)
34	第1章 ⑥ 橋体補修工 (腐食等による破断部補修)	積算基準対応表	橋梁架設工事の積算 (令和5年度版)
42	第1章 ⑨ 横断歩道橋補修工	積算基準対応表	橋梁架設工事の積算 (令和5年度版)
63	第1章 ②-1 補修工事高力ボルト本締工	積算基準対応表	橋梁架設工事の積算 (令和5年度版)
76	第1章 ②-8 ピンテール仕上げ工	積算基準対応表	橋梁架設工事の積算 (令和5年度版)
79	第1章 ②-10 鋼桁孔明工 第1章 ②-11 ピン孔明工	積算基準対応表	橋梁架設工事の積算 (令和5年度版)
98	第1章 ⑦-1 補強部材取付工 (撤去工) (ボルトによる補強部材) 200kg以下	積算基準対応表	橋梁架設工事の積算 (令和5年度版)
112	第1章 ⑦-8 落橋防止装置・横変位拘束装置取付工	積算基準対応表	橋梁架設工事の積算 (令和5年度版)
123 124	第1章 ⑧-3 芯出し調整工	名称変更、積算基準対応表	橋梁架設工事の積算 (令和5年度版)
138	第1章 ⑨-1 コンクリート削孔工 (電動式コアボーリングマシン) 第1章 ⑨-2 コンクリート削孔工 (電動ハンマドリル) 第1章 ⑨-3 コンクリート削孔工 (さく岩機 (ハンドドリル (空圧式))) 第1章 ⑨-4 アンカー工 第1章 ⑨-5 充填補修工	積算基準対応表	橋梁架設工事の積算 (令和5年度版)
141	第1章 ⑩-1 テッピング工 (ブラケット背面部)	積算基準対応表	橋梁架設工事の積算 (令和5年度版)
142	第1章 ⑩-2 注入工 (ブラケット背面部)	積算基準対応表	橋梁架設工事の積算 (令和5年度版)
143	第1章 ⑩-3 鉄筋探査工	積算基準対応表	橋梁架設工事の積算 (令和5年度版)
175	第2章 ③ あと施工アンカー工	積算基準対応表	国土交通省土木工事標準積算基準書 (令和5年度版) 橋梁架設工事の積算 (令和5年度版)
247	第2章 ⑧ 外ケーブル方式による補強工	積算基準対応表	橋梁架設工事の積算 (令和5年度版)
272	第3章 ② 床版下面増厚工	積算基準対応表	橋梁架設工事の積算 (令和5年度版)
277	第3章 ③ 連続繊維シート接着工	積算基準対応表	国土交通省土木工事標準積算基準書 (令和5年度版) 橋梁架設工事の積算 (令和5年度版)
290	第3章 ⑤ 床版取替工 (プレキャストPC床版)	積算基準対応表	橋梁架設工事の積算 (令和5年度版)
327	第4章 ⑤ 鋼製橋脚補強工	積算基準対応表	橋梁架設工事の積算 (令和5年度版)
335	第5章 ② 橋梁地覆補修工	積算基準対応表	橋梁架設工事の積算 (令和5年度版)
366	第7章 ②-1 補修工事高力ボルト本締工	表2-1 補修工事高力ボルト本締工歩掛	橋梁架設工事の積算 (令和5年度版)
369	第7章 ②-8 ピンテール仕上げ工	表2-8 ピンテール仕上げ工歩掛	橋梁架設工事の積算 (令和5年度版)

改訂2版 橋梁補修の解説と積算 改定情報

(2023年7月)

ページ	項目	改訂箇所	備考
370	第7章 ㉔-10 鋼桁孔明工	表2-10 鋼桁孔明工歩掛	橋梁架設工事の積算(令和5年度版)
371	第7章 ㉔-11 ビン孔明工	表2-11 ビン孔明工歩掛	橋梁架設工事の積算(令和5年度版)
378	第7章 ㉖ 検査路撤去・再設置工	文章の修正	橋梁架設工事の積算(令和5年度版)
378	第7章 ㉖-2 検査路再設置工	表6-2 検査路再設置工歩掛	橋梁架設工事の積算(令和5年度版)
379	第7章 ㉗-1 補強部材取付工(撤去工)(ボルトによる補強部材)200kg以下	表7-1 補強部材取付工歩掛	橋梁架設工事の積算(令和5年度版)
384	第7章 ㉗-8 落橋防止装置・横変位拘束装置取付工	表7-8 落橋防止装置・横変位拘束装置取付工歩掛	橋梁架設工事の積算(令和5年度版)
387	第7章 ㉘-3 芯出し調整工	表8-3 芯出し調整工歩掛	橋梁架設工事の積算(令和5年度版)
394	第7章 ㉙-1 コンクリート削孔工(電動式コアボーリングマシン)	表9-3 コンクリート削孔工歩掛(コアボーリングマシン)	橋梁架設工事の積算(令和5年度版)
398	第7章 ㉙-5 充填補修工	表9-10 充填補修 代表機材材規格一覧	橋梁架設工事の積算(令和5年度版)
399	第7章 ㉚-1 チッピング工(ブラケット背面部)	表10-1 チッピング工歩掛	橋梁架設工事の積算(令和5年度版)
399	第7章 ㉚-2 注入工(ブラケット背面部)	表10-2 注入工歩掛	橋梁架設工事の積算(令和5年度版)
400	第7章 ㉚-4 鉄筋探査工	表10-4 鉄筋探査工歩掛	橋梁架設工事の積算(令和5年度版)
400	第7章 ㉚-5 足場上部材運搬工	表10-5 足場上部材運搬工歩掛	橋梁架設工事の積算(令和5年度版)
421	第7章 ㉛-1 既設舗装はぎ取り工	表13-1 既設舗装はぎ取り歩掛	国土交通省土木工事標準積算基準書(令和5年度版)
421	第7章 ㉛-2 ノンスリップ撤去工	表13-2 ノンスリップ撤去歩掛	国土交通省土木工事標準積算基準書(令和5年度版)
422	第7章 ㉛-4 高欄撤去工	表14-1 高欄撤去工 代表機材材規格一覧	国土交通省土木工事標準積算基準書(令和5年度版)
423	第7章 ㉛-5 アスファルト舗装版破碎・横込み工	表14-2 アスファルト舗装版破碎・横込み工 代表機材材規格一覧	国土交通省土木工事標準積算基準書(令和5年度版)
424	第7章 ㉛-6 床版1次破碎・撤去工	表14-3 床版1次破碎・撤去工 代表機材材規格一覧	国土交通省土木工事標準積算基準書(令和5年度版)
425	第7章 ㉛-7 床版1次及び2次破碎・撤去工	表14-4 床版1次及び2次破碎・撤去工 代表機材材規格一覧	国土交通省土木工事標準積算基準書(令和5年度版)
429	第7章 ㉛-8 アスファルト塊運搬工	表14-13 アスファルト塊運搬工 代表機材材規格一覧	国土交通省土木工事標準積算基準書(令和5年度版)
430	第7章 ㉛-9 床版運搬工	表14-15 床版運搬工 代表機材材規格一覧	国土交通省土木工事標準積算基準書(令和5年度版)
438	第7章 ㉜-2 表面被覆工(塗装工法)	表21-6 編成人員	国土交通省土木工事標準積算基準書(令和5年度版)
439	第7章 ㉜-2 表面被覆工(塗装工法)	表21-7 諸雑費率	国土交通省土木工事標準積算基準書(令和5年度版)
444	第7章 ㉜-3 コンクリート削孔工(さく岩機)	表24-4 コンクリート削孔工(さく岩機) 代表機材材規格一覧	国土交通省土木工事標準積算基準書(令和5年度版)

改訂2版 橋梁補修の解説と積算 改定情報

(2023年7月)

頁	項目	改定前	改定後
	目次	<ul style="list-style-type: none"> ⑤-1 部材撤去工……91 ⑤-2 再設置工……91 ⑥ 検査路撤去・再設置工……94 <ul style="list-style-type: none"> ⑥-1 検査路撤去工……94 ⑥-2 検査路再設置工……94 ⑦ 部材取付工（架設工）……97 <ul style="list-style-type: none"> ⑦-1 補強部材取付工（撤去工）（ボルトによる補強部材）200kg以下……97 ⑦-2 荷卸し～横取り～仮置工 200kg以上……99 ⑦-3 部材取付工（撤去工）200kg以上……99 ⑦-4 増設部材架設工（増設横縦桁等取付撤去工）……105 ⑦-5 増設横梁部材架設工……107 ⑦-6 主桁連結部材取付工……109 ⑦-7 既設部材撤去工……111 ⑦-8 落橋防止装置・横変位拘束装置取付工……112 ⑦-9 落橋防止装置・横変位拘束装置撤去工……113 ⑦-10 座屈拘束ブレース設置工……115 ⑦-11 既設横構撤去・取付工……117 ⑧ 現場塗装工及び塗膜研削工……119 <ul style="list-style-type: none"> ⑧-1 小規模現場塗装工……119 ⑧-2 部材取付部塗膜研削工……121 ⑧-3 芯出し調整工……123 ⑧-4 現場バキュームブラスト工……127 ⑧-5 塗膜除去工（塗膜剝離剤）……129 ⑧-6 支承金属溶射工……132 ⑨ コンクリートアンカー工……137 <ul style="list-style-type: none"> ⑨-1 コンクリート削孔工（電動式コアボーリングマシン）……137 ⑨-2 コンクリート削孔工（電動ハンマドリル）……137 ⑨-3 コンクリート削孔工（さく岩機〔ハンドドリル（空圧式）〕）……137 ⑨-4 アンカー工……137 ⑨-5 充填補修工……137 ⑩ その他……141 <ul style="list-style-type: none"> ⑩-1 チッピング工（ブラケット背面部）……141 ⑩-2 注入工（ブラケット背面部）……142 ⑩-3 鉄筋探査工……143 ⑩-4 足場上部材運搬工……144 ⑩-5 足場上部材人力運搬工……145 ⑩-6 足場材荷揚げ（荷卸し）工……146 ⑩-7 紫外線硬化型FRPシート設置工……147 ⑩-8 橋梁排水管撤去工……150 	<ul style="list-style-type: none"> ⑤-1 部材撤去工……91 ⑤-2 再設置工……91 ⑥ 検査路撤去・再設置工……94 <ul style="list-style-type: none"> ⑥-1 検査路撤去工……94 ⑥-2 検査路再設置工……94 ⑦ 部材取付工（架設工）……97 <ul style="list-style-type: none"> ⑦-1 補強部材取付工（撤去工）（ボルトによる補強部材）200kg以下……97 ⑦-2 荷卸し～横取り～仮置工 200kg以上……99 ⑦-3 部材取付工（撤去工）200kg以上……99 ⑦-4 増設部材架設工（増設横縦桁等取付撤去工）……105 ⑦-5 増設横梁部材架設工……107 ⑦-6 主桁連結部材取付工……109 ⑦-7 既設部材撤去工……111 ⑦-8 落橋防止装置・横変位拘束装置取付工……112 ⑦-9 落橋防止装置・横変位拘束装置撤去工……113 ⑦-10 座屈拘束ブレース設置工……115 ⑦-11 既設横構撤去・取付工……117 ⑧ 現場塗装工及び塗膜研削工……119 <ul style="list-style-type: none"> ⑧-1 小規模現場塗装工……119 ⑧-2 部材取付部塗膜研削工……121 ⑧-3 芯出し調整工（鋼材面用）……123 ⑧-4 現場バキュームブラスト工……127 ⑧-5 塗膜除去工（塗膜剝離剤）……129 ⑧-6 支承金属溶射工……132 ⑨ コンクリートアンカー工……137 <ul style="list-style-type: none"> ⑨-1 コンクリート削孔工（電動式コアボーリングマシン）……137 ⑨-2 コンクリート削孔工（電動ハンマドリル）……137 ⑨-3 コンクリート削孔工（さく岩機〔ハンドドリル（空圧式）〕）……137 ⑨-4 アンカー工……137 ⑨-5 充填補修工……137 ⑩ その他……141 <ul style="list-style-type: none"> ⑩-1 チッピング工（ブラケット背面部）……141 ⑩-2 注入工（ブラケット背面部）……142 ⑩-3 鉄筋探査工……143 ⑩-4 足場上部材運搬工……144 ⑩-5 足場上部材人力運搬工……145 ⑩-6 足場材荷揚げ（荷卸し）工……146 ⑩-7 紫外線硬化型FRPシート設置工……147 ⑩-8 橋梁排水管撤去工……150

改訂2版 橋梁補修の解説と積算 改定情報

(2023年7月)

頁	項目	改定前	改定後																																																																																																																																																																																
6	第1章① 落橋防止装置 工	<p>6 第1章 鋼 橋</p> <p>積算基準対応表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工 種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> <th>本書 第7章</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足場設置・撤去</td> <td>—————</td> <td>表4-2-10 換料及び歩掛係数③</td> <td>①-1 足場工</td> </tr> <tr> <td>調査計測</td> <td>—————</td> <td>—————</td> <td>—————</td> </tr> <tr> <td>芯出し調整</td> <td>—————</td> <td>表4-7-2 芯出し調整工歩掛</td> <td>⑥-3 芯出し調整工</td> </tr> <tr> <td>部材製作</td> <td>—————</td> <td>—————</td> <td>—————</td> </tr> <tr> <td>既設検査路撤去</td> <td>—————</td> <td>—————</td> <td>—————</td> </tr> <tr> <td>裏面吸音板撤去</td> <td>—————</td> <td>表4-22-2 部材撤去工歩掛</td> <td>⑥-1 検査路撤去工</td> </tr> <tr> <td>鉄筋探査</td> <td>—————</td> <td>表4-7-3 鉄筋探査工歩掛</td> <td>⑩-4 鉄筋探査工</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">コンクリート削孔</td> <td>IV-3-⑩ 4-1 コンクリート削孔 (電動式コアボーリングマシン)</td> <td>表4-7-10・11 コンクリート削孔 (コアボーリングマシン) 表4-7-18 コンクリート削孔工歩掛 (コアボーリングマシン)</td> <td>⑩-1 コンクリート削孔工 (電動式コアボーリングマシン)</td> </tr> <tr> <td>IV-3-⑩ 4-2 コンクリート削孔 (電動ハンマドリル)</td> <td>表4-7-12 コンクリート削孔 (ハンマドリル)</td> <td>⑩-2 コンクリート削孔工 (電動ハンマドリル)</td> </tr> <tr> <td>IV-3-⑩ 4-3 コンクリート削孔 (さく岩機 (ハンマドリル (空圧式)))</td> <td>表4-7-13・14 コンクリート削孔 (さく岩機 (ハンマドリル (空圧式)))</td> <td>⑩-3 コンクリート削孔工 (さく岩機 (ハンマドリル (空圧式)))</td> </tr> <tr> <td>鋼桁孔明</td> <td>—————</td> <td>表4-7-4 鋼桁孔明工歩掛</td> <td>⑩-10 鋼桁孔明工</td> </tr> <tr> <td>補強材取付 チップング</td> <td>—————</td> <td>表4-7-23 チッピング工歩掛</td> <td>⑩-1 チッピング工 (ブラケット背面部)</td> </tr> <tr> <td>部材取付</td> <td>—————</td> <td>表4-7-7 落橋防止装置取付工歩掛</td> <td>⑦-8 落橋防止装置・ 横変位拘束装置取付工</td> </tr> <tr> <td>高力ボルト本締</td> <td>—————</td> <td>表4-7-8 高力ボルト本締工歩掛</td> <td>②-1 補修工事高力ボルト本締工</td> </tr> <tr> <td>アンカー工</td> <td>IV-3-⑩ 4-4 アンカー</td> <td>表4-7-15・16 アンカー 表4-7-19 アンカー工歩掛 (下方向)</td> <td>⑨-4 アンカー工</td> </tr> <tr> <td>注入工</td> <td>—————</td> <td>表4-7-24 注入工歩掛</td> <td>⑩-2 注入工(ブラケット背面部)</td> </tr> <tr> <td>既設物復旧</td> <td>—————</td> <td>—————</td> <td>—————</td> </tr> <tr> <td>検査路設置</td> <td>—————</td> <td>表4-22-3 部材再設置工歩掛</td> <td>⑥-2 検査路再設置工</td> </tr> <tr> <td>裏面吸音板設置</td> <td>—————</td> <td>—————</td> <td>⑤-2 再設置工</td> </tr> <tr> <td>ピンテール仕上げ</td> <td>—————</td> <td>表4-7-9 ピンテール仕上げ工歩掛</td> <td>②-8 ピンテール仕上げ工</td> </tr> <tr> <td>現場塗装</td> <td>—————</td> <td>表4-5-5 小規模現場塗装工歩掛</td> <td>⑨-1 小規模現場塗装工</td> </tr> </tbody> </table>	工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章	足場設置・撤去	—————	表4-2-10 換料及び歩掛係数③	①-1 足場工	調査計測	—————	—————	—————	芯出し調整	—————	表4-7-2 芯出し調整工歩掛	⑥-3 芯出し調整工	部材製作	—————	—————	—————	既設検査路撤去	—————	—————	—————	裏面吸音板撤去	—————	表4-22-2 部材撤去工歩掛	⑥-1 検査路撤去工	鉄筋探査	—————	表4-7-3 鉄筋探査工歩掛	⑩-4 鉄筋探査工	コンクリート削孔	IV-3-⑩ 4-1 コンクリート削孔 (電動式コアボーリングマシン)	表4-7-10・11 コンクリート削孔 (コアボーリングマシン) 表4-7-18 コンクリート削孔工歩掛 (コアボーリングマシン)	⑩-1 コンクリート削孔工 (電動式コアボーリングマシン)	IV-3-⑩ 4-2 コンクリート削孔 (電動ハンマドリル)	表4-7-12 コンクリート削孔 (ハンマドリル)	⑩-2 コンクリート削孔工 (電動ハンマドリル)	IV-3-⑩ 4-3 コンクリート削孔 (さく岩機 (ハンマドリル (空圧式)))	表4-7-13・14 コンクリート削孔 (さく岩機 (ハンマドリル (空圧式)))	⑩-3 コンクリート削孔工 (さく岩機 (ハンマドリル (空圧式)))	鋼桁孔明	—————	表4-7-4 鋼桁孔明工歩掛	⑩-10 鋼桁孔明工	補強材取付 チップング	—————	表4-7-23 チッピング工歩掛	⑩-1 チッピング工 (ブラケット背面部)	部材取付	—————	表4-7-7 落橋防止装置取付工歩掛	⑦-8 落橋防止装置・ 横変位拘束装置取付工	高力ボルト本締	—————	表4-7-8 高力ボルト本締工歩掛	②-1 補修工事高力ボルト本締工	アンカー工	IV-3-⑩ 4-4 アンカー	表4-7-15・16 アンカー 表4-7-19 アンカー工歩掛 (下方向)	⑨-4 アンカー工	注入工	—————	表4-7-24 注入工歩掛	⑩-2 注入工(ブラケット背面部)	既設物復旧	—————	—————	—————	検査路設置	—————	表4-22-3 部材再設置工歩掛	⑥-2 検査路再設置工	裏面吸音板設置	—————	—————	⑤-2 再設置工	ピンテール仕上げ	—————	表4-7-9 ピンテール仕上げ工歩掛	②-8 ピンテール仕上げ工	現場塗装	—————	表4-5-5 小規模現場塗装工歩掛	⑨-1 小規模現場塗装工	<p>6 第1章 鋼 橋</p> <p>積算基準対応表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工 種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> <th>本書 第7章</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足場設置・撤去</td> <td>—————</td> <td>表4-2-10 換料及び歩掛係数③</td> <td>①-1 足場工</td> </tr> <tr> <td>調査計測</td> <td>—————</td> <td>—————</td> <td>—————</td> </tr> <tr> <td>芯出し調整</td> <td>—————</td> <td>表4-7-2 芯出し調整工 (鋼材面用) 歩掛</td> <td>⑥-3 芯出し調整工 (鋼材面用)</td> </tr> <tr> <td>部材製作</td> <td>—————</td> <td>—————</td> <td>—————</td> </tr> <tr> <td>既設物撤去</td> <td>—————</td> <td>—————</td> <td>—————</td> </tr> <tr> <td>既設検査路撤去</td> <td>—————</td> <td>表4-22-2 部材撤去工歩掛</td> <td>⑥-1 検査路撤去工</td> </tr> <tr> <td>裏面吸音板撤去</td> <td>—————</td> <td>—————</td> <td>⑤-1 部材撤去工</td> </tr> <tr> <td>鉄筋探査</td> <td>—————</td> <td>表4-7-4 鉄筋探査工歩掛</td> <td>⑩-4 鉄筋探査工</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">コンクリート削孔</td> <td>IV-3-⑩ 4-1 コンクリート削孔 (電動式コアボーリングマシン)</td> <td>表4-7-11・12 コンクリート削孔 (電動式コアボーリングマシン) 表4-7-19 コンクリート削孔工歩掛 (コアボーリングマシン)</td> <td>⑩-1 コンクリート削孔工 (電動式コアボーリングマシン)</td> </tr> <tr> <td>IV-3-⑩ 4-2 コンクリート削孔 (電動ハンマドリル)</td> <td>表4-7-13 コンクリート削孔 (電動ハンマドリル)</td> <td>⑩-2 コンクリート削孔工 (電動ハンマドリル)</td> </tr> <tr> <td>IV-3-⑩ 4-3 コンクリート削孔 (さく岩機 (ハンマドリル (空圧式)))</td> <td>表4-7-14・15 コンクリート削孔 (さく岩機 (ハンマドリル (空圧式)))</td> <td>⑩-3 コンクリート削孔工 (さく岩機 (ハンマドリル (空圧式)))</td> </tr> <tr> <td>鋼桁孔明</td> <td>—————</td> <td>表4-7-5 鋼桁孔明工歩掛</td> <td>⑩-10 鋼桁孔明工</td> </tr> <tr> <td>補強材取付 チップング</td> <td>—————</td> <td>表4-7-24 チッピング工歩掛</td> <td>⑩-1 チッピング工 (ブラケット背面部)</td> </tr> <tr> <td>部材取付</td> <td>—————</td> <td>表4-7-8 落橋防止装置取付工歩掛</td> <td>⑦-8 落橋防止装置・ 横変位拘束装置取付工</td> </tr> <tr> <td>高力ボルト本締</td> <td>—————</td> <td>表4-7-9 高力ボルト本締工歩掛</td> <td>②-1 補修工事高力ボルト本締工</td> </tr> <tr> <td>アンカー工</td> <td>IV-3-⑩ 4-4 アンカー</td> <td>表4-7-16・17 アンカー 表4-7-20 アンカー工歩掛 (下方向)</td> <td>⑨-4 アンカー工</td> </tr> <tr> <td>注入工</td> <td>—————</td> <td>表4-7-25 注入工歩掛</td> <td>⑩-2 注入工(ブラケット背面部)</td> </tr> <tr> <td>既設物復旧</td> <td>—————</td> <td>—————</td> <td>—————</td> </tr> <tr> <td>検査路設置</td> <td>—————</td> <td>表4-22-3 部材再設置工歩掛</td> <td>⑥-2 検査路再設置工</td> </tr> <tr> <td>裏面吸音板設置</td> <td>—————</td> <td>—————</td> <td>⑤-2 再設置工</td> </tr> <tr> <td>ピンテール仕上げ</td> <td>—————</td> <td>表4-7-10 ピンテール仕上げ工歩掛</td> <td>②-8 ピンテール仕上げ工</td> </tr> <tr> <td>現場塗装</td> <td>—————</td> <td>表4-5-5 小規模現場塗装工歩掛</td> <td>⑨-1 小規模現場塗装工</td> </tr> </tbody> </table>	工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章	足場設置・撤去	—————	表4-2-10 換料及び歩掛係数③	①-1 足場工	調査計測	—————	—————	—————	芯出し調整	—————	表4-7-2 芯出し調整工 (鋼材面用) 歩掛	⑥-3 芯出し調整工 (鋼材面用)	部材製作	—————	—————	—————	既設物撤去	—————	—————	—————	既設検査路撤去	—————	表4-22-2 部材撤去工歩掛	⑥-1 検査路撤去工	裏面吸音板撤去	—————	—————	⑤-1 部材撤去工	鉄筋探査	—————	表4-7-4 鉄筋探査工歩掛	⑩-4 鉄筋探査工	コンクリート削孔	IV-3-⑩ 4-1 コンクリート削孔 (電動式コアボーリングマシン)	表4-7-11・12 コンクリート削孔 (電動式コアボーリングマシン) 表4-7-19 コンクリート削孔工歩掛 (コアボーリングマシン)	⑩-1 コンクリート削孔工 (電動式コアボーリングマシン)	IV-3-⑩ 4-2 コンクリート削孔 (電動ハンマドリル)	表4-7-13 コンクリート削孔 (電動ハンマドリル)	⑩-2 コンクリート削孔工 (電動ハンマドリル)	IV-3-⑩ 4-3 コンクリート削孔 (さく岩機 (ハンマドリル (空圧式)))	表4-7-14・15 コンクリート削孔 (さく岩機 (ハンマドリル (空圧式)))	⑩-3 コンクリート削孔工 (さく岩機 (ハンマドリル (空圧式)))	鋼桁孔明	—————	表4-7-5 鋼桁孔明工歩掛	⑩-10 鋼桁孔明工	補強材取付 チップング	—————	表4-7-24 チッピング工歩掛	⑩-1 チッピング工 (ブラケット背面部)	部材取付	—————	表4-7-8 落橋防止装置取付工歩掛	⑦-8 落橋防止装置・ 横変位拘束装置取付工	高力ボルト本締	—————	表4-7-9 高力ボルト本締工歩掛	②-1 補修工事高力ボルト本締工	アンカー工	IV-3-⑩ 4-4 アンカー	表4-7-16・17 アンカー 表4-7-20 アンカー工歩掛 (下方向)	⑨-4 アンカー工	注入工	—————	表4-7-25 注入工歩掛	⑩-2 注入工(ブラケット背面部)	既設物復旧	—————	—————	—————	検査路設置	—————	表4-22-3 部材再設置工歩掛	⑥-2 検査路再設置工	裏面吸音板設置	—————	—————	⑤-2 再設置工	ピンテール仕上げ	—————	表4-7-10 ピンテール仕上げ工歩掛	②-8 ピンテール仕上げ工	現場塗装	—————	表4-5-5 小規模現場塗装工歩掛	⑨-1 小規模現場塗装工
工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章																																																																																																																																																																																
足場設置・撤去	—————	表4-2-10 換料及び歩掛係数③	①-1 足場工																																																																																																																																																																																
調査計測	—————	—————	—————																																																																																																																																																																																
芯出し調整	—————	表4-7-2 芯出し調整工歩掛	⑥-3 芯出し調整工																																																																																																																																																																																
部材製作	—————	—————	—————																																																																																																																																																																																
既設検査路撤去	—————	—————	—————																																																																																																																																																																																
裏面吸音板撤去	—————	表4-22-2 部材撤去工歩掛	⑥-1 検査路撤去工																																																																																																																																																																																
鉄筋探査	—————	表4-7-3 鉄筋探査工歩掛	⑩-4 鉄筋探査工																																																																																																																																																																																
コンクリート削孔	IV-3-⑩ 4-1 コンクリート削孔 (電動式コアボーリングマシン)	表4-7-10・11 コンクリート削孔 (コアボーリングマシン) 表4-7-18 コンクリート削孔工歩掛 (コアボーリングマシン)	⑩-1 コンクリート削孔工 (電動式コアボーリングマシン)																																																																																																																																																																																
	IV-3-⑩ 4-2 コンクリート削孔 (電動ハンマドリル)	表4-7-12 コンクリート削孔 (ハンマドリル)	⑩-2 コンクリート削孔工 (電動ハンマドリル)																																																																																																																																																																																
	IV-3-⑩ 4-3 コンクリート削孔 (さく岩機 (ハンマドリル (空圧式)))	表4-7-13・14 コンクリート削孔 (さく岩機 (ハンマドリル (空圧式)))	⑩-3 コンクリート削孔工 (さく岩機 (ハンマドリル (空圧式)))																																																																																																																																																																																
鋼桁孔明	—————	表4-7-4 鋼桁孔明工歩掛	⑩-10 鋼桁孔明工																																																																																																																																																																																
補強材取付 チップング	—————	表4-7-23 チッピング工歩掛	⑩-1 チッピング工 (ブラケット背面部)																																																																																																																																																																																
部材取付	—————	表4-7-7 落橋防止装置取付工歩掛	⑦-8 落橋防止装置・ 横変位拘束装置取付工																																																																																																																																																																																
高力ボルト本締	—————	表4-7-8 高力ボルト本締工歩掛	②-1 補修工事高力ボルト本締工																																																																																																																																																																																
アンカー工	IV-3-⑩ 4-4 アンカー	表4-7-15・16 アンカー 表4-7-19 アンカー工歩掛 (下方向)	⑨-4 アンカー工																																																																																																																																																																																
注入工	—————	表4-7-24 注入工歩掛	⑩-2 注入工(ブラケット背面部)																																																																																																																																																																																
既設物復旧	—————	—————	—————																																																																																																																																																																																
検査路設置	—————	表4-22-3 部材再設置工歩掛	⑥-2 検査路再設置工																																																																																																																																																																																
裏面吸音板設置	—————	—————	⑤-2 再設置工																																																																																																																																																																																
ピンテール仕上げ	—————	表4-7-9 ピンテール仕上げ工歩掛	②-8 ピンテール仕上げ工																																																																																																																																																																																
現場塗装	—————	表4-5-5 小規模現場塗装工歩掛	⑨-1 小規模現場塗装工																																																																																																																																																																																
工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章																																																																																																																																																																																
足場設置・撤去	—————	表4-2-10 換料及び歩掛係数③	①-1 足場工																																																																																																																																																																																
調査計測	—————	—————	—————																																																																																																																																																																																
芯出し調整	—————	表4-7-2 芯出し調整工 (鋼材面用) 歩掛	⑥-3 芯出し調整工 (鋼材面用)																																																																																																																																																																																
部材製作	—————	—————	—————																																																																																																																																																																																
既設物撤去	—————	—————	—————																																																																																																																																																																																
既設検査路撤去	—————	表4-22-2 部材撤去工歩掛	⑥-1 検査路撤去工																																																																																																																																																																																
裏面吸音板撤去	—————	—————	⑤-1 部材撤去工																																																																																																																																																																																
鉄筋探査	—————	表4-7-4 鉄筋探査工歩掛	⑩-4 鉄筋探査工																																																																																																																																																																																
コンクリート削孔	IV-3-⑩ 4-1 コンクリート削孔 (電動式コアボーリングマシン)	表4-7-11・12 コンクリート削孔 (電動式コアボーリングマシン) 表4-7-19 コンクリート削孔工歩掛 (コアボーリングマシン)	⑩-1 コンクリート削孔工 (電動式コアボーリングマシン)																																																																																																																																																																																
	IV-3-⑩ 4-2 コンクリート削孔 (電動ハンマドリル)	表4-7-13 コンクリート削孔 (電動ハンマドリル)	⑩-2 コンクリート削孔工 (電動ハンマドリル)																																																																																																																																																																																
	IV-3-⑩ 4-3 コンクリート削孔 (さく岩機 (ハンマドリル (空圧式)))	表4-7-14・15 コンクリート削孔 (さく岩機 (ハンマドリル (空圧式)))	⑩-3 コンクリート削孔工 (さく岩機 (ハンマドリル (空圧式)))																																																																																																																																																																																
鋼桁孔明	—————	表4-7-5 鋼桁孔明工歩掛	⑩-10 鋼桁孔明工																																																																																																																																																																																
補強材取付 チップング	—————	表4-7-24 チッピング工歩掛	⑩-1 チッピング工 (ブラケット背面部)																																																																																																																																																																																
部材取付	—————	表4-7-8 落橋防止装置取付工歩掛	⑦-8 落橋防止装置・ 横変位拘束装置取付工																																																																																																																																																																																
高力ボルト本締	—————	表4-7-9 高力ボルト本締工歩掛	②-1 補修工事高力ボルト本締工																																																																																																																																																																																
アンカー工	IV-3-⑩ 4-4 アンカー	表4-7-16・17 アンカー 表4-7-20 アンカー工歩掛 (下方向)	⑨-4 アンカー工																																																																																																																																																																																
注入工	—————	表4-7-25 注入工歩掛	⑩-2 注入工(ブラケット背面部)																																																																																																																																																																																
既設物復旧	—————	—————	—————																																																																																																																																																																																
検査路設置	—————	表4-22-3 部材再設置工歩掛	⑥-2 検査路再設置工																																																																																																																																																																																
裏面吸音板設置	—————	—————	⑤-2 再設置工																																																																																																																																																																																
ピンテール仕上げ	—————	表4-7-10 ピンテール仕上げ工歩掛	②-8 ピンテール仕上げ工																																																																																																																																																																																
現場塗装	—————	表4-5-5 小規模現場塗装工歩掛	⑨-1 小規模現場塗装工																																																																																																																																																																																

改訂2版 橋梁補修の解説と積算 改定情報

(2023年7月)

頁	項目	改定前	改定後																																																																																																																																																																																	
12	第1章② 主桁連結工	<p>12 第1章 鋼 橋</p> <p>積算基準対応表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工 種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> <th>本書 第7章</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足場設置・撤去</td> <td>—</td> <td>表4-3-9・10 足場 表4-2-10 損料及び歩掛係数③</td> <td>①-1 足場工</td> </tr> <tr> <td>芯出し調整</td> <td>—</td> <td>表4-7-2 芯出し調整工歩掛</td> <td>②-3 芯出し調整工</td> </tr> <tr> <td>設置箇所の素地調整</td> <td>—</td> <td>表4-7-2 芯出し調整工歩掛</td> <td>②-3 芯出し調整工</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">仮支保材・補強部材の取付</td> <td rowspan="2">—</td> <td rowspan="2">—</td> <td>①-2 荷卸し～横取り～仮置工 200kg以上</td> </tr> <tr> <td>①-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上</td> </tr> <tr> <td>ボルト孔明</td> <td>—</td> <td>表4-7-4 鋼桁孔明工歩掛</td> <td>②-10 鋼桁孔明工</td> </tr> <tr> <td>ボルト締付</td> <td>—</td> <td>表4-7-8 高力ボルト本締工歩掛</td> <td>②-1 補修工事高力ボルト本締工</td> </tr> <tr> <td>現場溶接</td> <td>—</td> <td>表4-10-8 現場溶接工歩掛</td> <td>③-1 現場溶接工</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">支 承 取 替</td> <td rowspan="2">IV-3-⑩ ②-2 3-1 支承取替(鋼橋)</td> <td>表4-3-3・4 支承取替(鋼橋)</td> <td>①-1 鋼橋-鋼製支承(ゴム支承)</td> </tr> <tr> <td>表4-3-12 支承取替工歩掛</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">既設桁の切断・孔明</td> <td rowspan="4">—</td> <td>表4-10-3 ガス切断切削 仕上工歩掛</td> <td>④-1 ガス切断切削仕上工</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>④-2 補修工事ガス切断工</td> </tr> <tr> <td>表4-13-3 既設部材撤去歩掛</td> <td>⑦-7 既設部材撤去工</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>⑦-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">部材荷卸し～横取り～桁下荷卸し</td> <td rowspan="2">—</td> <td rowspan="2">—</td> <td>⑦-2 荷卸し～横取り～仮置工 200kg以上</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">連結部材の取付</td> <td rowspan="3">—</td> <td>表4-7-4 鋼桁孔明工歩掛</td> <td>②-10 鋼桁孔明工</td> </tr> <tr> <td>表4-8-3 主桁連結部材 取付工歩掛</td> <td>⑦-6 主桁連結部材取付工</td> </tr> <tr> <td>表4-7-8 高力ボルト本締工歩掛</td> <td>②-1 補修工事高力ボルト本締工</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">撤去部材の設置</td> <td rowspan="2">—</td> <td rowspan="2">—</td> <td>①-2 荷卸し～横取り～仮置工 200kg以上</td> </tr> <tr> <td>①-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上</td> </tr> <tr> <td>伸縮装置切断撤去</td> <td>IV-7-⑩ 表5.2・5.3 取替工歩掛</td> <td>表4-11-1・2・3 取替工歩掛</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>伸縮装置の取替(伸縮装置の設置)</td> <td>表5.4 仕上工歩掛</td> <td>表4-11-4 仕上工歩掛</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>舗装復旧(補強鉄筋～区画線)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>ピンテール仕上げ</td> <td>—</td> <td>表4-7-9 ピンテール仕上げ工歩掛</td> <td>②-8 ピンテール仕上げ工</td> </tr> <tr> <td>現場塗装</td> <td>—</td> <td>表4-5-5 小規模現場塗装工歩掛</td> <td>⑧-1 小規模現場塗装工</td> </tr> </tbody> </table>	工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章	足場設置・撤去	—	表4-3-9・10 足場 表4-2-10 損料及び歩掛係数③	①-1 足場工	芯出し調整	—	表4-7-2 芯出し調整工歩掛	②-3 芯出し調整工	設置箇所の素地調整	—	表4-7-2 芯出し調整工歩掛	②-3 芯出し調整工	仮支保材・補強部材の取付	—	—	①-2 荷卸し～横取り～仮置工 200kg以上	①-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上	ボルト孔明	—	表4-7-4 鋼桁孔明工歩掛	②-10 鋼桁孔明工	ボルト締付	—	表4-7-8 高力ボルト本締工歩掛	②-1 補修工事高力ボルト本締工	現場溶接	—	表4-10-8 現場溶接工歩掛	③-1 現場溶接工	支 承 取 替	IV-3-⑩ ②-2 3-1 支承取替(鋼橋)	表4-3-3・4 支承取替(鋼橋)	①-1 鋼橋-鋼製支承(ゴム支承)	表4-3-12 支承取替工歩掛	—	既設桁の切断・孔明	—	表4-10-3 ガス切断切削 仕上工歩掛	④-1 ガス切断切削仕上工	—	④-2 補修工事ガス切断工	表4-13-3 既設部材撤去歩掛	⑦-7 既設部材撤去工	—	⑦-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上	部材荷卸し～横取り～桁下荷卸し	—	—	⑦-2 荷卸し～横取り～仮置工 200kg以上	—	—	連結部材の取付	—	表4-7-4 鋼桁孔明工歩掛	②-10 鋼桁孔明工	表4-8-3 主桁連結部材 取付工歩掛	⑦-6 主桁連結部材取付工	表4-7-8 高力ボルト本締工歩掛	②-1 補修工事高力ボルト本締工	撤去部材の設置	—	—	①-2 荷卸し～横取り～仮置工 200kg以上	①-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上	伸縮装置切断撤去	IV-7-⑩ 表5.2・5.3 取替工歩掛	表4-11-1・2・3 取替工歩掛	—	伸縮装置の取替(伸縮装置の設置)	表5.4 仕上工歩掛	表4-11-4 仕上工歩掛	—	舗装復旧(補強鉄筋～区画線)	—	—	—	ピンテール仕上げ	—	表4-7-9 ピンテール仕上げ工歩掛	②-8 ピンテール仕上げ工	現場塗装	—	表4-5-5 小規模現場塗装工歩掛	⑧-1 小規模現場塗装工	<p>12 第1章 鋼 橋</p> <p>積算基準対応表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工 種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> <th>本書 第7章</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足場設置・撤去</td> <td>—</td> <td>表4-3-9・10 足場 表4-2-10 損料及び歩掛係数③</td> <td>①-1 足場工</td> </tr> <tr> <td>芯出し調整</td> <td>—</td> <td>表4-7-2 芯出し調整工 (鋼材面用) 歩掛</td> <td>②-3 芯出し調整工(鋼材面用)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">仮支保材・補強部材の取付</td> <td rowspan="2">—</td> <td rowspan="2">表4-7-2 芯出し調整工 (鋼材面用) 歩掛</td> <td>②-3 芯出し調整工(鋼材面用)</td> </tr> <tr> <td>②-2 部材取付部塗膜研削工</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">部材荷卸し～横取り～調整</td> <td rowspan="2">—</td> <td rowspan="2">—</td> <td>①-2 荷卸し～横取り～仮置工 200kg以上</td> </tr> <tr> <td>①-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上</td> </tr> <tr> <td>ボルト孔明</td> <td>—</td> <td>表4-7-5 鋼桁孔明工歩掛</td> <td>②-10 鋼桁孔明工</td> </tr> <tr> <td>ボルト締付</td> <td>—</td> <td>表4-7-9 高力ボルト本締工歩掛</td> <td>②-1 補修工事高力ボルト本締工</td> </tr> <tr> <td>現場溶接</td> <td>—</td> <td>表4-10-8 現場溶接工歩掛</td> <td>③-1 現場溶接工</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">支 承 取 替</td> <td rowspan="2">IV-3-⑩ ②-2 3-1 支承取替(鋼橋)</td> <td>表4-3-3・4 支承取替(鋼橋)</td> <td>①-1 鋼橋-鋼製支承(ゴム支承)</td> </tr> <tr> <td>表4-3-12 支承取替工歩掛</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">既設桁の切断・孔明</td> <td rowspan="4">—</td> <td>表4-10-3 ガス切断切削 仕上工歩掛</td> <td>④-1 ガス切断切削仕上工</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>④-2 補修工事ガス切断工</td> </tr> <tr> <td>表4-13-3 既設部材撤去歩掛</td> <td>⑦-7 既設部材撤去工</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>⑦-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">部材荷卸し～横取り～桁下荷卸し</td> <td rowspan="2">IV-3-⑩ 表4.2 既設部材 撤去歩掛</td> <td rowspan="2">—</td> <td>⑦-2 荷卸し～横取り～仮置工 200kg以上</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">連結部材の取付</td> <td rowspan="3">—</td> <td>表4-7-5 鋼桁孔明工歩掛</td> <td>②-10 鋼桁孔明工</td> </tr> <tr> <td>表4-8-3 主桁連結部材 取付工歩掛</td> <td>⑦-6 主桁連結部材取付工</td> </tr> <tr> <td>表4-7-9 高力ボルト本締工歩掛</td> <td>②-1 補修工事高力ボルト本締工</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">撤去部材の設置</td> <td rowspan="2">—</td> <td rowspan="2">—</td> <td>①-2 荷卸し～横取り～仮置工 200kg以上</td> </tr> <tr> <td>①-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上</td> </tr> <tr> <td>伸縮装置切断撤去</td> <td>IV-7-⑩ 表5.2・5.3 取替工歩掛</td> <td>表4-11-1・2・3 取替工歩掛</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>伸縮装置の取替(伸縮装置の設置)</td> <td>表5.4 仕上工歩掛</td> <td>表4-11-4 仕上工歩掛</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>舗装復旧(補強鉄筋～区画線)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>ピンテール仕上げ</td> <td>—</td> <td>表4-7-10 ピンテール仕上げ工歩掛</td> <td>②-8 ピンテール仕上げ工</td> </tr> <tr> <td>現場塗装</td> <td>—</td> <td>表4-5-5 小規模現場塗装工歩掛</td> <td>⑧-1 小規模現場塗装工</td> </tr> </tbody> </table>	工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章	足場設置・撤去	—	表4-3-9・10 足場 表4-2-10 損料及び歩掛係数③	①-1 足場工	芯出し調整	—	表4-7-2 芯出し調整工 (鋼材面用) 歩掛	②-3 芯出し調整工(鋼材面用)	仮支保材・補強部材の取付	—	表4-7-2 芯出し調整工 (鋼材面用) 歩掛	②-3 芯出し調整工(鋼材面用)	②-2 部材取付部塗膜研削工	部材荷卸し～横取り～調整	—	—	①-2 荷卸し～横取り～仮置工 200kg以上	①-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上	ボルト孔明	—	表4-7-5 鋼桁孔明工歩掛	②-10 鋼桁孔明工	ボルト締付	—	表4-7-9 高力ボルト本締工歩掛	②-1 補修工事高力ボルト本締工	現場溶接	—	表4-10-8 現場溶接工歩掛	③-1 現場溶接工	支 承 取 替	IV-3-⑩ ②-2 3-1 支承取替(鋼橋)	表4-3-3・4 支承取替(鋼橋)	①-1 鋼橋-鋼製支承(ゴム支承)	表4-3-12 支承取替工歩掛	—	既設桁の切断・孔明	—	表4-10-3 ガス切断切削 仕上工歩掛	④-1 ガス切断切削仕上工	—	④-2 補修工事ガス切断工	表4-13-3 既設部材撤去歩掛	⑦-7 既設部材撤去工	—	⑦-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上	部材荷卸し～横取り～桁下荷卸し	IV-3-⑩ 表4.2 既設部材 撤去歩掛	—	⑦-2 荷卸し～横取り～仮置工 200kg以上	—	—	連結部材の取付	—	表4-7-5 鋼桁孔明工歩掛	②-10 鋼桁孔明工	表4-8-3 主桁連結部材 取付工歩掛	⑦-6 主桁連結部材取付工	表4-7-9 高力ボルト本締工歩掛	②-1 補修工事高力ボルト本締工	撤去部材の設置	—	—	①-2 荷卸し～横取り～仮置工 200kg以上	①-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上	伸縮装置切断撤去	IV-7-⑩ 表5.2・5.3 取替工歩掛	表4-11-1・2・3 取替工歩掛	—	伸縮装置の取替(伸縮装置の設置)	表5.4 仕上工歩掛	表4-11-4 仕上工歩掛	—	舗装復旧(補強鉄筋～区画線)	—	—	—	ピンテール仕上げ	—	表4-7-10 ピンテール仕上げ工歩掛	②-8 ピンテール仕上げ工	現場塗装	—	表4-5-5 小規模現場塗装工歩掛	⑧-1 小規模現場塗装工
工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章																																																																																																																																																																																	
足場設置・撤去	—	表4-3-9・10 足場 表4-2-10 損料及び歩掛係数③	①-1 足場工																																																																																																																																																																																	
芯出し調整	—	表4-7-2 芯出し調整工歩掛	②-3 芯出し調整工																																																																																																																																																																																	
設置箇所の素地調整	—	表4-7-2 芯出し調整工歩掛	②-3 芯出し調整工																																																																																																																																																																																	
仮支保材・補強部材の取付	—	—	①-2 荷卸し～横取り～仮置工 200kg以上																																																																																																																																																																																	
			①-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上																																																																																																																																																																																	
ボルト孔明	—	表4-7-4 鋼桁孔明工歩掛	②-10 鋼桁孔明工																																																																																																																																																																																	
ボルト締付	—	表4-7-8 高力ボルト本締工歩掛	②-1 補修工事高力ボルト本締工																																																																																																																																																																																	
現場溶接	—	表4-10-8 現場溶接工歩掛	③-1 現場溶接工																																																																																																																																																																																	
支 承 取 替	IV-3-⑩ ②-2 3-1 支承取替(鋼橋)	表4-3-3・4 支承取替(鋼橋)	①-1 鋼橋-鋼製支承(ゴム支承)																																																																																																																																																																																	
		表4-3-12 支承取替工歩掛	—																																																																																																																																																																																	
既設桁の切断・孔明	—	表4-10-3 ガス切断切削 仕上工歩掛	④-1 ガス切断切削仕上工																																																																																																																																																																																	
		—	④-2 補修工事ガス切断工																																																																																																																																																																																	
		表4-13-3 既設部材撤去歩掛	⑦-7 既設部材撤去工																																																																																																																																																																																	
		—	⑦-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上																																																																																																																																																																																	
部材荷卸し～横取り～桁下荷卸し	—	—	⑦-2 荷卸し～横取り～仮置工 200kg以上																																																																																																																																																																																	
			—	—																																																																																																																																																																																
連結部材の取付	—	表4-7-4 鋼桁孔明工歩掛	②-10 鋼桁孔明工																																																																																																																																																																																	
		表4-8-3 主桁連結部材 取付工歩掛	⑦-6 主桁連結部材取付工																																																																																																																																																																																	
		表4-7-8 高力ボルト本締工歩掛	②-1 補修工事高力ボルト本締工																																																																																																																																																																																	
撤去部材の設置	—	—	①-2 荷卸し～横取り～仮置工 200kg以上																																																																																																																																																																																	
			①-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上																																																																																																																																																																																	
伸縮装置切断撤去	IV-7-⑩ 表5.2・5.3 取替工歩掛	表4-11-1・2・3 取替工歩掛	—																																																																																																																																																																																	
伸縮装置の取替(伸縮装置の設置)	表5.4 仕上工歩掛	表4-11-4 仕上工歩掛	—																																																																																																																																																																																	
舗装復旧(補強鉄筋～区画線)	—	—	—																																																																																																																																																																																	
ピンテール仕上げ	—	表4-7-9 ピンテール仕上げ工歩掛	②-8 ピンテール仕上げ工																																																																																																																																																																																	
現場塗装	—	表4-5-5 小規模現場塗装工歩掛	⑧-1 小規模現場塗装工																																																																																																																																																																																	
工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章																																																																																																																																																																																	
足場設置・撤去	—	表4-3-9・10 足場 表4-2-10 損料及び歩掛係数③	①-1 足場工																																																																																																																																																																																	
芯出し調整	—	表4-7-2 芯出し調整工 (鋼材面用) 歩掛	②-3 芯出し調整工(鋼材面用)																																																																																																																																																																																	
仮支保材・補強部材の取付	—	表4-7-2 芯出し調整工 (鋼材面用) 歩掛	②-3 芯出し調整工(鋼材面用)																																																																																																																																																																																	
			②-2 部材取付部塗膜研削工																																																																																																																																																																																	
部材荷卸し～横取り～調整	—	—	①-2 荷卸し～横取り～仮置工 200kg以上																																																																																																																																																																																	
			①-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上																																																																																																																																																																																	
ボルト孔明	—	表4-7-5 鋼桁孔明工歩掛	②-10 鋼桁孔明工																																																																																																																																																																																	
ボルト締付	—	表4-7-9 高力ボルト本締工歩掛	②-1 補修工事高力ボルト本締工																																																																																																																																																																																	
現場溶接	—	表4-10-8 現場溶接工歩掛	③-1 現場溶接工																																																																																																																																																																																	
支 承 取 替	IV-3-⑩ ②-2 3-1 支承取替(鋼橋)	表4-3-3・4 支承取替(鋼橋)	①-1 鋼橋-鋼製支承(ゴム支承)																																																																																																																																																																																	
		表4-3-12 支承取替工歩掛	—																																																																																																																																																																																	
既設桁の切断・孔明	—	表4-10-3 ガス切断切削 仕上工歩掛	④-1 ガス切断切削仕上工																																																																																																																																																																																	
		—	④-2 補修工事ガス切断工																																																																																																																																																																																	
		表4-13-3 既設部材撤去歩掛	⑦-7 既設部材撤去工																																																																																																																																																																																	
		—	⑦-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上																																																																																																																																																																																	
部材荷卸し～横取り～桁下荷卸し	IV-3-⑩ 表4.2 既設部材 撤去歩掛	—	⑦-2 荷卸し～横取り～仮置工 200kg以上																																																																																																																																																																																	
			—	—																																																																																																																																																																																
連結部材の取付	—	表4-7-5 鋼桁孔明工歩掛	②-10 鋼桁孔明工																																																																																																																																																																																	
		表4-8-3 主桁連結部材 取付工歩掛	⑦-6 主桁連結部材取付工																																																																																																																																																																																	
		表4-7-9 高力ボルト本締工歩掛	②-1 補修工事高力ボルト本締工																																																																																																																																																																																	
撤去部材の設置	—	—	①-2 荷卸し～横取り～仮置工 200kg以上																																																																																																																																																																																	
			①-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上																																																																																																																																																																																	
伸縮装置切断撤去	IV-7-⑩ 表5.2・5.3 取替工歩掛	表4-11-1・2・3 取替工歩掛	—																																																																																																																																																																																	
伸縮装置の取替(伸縮装置の設置)	表5.4 仕上工歩掛	表4-11-4 仕上工歩掛	—																																																																																																																																																																																	
舗装復旧(補強鉄筋～区画線)	—	—	—																																																																																																																																																																																	
ピンテール仕上げ	—	表4-7-10 ピンテール仕上げ工歩掛	②-8 ピンテール仕上げ工																																																																																																																																																																																	
現場塗装	—	表4-5-5 小規模現場塗装工歩掛	⑧-1 小規模現場塗装工																																																																																																																																																																																	

改訂2版 橋梁補修の解説と積算 改定情報

(2023年7月)

頁	項目	改定前	改定後																																																																																																												
27	第1章④ 橋体補強工(耐荷力向上)	<p style="text-align: right;">工事編 ④ 橋体補強工(耐荷力向上) 27</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <caption style="text-align: center;">積算基準対応表</caption> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> <th>本書 第7章</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足場設置・撤去</td> <td>—————</td> <td>表4-2-4 損料及び歩掛係数①</td> <td>①-1 定場工</td> </tr> <tr> <td>芯出し調整</td> <td>—————</td> <td>表4-7-2 芯出し調整工歩掛</td> <td>⑧-3 芯出し調整工</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">鋼桁孔明</td> <td rowspan="3">—————</td> <td>表4-7-4 鋼桁孔明工歩掛</td> <td>⑩-10 鋼桁孔明工</td> </tr> <tr> <td>表4-10-4 特殊HTB工歩掛</td> <td>⑩-6 特殊HTB工(孔明け+本締工連続作業)</td> </tr> <tr> <td>表4-10-5 支圧HTB工歩掛</td> <td>⑩-7 支圧HTB工(孔明け+打込み+本締工連続作業)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">補強部材取付</td> <td rowspan="5">—————</td> <td>—————</td> <td>⑦-2 荷部し〜横取り〜仮置工 200kg以上</td> </tr> <tr> <td>—————</td> <td>⑦-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上</td> </tr> <tr> <td>表4-10-6 増設部材架設工歩掛</td> <td>⑦-4 増設部材架設工 (増設横縦桁等取付撤去工)</td> </tr> <tr> <td>表4-10-7 増設橋梁部材架設工歩掛</td> <td>⑦-5 増設橋梁部材架設工</td> </tr> <tr> <td>表4-7-8 高力ボルト本締工歩掛</td> <td>⑩-1 補修工事高力ボルト本締工</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">高力ボルト本締</td> <td rowspan="4">—————</td> <td>表4-5-4 ワンサイドボルト本締工歩掛</td> <td>⑩-5 ワンサイドボルト本締工</td> </tr> <tr> <td>表4-10-4 特殊HTB工歩掛</td> <td>⑩-6 特殊HTB工(孔明け+本締工連続作業)</td> </tr> <tr> <td>表4-10-5 支圧HTB工歩掛</td> <td>⑩-7 支圧HTB工(孔明け+打込み+本締工連続作業)</td> </tr> <tr> <td>表4-10-8 現場溶接工歩掛</td> <td>⑨-1 現場溶接工</td> </tr> <tr> <td>現場溶接</td> <td>—————</td> <td>表4-10-8 現場溶接工歩掛</td> <td>⑨-1 現場溶接工</td> </tr> <tr> <td>ピンテール仕上げ</td> <td>—————</td> <td>表4-7-9 ピンテール仕上げ工歩掛</td> <td>⑩-8 ピンテール仕上げ工</td> </tr> <tr> <td>現場塗装</td> <td>—————</td> <td>表4-5-5 小規模塗装工歩掛</td> <td>⑩-1 小規模現場塗装工</td> </tr> </tbody> </table>	工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章	足場設置・撤去	—————	表4-2-4 損料及び歩掛係数①	①-1 定場工	芯出し調整	—————	表4-7-2 芯出し調整工歩掛	⑧-3 芯出し調整工	鋼桁孔明	—————	表4-7-4 鋼桁孔明工歩掛	⑩-10 鋼桁孔明工	表4-10-4 特殊HTB工歩掛	⑩-6 特殊HTB工(孔明け+本締工連続作業)	表4-10-5 支圧HTB工歩掛	⑩-7 支圧HTB工(孔明け+打込み+本締工連続作業)	補強部材取付	—————	—————	⑦-2 荷部し〜横取り〜仮置工 200kg以上	—————	⑦-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上	表4-10-6 増設部材架設工歩掛	⑦-4 増設部材架設工 (増設横縦桁等取付撤去工)	表4-10-7 増設橋梁部材架設工歩掛	⑦-5 増設橋梁部材架設工	表4-7-8 高力ボルト本締工歩掛	⑩-1 補修工事高力ボルト本締工	高力ボルト本締	—————	表4-5-4 ワンサイドボルト本締工歩掛	⑩-5 ワンサイドボルト本締工	表4-10-4 特殊HTB工歩掛	⑩-6 特殊HTB工(孔明け+本締工連続作業)	表4-10-5 支圧HTB工歩掛	⑩-7 支圧HTB工(孔明け+打込み+本締工連続作業)	表4-10-8 現場溶接工歩掛	⑨-1 現場溶接工	現場溶接	—————	表4-10-8 現場溶接工歩掛	⑨-1 現場溶接工	ピンテール仕上げ	—————	表4-7-9 ピンテール仕上げ工歩掛	⑩-8 ピンテール仕上げ工	現場塗装	—————	表4-5-5 小規模塗装工歩掛	⑩-1 小規模現場塗装工	<p style="text-align: right;">工事編 ④ 橋体補強工(耐荷力向上) 27</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <caption style="text-align: center;">積算基準対応表</caption> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> <th>本書 第7章</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足場設置・撤去</td> <td>—————</td> <td>表4-2-4 損料及び歩掛係数①</td> <td>①-1 定場工</td> </tr> <tr> <td>芯出し調整</td> <td>—————</td> <td>表4-7-2 芯出し調整工 (鋼材面用) 歩掛</td> <td>⑧-3 芯出し調整工(鋼材面用)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">鋼桁孔明</td> <td rowspan="3">—————</td> <td>表4-7-5 鋼桁孔明工歩掛</td> <td>⑩-10 鋼桁孔明工</td> </tr> <tr> <td>表4-10-4 特殊HTB工歩掛</td> <td>⑩-6 特殊HTB工(孔明け+本締工連続作業)</td> </tr> <tr> <td>表4-10-5 支圧HTB工歩掛</td> <td>⑩-7 支圧HTB工(孔明け+打込み+本締工連続作業)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">補強部材取付</td> <td rowspan="5">—————</td> <td>—————</td> <td>⑦-2 荷部し〜横取り〜仮置工 200kg以上</td> </tr> <tr> <td>—————</td> <td>⑦-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上</td> </tr> <tr> <td>表4-10-6 増設部材架設工歩掛</td> <td>⑦-4 増設部材架設工 (増設横縦桁等取付撤去工)</td> </tr> <tr> <td>表4-10-7 増設橋梁部材架設工歩掛</td> <td>⑦-5 増設橋梁部材架設工</td> </tr> <tr> <td>表4-7-9 高力ボルト本締工歩掛</td> <td>⑩-1 補修工事高力ボルト本締工</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">高力ボルト本締</td> <td rowspan="4">—————</td> <td>表4-5-4 ワンサイドボルト本締工歩掛</td> <td>⑩-5 ワンサイドボルト本締工</td> </tr> <tr> <td>表4-10-4 特殊HTB工歩掛</td> <td>⑩-6 特殊HTB工(孔明け+本締工連続作業)</td> </tr> <tr> <td>表4-10-5 支圧HTB工歩掛</td> <td>⑩-7 支圧HTB工(孔明け+打込み+本締工連続作業)</td> </tr> <tr> <td>表4-10-8 現場溶接工歩掛</td> <td>⑨-1 現場溶接工</td> </tr> <tr> <td>現場溶接</td> <td>—————</td> <td>表4-10-8 現場溶接工歩掛</td> <td>⑨-1 現場溶接工</td> </tr> <tr> <td>ピンテール仕上げ</td> <td>—————</td> <td>表4-7-10 ピンテール仕上げ工歩掛</td> <td>⑩-8 ピンテール仕上げ工</td> </tr> <tr> <td>現場塗装</td> <td>—————</td> <td>表4-5-5 小規模塗装工歩掛</td> <td>⑩-1 小規模現場塗装工</td> </tr> </tbody> </table>	工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章	足場設置・撤去	—————	表4-2-4 損料及び歩掛係数①	①-1 定場工	芯出し調整	—————	表4-7-2 芯出し調整工 (鋼材面用) 歩掛	⑧-3 芯出し調整工(鋼材面用)	鋼桁孔明	—————	表4-7-5 鋼桁孔明工歩掛	⑩-10 鋼桁孔明工	表4-10-4 特殊HTB工歩掛	⑩-6 特殊HTB工(孔明け+本締工連続作業)	表4-10-5 支圧HTB工歩掛	⑩-7 支圧HTB工(孔明け+打込み+本締工連続作業)	補強部材取付	—————	—————	⑦-2 荷部し〜横取り〜仮置工 200kg以上	—————	⑦-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上	表4-10-6 増設部材架設工歩掛	⑦-4 増設部材架設工 (増設横縦桁等取付撤去工)	表4-10-7 増設橋梁部材架設工歩掛	⑦-5 増設橋梁部材架設工	表4-7-9 高力ボルト本締工歩掛	⑩-1 補修工事高力ボルト本締工	高力ボルト本締	—————	表4-5-4 ワンサイドボルト本締工歩掛	⑩-5 ワンサイドボルト本締工	表4-10-4 特殊HTB工歩掛	⑩-6 特殊HTB工(孔明け+本締工連続作業)	表4-10-5 支圧HTB工歩掛	⑩-7 支圧HTB工(孔明け+打込み+本締工連続作業)	表4-10-8 現場溶接工歩掛	⑨-1 現場溶接工	現場溶接	—————	表4-10-8 現場溶接工歩掛	⑨-1 現場溶接工	ピンテール仕上げ	—————	表4-7-10 ピンテール仕上げ工歩掛	⑩-8 ピンテール仕上げ工	現場塗装	—————	表4-5-5 小規模塗装工歩掛	⑩-1 小規模現場塗装工
工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章																																																																																																												
足場設置・撤去	—————	表4-2-4 損料及び歩掛係数①	①-1 定場工																																																																																																												
芯出し調整	—————	表4-7-2 芯出し調整工歩掛	⑧-3 芯出し調整工																																																																																																												
鋼桁孔明	—————	表4-7-4 鋼桁孔明工歩掛	⑩-10 鋼桁孔明工																																																																																																												
		表4-10-4 特殊HTB工歩掛	⑩-6 特殊HTB工(孔明け+本締工連続作業)																																																																																																												
		表4-10-5 支圧HTB工歩掛	⑩-7 支圧HTB工(孔明け+打込み+本締工連続作業)																																																																																																												
補強部材取付	—————	—————	⑦-2 荷部し〜横取り〜仮置工 200kg以上																																																																																																												
		—————	⑦-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上																																																																																																												
		表4-10-6 増設部材架設工歩掛	⑦-4 増設部材架設工 (増設横縦桁等取付撤去工)																																																																																																												
		表4-10-7 増設橋梁部材架設工歩掛	⑦-5 増設橋梁部材架設工																																																																																																												
		表4-7-8 高力ボルト本締工歩掛	⑩-1 補修工事高力ボルト本締工																																																																																																												
高力ボルト本締	—————	表4-5-4 ワンサイドボルト本締工歩掛	⑩-5 ワンサイドボルト本締工																																																																																																												
		表4-10-4 特殊HTB工歩掛	⑩-6 特殊HTB工(孔明け+本締工連続作業)																																																																																																												
		表4-10-5 支圧HTB工歩掛	⑩-7 支圧HTB工(孔明け+打込み+本締工連続作業)																																																																																																												
		表4-10-8 現場溶接工歩掛	⑨-1 現場溶接工																																																																																																												
現場溶接	—————	表4-10-8 現場溶接工歩掛	⑨-1 現場溶接工																																																																																																												
ピンテール仕上げ	—————	表4-7-9 ピンテール仕上げ工歩掛	⑩-8 ピンテール仕上げ工																																																																																																												
現場塗装	—————	表4-5-5 小規模塗装工歩掛	⑩-1 小規模現場塗装工																																																																																																												
工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章																																																																																																												
足場設置・撤去	—————	表4-2-4 損料及び歩掛係数①	①-1 定場工																																																																																																												
芯出し調整	—————	表4-7-2 芯出し調整工 (鋼材面用) 歩掛	⑧-3 芯出し調整工(鋼材面用)																																																																																																												
鋼桁孔明	—————	表4-7-5 鋼桁孔明工歩掛	⑩-10 鋼桁孔明工																																																																																																												
		表4-10-4 特殊HTB工歩掛	⑩-6 特殊HTB工(孔明け+本締工連続作業)																																																																																																												
		表4-10-5 支圧HTB工歩掛	⑩-7 支圧HTB工(孔明け+打込み+本締工連続作業)																																																																																																												
補強部材取付	—————	—————	⑦-2 荷部し〜横取り〜仮置工 200kg以上																																																																																																												
		—————	⑦-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上																																																																																																												
		表4-10-6 増設部材架設工歩掛	⑦-4 増設部材架設工 (増設横縦桁等取付撤去工)																																																																																																												
		表4-10-7 増設橋梁部材架設工歩掛	⑦-5 増設橋梁部材架設工																																																																																																												
		表4-7-9 高力ボルト本締工歩掛	⑩-1 補修工事高力ボルト本締工																																																																																																												
高力ボルト本締	—————	表4-5-4 ワンサイドボルト本締工歩掛	⑩-5 ワンサイドボルト本締工																																																																																																												
		表4-10-4 特殊HTB工歩掛	⑩-6 特殊HTB工(孔明け+本締工連続作業)																																																																																																												
		表4-10-5 支圧HTB工歩掛	⑩-7 支圧HTB工(孔明け+打込み+本締工連続作業)																																																																																																												
		表4-10-8 現場溶接工歩掛	⑨-1 現場溶接工																																																																																																												
現場溶接	—————	表4-10-8 現場溶接工歩掛	⑨-1 現場溶接工																																																																																																												
ピンテール仕上げ	—————	表4-7-10 ピンテール仕上げ工歩掛	⑩-8 ピンテール仕上げ工																																																																																																												
現場塗装	—————	表4-5-5 小規模塗装工歩掛	⑩-1 小規模現場塗装工																																																																																																												

改訂2版 橋梁補修の解説と積算 改定情報

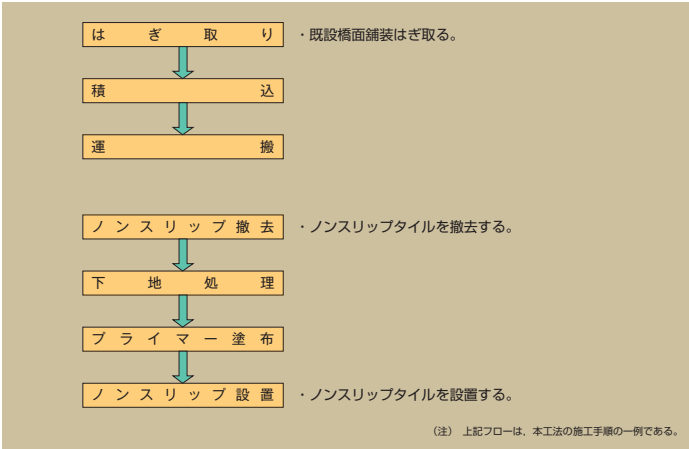
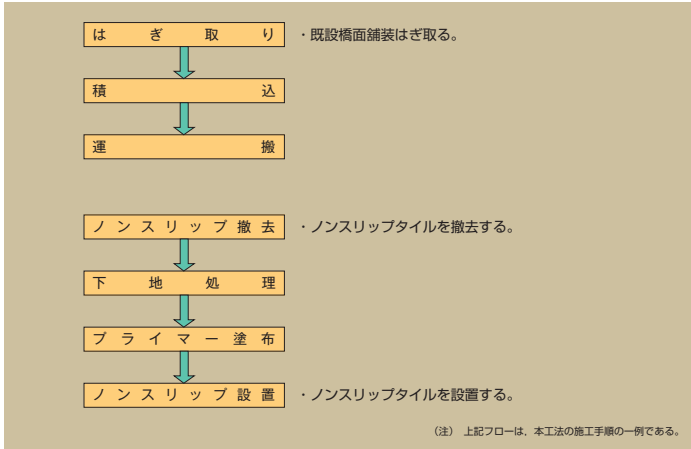
(2023年7月)

頁	項目	改定前	改定後																																																																																																																																																
31	第1章⑤ 橋体補強工(耐震性向上)	<p style="text-align: right;">工事編 ⑤ 橋体補強工(耐震性向上) 31</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <caption>積算基準対応表</caption> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> <th>本書 第7章</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足場設置・撤去</td> <td>—————</td> <td>表4-2-4 損料及び歩掛係数①</td> <td>①-1 足場工</td> </tr> <tr> <td>芯出し調整</td> <td>—————</td> <td>表4-7-2 芯出し調整工歩掛</td> <td>⑧-3 芯出し調整工</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">既設ボルト・リベット撤去</td> <td rowspan="2">—————</td> <td>—————</td> <td>②-2 高力六角ボルト撤去工</td> </tr> <tr> <td>—————</td> <td>②-3 トルシア型高力ボルト撤去工</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">既設部材撤去</td> <td rowspan="3">—————</td> <td>表4-10-9 リベット撤去工歩掛</td> <td>②-9 リベット撤去工</td> </tr> <tr> <td>—————</td> <td>⑦-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上</td> </tr> <tr> <td>—————</td> <td>⑦-2 荷卸し〜横取り〜仮置工 200kg以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ガセット清掃</td> <td rowspan="2">—————</td> <td>表4-10-6 増設部材架設工歩掛</td> <td>⑦-4 増設部材架設工 (増設横縦桁等取付撤去工)</td> </tr> <tr> <td>表4-7-2 芯出し調整工歩掛</td> <td>⑧-3 芯出し調整工</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">新設部材取付</td> <td rowspan="4">—————</td> <td>—————</td> <td>⑧-2 部材取付部塗膜研削工</td> </tr> <tr> <td>—————</td> <td>⑦-2 荷卸し〜横取り〜仮置工 200kg以上</td> </tr> <tr> <td>—————</td> <td>⑦-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上</td> </tr> <tr> <td>表4-10-6 増設部材架設工歩掛</td> <td>⑦-4 増設部材架設工 (増設横縦桁等取付撤去工)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">高力ボルト本締</td> <td rowspan="3">—————</td> <td>表4-10-7 増設橋梁部材架設工歩掛</td> <td>⑦-5 増設橋梁部材架設工</td> </tr> <tr> <td>表4-17-1 座屈拘束ブレース設置歩掛</td> <td>⑦-10 座屈拘束ブレース設置工</td> </tr> <tr> <td>表4-7-8 高力ボルト本締工歩掛</td> <td>②-1 補修工事高力ボルト本締工</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">現場溶接</td> <td rowspan="3">—————</td> <td>表4-5-4 ワンサイドボルト本締工歩掛</td> <td>②-5 ワンサイドボルト本締工</td> </tr> <tr> <td>表4-10-4 特殊HTB工歩掛</td> <td>②-6 特殊HTB工(孔明け+本締工連続作業)</td> </tr> <tr> <td>表4-10-5 支圧HTB工歩掛</td> <td>②-7 支圧HTB工(孔明け+打込み+本締工連続作業)</td> </tr> <tr> <td>現場溶接</td> <td>—————</td> <td>表4-10-8 現場溶接工歩掛</td> <td>③-1 現場溶接工</td> </tr> <tr> <td>ピンテール仕上げ</td> <td>—————</td> <td>表4-7-9 ピンテール仕上げ工歩掛</td> <td>②-8 ピンテール仕上げ工</td> </tr> <tr> <td>現場塗装</td> <td>—————</td> <td>表4-5-5 小規模塗装工歩掛</td> <td>⑥-1 小規模現場塗装工</td> </tr> </tbody> </table>	工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章	足場設置・撤去	—————	表4-2-4 損料及び歩掛係数①	①-1 足場工	芯出し調整	—————	表4-7-2 芯出し調整工歩掛	⑧-3 芯出し調整工	既設ボルト・リベット撤去	—————	—————	②-2 高力六角ボルト撤去工	—————	②-3 トルシア型高力ボルト撤去工	既設部材撤去	—————	表4-10-9 リベット撤去工歩掛	②-9 リベット撤去工	—————	⑦-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上	—————	⑦-2 荷卸し〜横取り〜仮置工 200kg以上	ガセット清掃	—————	表4-10-6 増設部材架設工歩掛	⑦-4 増設部材架設工 (増設横縦桁等取付撤去工)	表4-7-2 芯出し調整工歩掛	⑧-3 芯出し調整工	新設部材取付	—————	—————	⑧-2 部材取付部塗膜研削工	—————	⑦-2 荷卸し〜横取り〜仮置工 200kg以上	—————	⑦-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上	表4-10-6 増設部材架設工歩掛	⑦-4 増設部材架設工 (増設横縦桁等取付撤去工)	高力ボルト本締	—————	表4-10-7 増設橋梁部材架設工歩掛	⑦-5 増設橋梁部材架設工	表4-17-1 座屈拘束ブレース設置歩掛	⑦-10 座屈拘束ブレース設置工	表4-7-8 高力ボルト本締工歩掛	②-1 補修工事高力ボルト本締工	現場溶接	—————	表4-5-4 ワンサイドボルト本締工歩掛	②-5 ワンサイドボルト本締工	表4-10-4 特殊HTB工歩掛	②-6 特殊HTB工(孔明け+本締工連続作業)	表4-10-5 支圧HTB工歩掛	②-7 支圧HTB工(孔明け+打込み+本締工連続作業)	現場溶接	—————	表4-10-8 現場溶接工歩掛	③-1 現場溶接工	ピンテール仕上げ	—————	表4-7-9 ピンテール仕上げ工歩掛	②-8 ピンテール仕上げ工	現場塗装	—————	表4-5-5 小規模塗装工歩掛	⑥-1 小規模現場塗装工	<p style="text-align: right;">工事編 ⑤ 橋体補強工(耐震性向上) 31</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <caption>積算基準対応表</caption> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> <th>本書 第7章</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足場設置・撤去</td> <td>—————</td> <td>表4-2-4 損料及び歩掛係数①</td> <td>①-1 足場工</td> </tr> <tr> <td>芯出し調整</td> <td>—————</td> <td>表4-7-2 芯出し調整工 (鋼材面用) 歩掛</td> <td>⑧-3 芯出し調整工(鋼材面用)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">既設ボルト・リベット撤去</td> <td rowspan="2">—————</td> <td>—————</td> <td>②-2 高力六角ボルト撤去工</td> </tr> <tr> <td>—————</td> <td>②-3 トルシア型高力ボルト撤去工</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">既設部材撤去</td> <td rowspan="3">—————</td> <td>表4-10-9 リベット撤去工歩掛</td> <td>②-9 リベット撤去工</td> </tr> <tr> <td>—————</td> <td>⑦-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上</td> </tr> <tr> <td>—————</td> <td>⑦-2 荷卸し〜横取り〜仮置工 200kg以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ガセット清掃</td> <td rowspan="2">—————</td> <td>表4-10-6 増設部材架設工歩掛</td> <td>⑦-4 増設部材架設工 (増設横縦桁等取付撤去工)</td> </tr> <tr> <td>表4-7-2 芯出し調整工 (鋼材面用) 歩掛</td> <td>⑧-3 芯出し調整工(鋼材面用)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">新設部材取付</td> <td rowspan="4">—————</td> <td>—————</td> <td>⑧-2 部材取付部塗膜研削工</td> </tr> <tr> <td>—————</td> <td>⑦-2 荷卸し〜横取り〜仮置工 200kg以上</td> </tr> <tr> <td>—————</td> <td>⑦-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上</td> </tr> <tr> <td>表4-10-6 増設部材架設工歩掛</td> <td>⑦-4 増設部材架設工 (増設横縦桁等取付撤去工)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">高力ボルト本締</td> <td rowspan="3">—————</td> <td>表4-10-7 増設橋梁部材架設工歩掛</td> <td>⑦-5 増設橋梁部材架設工</td> </tr> <tr> <td>表4-10-7 増設橋梁部材架設工歩掛</td> <td>⑦-5 増設橋梁部材架設工</td> </tr> <tr> <td>表4-17-1 座屈拘束ブレース設置歩掛</td> <td>⑦-10 座屈拘束ブレース設置工</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">現場溶接</td> <td rowspan="3">—————</td> <td>表4-7-9 高力ボルト本締工歩掛</td> <td>②-1 補修工事高力ボルト本締工</td> </tr> <tr> <td>表4-5-4 ワンサイドボルト本締工歩掛</td> <td>②-5 ワンサイドボルト本締工</td> </tr> <tr> <td>表4-10-4 特殊HTB工歩掛</td> <td>②-6 特殊HTB工(孔明け+本締工連続作業)</td> </tr> <tr> <td>現場溶接</td> <td>—————</td> <td>表4-10-5 支圧HTB工歩掛</td> <td>②-7 支圧HTB工(孔明け+打込み+本締工連続作業)</td> </tr> <tr> <td>ピンテール仕上げ</td> <td>—————</td> <td>表4-10-8 現場溶接工歩掛</td> <td>③-1 現場溶接工</td> </tr> <tr> <td>現場塗装</td> <td>—————</td> <td>表4-7-10 ピンテール仕上げ工歩掛</td> <td>②-8 ピンテール仕上げ工</td> </tr> <tr> <td>現場塗装</td> <td>—————</td> <td>表4-5-5 小規模現場塗装工歩掛</td> <td>⑥-1 小規模現場塗装工</td> </tr> </tbody> </table>	工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章	足場設置・撤去	—————	表4-2-4 損料及び歩掛係数①	①-1 足場工	芯出し調整	—————	表4-7-2 芯出し調整工 (鋼材面用) 歩掛	⑧-3 芯出し調整工(鋼材面用)	既設ボルト・リベット撤去	—————	—————	②-2 高力六角ボルト撤去工	—————	②-3 トルシア型高力ボルト撤去工	既設部材撤去	—————	表4-10-9 リベット撤去工歩掛	②-9 リベット撤去工	—————	⑦-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上	—————	⑦-2 荷卸し〜横取り〜仮置工 200kg以上	ガセット清掃	—————	表4-10-6 増設部材架設工歩掛	⑦-4 増設部材架設工 (増設横縦桁等取付撤去工)	表4-7-2 芯出し調整工 (鋼材面用) 歩掛	⑧-3 芯出し調整工(鋼材面用)	新設部材取付	—————	—————	⑧-2 部材取付部塗膜研削工	—————	⑦-2 荷卸し〜横取り〜仮置工 200kg以上	—————	⑦-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上	表4-10-6 増設部材架設工歩掛	⑦-4 増設部材架設工 (増設横縦桁等取付撤去工)	高力ボルト本締	—————	表4-10-7 増設橋梁部材架設工歩掛	⑦-5 増設橋梁部材架設工	表4-10-7 増設橋梁部材架設工歩掛	⑦-5 増設橋梁部材架設工	表4-17-1 座屈拘束ブレース設置歩掛	⑦-10 座屈拘束ブレース設置工	現場溶接	—————	表4-7-9 高力ボルト本締工歩掛	②-1 補修工事高力ボルト本締工	表4-5-4 ワンサイドボルト本締工歩掛	②-5 ワンサイドボルト本締工	表4-10-4 特殊HTB工歩掛	②-6 特殊HTB工(孔明け+本締工連続作業)	現場溶接	—————	表4-10-5 支圧HTB工歩掛	②-7 支圧HTB工(孔明け+打込み+本締工連続作業)	ピンテール仕上げ	—————	表4-10-8 現場溶接工歩掛	③-1 現場溶接工	現場塗装	—————	表4-7-10 ピンテール仕上げ工歩掛	②-8 ピンテール仕上げ工	現場塗装	—————	表4-5-5 小規模現場塗装工歩掛	⑥-1 小規模現場塗装工
工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章																																																																																																																																																
足場設置・撤去	—————	表4-2-4 損料及び歩掛係数①	①-1 足場工																																																																																																																																																
芯出し調整	—————	表4-7-2 芯出し調整工歩掛	⑧-3 芯出し調整工																																																																																																																																																
既設ボルト・リベット撤去	—————	—————	②-2 高力六角ボルト撤去工																																																																																																																																																
		—————	②-3 トルシア型高力ボルト撤去工																																																																																																																																																
既設部材撤去	—————	表4-10-9 リベット撤去工歩掛	②-9 リベット撤去工																																																																																																																																																
		—————	⑦-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上																																																																																																																																																
		—————	⑦-2 荷卸し〜横取り〜仮置工 200kg以上																																																																																																																																																
ガセット清掃	—————	表4-10-6 増設部材架設工歩掛	⑦-4 増設部材架設工 (増設横縦桁等取付撤去工)																																																																																																																																																
		表4-7-2 芯出し調整工歩掛	⑧-3 芯出し調整工																																																																																																																																																
新設部材取付	—————	—————	⑧-2 部材取付部塗膜研削工																																																																																																																																																
		—————	⑦-2 荷卸し〜横取り〜仮置工 200kg以上																																																																																																																																																
		—————	⑦-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上																																																																																																																																																
		表4-10-6 増設部材架設工歩掛	⑦-4 増設部材架設工 (増設横縦桁等取付撤去工)																																																																																																																																																
高力ボルト本締	—————	表4-10-7 増設橋梁部材架設工歩掛	⑦-5 増設橋梁部材架設工																																																																																																																																																
		表4-17-1 座屈拘束ブレース設置歩掛	⑦-10 座屈拘束ブレース設置工																																																																																																																																																
		表4-7-8 高力ボルト本締工歩掛	②-1 補修工事高力ボルト本締工																																																																																																																																																
現場溶接	—————	表4-5-4 ワンサイドボルト本締工歩掛	②-5 ワンサイドボルト本締工																																																																																																																																																
		表4-10-4 特殊HTB工歩掛	②-6 特殊HTB工(孔明け+本締工連続作業)																																																																																																																																																
		表4-10-5 支圧HTB工歩掛	②-7 支圧HTB工(孔明け+打込み+本締工連続作業)																																																																																																																																																
現場溶接	—————	表4-10-8 現場溶接工歩掛	③-1 現場溶接工																																																																																																																																																
ピンテール仕上げ	—————	表4-7-9 ピンテール仕上げ工歩掛	②-8 ピンテール仕上げ工																																																																																																																																																
現場塗装	—————	表4-5-5 小規模塗装工歩掛	⑥-1 小規模現場塗装工																																																																																																																																																
工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章																																																																																																																																																
足場設置・撤去	—————	表4-2-4 損料及び歩掛係数①	①-1 足場工																																																																																																																																																
芯出し調整	—————	表4-7-2 芯出し調整工 (鋼材面用) 歩掛	⑧-3 芯出し調整工(鋼材面用)																																																																																																																																																
既設ボルト・リベット撤去	—————	—————	②-2 高力六角ボルト撤去工																																																																																																																																																
		—————	②-3 トルシア型高力ボルト撤去工																																																																																																																																																
既設部材撤去	—————	表4-10-9 リベット撤去工歩掛	②-9 リベット撤去工																																																																																																																																																
		—————	⑦-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上																																																																																																																																																
		—————	⑦-2 荷卸し〜横取り〜仮置工 200kg以上																																																																																																																																																
ガセット清掃	—————	表4-10-6 増設部材架設工歩掛	⑦-4 増設部材架設工 (増設横縦桁等取付撤去工)																																																																																																																																																
		表4-7-2 芯出し調整工 (鋼材面用) 歩掛	⑧-3 芯出し調整工(鋼材面用)																																																																																																																																																
新設部材取付	—————	—————	⑧-2 部材取付部塗膜研削工																																																																																																																																																
		—————	⑦-2 荷卸し〜横取り〜仮置工 200kg以上																																																																																																																																																
		—————	⑦-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上																																																																																																																																																
		表4-10-6 増設部材架設工歩掛	⑦-4 増設部材架設工 (増設横縦桁等取付撤去工)																																																																																																																																																
高力ボルト本締	—————	表4-10-7 増設橋梁部材架設工歩掛	⑦-5 増設橋梁部材架設工																																																																																																																																																
		表4-10-7 増設橋梁部材架設工歩掛	⑦-5 増設橋梁部材架設工																																																																																																																																																
		表4-17-1 座屈拘束ブレース設置歩掛	⑦-10 座屈拘束ブレース設置工																																																																																																																																																
現場溶接	—————	表4-7-9 高力ボルト本締工歩掛	②-1 補修工事高力ボルト本締工																																																																																																																																																
		表4-5-4 ワンサイドボルト本締工歩掛	②-5 ワンサイドボルト本締工																																																																																																																																																
		表4-10-4 特殊HTB工歩掛	②-6 特殊HTB工(孔明け+本締工連続作業)																																																																																																																																																
現場溶接	—————	表4-10-5 支圧HTB工歩掛	②-7 支圧HTB工(孔明け+打込み+本締工連続作業)																																																																																																																																																
ピンテール仕上げ	—————	表4-10-8 現場溶接工歩掛	③-1 現場溶接工																																																																																																																																																
現場塗装	—————	表4-7-10 ピンテール仕上げ工歩掛	②-8 ピンテール仕上げ工																																																																																																																																																
現場塗装	—————	表4-5-5 小規模現場塗装工歩掛	⑥-1 小規模現場塗装工																																																																																																																																																

改訂2版 橋梁補修の解説と積算 改定情報

(2023年7月)

頁	項目	改定前	改定後																																																																																																																																																												
34	第1章⑥ 橋体補修工(腐食等による断面部補修)	34 第1章 鋼 橋 積算基準対応表 <table border="1"> <thead> <tr> <th>工 種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> <th>本書 第7章</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足場設置・撤去</td> <td>—</td> <td>表4-2-4 損料及び歩掛係数①</td> <td>①-1 足場工</td> </tr> <tr> <td>仮受ペント設置</td> <td>IV-7-③ 表11.9 ペント設備設置・撤去歩掛</td> <td>表2-5-7 ペント設備設置・撤去歩掛</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>地覆はつり撤去</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>ペント設備設置</td> <td>IV-7-③ 表11.9 ペント設備設置・撤去歩掛</td> <td>表2-5-7 ペント設備設置・撤去歩掛</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>桁ジャッキアップ</td> <td>—</td> <td>表2-5-27 サンドルによる降下作業歩掛</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">接合部処理</td> <td rowspan="3">—</td> <td>表4-10-3 ガス切断切削仕上工歩掛</td> <td>④-1 ガス切断切削仕上工</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>④-2 補修工事ガス切断工</td> </tr> <tr> <td>表4-7-4 鋼桁孔明工歩掛</td> <td>②-10 鋼桁孔明工</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補強板取付</td> <td rowspan="3">—</td> <td>—</td> <td>⑦-2 荷部し～横取り～仮置工 200kg以上</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>⑦-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上</td> </tr> <tr> <td>表4-10-6 増設部材架設工歩掛</td> <td>⑦-4 増設部材架設工(増設横縦桁等取付撤去工)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">高カボルト本締</td> <td rowspan="3">—</td> <td>表4-7-8 高カボルト本締工歩掛</td> <td>②-1 補修工事高カボルト本締工</td> </tr> <tr> <td>表4-5-4 ワンサイドボルト本締工歩掛</td> <td>②-5 ワンサイドボルト本締工</td> </tr> <tr> <td>表4-10-4 特殊HTB工歩掛</td> <td>②-6 特殊HTB工(孔明け+本締工連続作業)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">桁ジャッキアップ解放</td> <td rowspan="2">—</td> <td>表4-10-5 支圧HTB工歩掛</td> <td>②-7 支圧HTB工(孔明け+打込み+本締工連続作業)</td> </tr> <tr> <td>表2-5-27 サンドルによる降下作業歩掛</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>ペント設備撤去</td> <td>IV-7-③ 表11.9 ペント設備設置・撤去歩掛</td> <td>表2-5-7 ペント設備設置・撤去歩掛</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>樹脂注入</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>補強板シール</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>ピンテール仕上げ</td> <td>—</td> <td>表4-7-9 ピンテール仕上げ工歩掛</td> <td>②-8 ピンテール仕上げ工</td> </tr> <tr> <td>現場塗装</td> <td>—</td> <td>表4-5-5 小規模塗装工歩掛</td> <td>⑧-1 小規模現場塗装工</td> </tr> <tr> <td>地覆断面補修</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章	足場設置・撤去	—	表4-2-4 損料及び歩掛係数①	①-1 足場工	仮受ペント設置	IV-7-③ 表11.9 ペント設備設置・撤去歩掛	表2-5-7 ペント設備設置・撤去歩掛	—	地覆はつり撤去	—	—	—	ペント設備設置	IV-7-③ 表11.9 ペント設備設置・撤去歩掛	表2-5-7 ペント設備設置・撤去歩掛	—	桁ジャッキアップ	—	表2-5-27 サンドルによる降下作業歩掛	—	接合部処理	—	表4-10-3 ガス切断切削仕上工歩掛	④-1 ガス切断切削仕上工	—	④-2 補修工事ガス切断工	表4-7-4 鋼桁孔明工歩掛	②-10 鋼桁孔明工	補強板取付	—	—	⑦-2 荷部し～横取り～仮置工 200kg以上	—	⑦-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上	表4-10-6 増設部材架設工歩掛	⑦-4 増設部材架設工(増設横縦桁等取付撤去工)	高カボルト本締	—	表4-7-8 高カボルト本締工歩掛	②-1 補修工事高カボルト本締工	表4-5-4 ワンサイドボルト本締工歩掛	②-5 ワンサイドボルト本締工	表4-10-4 特殊HTB工歩掛	②-6 特殊HTB工(孔明け+本締工連続作業)	桁ジャッキアップ解放	—	表4-10-5 支圧HTB工歩掛	②-7 支圧HTB工(孔明け+打込み+本締工連続作業)	表2-5-27 サンドルによる降下作業歩掛	—	ペント設備撤去	IV-7-③ 表11.9 ペント設備設置・撤去歩掛	表2-5-7 ペント設備設置・撤去歩掛	—	樹脂注入	—	—	—	補強板シール	—	—	—	ピンテール仕上げ	—	表4-7-9 ピンテール仕上げ工歩掛	②-8 ピンテール仕上げ工	現場塗装	—	表4-5-5 小規模塗装工歩掛	⑧-1 小規模現場塗装工	地覆断面補修	—	—	—	34 第1章 鋼 橋 積算基準対応表 <table border="1"> <thead> <tr> <th>工 種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> <th>本書 第7章</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足場設置・撤去</td> <td>—</td> <td>表4-2-4 損料及び歩掛係数①</td> <td>①-1 足場工</td> </tr> <tr> <td>仮受ペント設置</td> <td>IV-7-③ 表11.9 ペント設備設置・撤去歩掛</td> <td>表2-5-7 ペント設備設置・撤去歩掛</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>地覆はつり撤去</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>ペント設備設置</td> <td>IV-7-③ 表11.9 ペント設備設置・撤去歩掛</td> <td>表2-5-7 ペント設備設置・撤去歩掛</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>桁ジャッキアップ</td> <td>—</td> <td>表2-5-27 サンドルによる降下作業歩掛</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">接合部処理</td> <td rowspan="3">—</td> <td>表4-10-3 ガス切断切削仕上工歩掛</td> <td>④-1 ガス切断切削仕上工</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>④-2 補修工事ガス切断工</td> </tr> <tr> <td>表4-7-5 鋼桁孔明工歩掛</td> <td>②-10 鋼桁孔明工</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補強板取付</td> <td rowspan="3">—</td> <td>—</td> <td>⑦-2 荷部し～横取り～仮置工 200kg以上</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>⑦-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上</td> </tr> <tr> <td>表4-10-6 増設部材架設工歩掛</td> <td>⑦-4 増設部材架設工(増設横縦桁等取付撤去工)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">高カボルト本締</td> <td rowspan="3">—</td> <td>表4-7-9 高カボルト本締工歩掛</td> <td>②-1 補修工事高カボルト本締工</td> </tr> <tr> <td>表4-5-4 ワンサイドボルト本締工歩掛</td> <td>②-5 ワンサイドボルト本締工</td> </tr> <tr> <td>表4-10-4 特殊HTB工歩掛</td> <td>②-6 特殊HTB工(孔明け+本締工連続作業)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">桁ジャッキアップ解放</td> <td rowspan="2">—</td> <td>表4-10-5 支圧HTB工歩掛</td> <td>②-7 支圧HTB工(孔明け+打込み+本締工連続作業)</td> </tr> <tr> <td>表2-5-27 サンドルによる降下作業歩掛</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>ペント設備撤去</td> <td>IV-7-③ 表11.9 ペント設備設置・撤去歩掛</td> <td>表2-5-7 ペント設備設置・撤去歩掛</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>樹脂注入</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>補強板シール</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>ピンテール仕上げ</td> <td>—</td> <td>表4-7-10 ピンテール仕上げ工歩掛</td> <td>②-8 ピンテール仕上げ工</td> </tr> <tr> <td>現場塗装</td> <td>—</td> <td>表4-5-5 小規模塗装工歩掛</td> <td>⑧-1 小規模現場塗装工</td> </tr> <tr> <td>地覆断面補修</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章	足場設置・撤去	—	表4-2-4 損料及び歩掛係数①	①-1 足場工	仮受ペント設置	IV-7-③ 表11.9 ペント設備設置・撤去歩掛	表2-5-7 ペント設備設置・撤去歩掛	—	地覆はつり撤去	—	—	—	ペント設備設置	IV-7-③ 表11.9 ペント設備設置・撤去歩掛	表2-5-7 ペント設備設置・撤去歩掛	—	桁ジャッキアップ	—	表2-5-27 サンドルによる降下作業歩掛	—	接合部処理	—	表4-10-3 ガス切断切削仕上工歩掛	④-1 ガス切断切削仕上工	—	④-2 補修工事ガス切断工	表4-7-5 鋼桁孔明工歩掛	②-10 鋼桁孔明工	補強板取付	—	—	⑦-2 荷部し～横取り～仮置工 200kg以上	—	⑦-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上	表4-10-6 増設部材架設工歩掛	⑦-4 増設部材架設工(増設横縦桁等取付撤去工)	高カボルト本締	—	表4-7-9 高カボルト本締工歩掛	②-1 補修工事高カボルト本締工	表4-5-4 ワンサイドボルト本締工歩掛	②-5 ワンサイドボルト本締工	表4-10-4 特殊HTB工歩掛	②-6 特殊HTB工(孔明け+本締工連続作業)	桁ジャッキアップ解放	—	表4-10-5 支圧HTB工歩掛	②-7 支圧HTB工(孔明け+打込み+本締工連続作業)	表2-5-27 サンドルによる降下作業歩掛	—	ペント設備撤去	IV-7-③ 表11.9 ペント設備設置・撤去歩掛	表2-5-7 ペント設備設置・撤去歩掛	—	樹脂注入	—	—	—	補強板シール	—	—	—	ピンテール仕上げ	—	表4-7-10 ピンテール仕上げ工歩掛	②-8 ピンテール仕上げ工	現場塗装	—	表4-5-5 小規模塗装工歩掛	⑧-1 小規模現場塗装工	地覆断面補修	—	—	—
工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章																																																																																																																																																												
足場設置・撤去	—	表4-2-4 損料及び歩掛係数①	①-1 足場工																																																																																																																																																												
仮受ペント設置	IV-7-③ 表11.9 ペント設備設置・撤去歩掛	表2-5-7 ペント設備設置・撤去歩掛	—																																																																																																																																																												
地覆はつり撤去	—	—	—																																																																																																																																																												
ペント設備設置	IV-7-③ 表11.9 ペント設備設置・撤去歩掛	表2-5-7 ペント設備設置・撤去歩掛	—																																																																																																																																																												
桁ジャッキアップ	—	表2-5-27 サンドルによる降下作業歩掛	—																																																																																																																																																												
接合部処理	—	表4-10-3 ガス切断切削仕上工歩掛	④-1 ガス切断切削仕上工																																																																																																																																																												
		—	④-2 補修工事ガス切断工																																																																																																																																																												
		表4-7-4 鋼桁孔明工歩掛	②-10 鋼桁孔明工																																																																																																																																																												
補強板取付	—	—	⑦-2 荷部し～横取り～仮置工 200kg以上																																																																																																																																																												
		—	⑦-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上																																																																																																																																																												
		表4-10-6 増設部材架設工歩掛	⑦-4 増設部材架設工(増設横縦桁等取付撤去工)																																																																																																																																																												
高カボルト本締	—	表4-7-8 高カボルト本締工歩掛	②-1 補修工事高カボルト本締工																																																																																																																																																												
		表4-5-4 ワンサイドボルト本締工歩掛	②-5 ワンサイドボルト本締工																																																																																																																																																												
		表4-10-4 特殊HTB工歩掛	②-6 特殊HTB工(孔明け+本締工連続作業)																																																																																																																																																												
桁ジャッキアップ解放	—	表4-10-5 支圧HTB工歩掛	②-7 支圧HTB工(孔明け+打込み+本締工連続作業)																																																																																																																																																												
		表2-5-27 サンドルによる降下作業歩掛	—																																																																																																																																																												
ペント設備撤去	IV-7-③ 表11.9 ペント設備設置・撤去歩掛	表2-5-7 ペント設備設置・撤去歩掛	—																																																																																																																																																												
樹脂注入	—	—	—																																																																																																																																																												
補強板シール	—	—	—																																																																																																																																																												
ピンテール仕上げ	—	表4-7-9 ピンテール仕上げ工歩掛	②-8 ピンテール仕上げ工																																																																																																																																																												
現場塗装	—	表4-5-5 小規模塗装工歩掛	⑧-1 小規模現場塗装工																																																																																																																																																												
地覆断面補修	—	—	—																																																																																																																																																												
工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章																																																																																																																																																												
足場設置・撤去	—	表4-2-4 損料及び歩掛係数①	①-1 足場工																																																																																																																																																												
仮受ペント設置	IV-7-③ 表11.9 ペント設備設置・撤去歩掛	表2-5-7 ペント設備設置・撤去歩掛	—																																																																																																																																																												
地覆はつり撤去	—	—	—																																																																																																																																																												
ペント設備設置	IV-7-③ 表11.9 ペント設備設置・撤去歩掛	表2-5-7 ペント設備設置・撤去歩掛	—																																																																																																																																																												
桁ジャッキアップ	—	表2-5-27 サンドルによる降下作業歩掛	—																																																																																																																																																												
接合部処理	—	表4-10-3 ガス切断切削仕上工歩掛	④-1 ガス切断切削仕上工																																																																																																																																																												
		—	④-2 補修工事ガス切断工																																																																																																																																																												
		表4-7-5 鋼桁孔明工歩掛	②-10 鋼桁孔明工																																																																																																																																																												
補強板取付	—	—	⑦-2 荷部し～横取り～仮置工 200kg以上																																																																																																																																																												
		—	⑦-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上																																																																																																																																																												
		表4-10-6 増設部材架設工歩掛	⑦-4 増設部材架設工(増設横縦桁等取付撤去工)																																																																																																																																																												
高カボルト本締	—	表4-7-9 高カボルト本締工歩掛	②-1 補修工事高カボルト本締工																																																																																																																																																												
		表4-5-4 ワンサイドボルト本締工歩掛	②-5 ワンサイドボルト本締工																																																																																																																																																												
		表4-10-4 特殊HTB工歩掛	②-6 特殊HTB工(孔明け+本締工連続作業)																																																																																																																																																												
桁ジャッキアップ解放	—	表4-10-5 支圧HTB工歩掛	②-7 支圧HTB工(孔明け+打込み+本締工連続作業)																																																																																																																																																												
		表2-5-27 サンドルによる降下作業歩掛	—																																																																																																																																																												
ペント設備撤去	IV-7-③ 表11.9 ペント設備設置・撤去歩掛	表2-5-7 ペント設備設置・撤去歩掛	—																																																																																																																																																												
樹脂注入	—	—	—																																																																																																																																																												
補強板シール	—	—	—																																																																																																																																																												
ピンテール仕上げ	—	表4-7-10 ピンテール仕上げ工歩掛	②-8 ピンテール仕上げ工																																																																																																																																																												
現場塗装	—	表4-5-5 小規模塗装工歩掛	⑧-1 小規模現場塗装工																																																																																																																																																												
地覆断面補修	—	—	—																																																																																																																																																												

頁	項目	改定前	改定後																																																
42	第1章⑨ 横断歩道橋補修工	<p>42 第1章 鋼 橋</p> <h3>⑨ 横断歩道橋補修工</h3> <h4>1 概 説</h4> <p>高度経済成長以降、横断歩道橋は交通事故の削減に向け大量に建設されてきたが、経年劣化等による損傷が顕著になってきている。歩道橋の損傷としては、アスファルトブロック等の橋面舗装の傷みや、ノンスリップタイルの目地への亀裂発生、タイルのはがれ等がある。</p> <p>適切な補修を行うことで、横断歩道橋利用者の安全な通行を確保するとともに構造物の延命化が図られる。</p> <p>(1) 主要機材 (工具) 表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>用 途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電 気 ド リ ル</td> <td>鉄工用 10~20mm</td> <td rowspan="2">ノンスリップ設置 (穴あけ共)</td> </tr> <tr> <td>発 動 発 電 機</td> <td>ガソリンエンジン駆動 2kVA</td> </tr> </tbody> </table> <h4>2 施工手順及び積算情報</h4>  <p>(注) 上記フローは、本工法の施工手順の一例である。</p> <p>積算基準対応表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工 種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> <th>本書 第7章</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>既 設 舗 装 は ぎ 取 り</td> <td>IV-3-㉔ 表3.1 既設舗装はぎ取り歩掛</td> <td>_____</td> <td>⑨-1 既設橋面舗装はぎ取り工</td> </tr> <tr> <td>ノ ン ス リ ッ プ 撤 去</td> <td>IV-3-㉔ 表3.2 ノンスリップ撤去歩掛</td> <td>_____</td> <td>⑨-2 ノンスリップ撤去工</td> </tr> <tr> <td>ノ ン ス リ ッ プ 設 置 (穴 あ け 共)</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	用 途	電 気 ド リ ル	鉄工用 10~20mm	ノンスリップ設置 (穴あけ共)	発 動 発 電 機	ガソリンエンジン駆動 2kVA	工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章	既 設 舗 装 は ぎ 取 り	IV-3-㉔ 表3.1 既設舗装はぎ取り歩掛	_____	⑨-1 既設橋面舗装はぎ取り工	ノ ン ス リ ッ プ 撤 去	IV-3-㉔ 表3.2 ノンスリップ撤去歩掛	_____	⑨-2 ノンスリップ撤去工	ノ ン ス リ ッ プ 設 置 (穴 あ け 共)	_____	_____	_____	<p>42 第1章 鋼 橋</p> <h3>⑨ 横断歩道橋補修工</h3> <h4>1 概 説</h4> <p>高度経済成長以降、横断歩道橋は交通事故の削減に向け大量に建設されてきたが、経年劣化等による損傷が顕著になってきている。歩道橋の損傷としては、アスファルトブロック等の橋面舗装の傷みや、ノンスリップタイルの目地への亀裂発生、タイルのはがれ等がある。</p> <p>適切な補修を行うことで、横断歩道橋利用者の安全な通行を確保するとともに構造物の延命化が図られる。</p> <p>(1) 主要機材 (工具) 表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>用 途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電 気 ド リ ル</td> <td>鉄工用 10~20mm</td> <td rowspan="2">ノンスリップ設置 (穴あけ共)</td> </tr> <tr> <td>発 動 発 電 機</td> <td>ガソリンエンジン駆動 2kVA</td> </tr> </tbody> </table> <h4>2 施工手順及び積算情報</h4>  <p>(注) 上記フローは、本工法の施工手順の一例である。</p> <p>積算基準対応表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工 種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> <th>本書 第7章</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>既 設 舗 装 は ぎ 取 り</td> <td>IV-3-㉔ 表3.1 既設舗装はぎ取り歩掛</td> <td>_____</td> <td>⑨-1 既設橋面舗装はぎ取り工</td> </tr> <tr> <td>ノ ン ス リ ッ プ 撤 去</td> <td>IV-3-㉔ 表3.2 ノンスリップ撤去歩掛</td> <td>_____</td> <td>⑨-2 ノンスリップ撤去工</td> </tr> <tr> <td>ノ ン ス リ ッ プ 設 置 (穴 あ け 共)</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	用 途	電 気 ド リ ル	鉄工用 10~20mm	ノンスリップ設置 (穴あけ共)	発 動 発 電 機	ガソリンエンジン駆動 2kVA	工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章	既 設 舗 装 は ぎ 取 り	IV-3-㉔ 表3.1 既設舗装はぎ取り歩掛	_____	⑨-1 既設橋面舗装はぎ取り工	ノ ン ス リ ッ プ 撤 去	IV-3-㉔ 表3.2 ノンスリップ撤去歩掛	_____	⑨-2 ノンスリップ撤去工	ノ ン ス リ ッ プ 設 置 (穴 あ け 共)	_____	_____	_____
名 称	規 格	用 途																																																	
電 気 ド リ ル	鉄工用 10~20mm	ノンスリップ設置 (穴あけ共)																																																	
発 動 発 電 機	ガソリンエンジン駆動 2kVA																																																		
工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章																																																
既 設 舗 装 は ぎ 取 り	IV-3-㉔ 表3.1 既設舗装はぎ取り歩掛	_____	⑨-1 既設橋面舗装はぎ取り工																																																
ノ ン ス リ ッ プ 撤 去	IV-3-㉔ 表3.2 ノンスリップ撤去歩掛	_____	⑨-2 ノンスリップ撤去工																																																
ノ ン ス リ ッ プ 設 置 (穴 あ け 共)	_____	_____	_____																																																
名 称	規 格	用 途																																																	
電 気 ド リ ル	鉄工用 10~20mm	ノンスリップ設置 (穴あけ共)																																																	
発 動 発 電 機	ガソリンエンジン駆動 2kVA																																																		
工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章																																																
既 設 舗 装 は ぎ 取 り	IV-3-㉔ 表3.1 既設舗装はぎ取り歩掛	_____	⑨-1 既設橋面舗装はぎ取り工																																																
ノ ン ス リ ッ プ 撤 去	IV-3-㉔ 表3.2 ノンスリップ撤去歩掛	_____	⑨-2 ノンスリップ撤去工																																																
ノ ン ス リ ッ プ 設 置 (穴 あ け 共)	_____	_____	_____																																																

頁	項目	改定前	改定後																																																																																																																																																				
63	第1章② 高力ボルト工 (リベット含む)	<p style="text-align: right;">作業編 ② 高力ボルト工 (リベット含む) 63</p> <p style="text-align: center;">締付方法と締付工具</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">機器</th> <th colspan="4">締付方法</th> </tr> <tr> <th>トルク法</th> <th>ナット回転法</th> <th>耐力点法</th> <th>トルシア用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">本締 レンチ</td> <td rowspan="4">電動式</td> <td>トルク法レンチ</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ナット回転法レンチ</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐力点法レンチ</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>トルシア専用締付機</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">手動式</td> <td rowspan="4"></td> <td>プレート形トルクレンチ</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ダイヤル形トルクレンチ</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>プレセット形トルクレンチ</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>トルクレンチ</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">予備締 レンチ</td> <td rowspan="3"></td> <td>エアードライブトルクレンチ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電動インパクトレンチ</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>油圧式軸力計</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">軸力計</td> <td rowspan="2"></td> <td>電動式軸力計</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 施工手順及び積算情報</p> <p style="text-align: right;">【歩掛は実線枠内作業】</p> <p style="text-align: center;">積算基準対応表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> <th>本書 第7章</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補修工事高力ボルト本締 (高力ボルト取付～本締)</td> <td></td> <td>表4-7-8 高力ボルト本締工歩掛</td> <td>②-1 補修工事高力ボルト本締工</td> </tr> </tbody> </table>	名称	機器	締付方法				トルク法	ナット回転法	耐力点法	トルシア用	本締 レンチ	電動式	トルク法レンチ	○			ナット回転法レンチ		○		耐力点法レンチ			○	トルシア専用締付機			○	手動式		プレート形トルクレンチ	○			ダイヤル形トルクレンチ	○			プレセット形トルクレンチ	○			トルクレンチ	○		○	予備締 レンチ		エアードライブトルクレンチ	○	○		電動インパクトレンチ	○		○	油圧式軸力計	○		○	軸力計		電動式軸力計	○		○	工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章	補修工事高力ボルト本締 (高力ボルト取付～本締)		表4-7-8 高力ボルト本締工歩掛	②-1 補修工事高力ボルト本締工	<p style="text-align: right;">作業編 ② 高力ボルト工 (リベット含む) 63</p> <p style="text-align: center;">締付方法と締付工具</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">機器</th> <th colspan="4">締付方法</th> </tr> <tr> <th>トルク法</th> <th>ナット回転法</th> <th>耐力点法</th> <th>トルシア用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">本締 レンチ</td> <td rowspan="4">電動式</td> <td>トルク法レンチ</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ナット回転法レンチ</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐力点法レンチ</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>トルシア専用締付機</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">手動式</td> <td rowspan="4"></td> <td>プレート形トルクレンチ</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ダイヤル形トルクレンチ</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>プレセット形トルクレンチ</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>トルクレンチ</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">予備締 レンチ</td> <td rowspan="3"></td> <td>エアードライブトルクレンチ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電動インパクトレンチ</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>油圧式軸力計</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">軸力計</td> <td rowspan="2"></td> <td>電動式軸力計</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 施工手順及び積算情報</p> <p style="text-align: right;">【歩掛は実線枠内作業】</p> <p style="text-align: center;">積算基準対応表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> <th>本書 第7章</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補修工事高力ボルト本締 (高力ボルト取付～本締)</td> <td></td> <td>表4-7-9 高力ボルト本締工歩掛</td> <td>②-1 補修工事高力ボルト本締工</td> </tr> </tbody> </table>	名称	機器	締付方法				トルク法	ナット回転法	耐力点法	トルシア用	本締 レンチ	電動式	トルク法レンチ	○			ナット回転法レンチ		○		耐力点法レンチ			○	トルシア専用締付機			○	手動式		プレート形トルクレンチ	○			ダイヤル形トルクレンチ	○			プレセット形トルクレンチ	○			トルクレンチ	○		○	予備締 レンチ		エアードライブトルクレンチ	○	○		電動インパクトレンチ	○		○	油圧式軸力計	○		○	軸力計		電動式軸力計	○		○	工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章	補修工事高力ボルト本締 (高力ボルト取付～本締)		表4-7-9 高力ボルト本締工歩掛	②-1 補修工事高力ボルト本締工
名称	機器	締付方法																																																																																																																																																					
		トルク法	ナット回転法	耐力点法	トルシア用																																																																																																																																																		
本締 レンチ	電動式	トルク法レンチ	○																																																																																																																																																				
		ナット回転法レンチ		○																																																																																																																																																			
		耐力点法レンチ			○																																																																																																																																																		
		トルシア専用締付機			○																																																																																																																																																		
手動式		プレート形トルクレンチ	○																																																																																																																																																				
		ダイヤル形トルクレンチ	○																																																																																																																																																				
		プレセット形トルクレンチ	○																																																																																																																																																				
		トルクレンチ	○		○																																																																																																																																																		
予備締 レンチ		エアードライブトルクレンチ	○	○																																																																																																																																																			
		電動インパクトレンチ	○		○																																																																																																																																																		
		油圧式軸力計	○		○																																																																																																																																																		
軸力計		電動式軸力計	○		○																																																																																																																																																		
		工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章																																																																																																																																																		
補修工事高力ボルト本締 (高力ボルト取付～本締)		表4-7-8 高力ボルト本締工歩掛	②-1 補修工事高力ボルト本締工																																																																																																																																																				
名称	機器	締付方法																																																																																																																																																					
		トルク法	ナット回転法	耐力点法	トルシア用																																																																																																																																																		
本締 レンチ	電動式	トルク法レンチ	○																																																																																																																																																				
		ナット回転法レンチ		○																																																																																																																																																			
		耐力点法レンチ			○																																																																																																																																																		
		トルシア専用締付機			○																																																																																																																																																		
手動式		プレート形トルクレンチ	○																																																																																																																																																				
		ダイヤル形トルクレンチ	○																																																																																																																																																				
		プレセット形トルクレンチ	○																																																																																																																																																				
		トルクレンチ	○		○																																																																																																																																																		
予備締 レンチ		エアードライブトルクレンチ	○	○																																																																																																																																																			
		電動インパクトレンチ	○		○																																																																																																																																																		
		油圧式軸力計	○		○																																																																																																																																																		
軸力計		電動式軸力計	○		○																																																																																																																																																		
		工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章																																																																																																																																																		
補修工事高力ボルト本締 (高力ボルト取付～本締)		表4-7-9 高力ボルト本締工歩掛	②-1 補修工事高力ボルト本締工																																																																																																																																																				

頁	項目	改定前	改定後																																								
76	第1章② 高カボルト工 (リベット含む)	<p>76 第1章 鋼 橋</p> <p>②-8 ピンテール仕上げ工</p> <p>1 概 説</p> <p>トルシア型高カボルトのピンテール破断面を仕上げ、塗装作業の円滑にする作業。</p> <p>(1) 主要機械(工具)表</p> <table border="1" data-bbox="512 483 1153 572"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>用 途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特 殊 専 用 工 具</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ディスクサンダー</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>発 電 機</td> <td>全工程を考慮して規格を選定</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2 施工手順及び積算情報</p> <div data-bbox="490 659 1176 821" style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">高カボルト本締 ・本締めを行う。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">ピンテール仕上げ ・ピンテール破断面を平滑に仕上げる。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">現場塗装</p> <p style="text-align: right;">【歩掛は実線枠内作業】</p> </div> <p style="text-align: center;">積算基準対応表</p> <table border="1" data-bbox="490 871 1176 935"> <thead> <tr> <th>工 種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> <th>本書 第7章</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ピンテール仕上げ</td> <td>—————</td> <td>表4-7-9 ピンテール仕上げ工歩掛</td> <td>②-8 ピンテール仕上げ工</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	用 途	特 殊 専 用 工 具			ディスクサンダー			発 電 機	全工程を考慮して規格を選定		工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章	ピンテール仕上げ	—————	表4-7-9 ピンテール仕上げ工歩掛	②-8 ピンテール仕上げ工	<p>76 第1章 鋼 橋</p> <p>②-8 ピンテール仕上げ工</p> <p>1 概 説</p> <p>トルシア型高カボルトのピンテール破断面を仕上げ、塗装作業の円滑にする作業。</p> <p>(1) 主要機械(工具)表</p> <table border="1" data-bbox="1348 483 1989 572"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>用 途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特 殊 専 用 工 具</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ディスクサンダー</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>発 電 機</td> <td>全工程を考慮して規格を選定</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2 施工手順及び積算情報</p> <div data-bbox="1326 659 2011 821" style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">高カボルト本締 ・本締めを行う。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">ピンテール仕上げ ・ピンテール破断面を平滑に仕上げる。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">現場塗装</p> <p style="text-align: right;">【歩掛は実線枠内作業】</p> </div> <p style="text-align: center;">積算基準対応表</p> <table border="1" data-bbox="1326 871 2011 935"> <thead> <tr> <th>工 種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> <th>本書 第7章</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ピンテール仕上げ</td> <td>—————</td> <td>表4-7-10 ピンテール仕上げ工歩掛</td> <td>②-8 ピンテール仕上げ工</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	用 途	特 殊 専 用 工 具			ディスクサンダー			発 電 機	全工程を考慮して規格を選定		工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章	ピンテール仕上げ	—————	表4-7-10 ピンテール仕上げ工歩掛	②-8 ピンテール仕上げ工
名 称	規 格	用 途																																									
特 殊 専 用 工 具																																											
ディスクサンダー																																											
発 電 機	全工程を考慮して規格を選定																																										
工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章																																								
ピンテール仕上げ	—————	表4-7-9 ピンテール仕上げ工歩掛	②-8 ピンテール仕上げ工																																								
名 称	規 格	用 途																																									
特 殊 専 用 工 具																																											
ディスクサンダー																																											
発 電 機	全工程を考慮して規格を選定																																										
工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章																																								
ピンテール仕上げ	—————	表4-7-10 ピンテール仕上げ工歩掛	②-8 ピンテール仕上げ工																																								

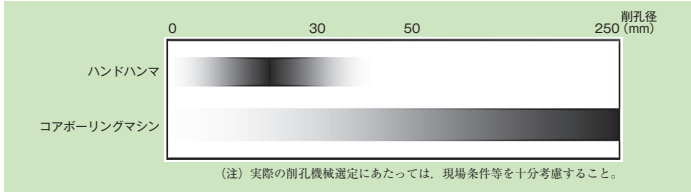
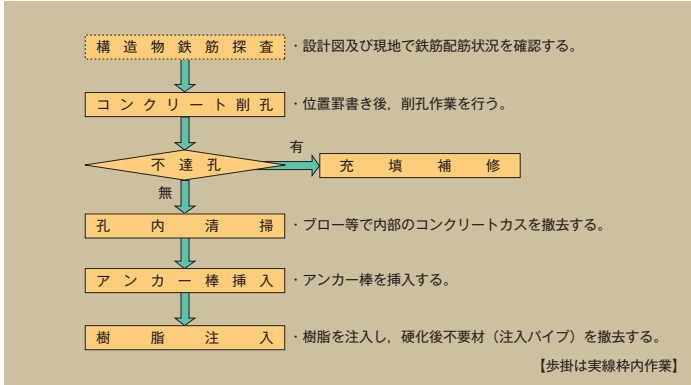
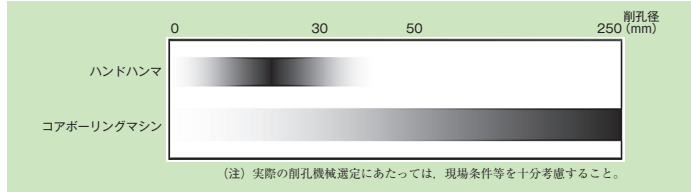
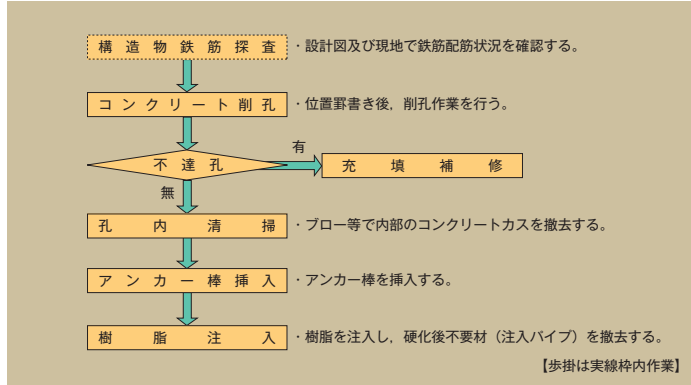
頁	項目	改定前	改定後																																																						
79	第1章② 高力ボルト工 (リベット含む)	<p style="text-align: right;">作業編 ② 高力ボルト工 (リベット含む) 79</p> <p>②-10 鋼桁孔明工 ②-11 ピン孔明工</p> <p>1 概 説</p> <p>既設構造物へ補強部材を取付けるためのボルト孔及びピン孔を、新規に明ける作業である。 ボルト孔明け及びピン孔明け作業にあたっては、既設構造物の変形(精度管理)等を考慮し、ボルト孔明け順序及び新設ボルトの本締順序に注意し、施工手順を検討しなければならない。 また、ボルト孔明け及びピン孔明けに際して、孔明面が平面の場合と、曲面の場合があるため、その形状にあった機種を選定する必要がある。</p> <p>(1) 主要機械(工具)表</p> <table border="1" data-bbox="510 635 1153 746"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>用途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>マグネット式孔明機</td> <td>円形、R. 対応型ドリル</td> <td>孔明表面曲面用</td> </tr> <tr> <td>グ ラ イ ン ダ ー</td> <td>φ125</td> <td>孔明部周りの清掃</td> </tr> <tr> <td>防 塵 設 備</td> <td></td> <td>ドリル切削屑グラインダー粉の飛散防止設備</td> </tr> <tr> <td>発 動 発 電 機</td> <td>全工程を考慮して規格を選定</td> <td>電力供給用</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 施工手順及び積算情報</p> <div data-bbox="488 837 1176 1125" style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">【歩掛は実線枠内作業】</p> <pre> graph TD A[調査計測] --> B[芯出し調整] B --> C[新設部材取付] C --> D[既設部材孔明] D --> E[補修・補強] E --> F[現場塗装] </pre> <p>・撤去箇所の塗装を除去する。 ・新設部材を仮取付けする。 ・新設部材のボルト孔及びピン孔に沿って、既設部材に孔明けをする。</p> </div> <p>積算基準対応表</p> <table border="1" data-bbox="488 1157 1176 1220"> <thead> <tr> <th>工 種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> <th>本書 第7章</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鋼 桁 孔 明</td> <td>—————</td> <td>表4-7-4 鋼桁孔明工歩掛</td> <td>②-10 鋼桁孔明工</td> </tr> <tr> <td>ピ ン 孔 明</td> <td>—————</td> <td>表4-7-5 ピン孔明工歩掛</td> <td>②-11 ピン孔明工</td> </tr> </tbody> </table>	名称	規格	用途	マグネット式孔明機	円形、R. 対応型ドリル	孔明表面曲面用	グ ラ イ ン ダ ー	φ125	孔明部周りの清掃	防 塵 設 備		ドリル切削屑グラインダー粉の飛散防止設備	発 動 発 電 機	全工程を考慮して規格を選定	電力供給用	工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章	鋼 桁 孔 明	—————	表4-7-4 鋼桁孔明工歩掛	②-10 鋼桁孔明工	ピ ン 孔 明	—————	表4-7-5 ピン孔明工歩掛	②-11 ピン孔明工	<p style="text-align: right;">作業編 ② 高力ボルト工 (リベット含む) 79</p> <p>②-10 鋼桁孔明工 ②-11 ピン孔明工</p> <p>1 概 説</p> <p>既設構造物へ補強部材を取付けるためのボルト孔及びピン孔を、新規に明ける作業である。 ボルト孔明け及びピン孔明け作業にあたっては、既設構造物の変形(精度管理)等を考慮し、ボルト孔明け順序及び新設ボルトの本締順序に注意し、施工手順を検討しなければならない。 また、ボルト孔明け及びピン孔明けに際して、孔明面が平面の場合と、曲面の場合があるため、その形状にあった機種を選定する必要がある。</p> <p>(1) 主要機械(工具)表</p> <table border="1" data-bbox="1346 635 1989 746"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>用途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>マグネット式孔明機</td> <td>円形、R. 対応型ドリル</td> <td>孔明表面曲面用</td> </tr> <tr> <td>グ ラ イ ン ダ ー</td> <td>φ125</td> <td>孔明部周りの清掃</td> </tr> <tr> <td>防 塵 設 備</td> <td></td> <td>ドリル切削屑グラインダー粉の飛散防止設備</td> </tr> <tr> <td>発 動 発 電 機</td> <td>全工程を考慮して規格を選定</td> <td>電力供給用</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 施工手順及び積算情報</p> <div data-bbox="1323 837 2011 1125" style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">【歩掛は実線枠内作業】</p> <pre> graph TD A[調査計測] --> B[芯出し調整] B --> C[新設部材取付] C --> D[既設部材孔明] D --> E[補修・補強] E --> F[現場塗装] </pre> <p>・撤去箇所の塗装を除去する。 ・新設部材を仮取付けする。 ・新設部材のボルト孔及びピン孔に沿って、既設部材に孔明けをする。</p> </div> <p>積算基準対応表</p> <table border="1" data-bbox="1323 1157 2011 1220"> <thead> <tr> <th>工 種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> <th>本書 第7章</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鋼 桁 孔 明</td> <td>—————</td> <td>表4-7-5 鋼桁孔明工歩掛</td> <td>②-10 鋼桁孔明工</td> </tr> <tr> <td>ピ ン 孔 明</td> <td>—————</td> <td>表4-7-6 ピン孔明工歩掛</td> <td>②-11 ピン孔明工</td> </tr> </tbody> </table>	名称	規格	用途	マグネット式孔明機	円形、R. 対応型ドリル	孔明表面曲面用	グ ラ イ ン ダ ー	φ125	孔明部周りの清掃	防 塵 設 備		ドリル切削屑グラインダー粉の飛散防止設備	発 動 発 電 機	全工程を考慮して規格を選定	電力供給用	工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章	鋼 桁 孔 明	—————	表4-7-5 鋼桁孔明工歩掛	②-10 鋼桁孔明工	ピ ン 孔 明	—————	表4-7-6 ピン孔明工歩掛	②-11 ピン孔明工
名称	規格	用途																																																							
マグネット式孔明機	円形、R. 対応型ドリル	孔明表面曲面用																																																							
グ ラ イ ン ダ ー	φ125	孔明部周りの清掃																																																							
防 塵 設 備		ドリル切削屑グラインダー粉の飛散防止設備																																																							
発 動 発 電 機	全工程を考慮して規格を選定	電力供給用																																																							
工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章																																																						
鋼 桁 孔 明	—————	表4-7-4 鋼桁孔明工歩掛	②-10 鋼桁孔明工																																																						
ピ ン 孔 明	—————	表4-7-5 ピン孔明工歩掛	②-11 ピン孔明工																																																						
名称	規格	用途																																																							
マグネット式孔明機	円形、R. 対応型ドリル	孔明表面曲面用																																																							
グ ラ イ ン ダ ー	φ125	孔明部周りの清掃																																																							
防 塵 設 備		ドリル切削屑グラインダー粉の飛散防止設備																																																							
発 動 発 電 機	全工程を考慮して規格を選定	電力供給用																																																							
工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章																																																						
鋼 桁 孔 明	—————	表4-7-5 鋼桁孔明工歩掛	②-10 鋼桁孔明工																																																						
ピ ン 孔 明	—————	表4-7-6 ピン孔明工歩掛	②-11 ピン孔明工																																																						

頁	項目	改定前	改定後																
98	第1章⑦ 部材取付工(架設工)	<p>98 第1章 鋼 橋</p> <p style="text-align: center;">積算基準対応表</p> <table border="1" data-bbox="490 323 1176 405"> <thead> <tr> <th>工 種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> <th>本書 第7章</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補強部材取付(部材搬入・調整・取付) 200kg以下</td> <td></td> <td>表4-7-6 補強部材取付工歩掛 (200kg以下)</td> <td>⑦-1 補強部材取付工 (ボルトによる補強部材取付け) 200kg以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 施工法</p> <p>(1) 施工上の留意点</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 施工手順を守り、本体等に悪影響のないように行う。 ② 部材を取付ける前に事前調査を行い、取付位置の確認をする。 	工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章	補強部材取付(部材搬入・調整・取付) 200kg以下		表4-7-6 補強部材取付工歩掛 (200kg以下)	⑦-1 補強部材取付工 (ボルトによる補強部材取付け) 200kg以下	<p>98 第1章 鋼 橋</p> <p style="text-align: center;">積算基準対応表</p> <table border="1" data-bbox="1328 323 2013 405"> <thead> <tr> <th>工 種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> <th>本書 第7章</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補強部材取付(部材搬入・調整・取付) 200kg以下</td> <td></td> <td>表4-7-7 補強部材取付工歩掛 (200kg以下)</td> <td>⑦-1 補強部材取付工 (ボルトによる補強部材取付け) 200kg以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 施工法</p> <p>(1) 施工上の留意点</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 施工手順を守り、本体等に悪影響のないように行う。 ② 部材を取付ける前に事前調査を行い、取付位置の確認をする。 	工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章	補強部材取付(部材搬入・調整・取付) 200kg以下		表4-7-7 補強部材取付工歩掛 (200kg以下)	⑦-1 補強部材取付工 (ボルトによる補強部材取付け) 200kg以下
工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章																
補強部材取付(部材搬入・調整・取付) 200kg以下		表4-7-6 補強部材取付工歩掛 (200kg以下)	⑦-1 補強部材取付工 (ボルトによる補強部材取付け) 200kg以下																
工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章																
補強部材取付(部材搬入・調整・取付) 200kg以下		表4-7-7 補強部材取付工歩掛 (200kg以下)	⑦-1 補強部材取付工 (ボルトによる補強部材取付け) 200kg以下																

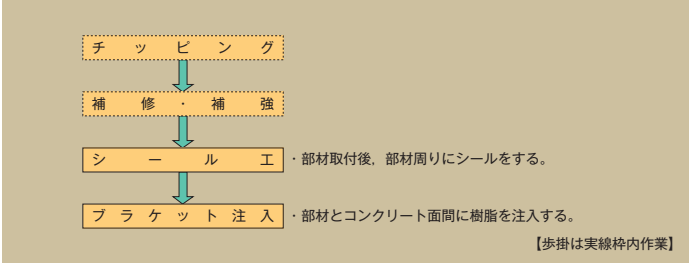
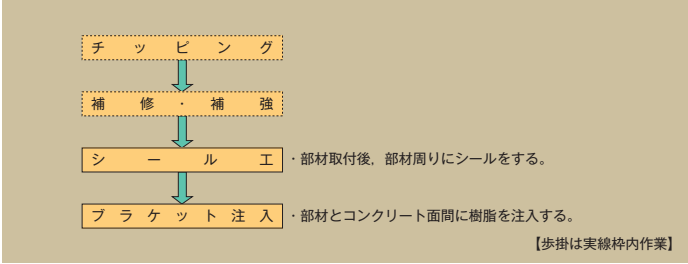
頁	項目	改定前	改定後																																																										
112	第1章⑦ 部材取付工(架設工)	<p>112 第1章 鋼 橋</p> <p>⑦-8 落橋防止装置・横変位拘束装置取付工</p> <p>1 概 説</p> <p>落橋防止装置・横変位制限装置の設置に関する作業における場内運搬作業、現地での設置作業である。 補修工事では、部材の仮置スペースがない場合や、作業時間の制約、道路使用規制等に制限が厳しく、新設工事のように自由な作業スペースや作業時間を確保することが困難な場合が多い。 施工計画に際しては、現場条件・時間条件・施工条件を十分に検討する必要がある。</p> <p>(1) 主要機械(工具)表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>用 途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフテレーンクレーン(トラッククレーン)</td> <td>吊荷重及び作業揚程により選定</td> <td>部材の荷卸し・荷揚げ</td> </tr> <tr> <td>ウ イ ン チ</td> <td>単動、直引能力 1t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>チェーンブロック</td> <td>手動式、電動(高揚程型)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>レバーブロック</td> <td>1.5t~5.0t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>架 設 工 具</td> <td>架設工具(組立工具一式)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>発 動 発 電 機</td> <td>全工程を考慮して規格を選定</td> <td>電力供給用</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 施工手順及び積算情報</p> <p>積算基準対応表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工 種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> <th>本書 第7章</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>落 橋 防 止 装 置・横 変 位 拘 束 装 置 取 付 (部材運搬・設置・接合)</td> <td></td> <td>表4-7-7 落橋防止装置取付工歩掛</td> <td>⑦-8 落橋防止装置・横変位拘束装置取付工</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 施工法</p> <p>(1) 施工上の留意点</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 施工手順を守り、本体等に悪影響のないように行う。 ② 部材を取付ける前に事前調査を行い、取付位置の確認をする。 ③ 足場上に仮置きする場合は、足場強度の確認が必要となる。 	名 称	規 格	用 途	ラフテレーンクレーン(トラッククレーン)	吊荷重及び作業揚程により選定	部材の荷卸し・荷揚げ	ウ イ ン チ	単動、直引能力 1t		チェーンブロック	手動式、電動(高揚程型)		レバーブロック	1.5t~5.0t		架 設 工 具	架設工具(組立工具一式)		発 動 発 電 機	全工程を考慮して規格を選定	電力供給用	工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章	落 橋 防 止 装 置・横 変 位 拘 束 装 置 取 付 (部材運搬・設置・接合)		表4-7-7 落橋防止装置取付工歩掛	⑦-8 落橋防止装置・横変位拘束装置取付工	<p>112 第1章 鋼 橋</p> <p>⑦-8 落橋防止装置・横変位拘束装置取付工</p> <p>1 概 説</p> <p>落橋防止装置・横変位制限装置の設置に関する作業における場内運搬作業、現地での設置作業である。 補修工事では、部材の仮置スペースがない場合や、作業時間の制約、道路使用規制等に制限が厳しく、新設工事のように自由な作業スペースや作業時間を確保することが困難な場合が多い。 施工計画に際しては、現場条件・時間条件・施工条件を十分に検討する必要がある。</p> <p>(1) 主要機械(工具)表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>用 途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフテレーンクレーン(トラッククレーン)</td> <td>吊荷重及び作業揚程により選定</td> <td>部材の荷卸し・荷揚げ</td> </tr> <tr> <td>ウ イ ン チ</td> <td>単動、直引能力 1t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>チェーンブロック</td> <td>手動式、電動(高揚程型)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>レバーブロック</td> <td>1.5t~5.0t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>架 設 工 具</td> <td>架設工具(組立工具一式)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>発 動 発 電 機</td> <td>全工程を考慮して規格を選定</td> <td>電力供給用</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 施工手順及び積算情報</p> <p>積算基準対応表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工 種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> <th>本書 第7章</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>落 橋 防 止 装 置・横 変 位 拘 束 装 置 取 付 (部材運搬・設置・接合)</td> <td></td> <td>表4-7-8 落橋防止装置取付工歩掛</td> <td>⑦-8 落橋防止装置・横変位拘束装置取付工</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 施工法</p> <p>(1) 施工上の留意点</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 施工手順を守り、本体等に悪影響のないように行う。 ② 部材を取付ける前に事前調査を行い、取付位置の確認をする。 ③ 足場上に仮置きする場合は、足場強度の確認が必要となる。 	名 称	規 格	用 途	ラフテレーンクレーン(トラッククレーン)	吊荷重及び作業揚程により選定	部材の荷卸し・荷揚げ	ウ イ ン チ	単動、直引能力 1t		チェーンブロック	手動式、電動(高揚程型)		レバーブロック	1.5t~5.0t		架 設 工 具	架設工具(組立工具一式)		発 動 発 電 機	全工程を考慮して規格を選定	電力供給用	工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章	落 橋 防 止 装 置・横 変 位 拘 束 装 置 取 付 (部材運搬・設置・接合)		表4-7-8 落橋防止装置取付工歩掛	⑦-8 落橋防止装置・横変位拘束装置取付工
名 称	規 格	用 途																																																											
ラフテレーンクレーン(トラッククレーン)	吊荷重及び作業揚程により選定	部材の荷卸し・荷揚げ																																																											
ウ イ ン チ	単動、直引能力 1t																																																												
チェーンブロック	手動式、電動(高揚程型)																																																												
レバーブロック	1.5t~5.0t																																																												
架 設 工 具	架設工具(組立工具一式)																																																												
発 動 発 電 機	全工程を考慮して規格を選定	電力供給用																																																											
工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章																																																										
落 橋 防 止 装 置・横 変 位 拘 束 装 置 取 付 (部材運搬・設置・接合)		表4-7-7 落橋防止装置取付工歩掛	⑦-8 落橋防止装置・横変位拘束装置取付工																																																										
名 称	規 格	用 途																																																											
ラフテレーンクレーン(トラッククレーン)	吊荷重及び作業揚程により選定	部材の荷卸し・荷揚げ																																																											
ウ イ ン チ	単動、直引能力 1t																																																												
チェーンブロック	手動式、電動(高揚程型)																																																												
レバーブロック	1.5t~5.0t																																																												
架 設 工 具	架設工具(組立工具一式)																																																												
発 動 発 電 機	全工程を考慮して規格を選定	電力供給用																																																											
工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章																																																										
落 橋 防 止 装 置・横 変 位 拘 束 装 置 取 付 (部材運搬・設置・接合)		表4-7-8 落橋防止装置取付工歩掛	⑦-8 落橋防止装置・横変位拘束装置取付工																																																										

頁	項目	改定前	改定後																																																																																																												
123	第1章⑧ 現場塗装工及び塗膜研削工	<p style="text-align: right;">作業編 ⑧ 現場塗装工及び塗膜研削工 123</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;">8-3 芯出し調整工</div> <p>1 概 説</p> <p>補修工事の施工に先立って、既設構造物への部材位置確認・位置決め・部材取付面の素地の調整を行い、設置位置等の罫書きを行う作業である。</p> <p>補修工事の芯出し調整工は、塗替塗装工事の素地調整に比べて、狭隘な場所が多いことや施工数量が極小であることが多いため、十分な施工管理を行わなければならない。</p> <p>特に、既設物に補強部材の現場溶接を行う場合には、既設面の素地の調整不備等による溶接の欠陥が生じないように注意しなければならない。</p> <p>(1) 芯出し調整工に伴う塗膜の劣化面積と素地の調整種別</p> <p>1) 錆が発生している場合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>素地調整種別</th> <th>錆の状態</th> <th>発錆面積(%)</th> <th>素地の調整内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1種</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>錆、旧塗膜を完全に除去し、鋼材面を露出させる</td> </tr> <tr> <td>2種</td> <td>点錆が進行し、板状錆に近い状態や、こぶ状錆となっている</td> <td>30以上</td> <td>旧塗膜、錆を除去し、鋼材面を露出させる</td> </tr> <tr> <td>3種A</td> <td>点錆がかなり点在している</td> <td>15~30</td> <td>活膜は残すが、不良部(錆・われ・ふくれ)は除去する</td> </tr> <tr> <td>3種B</td> <td>点錆が少し点在している</td> <td>5~15</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>3種C</td> <td>点錆がほんの少し点在している</td> <td>5以下</td> <td>同上</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 錆がなく、われ・ふくれ・はがれ・白亜化・変退色などの塗膜異常がある場合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>素地調整種別</th> <th>錆の状態</th> <th>塗膜異常面積(%)</th> <th>素地の調整内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3種A</td> <td>発錆はないが、われ・ふくれ・はがれの発生が多く認められる</td> <td>30以上</td> <td>活膜は残すが、不良部は除去する</td> </tr> <tr> <td>3種B</td> <td>同上</td> <td>15~30</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>3種C</td> <td>同上</td> <td>5~15</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>4種</td> <td>同上</td> <td>5以下</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>白亜化・変退色の著しい場合</td> <td></td> <td>粉化物・汚れ等を除去する</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 芯出し調整工の作業内容と種別区分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業内容</th> <th>素地の調整種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>既設部材撤去後、同一位置に新設部材を取付ける場合</td> <td>1種ケレン相当とし、鋼材面を露出させる</td> </tr> <tr> <td>通常部位での補修塗装及び塗替え塗装の場合</td> <td>2種ケレン及び3種ケレン</td> </tr> </tbody> </table>	素地調整種別	錆の状態	発錆面積(%)	素地の調整内容	1種	—	—	錆、旧塗膜を完全に除去し、鋼材面を露出させる	2種	点錆が進行し、板状錆に近い状態や、こぶ状錆となっている	30以上	旧塗膜、錆を除去し、鋼材面を露出させる	3種A	点錆がかなり点在している	15~30	活膜は残すが、不良部(錆・われ・ふくれ)は除去する	3種B	点錆が少し点在している	5~15	同上	3種C	点錆がほんの少し点在している	5以下	同上	素地調整種別	錆の状態	塗膜異常面積(%)	素地の調整内容	3種A	発錆はないが、われ・ふくれ・はがれの発生が多く認められる	30以上	活膜は残すが、不良部は除去する	3種B	同上	15~30	同上	3種C	同上	5~15	同上	4種	同上	5以下	同上		白亜化・変退色の著しい場合		粉化物・汚れ等を除去する	作業内容	素地の調整種別	既設部材撤去後、同一位置に新設部材を取付ける場合	1種ケレン相当とし、鋼材面を露出させる	通常部位での補修塗装及び塗替え塗装の場合	2種ケレン及び3種ケレン	<p style="text-align: right;">作業編 ⑧ 現場塗装工及び塗膜研削工 123</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;">8-3 芯出し調整工 (鋼材面用)</div> <p>1 概 説</p> <p>補修工事の施工に先立って、既設構造物への部材位置確認・位置決め・部材取付面の素地の調整を行い、設置位置等の罫書きを行う作業である。</p> <p>補修工事の芯出し調整工は、塗替塗装工事の素地調整に比べて、狭隘な場所が多いことや施工数量が極小であることが多いため、十分な施工管理を行わなければならない。</p> <p>特に、既設物に補強部材の現場溶接を行う場合には、既設面の素地の調整不備等による溶接の欠陥が生じないように注意しなければならない。</p> <p>(1) 芯出し調整工に伴う塗膜の劣化面積と素地の調整種別</p> <p>1) 錆が発生している場合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>素地調整種別</th> <th>錆の状態</th> <th>発錆面積(%)</th> <th>素地の調整内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1種</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>錆、旧塗膜を完全に除去し、鋼材面を露出させる</td> </tr> <tr> <td>2種</td> <td>点錆が進行し、板状錆に近い状態や、こぶ状錆となっている</td> <td>30以上</td> <td>旧塗膜、錆を除去し、鋼材面を露出させる</td> </tr> <tr> <td>3種A</td> <td>点錆がかなり点在している</td> <td>15~30</td> <td>活膜は残すが、不良部(錆・われ・ふくれ)は除去する</td> </tr> <tr> <td>3種B</td> <td>点錆が少し点在している</td> <td>5~15</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>3種C</td> <td>点錆がほんの少し点在している</td> <td>5以下</td> <td>同上</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 錆がなく、われ・ふくれ・はがれ・白亜化・変退色などの塗膜異常がある場合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>素地調整種別</th> <th>錆の状態</th> <th>塗膜異常面積(%)</th> <th>素地の調整内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3種A</td> <td>発錆はないが、われ・ふくれ・はがれの発生が多く認められる</td> <td>30以上</td> <td>活膜は残すが、不良部は除去する</td> </tr> <tr> <td>3種B</td> <td>同上</td> <td>15~30</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>3種C</td> <td>同上</td> <td>5~15</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>4種</td> <td>同上</td> <td>5以下</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>白亜化・変退色の著しい場合</td> <td></td> <td>粉化物・汚れ等を除去する</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 芯出し調整工の作業内容と種別区分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業内容</th> <th>素地の調整種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>既設部材撤去後、同一位置に新設部材を取付ける場合</td> <td>1種ケレン相当とし、鋼材面を露出させる</td> </tr> <tr> <td>通常部位での補修塗装及び塗替え塗装の場合</td> <td>2種ケレン及び3種ケレン</td> </tr> </tbody> </table>	素地調整種別	錆の状態	発錆面積(%)	素地の調整内容	1種	—	—	錆、旧塗膜を完全に除去し、鋼材面を露出させる	2種	点錆が進行し、板状錆に近い状態や、こぶ状錆となっている	30以上	旧塗膜、錆を除去し、鋼材面を露出させる	3種A	点錆がかなり点在している	15~30	活膜は残すが、不良部(錆・われ・ふくれ)は除去する	3種B	点錆が少し点在している	5~15	同上	3種C	点錆がほんの少し点在している	5以下	同上	素地調整種別	錆の状態	塗膜異常面積(%)	素地の調整内容	3種A	発錆はないが、われ・ふくれ・はがれの発生が多く認められる	30以上	活膜は残すが、不良部は除去する	3種B	同上	15~30	同上	3種C	同上	5~15	同上	4種	同上	5以下	同上		白亜化・変退色の著しい場合		粉化物・汚れ等を除去する	作業内容	素地の調整種別	既設部材撤去後、同一位置に新設部材を取付ける場合	1種ケレン相当とし、鋼材面を露出させる	通常部位での補修塗装及び塗替え塗装の場合	2種ケレン及び3種ケレン
素地調整種別	錆の状態	発錆面積(%)	素地の調整内容																																																																																																												
1種	—	—	錆、旧塗膜を完全に除去し、鋼材面を露出させる																																																																																																												
2種	点錆が進行し、板状錆に近い状態や、こぶ状錆となっている	30以上	旧塗膜、錆を除去し、鋼材面を露出させる																																																																																																												
3種A	点錆がかなり点在している	15~30	活膜は残すが、不良部(錆・われ・ふくれ)は除去する																																																																																																												
3種B	点錆が少し点在している	5~15	同上																																																																																																												
3種C	点錆がほんの少し点在している	5以下	同上																																																																																																												
素地調整種別	錆の状態	塗膜異常面積(%)	素地の調整内容																																																																																																												
3種A	発錆はないが、われ・ふくれ・はがれの発生が多く認められる	30以上	活膜は残すが、不良部は除去する																																																																																																												
3種B	同上	15~30	同上																																																																																																												
3種C	同上	5~15	同上																																																																																																												
4種	同上	5以下	同上																																																																																																												
	白亜化・変退色の著しい場合		粉化物・汚れ等を除去する																																																																																																												
作業内容	素地の調整種別																																																																																																														
既設部材撤去後、同一位置に新設部材を取付ける場合	1種ケレン相当とし、鋼材面を露出させる																																																																																																														
通常部位での補修塗装及び塗替え塗装の場合	2種ケレン及び3種ケレン																																																																																																														
素地調整種別	錆の状態	発錆面積(%)	素地の調整内容																																																																																																												
1種	—	—	錆、旧塗膜を完全に除去し、鋼材面を露出させる																																																																																																												
2種	点錆が進行し、板状錆に近い状態や、こぶ状錆となっている	30以上	旧塗膜、錆を除去し、鋼材面を露出させる																																																																																																												
3種A	点錆がかなり点在している	15~30	活膜は残すが、不良部(錆・われ・ふくれ)は除去する																																																																																																												
3種B	点錆が少し点在している	5~15	同上																																																																																																												
3種C	点錆がほんの少し点在している	5以下	同上																																																																																																												
素地調整種別	錆の状態	塗膜異常面積(%)	素地の調整内容																																																																																																												
3種A	発錆はないが、われ・ふくれ・はがれの発生が多く認められる	30以上	活膜は残すが、不良部は除去する																																																																																																												
3種B	同上	15~30	同上																																																																																																												
3種C	同上	5~15	同上																																																																																																												
4種	同上	5以下	同上																																																																																																												
	白亜化・変退色の著しい場合		粉化物・汚れ等を除去する																																																																																																												
作業内容	素地の調整種別																																																																																																														
既設部材撤去後、同一位置に新設部材を取付ける場合	1種ケレン相当とし、鋼材面を露出させる																																																																																																														
通常部位での補修塗装及び塗替え塗装の場合	2種ケレン及び3種ケレン																																																																																																														

頁	項目	改定前	改定後																																																																																																																
124	第1章⑧ 現場塗装工及び塗膜研削工	<p>124 第1章 鋼 橋</p> <p>(3) 主要機械 (工具) 表</p> <p>1) プラスト処理</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>用 途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プ ラ ス ト 機</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>研 磨 材 回 収 機</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>デ ィ ス ク サ ン ダ ー</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>サ ン ダ ー 用 消 耗 品</td> <td>砥石・ディスクペーパー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ケ レ ン 用 備 品</td> <td>ケレンハンマ等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>防 塵 設 備</td> <td></td> <td>グリッド拡散防止設備</td> </tr> <tr> <td>発 動 発 電 機</td> <td>全工程を考慮して規格を選定</td> <td>電力供給用</td> </tr> <tr> <td>ト ラ ッ ク</td> <td>4 t 積</td> <td>プラスト機搭載用</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 動力処理</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>用 途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>デ ィ ス ク サ ン ダ ー</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>サ ン ダ ー 用 消 耗 品</td> <td>砥石・ディスクペーパー・棒</td> <td></td> </tr> <tr> <td>発 動 発 電 機</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ケ レ ン 用 備 品</td> <td>ケレンハンマ等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>防 塵 設 備</td> <td></td> <td>塗膜拡散防止設備</td> </tr> <tr> <td>発 動 発 電 機</td> <td>全工程を考慮して規格を選定</td> <td>電力供給用</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 施工手順及び積算情報</p> <p>積算基準対応表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工 種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> <th>本書 第7章</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芯 出 し 調 整</td> <td>—————</td> <td>表4-7-2 芯出し調整工歩掛</td> <td>⑧-3 芯出し調整工</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	用 途	プ ラ ス ト 機			研 磨 材 回 収 機			デ ィ ス ク サ ン ダ ー			サ ン ダ ー 用 消 耗 品	砥石・ディスクペーパー		ケ レ ン 用 備 品	ケレンハンマ等		防 塵 設 備		グリッド拡散防止設備	発 動 発 電 機	全工程を考慮して規格を選定	電力供給用	ト ラ ッ ク	4 t 積	プラスト機搭載用	名 称	規 格	用 途	デ ィ ス ク サ ン ダ ー			サ ン ダ ー 用 消 耗 品	砥石・ディスクペーパー・棒		発 動 発 電 機			ケ レ ン 用 備 品	ケレンハンマ等		防 塵 設 備		塗膜拡散防止設備	発 動 発 電 機	全工程を考慮して規格を選定	電力供給用	工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章	芯 出 し 調 整	—————	表4-7-2 芯出し調整工歩掛	⑧-3 芯出し調整工	<p>124 第1章 鋼 橋</p> <p>(3) 主要機械 (工具) 表</p> <p>1) プラスト処理</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>用 途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プ ラ ス ト 機</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>研 磨 材 回 収 機</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>デ ィ ス ク サ ン ダ ー</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>サ ン ダ ー 用 消 耗 品</td> <td>砥石・ディスクペーパー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ケ レ ン 用 備 品</td> <td>ケレンハンマ等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>防 塵 設 備</td> <td></td> <td>グリッド拡散防止設備</td> </tr> <tr> <td>発 動 発 電 機</td> <td>全工程を考慮して規格を選定</td> <td>電力供給用</td> </tr> <tr> <td>ト ラ ッ ク</td> <td>4 t 積</td> <td>プラスト機搭載用</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 動力処理</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>用 途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>デ ィ ス ク サ ン ダ ー</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>サ ン ダ ー 用 消 耗 品</td> <td>砥石・ディスクペーパー・棒</td> <td></td> </tr> <tr> <td>発 動 発 電 機</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ケ レ ン 用 備 品</td> <td>ケレンハンマ等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>防 塵 設 備</td> <td></td> <td>塗膜拡散防止設備</td> </tr> <tr> <td>発 動 発 電 機</td> <td>全工程を考慮して規格を選定</td> <td>電力供給用</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 施工手順及び積算情報</p> <p>積算基準対応表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工 種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> <th>本書 第7章</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芯 出 し 調 整</td> <td>—————</td> <td>表4-7-2 芯出し調整工 (鋼材面用) 歩掛</td> <td>⑧-3 芯出し調整工 (鋼材面用)</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	用 途	プ ラ ス ト 機			研 磨 材 回 収 機			デ ィ ス ク サ ン ダ ー			サ ン ダ ー 用 消 耗 品	砥石・ディスクペーパー		ケ レ ン 用 備 品	ケレンハンマ等		防 塵 設 備		グリッド拡散防止設備	発 動 発 電 機	全工程を考慮して規格を選定	電力供給用	ト ラ ッ ク	4 t 積	プラスト機搭載用	名 称	規 格	用 途	デ ィ ス ク サ ン ダ ー			サ ン ダ ー 用 消 耗 品	砥石・ディスクペーパー・棒		発 動 発 電 機			ケ レ ン 用 備 品	ケレンハンマ等		防 塵 設 備		塗膜拡散防止設備	発 動 発 電 機	全工程を考慮して規格を選定	電力供給用	工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章	芯 出 し 調 整	—————	表4-7-2 芯出し調整工 (鋼材面用) 歩掛	⑧-3 芯出し調整工 (鋼材面用)
名 称	規 格	用 途																																																																																																																	
プ ラ ス ト 機																																																																																																																			
研 磨 材 回 収 機																																																																																																																			
デ ィ ス ク サ ン ダ ー																																																																																																																			
サ ン ダ ー 用 消 耗 品	砥石・ディスクペーパー																																																																																																																		
ケ レ ン 用 備 品	ケレンハンマ等																																																																																																																		
防 塵 設 備		グリッド拡散防止設備																																																																																																																	
発 動 発 電 機	全工程を考慮して規格を選定	電力供給用																																																																																																																	
ト ラ ッ ク	4 t 積	プラスト機搭載用																																																																																																																	
名 称	規 格	用 途																																																																																																																	
デ ィ ス ク サ ン ダ ー																																																																																																																			
サ ン ダ ー 用 消 耗 品	砥石・ディスクペーパー・棒																																																																																																																		
発 動 発 電 機																																																																																																																			
ケ レ ン 用 備 品	ケレンハンマ等																																																																																																																		
防 塵 設 備		塗膜拡散防止設備																																																																																																																	
発 動 発 電 機	全工程を考慮して規格を選定	電力供給用																																																																																																																	
工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章																																																																																																																
芯 出 し 調 整	—————	表4-7-2 芯出し調整工歩掛	⑧-3 芯出し調整工																																																																																																																
名 称	規 格	用 途																																																																																																																	
プ ラ ス ト 機																																																																																																																			
研 磨 材 回 収 機																																																																																																																			
デ ィ ス ク サ ン ダ ー																																																																																																																			
サ ン ダ ー 用 消 耗 品	砥石・ディスクペーパー																																																																																																																		
ケ レ ン 用 備 品	ケレンハンマ等																																																																																																																		
防 塵 設 備		グリッド拡散防止設備																																																																																																																	
発 動 発 電 機	全工程を考慮して規格を選定	電力供給用																																																																																																																	
ト ラ ッ ク	4 t 積	プラスト機搭載用																																																																																																																	
名 称	規 格	用 途																																																																																																																	
デ ィ ス ク サ ン ダ ー																																																																																																																			
サ ン ダ ー 用 消 耗 品	砥石・ディスクペーパー・棒																																																																																																																		
発 動 発 電 機																																																																																																																			
ケ レ ン 用 備 品	ケレンハンマ等																																																																																																																		
防 塵 設 備		塗膜拡散防止設備																																																																																																																	
発 動 発 電 機	全工程を考慮して規格を選定	電力供給用																																																																																																																	
工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章																																																																																																																
芯 出 し 調 整	—————	表4-7-2 芯出し調整工 (鋼材面用) 歩掛	⑧-3 芯出し調整工 (鋼材面用)																																																																																																																

頁	項目	改定前	改定後																																																
138	第1章⑨ コンクリート アンカー工	<p>138 第1章 鋼 橋</p> <p>(2) 削孔径と削孔機械</p>  <p>(注) 実際の削孔機械選定にあたっては、現場条件等を十分考慮すること。</p> <p>適用範囲</p> <p>2 施工手順及び積算情報</p>  <p>積算基準対応表</p> <table border="1" data-bbox="488 1029 1176 1321"> <thead> <tr> <th>工 種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> <th>本書 第7章</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート削孔 (電動式コアボーリングマシン)</td> <td>IV-3-⑨ 4-1 コンクリート削孔 (電動式コアボーリングマシン)</td> <td>表4-7-10・11 コンクリート削孔(電動式コアボーリングマシン) 表4-7-18 コンクリート削孔工 歩掛 (コアボーリングマシン)</td> <td>⑨-1 コンクリート削孔工 (電動式コアボーリングマシン)</td> </tr> <tr> <td>コンクリート削孔 (電動ハンマドリル)</td> <td>IV-3-⑨ 4-2 コンクリート削孔 (電動ハンマドリル)</td> <td>表4-7-12 コンクリート削孔 (電動ハンマドリル)</td> <td>⑨-2 コンクリート削孔工 (電動ハンマドリル)</td> </tr> <tr> <td>コンクリート削孔 (さく岩機(ハンドドリル(空圧式)))</td> <td>IV-3-⑨ 4-3 コンクリート削孔 (さく岩機(ハンドドリル(空圧式)))</td> <td>表4-7-13・14 コンクリート削孔 (さく岩機(ハンドドリル(空圧式)))</td> <td>⑨-3 コンクリート削孔工 (さく岩機(ハンドドリル(空圧式)))</td> </tr> <tr> <td>アンカー棒挿入 (孔内清掃・樹脂注入・ アンカー棒挿入)</td> <td>IV-3-⑨ 4-4 アンカー</td> <td>表4-7-15・16 アンカー 表4-7-19 アンカー工歩掛 (下方向)</td> <td>⑨-4 アンカー工</td> </tr> <tr> <td>充 填 補 修</td> <td>IV-3-⑨ 4-7 充填補修</td> <td>表4-7-17 充填補修</td> <td>⑨-5 充填補修工</td> </tr> </tbody> </table>	工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章	コンクリート削孔 (電動式コアボーリングマシン)	IV-3-⑨ 4-1 コンクリート削孔 (電動式コアボーリングマシン)	表4-7-10・11 コンクリート削孔(電動式コアボーリングマシン) 表4-7-18 コンクリート削孔工 歩掛 (コアボーリングマシン)	⑨-1 コンクリート削孔工 (電動式コアボーリングマシン)	コンクリート削孔 (電動ハンマドリル)	IV-3-⑨ 4-2 コンクリート削孔 (電動ハンマドリル)	表4-7-12 コンクリート削孔 (電動ハンマドリル)	⑨-2 コンクリート削孔工 (電動ハンマドリル)	コンクリート削孔 (さく岩機(ハンドドリル(空圧式)))	IV-3-⑨ 4-3 コンクリート削孔 (さく岩機(ハンドドリル(空圧式)))	表4-7-13・14 コンクリート削孔 (さく岩機(ハンドドリル(空圧式)))	⑨-3 コンクリート削孔工 (さく岩機(ハンドドリル(空圧式)))	アンカー棒挿入 (孔内清掃・樹脂注入・ アンカー棒挿入)	IV-3-⑨ 4-4 アンカー	表4-7-15・16 アンカー 表4-7-19 アンカー工歩掛 (下方向)	⑨-4 アンカー工	充 填 補 修	IV-3-⑨ 4-7 充填補修	表4-7-17 充填補修	⑨-5 充填補修工	<p>138 第1章 鋼 橋</p> <p>(2) 削孔径と削孔機械</p>  <p>(注) 実際の削孔機械選定にあたっては、現場条件等を十分考慮すること。</p> <p>適用範囲</p> <p>2 施工手順及び積算情報</p>  <p>積算基準対応表</p> <table border="1" data-bbox="1323 1029 2011 1321"> <thead> <tr> <th>工 種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> <th>本書 第7章</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート削孔 (電動式コアボーリングマシン)</td> <td>IV-3-⑨ 4-1 コンクリート削孔 (電動式コアボーリングマシン)</td> <td>表4-7-11・12 コンクリート削孔(電動式コアボーリングマシン) 表4-7-19 コンクリート削孔工 歩掛 (コアボーリングマシン)</td> <td>⑨-1 コンクリート削孔工 (電動式コアボーリングマシン)</td> </tr> <tr> <td>コンクリート削孔 (電動ハンマドリル)</td> <td>IV-3-⑨ 4-2 コンクリート削孔 (電動ハンマドリル)</td> <td>表4-7-13 コンクリート削孔 (電動ハンマドリル)</td> <td>⑨-2 コンクリート削孔工 (電動ハンマドリル)</td> </tr> <tr> <td>コンクリート削孔 (さく岩機(ハンドドリル(空圧式)))</td> <td>IV-3-⑨ 4-3 コンクリート削孔 (さく岩機(ハンドドリル(空圧式)))</td> <td>表4-7-14・15 コンクリート削孔 (さく岩機(ハンドドリル(空圧式)))</td> <td>⑨-3 コンクリート削孔工 (さく岩機(ハンドドリル(空圧式)))</td> </tr> <tr> <td>アンカー棒挿入 (孔内清掃・樹脂注入・ アンカー棒挿入)</td> <td>IV-3-⑨ 4-4 アンカー</td> <td>表4-7-16・17 アンカー 表4-7-20 アンカー工歩掛 (下方向)</td> <td>⑨-4 アンカー工</td> </tr> <tr> <td>充 填 補 修</td> <td>IV-3-⑨ 4-7 充填補修</td> <td>表4-7-18 充填補修</td> <td>⑨-5 充填補修工</td> </tr> </tbody> </table>	工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章	コンクリート削孔 (電動式コアボーリングマシン)	IV-3-⑨ 4-1 コンクリート削孔 (電動式コアボーリングマシン)	表4-7-11・12 コンクリート削孔(電動式コアボーリングマシン) 表4-7-19 コンクリート削孔工 歩掛 (コアボーリングマシン)	⑨-1 コンクリート削孔工 (電動式コアボーリングマシン)	コンクリート削孔 (電動ハンマドリル)	IV-3-⑨ 4-2 コンクリート削孔 (電動ハンマドリル)	表4-7-13 コンクリート削孔 (電動ハンマドリル)	⑨-2 コンクリート削孔工 (電動ハンマドリル)	コンクリート削孔 (さく岩機(ハンドドリル(空圧式)))	IV-3-⑨ 4-3 コンクリート削孔 (さく岩機(ハンドドリル(空圧式)))	表4-7-14・15 コンクリート削孔 (さく岩機(ハンドドリル(空圧式)))	⑨-3 コンクリート削孔工 (さく岩機(ハンドドリル(空圧式)))	アンカー棒挿入 (孔内清掃・樹脂注入・ アンカー棒挿入)	IV-3-⑨ 4-4 アンカー	表4-7-16・17 アンカー 表4-7-20 アンカー工歩掛 (下方向)	⑨-4 アンカー工	充 填 補 修	IV-3-⑨ 4-7 充填補修	表4-7-18 充填補修	⑨-5 充填補修工
工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章																																																
コンクリート削孔 (電動式コアボーリングマシン)	IV-3-⑨ 4-1 コンクリート削孔 (電動式コアボーリングマシン)	表4-7-10・11 コンクリート削孔(電動式コアボーリングマシン) 表4-7-18 コンクリート削孔工 歩掛 (コアボーリングマシン)	⑨-1 コンクリート削孔工 (電動式コアボーリングマシン)																																																
コンクリート削孔 (電動ハンマドリル)	IV-3-⑨ 4-2 コンクリート削孔 (電動ハンマドリル)	表4-7-12 コンクリート削孔 (電動ハンマドリル)	⑨-2 コンクリート削孔工 (電動ハンマドリル)																																																
コンクリート削孔 (さく岩機(ハンドドリル(空圧式)))	IV-3-⑨ 4-3 コンクリート削孔 (さく岩機(ハンドドリル(空圧式)))	表4-7-13・14 コンクリート削孔 (さく岩機(ハンドドリル(空圧式)))	⑨-3 コンクリート削孔工 (さく岩機(ハンドドリル(空圧式)))																																																
アンカー棒挿入 (孔内清掃・樹脂注入・ アンカー棒挿入)	IV-3-⑨ 4-4 アンカー	表4-7-15・16 アンカー 表4-7-19 アンカー工歩掛 (下方向)	⑨-4 アンカー工																																																
充 填 補 修	IV-3-⑨ 4-7 充填補修	表4-7-17 充填補修	⑨-5 充填補修工																																																
工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章																																																
コンクリート削孔 (電動式コアボーリングマシン)	IV-3-⑨ 4-1 コンクリート削孔 (電動式コアボーリングマシン)	表4-7-11・12 コンクリート削孔(電動式コアボーリングマシン) 表4-7-19 コンクリート削孔工 歩掛 (コアボーリングマシン)	⑨-1 コンクリート削孔工 (電動式コアボーリングマシン)																																																
コンクリート削孔 (電動ハンマドリル)	IV-3-⑨ 4-2 コンクリート削孔 (電動ハンマドリル)	表4-7-13 コンクリート削孔 (電動ハンマドリル)	⑨-2 コンクリート削孔工 (電動ハンマドリル)																																																
コンクリート削孔 (さく岩機(ハンドドリル(空圧式)))	IV-3-⑨ 4-3 コンクリート削孔 (さく岩機(ハンドドリル(空圧式)))	表4-7-14・15 コンクリート削孔 (さく岩機(ハンドドリル(空圧式)))	⑨-3 コンクリート削孔工 (さく岩機(ハンドドリル(空圧式)))																																																
アンカー棒挿入 (孔内清掃・樹脂注入・ アンカー棒挿入)	IV-3-⑨ 4-4 アンカー	表4-7-16・17 アンカー 表4-7-20 アンカー工歩掛 (下方向)	⑨-4 アンカー工																																																
充 填 補 修	IV-3-⑨ 4-7 充填補修	表4-7-18 充填補修	⑨-5 充填補修工																																																

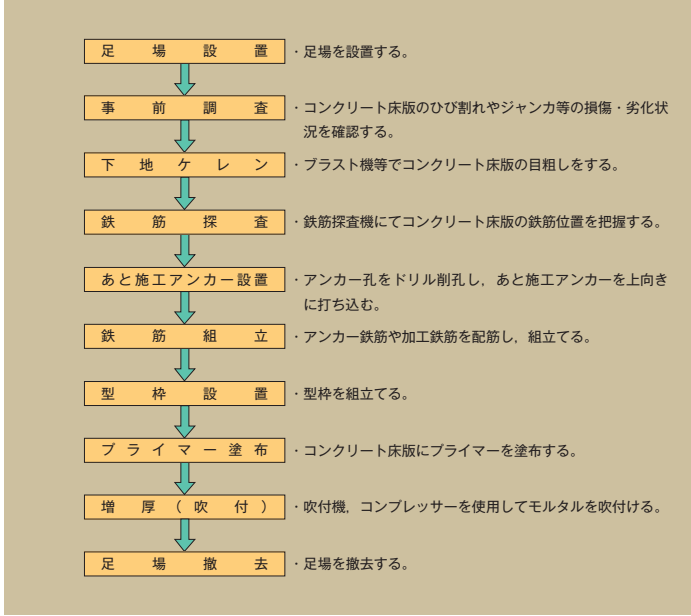
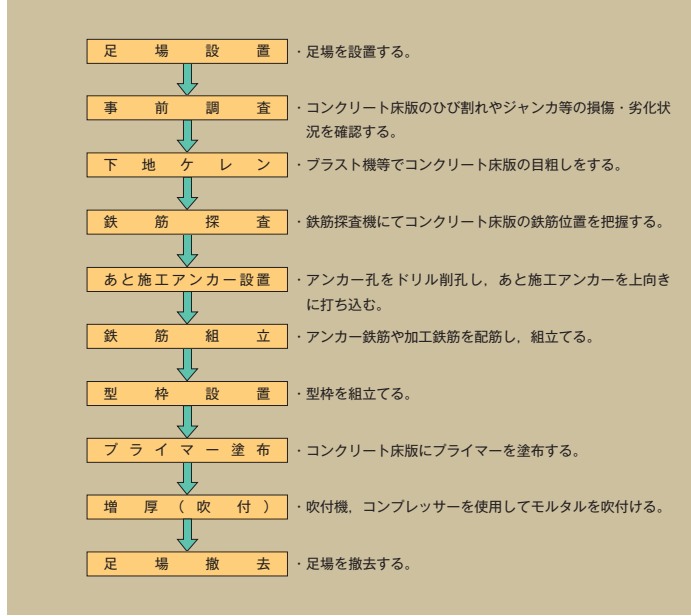
頁	項目	改定前	改定後																																														
141	第1章⑩ その他	<p style="text-align: right;">作業編 ⑩ その他 141</p> <p>⑩ その他</p> <p>⑩-1 チッピング工（ブラケット背面部）</p> <p>1 概 説</p> <p>補修工事でコンクリート面と取付部材を密着させるための面荒らし作業である。 補修工事では部材の仮置スペース、作業時間の制約、道路使用規制等の条件が厳しく制約され、新設工事のように自由な作業スペースの確保が困難な場合が多い。 施工計画に際しては、現場条件・時間条件・施工条件を十分に検討する必要がある。</p> <p>(1) 主要機械（工具）表</p> <table border="1" data-bbox="512 608 1151 719"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>用 途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ハンマドリル</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ハンマドリル用ビット</td> <td></td> <td>ハンマドリル用</td> </tr> <tr> <td>空気圧縮機</td> <td></td> <td>//</td> </tr> <tr> <td>発 動 発 電 機</td> <td>全工程を考慮して規格を選定</td> <td>電力供給用</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 施工手順及び積算情報</p> <div data-bbox="490 810 1173 1002" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">チ ッ ピ ン グ ・部材接合コンクリート面をハンマドリル等ではつる。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">補 修 ・ 補 強</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">ブ ラ ケ ッ ト 注 入</p> <p style="text-align: right;">【歩掛は実線枠内作業】</p> </div> <p style="text-align: center;">積算基準対応表</p> <table border="1" data-bbox="490 1054 1173 1118"> <thead> <tr> <th>工 種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> <th>本書 第7章</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>チ ッ ピ ン グ</td> <td>—</td> <td>表4-7-23 チッピング工歩掛</td> <td>⑩-1 チッピング工 (ブラケット背面部)</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 施工法</p> <p>(1) 施工上の留意点</p> <p>コンクリート面と取付部材が平坦に設置できるようにする。最大3cm程度とする。</p>	名 称	規 格	用 途	ハンマドリル			ハンマドリル用ビット		ハンマドリル用	空気圧縮機		//	発 動 発 電 機	全工程を考慮して規格を選定	電力供給用	工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章	チ ッ ピ ン グ	—	表4-7-23 チッピング工歩掛	⑩-1 チッピング工 (ブラケット背面部)	<p style="text-align: right;">作業編 ⑩ その他 141</p> <p>⑩ その他</p> <p>⑩-1 チッピング工（ブラケット背面部）</p> <p>1 概 説</p> <p>補修工事でコンクリート面と取付部材を密着させるための面荒らし作業である。 補修工事では部材の仮置スペース、作業時間の制約、道路使用規制等の条件が厳しく制約され、新設工事のように自由な作業スペースの確保が困難な場合が多い。 施工計画に際しては、現場条件・時間条件・施工条件を十分に検討する必要がある。</p> <p>(1) 主要機械（工具）表</p> <table border="1" data-bbox="1350 608 1989 719"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>用 途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ハンマドリル</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ハンマドリル用ビット</td> <td></td> <td>ハンマドリル用</td> </tr> <tr> <td>空気圧縮機</td> <td></td> <td>//</td> </tr> <tr> <td>発 動 発 電 機</td> <td>全工程を考慮して規格を選定</td> <td>電力供給用</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 施工手順及び積算情報</p> <div data-bbox="1328 810 2011 1002" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">チ ッ ピ ン グ ・部材接合コンクリート面をハンマドリル等ではつる。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">補 修 ・ 補 強</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">ブ ラ ケ ッ ト 注 入</p> <p style="text-align: right;">【歩掛は実線枠内作業】</p> </div> <p style="text-align: center;">積算基準対応表</p> <table border="1" data-bbox="1328 1054 2011 1118"> <thead> <tr> <th>工 種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> <th>本書 第7章</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>チ ッ ピ ン グ</td> <td>—</td> <td>表4-7-24 チッピング工歩掛</td> <td>⑩-1 チッピング工 (ブラケット背面部)</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 施工法</p> <p>(1) 施工上の留意点</p> <p>コンクリート面と取付部材が平坦に設置できるようにする。最大3cm程度とする。</p>	名 称	規 格	用 途	ハンマドリル			ハンマドリル用ビット		ハンマドリル用	空気圧縮機		//	発 動 発 電 機	全工程を考慮して規格を選定	電力供給用	工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章	チ ッ ピ ン グ	—	表4-7-24 チッピング工歩掛	⑩-1 チッピング工 (ブラケット背面部)
名 称	規 格	用 途																																															
ハンマドリル																																																	
ハンマドリル用ビット		ハンマドリル用																																															
空気圧縮機		//																																															
発 動 発 電 機	全工程を考慮して規格を選定	電力供給用																																															
工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章																																														
チ ッ ピ ン グ	—	表4-7-23 チッピング工歩掛	⑩-1 チッピング工 (ブラケット背面部)																																														
名 称	規 格	用 途																																															
ハンマドリル																																																	
ハンマドリル用ビット		ハンマドリル用																																															
空気圧縮機		//																																															
発 動 発 電 機	全工程を考慮して規格を選定	電力供給用																																															
工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章																																														
チ ッ ピ ン グ	—	表4-7-24 チッピング工歩掛	⑩-1 チッピング工 (ブラケット背面部)																																														

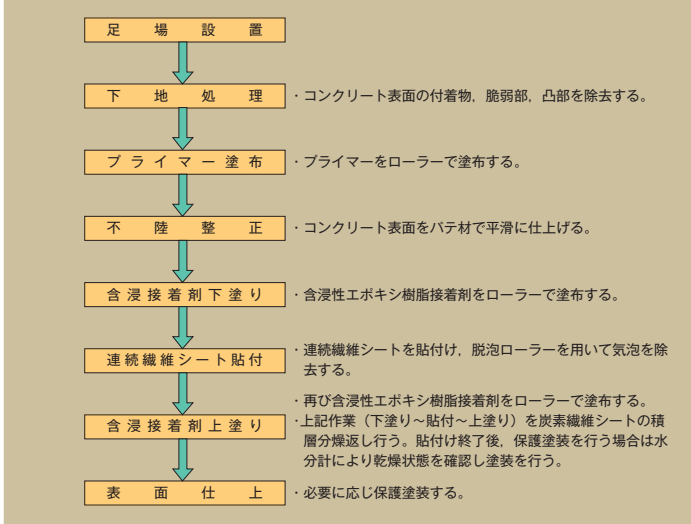
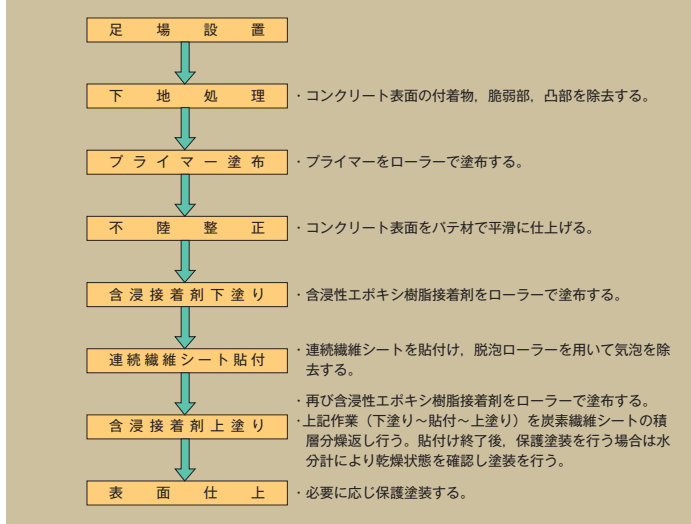
頁	項目	改定前	改定後																																								
142	第1章⑩ その他	<p>142 第1章 鋼 橋</p> <p>⑩-2 注入工（ブラケット背面部）</p> <p>1 概 説</p> <p>補修工事でコンクリート面と取付部材を密着させるための注入作業である。 補修工事では部材の仮置スペース、作業時間の制約、道路使用規制等の条件が厳しく制約され、新設工事のように自由な作業スペースの確保が困難な場合が多い。 施工計画に際しては、現場条件・時間条件・施工条件を十分に検討する必要がある。</p> <p>(1) 主要機械（工具）表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>用 途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>攪 拌 機</td> <td></td> <td>セメント系グラウト用</td> </tr> <tr> <td>注 入 機</td> <td>手動式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>発 動 発 電 機</td> <td>全工程を考慮して規格を選定</td> <td>電力供給用</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 施工手順及び積算情報</p>  <p>【歩掛は実線枠内作業】</p> <p>積算基準対応表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工 種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> <th>本書 第7章</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>シ ー ル エ ブ ラ ケ ッ ト 注 入</td> <td></td> <td>表4-7-24 注入工歩掛</td> <td>⑩-2 注入工(ブラケット背面部)</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 施工法</p> <p>(1) 施工上の留意点</p> <p>コンクリート面と取付部材が密着するように行う。シール材で接着剤の漏れを防止する。</p>	名 称	規 格	用 途	攪 拌 機		セメント系グラウト用	注 入 機	手動式		発 動 発 電 機	全工程を考慮して規格を選定	電力供給用	工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章	シ ー ル エ ブ ラ ケ ッ ト 注 入		表4-7-24 注入工歩掛	⑩-2 注入工(ブラケット背面部)	<p>142 第1章 鋼 橋</p> <p>⑩-2 注入工（ブラケット背面部）</p> <p>1 概 説</p> <p>補修工事でコンクリート面と取付部材を密着させるための注入作業である。 補修工事では部材の仮置スペース、作業時間の制約、道路使用規制等の条件が厳しく制約され、新設工事のように自由な作業スペースの確保が困難な場合が多い。 施工計画に際しては、現場条件・時間条件・施工条件を十分に検討する必要がある。</p> <p>(1) 主要機械（工具）表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>用 途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>攪 拌 機</td> <td></td> <td>セメント系グラウト用</td> </tr> <tr> <td>注 入 機</td> <td>手動式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>発 動 発 電 機</td> <td>全工程を考慮して規格を選定</td> <td>電力供給用</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 施工手順及び積算情報</p>  <p>【歩掛は実線枠内作業】</p> <p>積算基準対応表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工 種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> <th>本書 第7章</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>シ ー ル エ ブ ラ ケ ッ ト 注 入</td> <td></td> <td>表4-7-25 注入工歩掛</td> <td>⑩-2 注入工(ブラケット背面部)</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 施工法</p> <p>(1) 施工上の留意点</p> <p>コンクリート面と取付部材が密着するように行う。シール材で接着剤の漏れを防止する。</p>	名 称	規 格	用 途	攪 拌 機		セメント系グラウト用	注 入 機	手動式		発 動 発 電 機	全工程を考慮して規格を選定	電力供給用	工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章	シ ー ル エ ブ ラ ケ ッ ト 注 入		表4-7-25 注入工歩掛	⑩-2 注入工(ブラケット背面部)
名 称	規 格	用 途																																									
攪 拌 機		セメント系グラウト用																																									
注 入 機	手動式																																										
発 動 発 電 機	全工程を考慮して規格を選定	電力供給用																																									
工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章																																								
シ ー ル エ ブ ラ ケ ッ ト 注 入		表4-7-24 注入工歩掛	⑩-2 注入工(ブラケット背面部)																																								
名 称	規 格	用 途																																									
攪 拌 機		セメント系グラウト用																																									
注 入 機	手動式																																										
発 動 発 電 機	全工程を考慮して規格を選定	電力供給用																																									
工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章																																								
シ ー ル エ ブ ラ ケ ッ ト 注 入		表4-7-25 注入工歩掛	⑩-2 注入工(ブラケット背面部)																																								

頁	項目	改定前	改定後																																		
143	第1章⑩ その他	<p style="text-align: right;">作業編 ⑩ その他 143</p> <h3>⑩-3 鉄筋探査工</h3> <h4>1 概説</h4> <p>補修工事で橋台、橋脚、バラベット部、コンクリートアンカー工を行う作業に先立って既設構造物の鉄筋位置等の確認を行う作業である。</p> <p>施工計画に際しては、現場条件・時間条件・施工条件を十分に検討する必要がある。</p> <p>(1) 主要機械（工具）表</p> <table border="1" data-bbox="512 533 1151 600"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>用途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉄筋探査機</td> <td>RCレーダ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>発動発電機</td> <td>全工程を考慮して規格を選定</td> <td>電力供給用</td> </tr> </tbody> </table> <h4>2 施工手順及び積算情報</h4> <div data-bbox="490 683 1173 890" style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">鉄筋探査工 ・コンクリートアンカー箇所を鉄筋探査機等で探査する。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">アンカー工</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">補修・補強</p> <p style="text-align: right;">【歩掛は実線枠内作業】</p> </div> <p style="text-align: center;">積算基準対応表</p> <table border="1" data-bbox="490 935 1173 986"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> <th>本書 第7章</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉄筋探査</td> <td></td> <td style="border: 2px solid red;">表4-7-3 鉄筋探査工歩掛</td> <td>⑩-4 鉄筋探査工</td> </tr> </tbody> </table> <h4>3 施工法</h4> <p>(1) 施工上の留意点</p> <p>鉄筋探査は、既設構造物の配筋状態が不明な場合や、当初の出来形図がない場合に実施するものであることから、施工期間の余裕を確保したうえで調査を行う。</p>	名称	規格	用途	鉄筋探査機	RCレーダ		発動発電機	全工程を考慮して規格を選定	電力供給用	工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章	鉄筋探査		表4-7-3 鉄筋探査工歩掛	⑩-4 鉄筋探査工	<p style="text-align: right;">作業編 ⑩ その他 143</p> <h3>⑩-3 鉄筋探査工</h3> <h4>1 概説</h4> <p>補修工事で橋台、橋脚、バラベット部、コンクリートアンカー工を行う作業に先立って既設構造物の鉄筋位置等の確認を行う作業である。</p> <p>施工計画に際しては、現場条件・時間条件・施工条件を十分に検討する必要がある。</p> <p>(1) 主要機械（工具）表</p> <table border="1" data-bbox="1350 533 1989 600"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>用途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉄筋探査機</td> <td>RCレーダ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>発動発電機</td> <td>全工程を考慮して規格を選定</td> <td>電力供給用</td> </tr> </tbody> </table> <h4>2 施工手順及び積算情報</h4> <div data-bbox="1328 683 2011 890" style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">鉄筋探査工 ・コンクリートアンカー箇所を鉄筋探査機等で探査する。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">アンカー工</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">補修・補強</p> <p style="text-align: right;">【歩掛は実線枠内作業】</p> </div> <p style="text-align: center;">積算基準対応表</p> <table border="1" data-bbox="1328 935 2011 986"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> <th>本書 第7章</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉄筋探査</td> <td></td> <td>表4-7-4 鉄筋探査工歩掛</td> <td>⑩-4 鉄筋探査工</td> </tr> </tbody> </table> <h4>3 施工法</h4> <p>(1) 施工上の留意点</p> <p>鉄筋探査は、既設構造物の配筋状態が不明な場合や、当初の出来形図がない場合に実施するものであることから、施工期間の余裕を確保したうえで調査を行う。</p>	名称	規格	用途	鉄筋探査機	RCレーダ		発動発電機	全工程を考慮して規格を選定	電力供給用	工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章	鉄筋探査		表4-7-4 鉄筋探査工歩掛	⑩-4 鉄筋探査工
名称	規格	用途																																			
鉄筋探査機	RCレーダ																																				
発動発電機	全工程を考慮して規格を選定	電力供給用																																			
工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章																																		
鉄筋探査		表4-7-3 鉄筋探査工歩掛	⑩-4 鉄筋探査工																																		
名称	規格	用途																																			
鉄筋探査機	RCレーダ																																				
発動発電機	全工程を考慮して規格を選定	電力供給用																																			
工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章																																		
鉄筋探査		表4-7-4 鉄筋探査工歩掛	⑩-4 鉄筋探査工																																		

頁	項目	改定前	改定後																																																																																											
175	第2章③ あと施工アンカー工	<p style="text-align: right;">③ あと施工アンカー工 175</p> <p style="text-align: center;">積算基準対応表 金属系アンカー</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> <th>本書第7章</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>削孔</td> <td rowspan="4">IV-7-③ 14. (4) アンカーボルト</td> <td>—</td> <td rowspan="4">①-1 アンカーボルト工</td> </tr> <tr> <td>孔内清掃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>アンカーボルト挿入</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>打込・締付先端拡張</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">積算基準対応表 接着系アンカー（注入式）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> <th>本書第7章</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>削孔</td> <td>IV-3-⑩ 4-1～3 コンクリート削孔</td> <td>表4-7-10～14 コンクリート削孔 表4-7-18 コンクリート削孔工歩掛</td> <td rowspan="4">①-1 アンカーボルト工</td> </tr> <tr> <td>孔内清掃</td> <td rowspan="3">IV-3-⑩ 4-4 アンカー</td> <td rowspan="3">表4-7-15・16 アンカー 表4-7-19 アンカー工歩掛</td> </tr> <tr> <td>アンカーボルト挿入</td> </tr> <tr> <td>エポキシ樹脂注入</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">積算基準対応表 接着系アンカー（カプセル式）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> <th>本書第7章</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>削孔</td> <td>IV-3-⑩ 4-1～3 コンクリート削孔</td> <td>表4-7-10～14 コンクリート削孔 表4-7-18 コンクリート削孔工歩掛</td> <td rowspan="4">①-1 アンカーボルト工</td> </tr> <tr> <td>孔内清掃</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>樹脂カプセル挿入</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>アンカーボルト埋込</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>◇積算上の留意点 接着系アンカー（注入式）の歩掛は「下向き」「横向き」のアンカー工に適用するもので「上向き」は別途考慮する必要がある。</p>	工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書第7章	削孔	IV-7-③ 14. (4) アンカーボルト	—	①-1 アンカーボルト工	孔内清掃	—	アンカーボルト挿入	—	打込・締付先端拡張	—	工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書第7章	削孔	IV-3-⑩ 4-1～3 コンクリート削孔	表4-7-10～14 コンクリート削孔 表4-7-18 コンクリート削孔工歩掛	①-1 アンカーボルト工	孔内清掃	IV-3-⑩ 4-4 アンカー	表4-7-15・16 アンカー 表4-7-19 アンカー工歩掛	アンカーボルト挿入	エポキシ樹脂注入	工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書第7章	削孔	IV-3-⑩ 4-1～3 コンクリート削孔	表4-7-10～14 コンクリート削孔 表4-7-18 コンクリート削孔工歩掛	①-1 アンカーボルト工	孔内清掃	—	—	樹脂カプセル挿入	—	—	アンカーボルト埋込	—	—	<p style="text-align: right;">③ あと施工アンカー工 175</p> <p style="text-align: center;">積算基準対応表 金属系アンカー</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> <th>本書第7章</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>削孔</td> <td>—</td> <td>—</td> <td rowspan="4">①-1 アンカーボルト工</td> </tr> <tr> <td>孔内清掃</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>アンカーボルト挿入</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>打込・締付先端拡張</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">積算基準対応表 接着系アンカー（注入式）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> <th>本書第7章</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>削孔</td> <td>IV-3-⑩ 4-1～3 コンクリート削孔</td> <td>表4-7-11～14 コンクリート削孔 表4-7-19 コンクリート削孔工歩掛</td> <td rowspan="4">①-1 アンカーボルト工</td> </tr> <tr> <td>孔内清掃</td> <td rowspan="3">IV-3-⑩ 4-4 アンカー</td> <td rowspan="3">表4-7-16・17 アンカー 表4-7-20 アンカー工歩掛</td> </tr> <tr> <td>アンカーボルト挿入</td> </tr> <tr> <td>エポキシ樹脂注入</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">積算基準対応表 接着系アンカー（カプセル式）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> <th>本書第7章</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>削孔</td> <td>IV-3-⑩ 4-1～3 コンクリート削孔</td> <td>表4-7-11～15 コンクリート削孔 表4-7-19 コンクリート削孔工歩掛</td> <td rowspan="4">①-1 アンカーボルト工</td> </tr> <tr> <td>孔内清掃</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>樹脂カプセル挿入</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>アンカーボルト埋込</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>◇積算上の留意点 接着系アンカー（注入式）の歩掛は「下向き」「横向き」のアンカー工に適用するもので「上向き」は別途考慮する必要がある。</p>	工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書第7章	削孔	—	—	①-1 アンカーボルト工	孔内清掃	—	—	アンカーボルト挿入	—	—	打込・締付先端拡張	—	—	工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書第7章	削孔	IV-3-⑩ 4-1～3 コンクリート削孔	表4-7-11～14 コンクリート削孔 表4-7-19 コンクリート削孔工歩掛	①-1 アンカーボルト工	孔内清掃	IV-3-⑩ 4-4 アンカー	表4-7-16・17 アンカー 表4-7-20 アンカー工歩掛	アンカーボルト挿入	エポキシ樹脂注入	工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書第7章	削孔	IV-3-⑩ 4-1～3 コンクリート削孔	表4-7-11～15 コンクリート削孔 表4-7-19 コンクリート削孔工歩掛	①-1 アンカーボルト工	孔内清掃	—	—	樹脂カプセル挿入	—	—	アンカーボルト埋込	—	—
工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書第7章																																																																																											
削孔	IV-7-③ 14. (4) アンカーボルト	—	①-1 アンカーボルト工																																																																																											
孔内清掃		—																																																																																												
アンカーボルト挿入		—																																																																																												
打込・締付先端拡張		—																																																																																												
工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書第7章																																																																																											
削孔	IV-3-⑩ 4-1～3 コンクリート削孔	表4-7-10～14 コンクリート削孔 表4-7-18 コンクリート削孔工歩掛	①-1 アンカーボルト工																																																																																											
孔内清掃	IV-3-⑩ 4-4 アンカー	表4-7-15・16 アンカー 表4-7-19 アンカー工歩掛																																																																																												
アンカーボルト挿入																																																																																														
エポキシ樹脂注入																																																																																														
工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書第7章																																																																																											
削孔	IV-3-⑩ 4-1～3 コンクリート削孔	表4-7-10～14 コンクリート削孔 表4-7-18 コンクリート削孔工歩掛	①-1 アンカーボルト工																																																																																											
孔内清掃	—	—																																																																																												
樹脂カプセル挿入	—	—																																																																																												
アンカーボルト埋込	—	—																																																																																												
工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書第7章																																																																																											
削孔	—	—	①-1 アンカーボルト工																																																																																											
孔内清掃	—	—																																																																																												
アンカーボルト挿入	—	—																																																																																												
打込・締付先端拡張	—	—																																																																																												
工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書第7章																																																																																											
削孔	IV-3-⑩ 4-1～3 コンクリート削孔	表4-7-11～14 コンクリート削孔 表4-7-19 コンクリート削孔工歩掛	①-1 アンカーボルト工																																																																																											
孔内清掃	IV-3-⑩ 4-4 アンカー	表4-7-16・17 アンカー 表4-7-20 アンカー工歩掛																																																																																												
アンカーボルト挿入																																																																																														
エポキシ樹脂注入																																																																																														
工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書第7章																																																																																											
削孔	IV-3-⑩ 4-1～3 コンクリート削孔	表4-7-11～15 コンクリート削孔 表4-7-19 コンクリート削孔工歩掛	①-1 アンカーボルト工																																																																																											
孔内清掃	—	—																																																																																												
樹脂カプセル挿入	—	—																																																																																												
アンカーボルト埋込	—	—																																																																																												

頁	項目	改定前	改定後																																																																		
247	第2章⑱ 外ケーブル方式による補強工	<p style="text-align: right;">⑱ 外ケーブル方式による補強工 247</p> <p>2) 主要材料表</p> <table border="1" data-bbox="512 331 1151 456"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>用途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外ケーブル</td> <td>防錆被覆 PC 鋼より線 F-20TS~F200TS</td> <td>補強ケーブル</td> </tr> <tr> <td>緊結材</td> <td>普通 PC 鋼棒、中空 PC 鋼棒、アラミドロッド等</td> <td>定着及び偏向装置を主桁に緊結する</td> </tr> <tr> <td>定着及び偏向装置</td> <td>コンクリート製、鋼製</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2 施工手順及び積算情報</p> <div data-bbox="490 533 1176 933" style="background-color: #f0f0f0; padding: 10px;"> </div> <p style="text-align: center;">積算基準対応表</p> <table border="1" data-bbox="490 978 1176 1134"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足場設置・撤去</td> <td>—————</td> <td>4.2.2 PC 橋補修用足場工</td> </tr> <tr> <td>定着部及び偏向部位置の測量</td> <td>—————</td> <td>表4-18-14 近接調査計測工</td> </tr> <tr> <td>鉄筋及びPC鋼材の探査</td> <td>—————</td> <td>表4-7-3 鉄筋探査工</td> </tr> <tr> <td>定着部及び偏向部の施工</td> <td>—————</td> <td>表4-18-13 定着装置工、表4-18-32 偏向装置工</td> </tr> <tr> <td>外ケーブルの施工</td> <td>—————</td> <td>表4-18-33 補強ケーブル工</td> </tr> <tr> <td>防錆処理</td> <td>—————</td> <td>表4-18-33 補強ケーブル工に含む</td> </tr> </tbody> </table> <p>◇積算上の留意点</p> <ol style="list-style-type: none"> 上記は定着部をコンクリート製とした場合であり、鋼製ブラケットを使用する場合は別途検討が必要である。 既設桁内鋼材の探査にX線を使用する場合は、積算・見積に反映する。 打継ぎ面の表面処理方法にウォータージェットまたはブラスト機を使用する場合は、積算・見積に反映する。 	名称	規格	用途	外ケーブル	防錆被覆 PC 鋼より線 F-20TS~F200TS	補強ケーブル	緊結材	普通 PC 鋼棒、中空 PC 鋼棒、アラミドロッド等	定着及び偏向装置を主桁に緊結する	定着及び偏向装置	コンクリート製、鋼製		工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	足場設置・撤去	—————	4.2.2 PC 橋補修用足場工	定着部及び偏向部位置の測量	—————	表4-18-14 近接調査計測工	鉄筋及びPC鋼材の探査	—————	表4-7-3 鉄筋探査工	定着部及び偏向部の施工	—————	表4-18-13 定着装置工、表4-18-32 偏向装置工	外ケーブルの施工	—————	表4-18-33 補強ケーブル工	防錆処理	—————	表4-18-33 補強ケーブル工に含む	<p style="text-align: right;">⑱ 外ケーブル方式による補強工 247</p> <p>2) 主要材料表</p> <table border="1" data-bbox="1350 331 1989 456"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>用途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外ケーブル</td> <td>防錆被覆 PC 鋼より線 F-20TS~F200TS</td> <td>補強ケーブル</td> </tr> <tr> <td>緊結材</td> <td>普通 PC 鋼棒、中空 PC 鋼棒、アラミドロッド等</td> <td>定着及び偏向装置を主桁に緊結する</td> </tr> <tr> <td>定着及び偏向装置</td> <td>コンクリート製、鋼製</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2 施工手順及び積算情報</p> <div data-bbox="1328 533 2016 933" style="background-color: #f0f0f0; padding: 10px;"> </div> <p style="text-align: center;">積算基準対応表</p> <table border="1" data-bbox="1328 978 2016 1134"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足場設置・撤去</td> <td>—————</td> <td>4.2.2 PC 橋補修用足場工</td> </tr> <tr> <td>定着部及び偏向部位置の測量</td> <td>—————</td> <td>表4-18-14 近接調査計測工</td> </tr> <tr> <td>鉄筋及びPC鋼材の探査</td> <td>—————</td> <td>表4-7-4 鉄筋探査工</td> </tr> <tr> <td>定着部及び偏向部の施工</td> <td>—————</td> <td>表4-18-13 定着装置工、表4-18-32 偏向装置工</td> </tr> <tr> <td>外ケーブルの施工</td> <td>—————</td> <td>表4-18-33 補強ケーブル工</td> </tr> <tr> <td>防錆処理</td> <td>—————</td> <td>表4-18-33 補強ケーブル工に含む</td> </tr> </tbody> </table> <p>◇積算上の留意点</p> <ol style="list-style-type: none"> 上記は定着部をコンクリート製とした場合であり、鋼製ブラケットを使用する場合は別途検討が必要である。 既設桁内鋼材の探査にX線を使用する場合は、積算・見積に反映する。 打継ぎ面の表面処理方法にウォータージェットまたはブラスト機を使用する場合は、積算・見積に反映する。 	名称	規格	用途	外ケーブル	防錆被覆 PC 鋼より線 F-20TS~F200TS	補強ケーブル	緊結材	普通 PC 鋼棒、中空 PC 鋼棒、アラミドロッド等	定着及び偏向装置を主桁に緊結する	定着及び偏向装置	コンクリート製、鋼製		工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	足場設置・撤去	—————	4.2.2 PC 橋補修用足場工	定着部及び偏向部位置の測量	—————	表4-18-14 近接調査計測工	鉄筋及びPC鋼材の探査	—————	表4-7-4 鉄筋探査工	定着部及び偏向部の施工	—————	表4-18-13 定着装置工、表4-18-32 偏向装置工	外ケーブルの施工	—————	表4-18-33 補強ケーブル工	防錆処理	—————	表4-18-33 補強ケーブル工に含む
名称	規格	用途																																																																			
外ケーブル	防錆被覆 PC 鋼より線 F-20TS~F200TS	補強ケーブル																																																																			
緊結材	普通 PC 鋼棒、中空 PC 鋼棒、アラミドロッド等	定着及び偏向装置を主桁に緊結する																																																																			
定着及び偏向装置	コンクリート製、鋼製																																																																				
工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算																																																																			
足場設置・撤去	—————	4.2.2 PC 橋補修用足場工																																																																			
定着部及び偏向部位置の測量	—————	表4-18-14 近接調査計測工																																																																			
鉄筋及びPC鋼材の探査	—————	表4-7-3 鉄筋探査工																																																																			
定着部及び偏向部の施工	—————	表4-18-13 定着装置工、表4-18-32 偏向装置工																																																																			
外ケーブルの施工	—————	表4-18-33 補強ケーブル工																																																																			
防錆処理	—————	表4-18-33 補強ケーブル工に含む																																																																			
名称	規格	用途																																																																			
外ケーブル	防錆被覆 PC 鋼より線 F-20TS~F200TS	補強ケーブル																																																																			
緊結材	普通 PC 鋼棒、中空 PC 鋼棒、アラミドロッド等	定着及び偏向装置を主桁に緊結する																																																																			
定着及び偏向装置	コンクリート製、鋼製																																																																				
工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算																																																																			
足場設置・撤去	—————	4.2.2 PC 橋補修用足場工																																																																			
定着部及び偏向部位置の測量	—————	表4-18-14 近接調査計測工																																																																			
鉄筋及びPC鋼材の探査	—————	表4-7-4 鉄筋探査工																																																																			
定着部及び偏向部の施工	—————	表4-18-13 定着装置工、表4-18-32 偏向装置工																																																																			
外ケーブルの施工	—————	表4-18-33 補強ケーブル工																																																																			
防錆処理	—————	表4-18-33 補強ケーブル工に含む																																																																			

頁	項目	改定前	改定後																																																												
272	第3章② 床版下面増厚工	<p>272 第3章 橋梁床版</p> <p>2 施工手順及び積算情報</p> <p>増厚工を吹付方式とした場合の作業フローを示す。</p>  <p style="text-align: center;">積算基準対応表</p> <table border="1" data-bbox="488 1058 1176 1281"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足場設置・撤去</td> <td>_____</td> <td>表4-2-14・15 損料及び歩掛係数⑧⑨</td> </tr> <tr> <td>調査</td> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>下地ケレン</td> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>鉄筋探査</td> <td>_____</td> <td>表4-7-3 鉄筋探査工歩掛</td> </tr> <tr> <td>あと施工アンカー設置</td> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>鉄筋組立</td> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>型枠設置</td> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>プライマー塗布</td> <td>_____</td> <td>表4-13-6 プライマー工歩掛</td> </tr> <tr> <td>増厚(吹付)</td> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> </tbody> </table>	工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	足場設置・撤去	_____	表4-2-14・15 損料及び歩掛係数⑧⑨	調査	_____	_____	下地ケレン	_____	_____	鉄筋探査	_____	表4-7-3 鉄筋探査工歩掛	あと施工アンカー設置	_____	_____	鉄筋組立	_____	_____	型枠設置	_____	_____	プライマー塗布	_____	表4-13-6 プライマー工歩掛	増厚(吹付)	_____	_____	<p>272 第3章 橋梁床版</p> <p>2 施工手順及び積算情報</p> <p>増厚工を吹付方式とした場合の作業フローを示す。</p>  <p style="text-align: center;">積算基準対応表</p> <table border="1" data-bbox="1323 1058 2011 1281"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足場設置・撤去</td> <td>_____</td> <td>表4-2-14・15 損料及び歩掛係数⑧⑨</td> </tr> <tr> <td>調査</td> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>下地ケレン</td> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>鉄筋探査</td> <td>_____</td> <td>表4-7-4 鉄筋探査工歩掛</td> </tr> <tr> <td>あと施工アンカー設置</td> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>鉄筋組立</td> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>型枠設置</td> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>プライマー塗布</td> <td>_____</td> <td>表4-13-6 プライマー工歩掛</td> </tr> <tr> <td>増厚(吹付)</td> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> </tbody> </table>	工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	足場設置・撤去	_____	表4-2-14・15 損料及び歩掛係数⑧⑨	調査	_____	_____	下地ケレン	_____	_____	鉄筋探査	_____	表4-7-4 鉄筋探査工歩掛	あと施工アンカー設置	_____	_____	鉄筋組立	_____	_____	型枠設置	_____	_____	プライマー塗布	_____	表4-13-6 プライマー工歩掛	増厚(吹付)	_____	_____
工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算																																																													
足場設置・撤去	_____	表4-2-14・15 損料及び歩掛係数⑧⑨																																																													
調査	_____	_____																																																													
下地ケレン	_____	_____																																																													
鉄筋探査	_____	表4-7-3 鉄筋探査工歩掛																																																													
あと施工アンカー設置	_____	_____																																																													
鉄筋組立	_____	_____																																																													
型枠設置	_____	_____																																																													
プライマー塗布	_____	表4-13-6 プライマー工歩掛																																																													
増厚(吹付)	_____	_____																																																													
工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算																																																													
足場設置・撤去	_____	表4-2-14・15 損料及び歩掛係数⑧⑨																																																													
調査	_____	_____																																																													
下地ケレン	_____	_____																																																													
鉄筋探査	_____	表4-7-4 鉄筋探査工歩掛																																																													
あと施工アンカー設置	_____	_____																																																													
鉄筋組立	_____	_____																																																													
型枠設置	_____	_____																																																													
プライマー塗布	_____	表4-13-6 プライマー工歩掛																																																													
増厚(吹付)	_____	_____																																																													

頁	項目	改定前	改定後																																																
277	第3章③ 連続繊維シート接着工	<div style="text-align: right;">③ 連続繊維シート接着工 277</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 2 施工手順及び積算情報 </div>  <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;"> 積算基準対応表 </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下地処理</td> <td>IV-3-⑩ 表5.2 下地処理工歩掛</td> <td>表4-13-5 下地処理工歩掛</td> </tr> <tr> <td>プライマー塗布</td> <td>IV-3-⑩ 表5.3 プライマー工歩掛</td> <td>表4-13-6 プライマー工歩掛</td> </tr> <tr> <td>不陸修正</td> <td>IV-3-⑩ 表5.4 不陸修正工歩掛</td> <td>表4-13-7 不陸修正工歩掛</td> </tr> <tr> <td>含浸接着剤下塗り</td> <td>IV-3-⑩ 表5.5 炭素繊維シート接着工歩掛</td> <td>表4-13-8 炭素繊維シート接着工歩掛</td> </tr> <tr> <td>連続繊維シート貼付</td> <td>IV-3-⑩ 表5.5 炭素繊維シート接着工歩掛</td> <td>表4-13-8 炭素繊維シート接着工歩掛</td> </tr> <tr> <td>含浸接着剤上塗り</td> <td>IV-3-⑩ 表5.7 仕上げ塗装工歩掛</td> <td>表4-13-10 仕上げ塗装工歩掛</td> </tr> <tr> <td>表面仕上</td> <td>IV-3-⑩ 表5.7 仕上げ塗装工歩掛</td> <td>表4-13-10 仕上げ塗装工歩掛</td> </tr> </tbody> </table> <p>※土木コスト情報 土木工事標準単価「剥落防止工（アラミドメッシュ）」</p> <p>◇積算上の留意点</p> <ol style="list-style-type: none"> ひび割れがある場合は補修するものとしひび割れ注入工は別途計上する。 連続繊維シートを複数層貼付ける場合は、層数分の施工費を計上する。 連続繊維シート材料費にはロス分を考慮する必要がある。 土木コスト情報 土木工事標準単価を用いる場合は適用条件に留意すること。 	工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	下地処理	IV-3-⑩ 表5.2 下地処理工歩掛	表4-13-5 下地処理工歩掛	プライマー塗布	IV-3-⑩ 表5.3 プライマー工歩掛	表4-13-6 プライマー工歩掛	不陸修正	IV-3-⑩ 表5.4 不陸修正工歩掛	表4-13-7 不陸修正工歩掛	含浸接着剤下塗り	IV-3-⑩ 表5.5 炭素繊維シート接着工歩掛	表4-13-8 炭素繊維シート接着工歩掛	連続繊維シート貼付	IV-3-⑩ 表5.5 炭素繊維シート接着工歩掛	表4-13-8 炭素繊維シート接着工歩掛	含浸接着剤上塗り	IV-3-⑩ 表5.7 仕上げ塗装工歩掛	表4-13-10 仕上げ塗装工歩掛	表面仕上	IV-3-⑩ 表5.7 仕上げ塗装工歩掛	表4-13-10 仕上げ塗装工歩掛	<div style="text-align: right;">③ 連続繊維シート接着工 277</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 2 施工手順及び積算情報 </div>  <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;"> 積算基準対応表 </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下地処理</td> <td>IV-3-⑩ 表5.2 下地処理工歩掛</td> <td>表4-13-5 下地処理工歩掛</td> </tr> <tr> <td>プライマー塗布</td> <td>IV-3-⑩ 表5.3 プライマー工歩掛</td> <td>表4-13-6 プライマー工歩掛</td> </tr> <tr> <td>不陸修正</td> <td>IV-3-⑩ 表5.4 不陸修正工歩掛</td> <td>表4-13-7 不陸修正工歩掛</td> </tr> <tr> <td>含浸接着剤下塗り</td> <td>IV-3-⑩ 表5.5 炭素繊維シート接着工歩掛</td> <td>表4-13-8 炭素繊維シート接着工歩掛</td> </tr> <tr> <td>連続繊維シート貼付</td> <td>IV-3-⑩ 表5.5 炭素繊維シート接着工歩掛</td> <td>表4-13-8 炭素繊維シート接着工歩掛</td> </tr> <tr> <td>含浸接着剤上塗り</td> <td>IV-3-⑩ 表5.7 仕上げ塗装工歩掛</td> <td>表4-13-10 仕上げ塗装工歩掛 (2層当り)</td> </tr> <tr> <td>表面仕上</td> <td>IV-3-⑩ 表5.7 仕上げ塗装工歩掛</td> <td>表4-13-10 仕上げ塗装工歩掛 (2層当り)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※土木コスト情報 土木工事標準単価「剥落防止工（アラミドメッシュ）」</p> <p>◇積算上の留意点</p> <ol style="list-style-type: none"> ひび割れがある場合は補修するものとしひび割れ注入工は別途計上する。 連続繊維シートを複数層貼付ける場合は、層数分の施工費を計上する。 連続繊維シート材料費にはロス分を考慮する必要がある。 土木コスト情報 土木工事標準単価を用いる場合は適用条件に留意すること。 	工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	下地処理	IV-3-⑩ 表5.2 下地処理工歩掛	表4-13-5 下地処理工歩掛	プライマー塗布	IV-3-⑩ 表5.3 プライマー工歩掛	表4-13-6 プライマー工歩掛	不陸修正	IV-3-⑩ 表5.4 不陸修正工歩掛	表4-13-7 不陸修正工歩掛	含浸接着剤下塗り	IV-3-⑩ 表5.5 炭素繊維シート接着工歩掛	表4-13-8 炭素繊維シート接着工歩掛	連続繊維シート貼付	IV-3-⑩ 表5.5 炭素繊維シート接着工歩掛	表4-13-8 炭素繊維シート接着工歩掛	含浸接着剤上塗り	IV-3-⑩ 表5.7 仕上げ塗装工歩掛	表4-13-10 仕上げ塗装工歩掛 (2層当り)	表面仕上	IV-3-⑩ 表5.7 仕上げ塗装工歩掛	表4-13-10 仕上げ塗装工歩掛 (2層当り)
工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算																																																	
下地処理	IV-3-⑩ 表5.2 下地処理工歩掛	表4-13-5 下地処理工歩掛																																																	
プライマー塗布	IV-3-⑩ 表5.3 プライマー工歩掛	表4-13-6 プライマー工歩掛																																																	
不陸修正	IV-3-⑩ 表5.4 不陸修正工歩掛	表4-13-7 不陸修正工歩掛																																																	
含浸接着剤下塗り	IV-3-⑩ 表5.5 炭素繊維シート接着工歩掛	表4-13-8 炭素繊維シート接着工歩掛																																																	
連続繊維シート貼付	IV-3-⑩ 表5.5 炭素繊維シート接着工歩掛	表4-13-8 炭素繊維シート接着工歩掛																																																	
含浸接着剤上塗り	IV-3-⑩ 表5.7 仕上げ塗装工歩掛	表4-13-10 仕上げ塗装工歩掛																																																	
表面仕上	IV-3-⑩ 表5.7 仕上げ塗装工歩掛	表4-13-10 仕上げ塗装工歩掛																																																	
工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算																																																	
下地処理	IV-3-⑩ 表5.2 下地処理工歩掛	表4-13-5 下地処理工歩掛																																																	
プライマー塗布	IV-3-⑩ 表5.3 プライマー工歩掛	表4-13-6 プライマー工歩掛																																																	
不陸修正	IV-3-⑩ 表5.4 不陸修正工歩掛	表4-13-7 不陸修正工歩掛																																																	
含浸接着剤下塗り	IV-3-⑩ 表5.5 炭素繊維シート接着工歩掛	表4-13-8 炭素繊維シート接着工歩掛																																																	
連続繊維シート貼付	IV-3-⑩ 表5.5 炭素繊維シート接着工歩掛	表4-13-8 炭素繊維シート接着工歩掛																																																	
含浸接着剤上塗り	IV-3-⑩ 表5.7 仕上げ塗装工歩掛	表4-13-10 仕上げ塗装工歩掛 (2層当り)																																																	
表面仕上	IV-3-⑩ 表5.7 仕上げ塗装工歩掛	表4-13-10 仕上げ塗装工歩掛 (2層当り)																																																	

改訂2版 橋梁補修の解説と積算 改定情報

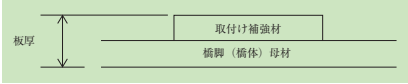
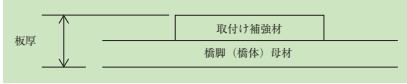
(2023年7月)

頁	項目	改定前	改定後																																																																																																																																																																																										
290	第3章⑤ 床版取替工 (プレキャストPC床版)	<p>290 第3章 橋梁床版</p> <p>積算基準対応表（橋軸方向がPC構造）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>既設床版・壁高欄切断</td> <td>—</td> <td>表4-6-1 高欄撤去工歩掛</td> </tr> <tr> <td>既設床版縁切り</td> <td>—</td> <td>表4-6-4 切断工歩掛</td> </tr> <tr> <td>既設床版・壁高欄撤去</td> <td>—</td> <td>表4-6-5 床版撤去工歩掛（二次破砕無し） 表4-6-6 床版撤去工歩掛（二次破砕有り）</td> </tr> <tr> <td>ブランジ上面はつり・ケレン</td> <td>—</td> <td rowspan="7">表4-6-17 プレキャストPC床版設置工歩掛</td> </tr> <tr> <td>ブランジ上面シール材貼付</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>プレキャストPC床版架設</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>目地部モルタル充填</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>橋軸方向プレストレス導入</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>すれ止め取付</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>版下・ジベル用箱抜き部モルタル充填</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>伸縮装置設置</td> <td>VI-2-⑥ ⑥ 橋梁付属物工</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>場所打ち床版部施工</td> <td>—</td> <td>2.8.3(4) 場所打ちPC床版工</td> </tr> <tr> <td>PCグラウト注入</td> <td>—</td> <td>表4-6-17 プレキャストPC床版設置工歩掛に含む</td> </tr> <tr> <td>地覆・壁高欄</td> <td>IV-3-⑩ ⑩-1 橋梁地覆補修工</td> <td>表4-6-17 プレキャストPC床版設置工歩掛</td> </tr> <tr> <td>橋面防水</td> <td>VI-2-⑩ ⑩ 橋面防水工</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>アスファルト舗装</td> <td>IV-1-② ②-1 アスファルト舗装工</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>積算基準対応表（橋軸方向がRC構造）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>既設床版・壁高欄切断</td> <td>—</td> <td>表4-6-1 高欄撤去工歩掛</td> </tr> <tr> <td>既設床版縁切り</td> <td>—</td> <td>表4-6-4 切断工歩掛</td> </tr> <tr> <td>既設床版・壁高欄撤去</td> <td>—</td> <td>表4-6-5 床版撤去工歩掛（二次破砕無し） 表4-6-6 床版撤去工歩掛（二次破砕有り）</td> </tr> <tr> <td>ブランジ上面はつり・ケレン</td> <td>—</td> <td>表4-6-12 主桁ブランジ処理工歩掛</td> </tr> <tr> <td>ブランジ上面シール材貼付</td> <td>—</td> <td>表2-8-31 主桁上フランジシール工歩掛</td> </tr> <tr> <td>プレキャストPC床版架設</td> <td>—</td> <td>表2-8-33 プレキャストPC床版架設工歩掛 表2-8-34 プレキャストPC床版調整工歩掛</td> </tr> <tr> <td>すれ止め取付</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>間詰め部型枠・鉄筋組立</td> <td>—</td> <td>表2-8-35 PC床版接合部シール工歩掛 表2-8-37 鉄筋工歩掛 表2-8-39 小口型枠工歩掛</td> </tr> <tr> <td>版下・ジベル用箱抜き部モルタル充填</td> <td>—</td> <td>表2-8-44 無収縮モルタル工歩掛</td> </tr> <tr> <td>間詰め部・箱抜き部コンクリート打設</td> <td>—</td> <td>表2-8-40 コンクリート工歩掛 表2-8-43 無収縮モルタル工歩掛</td> </tr> <tr> <td>伸縮装置設置</td> <td>VI-2-⑥ ⑥ 橋梁付属物工</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>場所打ち床版部施工</td> <td>—</td> <td>2.8.3(4) 場所打ちPC床版工</td> </tr> <tr> <td>地覆・壁高欄</td> <td>IV-3-⑩ ⑩-1 橋梁地覆補修工</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>橋面防水</td> <td>VI-2-⑩ ⑩ 橋面防水工</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>アスファルト舗装</td> <td>IV-1-② ②-1 アスファルト舗装工</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>◇積算上の留意点</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 全面通行止めや片側車線交互通行、工事時間外交通開放など交通量や迂回路の有無など現場環境により施工方法や交通規制方法が異なるため、条件に合わせて積算・見積りを行うとともに、工事期間中の交通誘導警備員の配置等も積算・見積りに反映させる必要がある。 ② 急速施工で行う床版取替工事では、撤去した既設床版や新設するプレキャストPC床版を一時的に保管する仮置ヤードを積算・見積りに反映させる必要がある。 ③ 床版取替工のプレキャストPC床版設置歩掛は、橋軸方向PC構造の歩掛となっているため、橋軸方向がRC構造の場合は、鋼橋新設の床版工を準用する必要がある。 	工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	既設床版・壁高欄切断	—	表4-6-1 高欄撤去工歩掛	既設床版縁切り	—	表4-6-4 切断工歩掛	既設床版・壁高欄撤去	—	表4-6-5 床版撤去工歩掛（二次破砕無し） 表4-6-6 床版撤去工歩掛（二次破砕有り）	ブランジ上面はつり・ケレン	—	表4-6-17 プレキャストPC床版設置工歩掛	ブランジ上面シール材貼付	—	プレキャストPC床版架設	—	目地部モルタル充填	—	橋軸方向プレストレス導入	—	すれ止め取付	—	版下・ジベル用箱抜き部モルタル充填	—	伸縮装置設置	VI-2-⑥ ⑥ 橋梁付属物工	—	場所打ち床版部施工	—	2.8.3(4) 場所打ちPC床版工	PCグラウト注入	—	表4-6-17 プレキャストPC床版設置工歩掛に含む	地覆・壁高欄	IV-3-⑩ ⑩-1 橋梁地覆補修工	表4-6-17 プレキャストPC床版設置工歩掛	橋面防水	VI-2-⑩ ⑩ 橋面防水工	—	アスファルト舗装	IV-1-② ②-1 アスファルト舗装工	—	工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	既設床版・壁高欄切断	—	表4-6-1 高欄撤去工歩掛	既設床版縁切り	—	表4-6-4 切断工歩掛	既設床版・壁高欄撤去	—	表4-6-5 床版撤去工歩掛（二次破砕無し） 表4-6-6 床版撤去工歩掛（二次破砕有り）	ブランジ上面はつり・ケレン	—	表4-6-12 主桁ブランジ処理工歩掛	ブランジ上面シール材貼付	—	表2-8-31 主桁上フランジシール工歩掛	プレキャストPC床版架設	—	表2-8-33 プレキャストPC床版架設工歩掛 表2-8-34 プレキャストPC床版調整工歩掛	すれ止め取付	—	—	間詰め部型枠・鉄筋組立	—	表2-8-35 PC床版接合部シール工歩掛 表2-8-37 鉄筋工歩掛 表2-8-39 小口型枠工歩掛	版下・ジベル用箱抜き部モルタル充填	—	表2-8-44 無収縮モルタル工歩掛	間詰め部・箱抜き部コンクリート打設	—	表2-8-40 コンクリート工歩掛 表2-8-43 無収縮モルタル工歩掛	伸縮装置設置	VI-2-⑥ ⑥ 橋梁付属物工	—	場所打ち床版部施工	—	2.8.3(4) 場所打ちPC床版工	地覆・壁高欄	IV-3-⑩ ⑩-1 橋梁地覆補修工	—	橋面防水	VI-2-⑩ ⑩ 橋面防水工	—	アスファルト舗装	IV-1-② ②-1 アスファルト舗装工	—	<p>290 第3章 橋梁床版</p> <p>積算基準対応表（橋軸方向がPC構造）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>既設床版・壁高欄切断</td> <td>—</td> <td>表4-6-1 高欄撤去工歩掛</td> </tr> <tr> <td>既設床版縁切り</td> <td>—</td> <td>表4-6-4 切断工歩掛</td> </tr> <tr> <td>既設床版・壁高欄撤去</td> <td>—</td> <td>表4-6-5 床版撤去工歩掛（二次破砕無し） 表4-6-6 床版撤去工歩掛（二次破砕有り）</td> </tr> <tr> <td>ブランジ上面はつり・ケレン</td> <td>—</td> <td rowspan="7">表4-6-17 プレキャストPC床版設置工歩掛</td> </tr> <tr> <td>ブランジ上面シール材貼付</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>プレキャストPC床版架設</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>目地部モルタル充填</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>橋軸方向プレストレス導入</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>すれ止め取付</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>版下・ジベル用箱抜き部モルタル充填</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>伸縮装置設置</td> <td>VI-2-⑥ ⑥ 橋梁付属物工</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>場所打ち床版部施工</td> <td>—</td> <td>2.8.3(4) 場所打ちPC床版工</td> </tr> <tr> <td>PCグラウト注入</td> <td>—</td> <td>表4-6-17 プレキャストPC床版設置工歩掛に含む</td> </tr> <tr> <td>地覆・壁高欄</td> <td>IV-3-⑩ ⑩-1 橋梁地覆補修工</td> <td>表4-6-17 プレキャストPC床版設置工歩掛</td> </tr> <tr> <td>橋面防水</td> <td>VI-2-⑩ ⑩ 橋面防水工</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>アスファルト舗装</td> <td>IV-1-② ②-1 アスファルト舗装工</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>積算基準対応表（橋軸方向がRC構造）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>既設床版・壁高欄切断</td> <td>—</td> <td>表4-6-1 高欄撤去工歩掛</td> </tr> <tr> <td>既設床版縁切り</td> <td>—</td> <td>表4-6-4 切断工歩掛</td> </tr> <tr> <td>既設床版・壁高欄撤去</td> <td>—</td> <td>表4-6-5 床版撤去工歩掛（二次破砕無し） 表4-6-6 床版撤去工歩掛（二次破砕有り）</td> </tr> <tr> <td>ブランジ上面はつり・ケレン</td> <td>—</td> <td>表4-6-12 主桁ブランジ処理工歩掛</td> </tr> <tr> <td>ブランジ上面シール材貼付</td> <td>—</td> <td>表2-8-33 主桁上フランジシール工歩掛</td> </tr> <tr> <td>プレキャストPC床版架設</td> <td>—</td> <td>表2-8-35 プレキャストPC床版架設工歩掛 表2-8-36 プレキャストPC床版調整工歩掛</td> </tr> <tr> <td>すれ止め取付</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>間詰め部型枠・鉄筋組立</td> <td>—</td> <td>表2-8-37 PC床版接合部シール工歩掛 表2-8-39 鉄筋工歩掛 表2-8-41 小口型枠工歩掛</td> </tr> <tr> <td>版下・ジベル用箱抜き部モルタル充填</td> <td>—</td> <td>表2-8-46 無収縮モルタル工歩掛</td> </tr> <tr> <td>間詰め部・箱抜き部コンクリート打設</td> <td>—</td> <td>表2-8-42 コンクリート工歩掛 表2-8-45 46 無収縮モルタル工歩掛</td> </tr> <tr> <td>伸縮装置設置</td> <td>VI-2-⑥ ⑥ 橋梁付属物工</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>場所打ち床版部施工</td> <td>—</td> <td>2.8.3(4) 場所打ちPC床版工</td> </tr> <tr> <td>地覆・壁高欄</td> <td>IV-3-⑩ ⑩-1 橋梁地覆補修工</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>橋面防水</td> <td>VI-2-⑩ ⑩ 橋面防水工</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>アスファルト舗装</td> <td>IV-1-② ②-1 アスファルト舗装工</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>◇積算上の留意点</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 全面通行止めや片側車線交互通行、工事時間外交通開放など交通量や迂回路の有無など現場環境により施工方法や交通規制方法が異なるため、条件に合わせて積算・見積りを行うとともに、工事期間中の交通誘導警備員の配置等も積算・見積りに反映させる必要がある。 ② 急速施工で行う床版取替工事では、撤去した既設床版や新設するプレキャストPC床版を一時的に保管する仮置ヤードを積算・見積りに反映させる必要がある。 ③ 床版取替工のプレキャストPC床版設置歩掛は、橋軸方向PC構造の歩掛となっているため、橋軸方向がRC構造の場合は、鋼橋新設の床版工を準用する必要がある。 	工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	既設床版・壁高欄切断	—	表4-6-1 高欄撤去工歩掛	既設床版縁切り	—	表4-6-4 切断工歩掛	既設床版・壁高欄撤去	—	表4-6-5 床版撤去工歩掛（二次破砕無し） 表4-6-6 床版撤去工歩掛（二次破砕有り）	ブランジ上面はつり・ケレン	—	表4-6-17 プレキャストPC床版設置工歩掛	ブランジ上面シール材貼付	—	プレキャストPC床版架設	—	目地部モルタル充填	—	橋軸方向プレストレス導入	—	すれ止め取付	—	版下・ジベル用箱抜き部モルタル充填	—	伸縮装置設置	VI-2-⑥ ⑥ 橋梁付属物工	—	場所打ち床版部施工	—	2.8.3(4) 場所打ちPC床版工	PCグラウト注入	—	表4-6-17 プレキャストPC床版設置工歩掛に含む	地覆・壁高欄	IV-3-⑩ ⑩-1 橋梁地覆補修工	表4-6-17 プレキャストPC床版設置工歩掛	橋面防水	VI-2-⑩ ⑩ 橋面防水工	—	アスファルト舗装	IV-1-② ②-1 アスファルト舗装工	—	工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	既設床版・壁高欄切断	—	表4-6-1 高欄撤去工歩掛	既設床版縁切り	—	表4-6-4 切断工歩掛	既設床版・壁高欄撤去	—	表4-6-5 床版撤去工歩掛（二次破砕無し） 表4-6-6 床版撤去工歩掛（二次破砕有り）	ブランジ上面はつり・ケレン	—	表4-6-12 主桁ブランジ処理工歩掛	ブランジ上面シール材貼付	—	表2-8-33 主桁上フランジシール工歩掛	プレキャストPC床版架設	—	表2-8-35 プレキャストPC床版架設工歩掛 表2-8-36 プレキャストPC床版調整工歩掛	すれ止め取付	—	—	間詰め部型枠・鉄筋組立	—	表2-8-37 PC床版接合部シール工歩掛 表2-8-39 鉄筋工歩掛 表2-8-41 小口型枠工歩掛	版下・ジベル用箱抜き部モルタル充填	—	表2-8-46 無収縮モルタル工歩掛	間詰め部・箱抜き部コンクリート打設	—	表2-8-42 コンクリート工歩掛 表2-8-45 46 無収縮モルタル工歩掛	伸縮装置設置	VI-2-⑥ ⑥ 橋梁付属物工	—	場所打ち床版部施工	—	2.8.3(4) 場所打ちPC床版工	地覆・壁高欄	IV-3-⑩ ⑩-1 橋梁地覆補修工	—	橋面防水	VI-2-⑩ ⑩ 橋面防水工	—	アスファルト舗装	IV-1-② ②-1 アスファルト舗装工	—
工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算																																																																																																																																																																																											
既設床版・壁高欄切断	—	表4-6-1 高欄撤去工歩掛																																																																																																																																																																																											
既設床版縁切り	—	表4-6-4 切断工歩掛																																																																																																																																																																																											
既設床版・壁高欄撤去	—	表4-6-5 床版撤去工歩掛（二次破砕無し） 表4-6-6 床版撤去工歩掛（二次破砕有り）																																																																																																																																																																																											
ブランジ上面はつり・ケレン	—	表4-6-17 プレキャストPC床版設置工歩掛																																																																																																																																																																																											
ブランジ上面シール材貼付	—																																																																																																																																																																																												
プレキャストPC床版架設	—																																																																																																																																																																																												
目地部モルタル充填	—																																																																																																																																																																																												
橋軸方向プレストレス導入	—																																																																																																																																																																																												
すれ止め取付	—																																																																																																																																																																																												
版下・ジベル用箱抜き部モルタル充填	—																																																																																																																																																																																												
伸縮装置設置	VI-2-⑥ ⑥ 橋梁付属物工	—																																																																																																																																																																																											
場所打ち床版部施工	—	2.8.3(4) 場所打ちPC床版工																																																																																																																																																																																											
PCグラウト注入	—	表4-6-17 プレキャストPC床版設置工歩掛に含む																																																																																																																																																																																											
地覆・壁高欄	IV-3-⑩ ⑩-1 橋梁地覆補修工	表4-6-17 プレキャストPC床版設置工歩掛																																																																																																																																																																																											
橋面防水	VI-2-⑩ ⑩ 橋面防水工	—																																																																																																																																																																																											
アスファルト舗装	IV-1-② ②-1 アスファルト舗装工	—																																																																																																																																																																																											
工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算																																																																																																																																																																																											
既設床版・壁高欄切断	—	表4-6-1 高欄撤去工歩掛																																																																																																																																																																																											
既設床版縁切り	—	表4-6-4 切断工歩掛																																																																																																																																																																																											
既設床版・壁高欄撤去	—	表4-6-5 床版撤去工歩掛（二次破砕無し） 表4-6-6 床版撤去工歩掛（二次破砕有り）																																																																																																																																																																																											
ブランジ上面はつり・ケレン	—	表4-6-12 主桁ブランジ処理工歩掛																																																																																																																																																																																											
ブランジ上面シール材貼付	—	表2-8-31 主桁上フランジシール工歩掛																																																																																																																																																																																											
プレキャストPC床版架設	—	表2-8-33 プレキャストPC床版架設工歩掛 表2-8-34 プレキャストPC床版調整工歩掛																																																																																																																																																																																											
すれ止め取付	—	—																																																																																																																																																																																											
間詰め部型枠・鉄筋組立	—	表2-8-35 PC床版接合部シール工歩掛 表2-8-37 鉄筋工歩掛 表2-8-39 小口型枠工歩掛																																																																																																																																																																																											
版下・ジベル用箱抜き部モルタル充填	—	表2-8-44 無収縮モルタル工歩掛																																																																																																																																																																																											
間詰め部・箱抜き部コンクリート打設	—	表2-8-40 コンクリート工歩掛 表2-8-43 無収縮モルタル工歩掛																																																																																																																																																																																											
伸縮装置設置	VI-2-⑥ ⑥ 橋梁付属物工	—																																																																																																																																																																																											
場所打ち床版部施工	—	2.8.3(4) 場所打ちPC床版工																																																																																																																																																																																											
地覆・壁高欄	IV-3-⑩ ⑩-1 橋梁地覆補修工	—																																																																																																																																																																																											
橋面防水	VI-2-⑩ ⑩ 橋面防水工	—																																																																																																																																																																																											
アスファルト舗装	IV-1-② ②-1 アスファルト舗装工	—																																																																																																																																																																																											
工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算																																																																																																																																																																																											
既設床版・壁高欄切断	—	表4-6-1 高欄撤去工歩掛																																																																																																																																																																																											
既設床版縁切り	—	表4-6-4 切断工歩掛																																																																																																																																																																																											
既設床版・壁高欄撤去	—	表4-6-5 床版撤去工歩掛（二次破砕無し） 表4-6-6 床版撤去工歩掛（二次破砕有り）																																																																																																																																																																																											
ブランジ上面はつり・ケレン	—	表4-6-17 プレキャストPC床版設置工歩掛																																																																																																																																																																																											
ブランジ上面シール材貼付	—																																																																																																																																																																																												
プレキャストPC床版架設	—																																																																																																																																																																																												
目地部モルタル充填	—																																																																																																																																																																																												
橋軸方向プレストレス導入	—																																																																																																																																																																																												
すれ止め取付	—																																																																																																																																																																																												
版下・ジベル用箱抜き部モルタル充填	—																																																																																																																																																																																												
伸縮装置設置	VI-2-⑥ ⑥ 橋梁付属物工	—																																																																																																																																																																																											
場所打ち床版部施工	—	2.8.3(4) 場所打ちPC床版工																																																																																																																																																																																											
PCグラウト注入	—	表4-6-17 プレキャストPC床版設置工歩掛に含む																																																																																																																																																																																											
地覆・壁高欄	IV-3-⑩ ⑩-1 橋梁地覆補修工	表4-6-17 プレキャストPC床版設置工歩掛																																																																																																																																																																																											
橋面防水	VI-2-⑩ ⑩ 橋面防水工	—																																																																																																																																																																																											
アスファルト舗装	IV-1-② ②-1 アスファルト舗装工	—																																																																																																																																																																																											
工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算																																																																																																																																																																																											
既設床版・壁高欄切断	—	表4-6-1 高欄撤去工歩掛																																																																																																																																																																																											
既設床版縁切り	—	表4-6-4 切断工歩掛																																																																																																																																																																																											
既設床版・壁高欄撤去	—	表4-6-5 床版撤去工歩掛（二次破砕無し） 表4-6-6 床版撤去工歩掛（二次破砕有り）																																																																																																																																																																																											
ブランジ上面はつり・ケレン	—	表4-6-12 主桁ブランジ処理工歩掛																																																																																																																																																																																											
ブランジ上面シール材貼付	—	表2-8-33 主桁上フランジシール工歩掛																																																																																																																																																																																											
プレキャストPC床版架設	—	表2-8-35 プレキャストPC床版架設工歩掛 表2-8-36 プレキャストPC床版調整工歩掛																																																																																																																																																																																											
すれ止め取付	—	—																																																																																																																																																																																											
間詰め部型枠・鉄筋組立	—	表2-8-37 PC床版接合部シール工歩掛 表2-8-39 鉄筋工歩掛 表2-8-41 小口型枠工歩掛																																																																																																																																																																																											
版下・ジベル用箱抜き部モルタル充填	—	表2-8-46 無収縮モルタル工歩掛																																																																																																																																																																																											
間詰め部・箱抜き部コンクリート打設	—	表2-8-42 コンクリート工歩掛 表2-8-45 46 無収縮モルタル工歩掛																																																																																																																																																																																											
伸縮装置設置	VI-2-⑥ ⑥ 橋梁付属物工	—																																																																																																																																																																																											
場所打ち床版部施工	—	2.8.3(4) 場所打ちPC床版工																																																																																																																																																																																											
地覆・壁高欄	IV-3-⑩ ⑩-1 橋梁地覆補修工	—																																																																																																																																																																																											
橋面防水	VI-2-⑩ ⑩ 橋面防水工	—																																																																																																																																																																																											
アスファルト舗装	IV-1-② ②-1 アスファルト舗装工	—																																																																																																																																																																																											

頁	項目	改定前	改定後																																																																																																																																
327	第4章⑤ 鋼製橋脚補強工	<p>⑤ 鋼製橋脚補強工 327</p> <p>積算基準対応表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> <th>本書 第7章</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足場設置・撤去</td> <td></td> <td>表4-2-4 損料及び歩掛係数①</td> <td>①-1 足場工</td> </tr> <tr> <td>芯出し調整</td> <td></td> <td>表4-7-2 芯出し調整工</td> <td>⑥-3 芯出し調整工</td> </tr> <tr> <td>部材取付部塗膜研削</td> <td></td> <td></td> <td>⑥-2 部材取付部塗膜研削工</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">鋼製橋脚孔明</td> <td></td> <td>表4-7-4 鋼桁孔明工</td> <td>②-10 鋼桁孔明工</td> </tr> <tr> <td></td> <td>表4-10-4 特殊HTB工</td> <td>②-6 特殊HTB工 (孔明け+本線工連続作業)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>表4-10-5 支圧HTB工</td> <td>②-7 支圧HTB工 (孔明け+打込み+本線工連続作業)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">補強部材取付</td> <td></td> <td></td> <td>⑦-2 荷卸し〜横取り〜仮置工 200kg以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>⑦-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>表4-10-6 増設部材架設工</td> <td>⑦-4 増設部材架設工 (増設横梁等取付撤去工)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>表4-10-7 増設橋梁部材架設工</td> <td>⑦-5 増設橋梁部材架設工</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">高力ボルト本線</td> <td></td> <td>表4-7-8 高力ボルト本線工</td> <td>②-1 補修工事高力ボルト本線工</td> </tr> <tr> <td></td> <td>表4-5-4 ワンサイドボルト本線工</td> <td>②-5 ワンサイドボルト本線工</td> </tr> <tr> <td></td> <td>表4-10-4 特殊HTB工</td> <td>②-6 特殊HTB工 (孔明け+本線工連続作業)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>表4-10-5 支圧HTB工</td> <td>②-7 支圧HTB工 (孔明け+打込み+本線工連続作業)</td> </tr> <tr> <td>ピンテール仕上げ</td> <td></td> <td>表4-7-9 ピンテール仕上げ工</td> <td>②-8 ピンテール仕上げ工</td> </tr> <tr> <td>現場溶接</td> <td></td> <td>表4-10-8 現場溶接工</td> <td>③-1 現場溶接工</td> </tr> <tr> <td>現場塗装</td> <td></td> <td>表4-5-5 小規模塗装工</td> <td>⑧-1 小規模現場塗装工</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 施工法</p> <p>あて板工法の例を次に示す。</p> <p>角柱隅角部の補強</p> <p>①補強作業</p> <p>②補強状況 (1)</p> <p>③補強状況 (2)</p> <p>丸柱隅角部の補強</p> <p>①補強作業</p> <p>②補強状況</p>	工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章	足場設置・撤去		表4-2-4 損料及び歩掛係数①	①-1 足場工	芯出し調整		表4-7-2 芯出し調整工	⑥-3 芯出し調整工	部材取付部塗膜研削			⑥-2 部材取付部塗膜研削工	鋼製橋脚孔明		表4-7-4 鋼桁孔明工	②-10 鋼桁孔明工		表4-10-4 特殊HTB工	②-6 特殊HTB工 (孔明け+本線工連続作業)		表4-10-5 支圧HTB工	②-7 支圧HTB工 (孔明け+打込み+本線工連続作業)	補強部材取付			⑦-2 荷卸し〜横取り〜仮置工 200kg以上			⑦-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上		表4-10-6 増設部材架設工	⑦-4 増設部材架設工 (増設横梁等取付撤去工)		表4-10-7 増設橋梁部材架設工	⑦-5 増設橋梁部材架設工	高力ボルト本線		表4-7-8 高力ボルト本線工	②-1 補修工事高力ボルト本線工		表4-5-4 ワンサイドボルト本線工	②-5 ワンサイドボルト本線工		表4-10-4 特殊HTB工	②-6 特殊HTB工 (孔明け+本線工連続作業)		表4-10-5 支圧HTB工	②-7 支圧HTB工 (孔明け+打込み+本線工連続作業)	ピンテール仕上げ		表4-7-9 ピンテール仕上げ工	②-8 ピンテール仕上げ工	現場溶接		表4-10-8 現場溶接工	③-1 現場溶接工	現場塗装		表4-5-5 小規模塗装工	⑧-1 小規模現場塗装工	<p>⑤ 鋼製橋脚補強工 327</p> <p>積算基準対応表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> <th>本書 第7章</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足場設置・撤去</td> <td></td> <td>表4-2-4 損料及び歩掛係数①</td> <td>①-1 足場工</td> </tr> <tr> <td>芯出し調整</td> <td></td> <td>表4-7-2 芯出し調整工</td> <td>⑥-3 芯出し調整工 (鋼材面用)</td> </tr> <tr> <td>部材取付部塗膜研削</td> <td></td> <td></td> <td>⑥-2 部材取付部塗膜研削工</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">鋼製橋脚孔明</td> <td></td> <td>表4-7-5 鋼桁孔明工</td> <td>②-10 鋼桁孔明工</td> </tr> <tr> <td></td> <td>表4-10-4 特殊HTB工</td> <td>②-6 特殊HTB工 (孔明け+本線工連続作業)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>表4-10-5 支圧HTB工</td> <td>②-7 支圧HTB工 (孔明け+打込み+本線工連続作業)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">補強部材取付</td> <td></td> <td></td> <td>⑦-2 荷卸し〜横取り〜仮置工 200kg以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>⑦-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>表4-10-6 増設部材架設工</td> <td>⑦-4 増設部材架設工 (増設横梁等取付撤去工)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>表4-10-7 増設橋梁部材架設工</td> <td>⑦-5 増設橋梁部材架設工</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">高力ボルト本線</td> <td></td> <td>表4-7-9 高力ボルト本線工</td> <td>②-1 補修工事高力ボルト本線工</td> </tr> <tr> <td></td> <td>表4-5-4 ワンサイドボルト本線工</td> <td>②-5 ワンサイドボルト本線工</td> </tr> <tr> <td></td> <td>表4-10-4 特殊HTB工</td> <td>②-6 特殊HTB工 (孔明け+本線工連続作業)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>表4-10-5 支圧HTB工</td> <td>②-7 支圧HTB工 (孔明け+打込み+本線工連続作業)</td> </tr> <tr> <td>ピンテール仕上げ</td> <td></td> <td>表4-7-10 ピンテール仕上げ工</td> <td>②-8 ピンテール仕上げ工</td> </tr> <tr> <td>現場溶接</td> <td></td> <td>表4-10-8 現場溶接工</td> <td>③-1 現場溶接工</td> </tr> <tr> <td>現場塗装</td> <td></td> <td>表4-5-5 小規模塗装工</td> <td>⑧-1 小規模現場塗装工</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 施工法</p> <p>あて板工法の例を次に示す。</p> <p>角柱隅角部の補強</p> <p>①補強作業</p> <p>②補強状況 (1)</p> <p>③補強状況 (2)</p> <p>丸柱隅角部の補強</p> <p>①補強作業</p> <p>②補強状況</p>	工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章	足場設置・撤去		表4-2-4 損料及び歩掛係数①	①-1 足場工	芯出し調整		表4-7-2 芯出し調整工	⑥-3 芯出し調整工 (鋼材面用)	部材取付部塗膜研削			⑥-2 部材取付部塗膜研削工	鋼製橋脚孔明		表4-7-5 鋼桁孔明工	②-10 鋼桁孔明工		表4-10-4 特殊HTB工	②-6 特殊HTB工 (孔明け+本線工連続作業)		表4-10-5 支圧HTB工	②-7 支圧HTB工 (孔明け+打込み+本線工連続作業)	補強部材取付			⑦-2 荷卸し〜横取り〜仮置工 200kg以上			⑦-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上		表4-10-6 増設部材架設工	⑦-4 増設部材架設工 (増設横梁等取付撤去工)		表4-10-7 増設橋梁部材架設工	⑦-5 増設橋梁部材架設工	高力ボルト本線		表4-7-9 高力ボルト本線工	②-1 補修工事高力ボルト本線工		表4-5-4 ワンサイドボルト本線工	②-5 ワンサイドボルト本線工		表4-10-4 特殊HTB工	②-6 特殊HTB工 (孔明け+本線工連続作業)		表4-10-5 支圧HTB工	②-7 支圧HTB工 (孔明け+打込み+本線工連続作業)	ピンテール仕上げ		表4-7-10 ピンテール仕上げ工	②-8 ピンテール仕上げ工	現場溶接		表4-10-8 現場溶接工	③-1 現場溶接工	現場塗装		表4-5-5 小規模塗装工	⑧-1 小規模現場塗装工
工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章																																																																																																																																
足場設置・撤去		表4-2-4 損料及び歩掛係数①	①-1 足場工																																																																																																																																
芯出し調整		表4-7-2 芯出し調整工	⑥-3 芯出し調整工																																																																																																																																
部材取付部塗膜研削			⑥-2 部材取付部塗膜研削工																																																																																																																																
鋼製橋脚孔明		表4-7-4 鋼桁孔明工	②-10 鋼桁孔明工																																																																																																																																
		表4-10-4 特殊HTB工	②-6 特殊HTB工 (孔明け+本線工連続作業)																																																																																																																																
		表4-10-5 支圧HTB工	②-7 支圧HTB工 (孔明け+打込み+本線工連続作業)																																																																																																																																
補強部材取付			⑦-2 荷卸し〜横取り〜仮置工 200kg以上																																																																																																																																
			⑦-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上																																																																																																																																
		表4-10-6 増設部材架設工	⑦-4 増設部材架設工 (増設横梁等取付撤去工)																																																																																																																																
		表4-10-7 増設橋梁部材架設工	⑦-5 増設橋梁部材架設工																																																																																																																																
高力ボルト本線		表4-7-8 高力ボルト本線工	②-1 補修工事高力ボルト本線工																																																																																																																																
		表4-5-4 ワンサイドボルト本線工	②-5 ワンサイドボルト本線工																																																																																																																																
		表4-10-4 特殊HTB工	②-6 特殊HTB工 (孔明け+本線工連続作業)																																																																																																																																
		表4-10-5 支圧HTB工	②-7 支圧HTB工 (孔明け+打込み+本線工連続作業)																																																																																																																																
ピンテール仕上げ		表4-7-9 ピンテール仕上げ工	②-8 ピンテール仕上げ工																																																																																																																																
現場溶接		表4-10-8 現場溶接工	③-1 現場溶接工																																																																																																																																
現場塗装		表4-5-5 小規模塗装工	⑧-1 小規模現場塗装工																																																																																																																																
工種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	本書 第7章																																																																																																																																
足場設置・撤去		表4-2-4 損料及び歩掛係数①	①-1 足場工																																																																																																																																
芯出し調整		表4-7-2 芯出し調整工	⑥-3 芯出し調整工 (鋼材面用)																																																																																																																																
部材取付部塗膜研削			⑥-2 部材取付部塗膜研削工																																																																																																																																
鋼製橋脚孔明		表4-7-5 鋼桁孔明工	②-10 鋼桁孔明工																																																																																																																																
		表4-10-4 特殊HTB工	②-6 特殊HTB工 (孔明け+本線工連続作業)																																																																																																																																
		表4-10-5 支圧HTB工	②-7 支圧HTB工 (孔明け+打込み+本線工連続作業)																																																																																																																																
補強部材取付			⑦-2 荷卸し〜横取り〜仮置工 200kg以上																																																																																																																																
			⑦-3 部材取付工(撤去工) 200kg以上																																																																																																																																
		表4-10-6 増設部材架設工	⑦-4 増設部材架設工 (増設横梁等取付撤去工)																																																																																																																																
		表4-10-7 増設橋梁部材架設工	⑦-5 増設橋梁部材架設工																																																																																																																																
高力ボルト本線		表4-7-9 高力ボルト本線工	②-1 補修工事高力ボルト本線工																																																																																																																																
		表4-5-4 ワンサイドボルト本線工	②-5 ワンサイドボルト本線工																																																																																																																																
		表4-10-4 特殊HTB工	②-6 特殊HTB工 (孔明け+本線工連続作業)																																																																																																																																
		表4-10-5 支圧HTB工	②-7 支圧HTB工 (孔明け+打込み+本線工連続作業)																																																																																																																																
ピンテール仕上げ		表4-7-10 ピンテール仕上げ工	②-8 ピンテール仕上げ工																																																																																																																																
現場溶接		表4-10-8 現場溶接工	③-1 現場溶接工																																																																																																																																
現場塗装		表4-5-5 小規模塗装工	⑧-1 小規模現場塗装工																																																																																																																																

頁	項目	改定前	改定後																																																						
335	第5章② 橋梁地覆補修工	<p style="text-align: right;">② 橋梁地覆補修工 335</p> <p>2 施工手順及び積算情報</p> <p style="text-align: center;">積算基準対応表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>工 種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮高欄設置・撤去</td> <td>—</td> <td>表4-6-2 H形鋼付ガードレールの設置・撤去工歩掛</td> </tr> <tr> <td>足場防護設置・撤去</td> <td>IV-3-② ②-1 3-4 足場・防護</td> <td>表4-2-7 損料および歩掛係数②</td> </tr> <tr> <td>高欄撤去</td> <td>IV-3-② ②-1 3-1 とりこわし</td> <td>表4-12-1 とりこわし</td> </tr> <tr> <td>とりこわし積込作業</td> <td>IV-3-② ②-1 3-1 とりこわしを含む</td> <td>表4-12-1 とりこわしを含む</td> </tr> <tr> <td>鉄筋加工・組立</td> <td>IV-3-② ②-1 3-2 鉄筋</td> <td>表4-12-2・3 鉄筋</td> </tr> <tr> <td>型枠製作・設置・撤去</td> <td>IV-3-② ②-1 3-3 コンクリート</td> <td>表4-12-4 コンクリート</td> </tr> <tr style="border: 2px solid red;"> <td>コンクリート打設・養生</td> <td>IV-3-② ②-1 3-3 コンクリート</td> <td>表4-12-4 コンクリート</td> </tr> <tr> <td>高欄設置</td> <td>IV-2-⑥ 3-4 橋梁用高欄</td> <td>表2-8-23・24 橋梁用高欄</td> </tr> </tbody> </table>	工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	仮高欄設置・撤去	—	表4-6-2 H形鋼付ガードレールの設置・撤去工歩掛	足場防護設置・撤去	IV-3-② ②-1 3-4 足場・防護	表4-2-7 損料および歩掛係数②	高欄撤去	IV-3-② ②-1 3-1 とりこわし	表4-12-1 とりこわし	とりこわし積込作業	IV-3-② ②-1 3-1 とりこわしを含む	表4-12-1 とりこわしを含む	鉄筋加工・組立	IV-3-② ②-1 3-2 鉄筋	表4-12-2・3 鉄筋	型枠製作・設置・撤去	IV-3-② ②-1 3-3 コンクリート	表4-12-4 コンクリート	コンクリート打設・養生	IV-3-② ②-1 3-3 コンクリート	表4-12-4 コンクリート	高欄設置	IV-2-⑥ 3-4 橋梁用高欄	表2-8-23・24 橋梁用高欄	<p style="text-align: right;">② 橋梁地覆補修工 335</p> <p>2 施工手順及び積算情報</p> <p style="text-align: center;">積算基準対応表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>工 種</th> <th>国土交通省 土木工事標準積算基準書</th> <th>橋梁架設工事の積算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮高欄設置・撤去</td> <td>—</td> <td>表4-6-2 H形鋼付ガードレールの設置・撤去工歩掛</td> </tr> <tr> <td>足場防護設置・撤去</td> <td>IV-3-② ②-1 3-4 足場・防護</td> <td>表4-2-7 損料および歩掛係数②</td> </tr> <tr> <td>高欄撤去</td> <td>IV-3-② ②-1 3-1 とりこわし</td> <td>表4-12-1 とりこわし</td> </tr> <tr> <td>とりこわし積込作業</td> <td>IV-3-② ②-1 3-1 とりこわしを含む</td> <td>表4-12-1 とりこわしを含む</td> </tr> <tr> <td>鉄筋加工・組立</td> <td>IV-3-② ②-1 3-2 鉄筋</td> <td>表4-12-2・3 鉄筋</td> </tr> <tr> <td>型枠製作・設置・撤去</td> <td>IV-3-② ②-1 3-3 コンクリート</td> <td>表4-12-4 コンクリート</td> </tr> <tr> <td>コンクリート打設・養生</td> <td>IV-3-② ②-1 3-3 コンクリート</td> <td>表4-12-4 コンクリート</td> </tr> <tr> <td>高欄設置</td> <td>IV-2-⑥ 3-4 橋梁用高欄</td> <td>表2-8-24・25 橋梁用高欄</td> </tr> </tbody> </table>	工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算	仮高欄設置・撤去	—	表4-6-2 H形鋼付ガードレールの設置・撤去工歩掛	足場防護設置・撤去	IV-3-② ②-1 3-4 足場・防護	表4-2-7 損料および歩掛係数②	高欄撤去	IV-3-② ②-1 3-1 とりこわし	表4-12-1 とりこわし	とりこわし積込作業	IV-3-② ②-1 3-1 とりこわしを含む	表4-12-1 とりこわしを含む	鉄筋加工・組立	IV-3-② ②-1 3-2 鉄筋	表4-12-2・3 鉄筋	型枠製作・設置・撤去	IV-3-② ②-1 3-3 コンクリート	表4-12-4 コンクリート	コンクリート打設・養生	IV-3-② ②-1 3-3 コンクリート	表4-12-4 コンクリート	高欄設置	IV-2-⑥ 3-4 橋梁用高欄	表2-8-24・25 橋梁用高欄
工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算																																																							
仮高欄設置・撤去	—	表4-6-2 H形鋼付ガードレールの設置・撤去工歩掛																																																							
足場防護設置・撤去	IV-3-② ②-1 3-4 足場・防護	表4-2-7 損料および歩掛係数②																																																							
高欄撤去	IV-3-② ②-1 3-1 とりこわし	表4-12-1 とりこわし																																																							
とりこわし積込作業	IV-3-② ②-1 3-1 とりこわしを含む	表4-12-1 とりこわしを含む																																																							
鉄筋加工・組立	IV-3-② ②-1 3-2 鉄筋	表4-12-2・3 鉄筋																																																							
型枠製作・設置・撤去	IV-3-② ②-1 3-3 コンクリート	表4-12-4 コンクリート																																																							
コンクリート打設・養生	IV-3-② ②-1 3-3 コンクリート	表4-12-4 コンクリート																																																							
高欄設置	IV-2-⑥ 3-4 橋梁用高欄	表2-8-23・24 橋梁用高欄																																																							
工 種	国土交通省 土木工事標準積算基準書	橋梁架設工事の積算																																																							
仮高欄設置・撤去	—	表4-6-2 H形鋼付ガードレールの設置・撤去工歩掛																																																							
足場防護設置・撤去	IV-3-② ②-1 3-4 足場・防護	表4-2-7 損料および歩掛係数②																																																							
高欄撤去	IV-3-② ②-1 3-1 とりこわし	表4-12-1 とりこわし																																																							
とりこわし積込作業	IV-3-② ②-1 3-1 とりこわしを含む	表4-12-1 とりこわしを含む																																																							
鉄筋加工・組立	IV-3-② ②-1 3-2 鉄筋	表4-12-2・3 鉄筋																																																							
型枠製作・設置・撤去	IV-3-② ②-1 3-3 コンクリート	表4-12-4 コンクリート																																																							
コンクリート打設・養生	IV-3-② ②-1 3-3 コンクリート	表4-12-4 コンクリート																																																							
高欄設置	IV-2-⑥ 3-4 橋梁用高欄	表2-8-24・25 橋梁用高欄																																																							

頁	項目	改定前	改定後																																																																														
366	第7章② 高力ボルト工 (リベット含む)	<p>366 第7章 歩掛編</p> <p>② 高力ボルト工 (リベット含む)</p> <p>②-1 補修工事高力ボルト本締工</p> <p>補修工事高力ボルト本締工の歩掛は、次表を標準とする。補修工事全体で使用可能とする。</p> <p>表2-1 補修工事高力ボルト本締工歩掛</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日当り施工量</th> <th>編成人員 (人)</th> <th>諸雑費率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3"> $Q=0.04n+117$ (本/日) ただし $130 \leq Q \leq 455$ </td> <td>橋りょう世話役</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td colspan="3"> 諸雑費率 (%) 17 </td> </tr> </tbody> </table> <p>橋梁架設工事の積算 表4-7-8 高力ボルト本締工歩掛 参照</p> <p>(注) 1. n: 高力ボルト総本数 2. 高力ボルト材料費は、別途計上する。 3. 諸雑費は、発動発電機の賃料、燃料・油類類・消耗品・架設工具等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 4. トルシア型高力ボルトのピンテール部をグラインダーなどで平滑作業を行う場合は表2-8とする。</p> <p>②-2 高力六角ボルト撤去工</p> <p>高力六角ボルト撤去工の歩掛は、次表を標準とする。補修工事全体で使用可能とする。</p> <p>表2-2 高力六角ボルト撤去工歩掛</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日当り施工量</th> <th>編成人員 (人)</th> <th>諸雑費率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">220 (本/日)</td> <td>橋りょう世話役</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td colspan="3"> 諸雑費率 (%) 17 </td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 諸雑費は、架設工具損料及び酸素アセチレンガス、グラインダー刃等の消耗材料であり、労務費の合計額に上記の率を乗じた金額を上限として計上する。 2. 撤去作業がない場合は、日当り施工量を30%増しとする。</p> <p>②-3 トルシア型高力ボルト撤去工</p> <p>トルシア型高力ボルト撤去工の歩掛は、次表を標準とする。補修工事全体で使用可能とする。</p> <p>表2-3 トルシア型高力ボルト撤去工歩掛</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日当り施工量</th> <th>編成人員 (人)</th> <th>諸雑費率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">200 (本/日)</td> <td>橋りょう世話役</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td colspan="3"> 諸雑費率 (%) 17 </td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 諸雑費は、架設工具損料及び酸素アセチレンガス、グラインダー刃等の消耗材料であり、労務費の合計額に上記の率を乗じた金額を上限として計上する。 2. 撤去作業がない場合は、日当り施工量を30%増しとする。</p>	日当り施工量	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)	$Q=0.04n+117$ (本/日) ただし $130 \leq Q \leq 455$	橋りょう世話役	1	橋りょう特殊工	3	普通作業員	1	諸雑費率 (%) 17			日当り施工量	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)	220 (本/日)	橋りょう世話役	1	橋りょう特殊工	3	普通作業員	1	諸雑費率 (%) 17			日当り施工量	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)	200 (本/日)	橋りょう世話役	1	橋りょう特殊工	5	普通作業員	1	諸雑費率 (%) 17			<p>366 第7章 歩掛編</p> <p>② 高力ボルト工 (リベット含む)</p> <p>②-1 補修工事高力ボルト本締工</p> <p>補修工事高力ボルト本締工の歩掛は、次表を標準とする。補修工事全体で使用可能とする。</p> <p>表2-1 補修工事高力ボルト本締工歩掛</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日当り施工量</th> <th>編成人員 (人)</th> <th>諸雑費率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3"> $Q=0.04n+117$ (本/日) ただし $130 \leq Q \leq 455$ </td> <td>橋りょう世話役</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td colspan="3"> 諸雑費率 (%) 17 </td> </tr> </tbody> </table> <p>橋梁架設工事の積算 表4-7-9 高力ボルト本締工歩掛 参照</p> <p>(注) 1. n: 高力ボルト総本数 2. 高力ボルト材料費は、別途計上する。 3. 諸雑費は、発動発電機の賃料、燃料・油類類・消耗品・架設工具等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 4. トルシア型高力ボルトのピンテール部をグラインダーなどで平滑作業を行う場合は表2-8とする。</p> <p>②-2 高力六角ボルト撤去工</p> <p>高力六角ボルト撤去工の歩掛は、次表を標準とする。補修工事全体で使用可能とする。</p> <p>表2-2 高力六角ボルト撤去工歩掛</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日当り施工量</th> <th>編成人員 (人)</th> <th>諸雑費率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">220 (本/日)</td> <td>橋りょう世話役</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td colspan="3"> 諸雑費率 (%) 17 </td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 諸雑費は、架設工具損料及び酸素アセチレンガス、グラインダー刃等の消耗材料であり、労務費の合計額に上記の率を乗じた金額を上限として計上する。 2. 撤去作業がない場合は、日当り施工量を30%増しとする。</p> <p>②-3 トルシア型高力ボルト撤去工</p> <p>トルシア型高力ボルト撤去工の歩掛は、次表を標準とする。補修工事全体で使用可能とする。</p> <p>表2-3 トルシア型高力ボルト撤去工歩掛</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日当り施工量</th> <th>編成人員 (人)</th> <th>諸雑費率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">200 (本/日)</td> <td>橋りょう世話役</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td colspan="3"> 諸雑費率 (%) 17 </td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 諸雑費は、架設工具損料及び酸素アセチレンガス、グラインダー刃等の消耗材料であり、労務費の合計額に上記の率を乗じた金額を上限として計上する。 2. 撤去作業がない場合は、日当り施工量を30%増しとする。</p>	日当り施工量	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)	$Q=0.04n+117$ (本/日) ただし $130 \leq Q \leq 455$	橋りょう世話役	1	橋りょう特殊工	3	普通作業員	1	諸雑費率 (%) 17			日当り施工量	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)	220 (本/日)	橋りょう世話役	1	橋りょう特殊工	3	普通作業員	1	諸雑費率 (%) 17			日当り施工量	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)	200 (本/日)	橋りょう世話役	1	橋りょう特殊工	5	普通作業員	1	諸雑費率 (%) 17		
日当り施工量	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)																																																																															
$Q=0.04n+117$ (本/日) ただし $130 \leq Q \leq 455$	橋りょう世話役	1																																																																															
	橋りょう特殊工	3																																																																															
	普通作業員	1																																																																															
諸雑費率 (%) 17																																																																																	
日当り施工量	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)																																																																															
220 (本/日)	橋りょう世話役	1																																																																															
	橋りょう特殊工	3																																																																															
	普通作業員	1																																																																															
諸雑費率 (%) 17																																																																																	
日当り施工量	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)																																																																															
200 (本/日)	橋りょう世話役	1																																																																															
	橋りょう特殊工	5																																																																															
	普通作業員	1																																																																															
諸雑費率 (%) 17																																																																																	
日当り施工量	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)																																																																															
$Q=0.04n+117$ (本/日) ただし $130 \leq Q \leq 455$	橋りょう世話役	1																																																																															
	橋りょう特殊工	3																																																																															
	普通作業員	1																																																																															
諸雑費率 (%) 17																																																																																	
日当り施工量	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)																																																																															
220 (本/日)	橋りょう世話役	1																																																																															
	橋りょう特殊工	3																																																																															
	普通作業員	1																																																																															
諸雑費率 (%) 17																																																																																	
日当り施工量	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)																																																																															
200 (本/日)	橋りょう世話役	1																																																																															
	橋りょう特殊工	5																																																																															
	普通作業員	1																																																																															
諸雑費率 (%) 17																																																																																	

頁	項目	改定前	改定後																																																																																																																						
369	第7章② 高力ボルト工 (リベット含む)	<p style="text-align: right;">② 高力ボルト工 (リベット含む) 369</p> <p style="text-align: center;">2-7 支圧 HTB 工(孔明け+打込み+本締工連続作業)</p> <p>支圧 HTB 工は、孔明け+本締工を連続して施工する作業であり、歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表2-7 支圧 HTB 工歩掛</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日当り施工量</th> <th>編成人員 (人)</th> <th>諸経費率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">$Q = 17.2 \times \alpha \times \beta \times \gamma \times \delta$ (本/日)</td> <td>橋りょう世話役</td> <td>1</td> <td rowspan="3">23</td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>橋梁架設工事の積算 表4-10-5 支圧 HTB 工歩掛 参照 (注) 1. 積算対象数量は、各橋脚・橋脚別毎とする。 2. 諸経費は、発動発電機の賃料、燃料・油類類、架設工具及び消耗材料の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. α: 施工量による係数 β: 孔明脚材施工方法による係数 γ: 材質による係数 δ: 橋脚形式係数 4. 孔明用ドリル刃を別途計上する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <table border="1"> <caption>付表-1 施工量による係数 (α)</caption> <thead> <tr><th>1箇所当り (本)</th><th>α</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>~200まで</td><td>1.00</td></tr> <tr><td>201~500まで</td><td>1.17</td></tr> <tr><td>501以上</td><td>1.62</td></tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>付表-2 施工方法による係数 (β)</caption> <thead> <tr><th>板厚 t (mm)</th><th>β (ケース1)</th><th>β (ケース2)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>t ≤ 30</td><td>1.25</td><td>1.00</td></tr> <tr><td>30 < t ≤ 40</td><td>1.18</td><td>0.91</td></tr> <tr><td>40 < t ≤ 50</td><td>1.13</td><td>0.88</td></tr> <tr><td>50 < t ≤ 60</td><td>1.10</td><td>0.84</td></tr> </tbody> </table> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <table border="1"> <caption>付表-3 材質による係数 (γ)</caption> <thead> <tr><th>材質</th><th>γ</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>SS400</td><td>1.45</td></tr> <tr><td>SM490</td><td>1.23</td></tr> <tr><td>SM570</td><td>1.00</td></tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>付表-4 橋脚形式による係数 (δ)</caption> <thead> <tr><th>形式</th><th>δ</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>角柱</td><td>1.30</td></tr> <tr><td>円柱</td><td>1.00</td></tr> <tr><td>橋梁</td><td>1.30</td></tr> <tr><td>主桁部</td><td>1.50</td></tr> </tbody> </table> </div> <p>施工方法による係数 (β) の考え方 ケース1: 取付け補強材を工場にて正孔+橋脚部材現場孔明け作業 ケース2: 取付け補強材・橋脚部材両方とも現場孔明け作業</p> <p>板厚の考え方</p>  <p>孔明用ドリル刃の本数の算出方法 ドリル刃本数 = 孔明数 / (20ヶ × 施工方法係数 (β) × 材質係数 (γ))</p> <p style="text-align: center;">2-8 ピンテール仕上げ工</p> <p>ピンテール仕上げ工の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表2-8 ピンテール仕上げ工歩掛</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日当り施工量</th> <th>編成人員 (人)</th> <th>諸経費率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>$Dr < 250$本...250本/日 $Dr \geq 250$本...1,000本/日</td> <td>橋りょう特殊工</td> <td>2</td> <td>41</td> </tr> </tbody> </table> <p>橋梁架設工事の積算 表4-7-9 ピンテール仕上げ工歩掛 参照 (注) 1. Drはピンテール仕上げ総本数。 2. 本歩掛は、トルシア型高力ボルトのピンテール破断面を専用工具で平滑に仕上げ作業に適用する。 3. 諸経費は、専用工具賃料、研削等の消耗材料及び発動発電機賃料、燃料・油類類の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	日当り施工量	編成人員 (人)	諸経費率 (%)	$Q = 17.2 \times \alpha \times \beta \times \gamma \times \delta$ (本/日)	橋りょう世話役	1	23	橋りょう特殊工	3	普通作業員	1	1箇所当り (本)	α	~200まで	1.00	201~500まで	1.17	501以上	1.62	板厚 t (mm)	β (ケース1)	β (ケース2)	t ≤ 30	1.25	1.00	30 < t ≤ 40	1.18	0.91	40 < t ≤ 50	1.13	0.88	50 < t ≤ 60	1.10	0.84	材質	γ	SS400	1.45	SM490	1.23	SM570	1.00	形式	δ	角柱	1.30	円柱	1.00	橋梁	1.30	主桁部	1.50	日当り施工量	編成人員 (人)	諸経費率 (%)	$Dr < 250$ 本...250本/日 $Dr \geq 250$ 本...1,000本/日	橋りょう特殊工	2	41	<p style="text-align: right;">② 高力ボルト工 (リベット含む) 369</p> <p style="text-align: center;">2-7 支圧 HTB 工(孔明け+打込み+本締工連続作業)</p> <p>支圧 HTB 工は、孔明け+本締工を連続して施工する作業であり、歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表2-7 支圧 HTB 工歩掛</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日当り施工量</th> <th>編成人員 (人)</th> <th>諸経費率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">$Q = 17.2 \times \alpha \times \beta \times \gamma \times \delta$ (本/日)</td> <td>橋りょう世話役</td> <td>1</td> <td rowspan="3">23</td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>橋梁架設工事の積算 表4-10-5 支圧 HTB 工歩掛 参照 (注) 1. 積算対象数量は、各橋脚・橋脚別毎とする。 2. 諸経費は、発動発電機の賃料、燃料・油類類、架設工具及び消耗材料の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. α: 施工量による係数 β: 孔明脚材施工方法による係数 γ: 材質による係数 δ: 橋脚形式係数 4. 孔明用ドリル刃を別途計上する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <table border="1"> <caption>付表-1 施工量による係数 (α)</caption> <thead> <tr><th>1箇所当り (本)</th><th>α</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>~200まで</td><td>1.00</td></tr> <tr><td>201~500まで</td><td>1.17</td></tr> <tr><td>501以上</td><td>1.62</td></tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>付表-2 施工方法による係数 (β)</caption> <thead> <tr><th>板厚 t (mm)</th><th>β (ケース1)</th><th>β (ケース2)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>t ≤ 30</td><td>1.25</td><td>1.00</td></tr> <tr><td>30 < t ≤ 40</td><td>1.18</td><td>0.91</td></tr> <tr><td>40 < t ≤ 50</td><td>1.13</td><td>0.88</td></tr> <tr><td>50 < t ≤ 60</td><td>1.10</td><td>0.84</td></tr> </tbody> </table> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <table border="1"> <caption>付表-3 材質による係数 (γ)</caption> <thead> <tr><th>材質</th><th>γ</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>SS400</td><td>1.45</td></tr> <tr><td>SM490</td><td>1.23</td></tr> <tr><td>SM570</td><td>1.00</td></tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>付表-4 橋脚形式による係数 (δ)</caption> <thead> <tr><th>形式</th><th>δ</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>角柱</td><td>1.30</td></tr> <tr><td>円柱</td><td>1.00</td></tr> <tr><td>橋梁</td><td>1.30</td></tr> <tr><td>主桁部</td><td>1.50</td></tr> </tbody> </table> </div> <p>施工方法による係数 (β) の考え方 ケース1: 取付け補強材を工場にて正孔+橋脚部材現場孔明け作業 ケース2: 取付け補強材・橋脚部材両方とも現場孔明け作業</p> <p>板厚の考え方</p>  <p>孔明用ドリル刃の本数の算出方法 ドリル刃本数 = 孔明数 / (20ヶ × 施工方法係数 (β) × 材質係数 (γ))</p> <p style="text-align: center;">2-8 ピンテール仕上げ工</p> <p>ピンテール仕上げ工の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表2-8 ピンテール仕上げ工歩掛</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日当り施工量</th> <th>編成人員 (人)</th> <th>諸経費率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>$Dr < 250$本...250本/日 $Dr \geq 250$本...1,000本/日</td> <td>橋りょう特殊工</td> <td>2</td> <td>41</td> </tr> </tbody> </table> <p>橋梁架設工事の積算 表4-7-10 ピンテール仕上げ工歩掛 参照 (注) 1. Drはピンテール仕上げ総本数。 2. 本歩掛は、トルシア型高力ボルトのピンテール破断面を専用工具で平滑に仕上げ作業に適用する。 3. 諸経費は、専用工具賃料、研削等の消耗材料及び発動発電機賃料、燃料・油類類の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	日当り施工量	編成人員 (人)	諸経費率 (%)	$Q = 17.2 \times \alpha \times \beta \times \gamma \times \delta$ (本/日)	橋りょう世話役	1	23	橋りょう特殊工	3	普通作業員	1	1箇所当り (本)	α	~200まで	1.00	201~500まで	1.17	501以上	1.62	板厚 t (mm)	β (ケース1)	β (ケース2)	t ≤ 30	1.25	1.00	30 < t ≤ 40	1.18	0.91	40 < t ≤ 50	1.13	0.88	50 < t ≤ 60	1.10	0.84	材質	γ	SS400	1.45	SM490	1.23	SM570	1.00	形式	δ	角柱	1.30	円柱	1.00	橋梁	1.30	主桁部	1.50	日当り施工量	編成人員 (人)	諸経費率 (%)	$Dr < 250$ 本...250本/日 $Dr \geq 250$ 本...1,000本/日	橋りょう特殊工	2	41
日当り施工量	編成人員 (人)	諸経費率 (%)																																																																																																																							
$Q = 17.2 \times \alpha \times \beta \times \gamma \times \delta$ (本/日)	橋りょう世話役	1	23																																																																																																																						
	橋りょう特殊工	3																																																																																																																							
	普通作業員	1																																																																																																																							
1箇所当り (本)	α																																																																																																																								
~200まで	1.00																																																																																																																								
201~500まで	1.17																																																																																																																								
501以上	1.62																																																																																																																								
板厚 t (mm)	β (ケース1)	β (ケース2)																																																																																																																							
t ≤ 30	1.25	1.00																																																																																																																							
30 < t ≤ 40	1.18	0.91																																																																																																																							
40 < t ≤ 50	1.13	0.88																																																																																																																							
50 < t ≤ 60	1.10	0.84																																																																																																																							
材質	γ																																																																																																																								
SS400	1.45																																																																																																																								
SM490	1.23																																																																																																																								
SM570	1.00																																																																																																																								
形式	δ																																																																																																																								
角柱	1.30																																																																																																																								
円柱	1.00																																																																																																																								
橋梁	1.30																																																																																																																								
主桁部	1.50																																																																																																																								
日当り施工量	編成人員 (人)	諸経費率 (%)																																																																																																																							
$Dr < 250$ 本...250本/日 $Dr \geq 250$ 本...1,000本/日	橋りょう特殊工	2	41																																																																																																																						
日当り施工量	編成人員 (人)	諸経費率 (%)																																																																																																																							
$Q = 17.2 \times \alpha \times \beta \times \gamma \times \delta$ (本/日)	橋りょう世話役	1	23																																																																																																																						
	橋りょう特殊工	3																																																																																																																							
	普通作業員	1																																																																																																																							
1箇所当り (本)	α																																																																																																																								
~200まで	1.00																																																																																																																								
201~500まで	1.17																																																																																																																								
501以上	1.62																																																																																																																								
板厚 t (mm)	β (ケース1)	β (ケース2)																																																																																																																							
t ≤ 30	1.25	1.00																																																																																																																							
30 < t ≤ 40	1.18	0.91																																																																																																																							
40 < t ≤ 50	1.13	0.88																																																																																																																							
50 < t ≤ 60	1.10	0.84																																																																																																																							
材質	γ																																																																																																																								
SS400	1.45																																																																																																																								
SM490	1.23																																																																																																																								
SM570	1.00																																																																																																																								
形式	δ																																																																																																																								
角柱	1.30																																																																																																																								
円柱	1.00																																																																																																																								
橋梁	1.30																																																																																																																								
主桁部	1.50																																																																																																																								
日当り施工量	編成人員 (人)	諸経費率 (%)																																																																																																																							
$Dr < 250$ 本...250本/日 $Dr \geq 250$ 本...1,000本/日	橋りょう特殊工	2	41																																																																																																																						

頁	項目	改定前	改定後																																																																																																
370	第7章② 高力ボルト工 (リベット含む)	<p>370 第7章 歩掛編</p> <p>2-9 リベット撤去工</p> <p>リベット撤去工の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p>表2-9 リベット撤去工歩掛</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日当り施工量</th> <th colspan="2">編成人員 (人)</th> <th>諸雑費率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">86 (本/日)</td> <td>橋りょう世話役</td> <td>1</td> <td rowspan="3">28</td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>橋梁架設工事の積算 表4-10-9 リベット撤去工歩掛 参照 (注) 1. 積算対象数量は、各橋脚毎とする。 2. 諸雑費は発動発電機の賃料、燃料・油断類、架設工具及び消耗材料の費用であり労務費の合計に上記表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. リベット撤去用ドリル刃を別途計上する。</p> <p>ドリル刃の損耗数の算出方法 ドリル刃本数=リベット数/20本 (別途計上)</p> <p>2-10 鋼桁孔明工</p> <p>鋼桁孔明工の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p>表2-10 鋼桁孔明工歩掛</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日当り施工量</th> <th colspan="2">編成人員 (人)</th> <th>諸雑費率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3"> $Q = (0.03n + 72) \times \alpha \times \beta \times \gamma$ (本/日) ただし $80 \times \alpha \times \beta \times \gamma \leq Q \leq 160 \times \alpha \times \beta \times \gamma$ </td> <td>橋りょう世話役</td> <td>1</td> <td rowspan="3">25</td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>橋梁架設工事の積算 表4-7-4 鋼桁孔明工歩掛 参照 (注) 1. n: 現場孔明け総本数 2. 諸雑費は、発動発電機の賃料、燃料・油断類、電気ドリルの賃料、ドリル刃、消耗材料等であり、労務費の合計額に上記の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>付表-1 材質による係数 (α)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>α</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SS400</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td>SM490</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>SM570</td> <td>0.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>付表-2 板厚による係数 (β)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>板厚 t (mm)</th> <th>β</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>t ≤ 30</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>30 < t ≤ 40</td> <td>0.91</td> </tr> <tr> <td>40 < t ≤ 50</td> <td>0.88</td> </tr> <tr> <td>50 < t ≤ 60</td> <td>0.84</td> </tr> </tbody> </table> <p>付表-3 作業姿勢による係数 (γ)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>姿勢</th> <th>γ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水平及び下向き</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>上向き</td> <td>0.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 姿勢が2種類以上ある時は、γは加重平均とする。</p>	日当り施工量	編成人員 (人)		諸雑費率 (%)	86 (本/日)	橋りょう世話役	1	28	橋りょう特殊工	3	普通作業員	1	日当り施工量	編成人員 (人)		諸雑費率 (%)	$Q = (0.03n + 72) \times \alpha \times \beta \times \gamma$ (本/日) ただし $80 \times \alpha \times \beta \times \gamma \leq Q \leq 160 \times \alpha \times \beta \times \gamma$	橋りょう世話役	1	25	橋りょう特殊工	3	普通作業員	1	材質	α	SS400	1.2	SM490	1.0	SM570	0.8	板厚 t (mm)	β	t ≤ 30	1.00	30 < t ≤ 40	0.91	40 < t ≤ 50	0.88	50 < t ≤ 60	0.84	姿勢	γ	水平及び下向き	1.0	上向き	0.6	<p>370 第7章 歩掛編</p> <p>2-9 リベット撤去工</p> <p>リベット撤去工の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p>表2-9 リベット撤去工歩掛</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日当り施工量</th> <th colspan="2">編成人員 (人)</th> <th>諸雑費率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">86 (本/日)</td> <td>橋りょう世話役</td> <td>1</td> <td rowspan="3">28</td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>橋梁架設工事の積算 表4-10-9 リベット撤去工歩掛 参照 (注) 1. 積算対象数量は、各橋脚毎とする。 2. 諸雑費は発動発電機の賃料、燃料・油断類、架設工具及び消耗材料の費用であり労務費の合計に上記表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. リベット撤去用ドリル刃を別途計上する。</p> <p>ドリル刃の損耗数の算出方法 ドリル刃本数=リベット数/20本 (別途計上)</p> <p>2-10 鋼桁孔明工</p> <p>鋼桁孔明工の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p>表2-10 鋼桁孔明工歩掛</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日当り施工量</th> <th colspan="2">編成人員 (人)</th> <th>諸雑費率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3"> $Q = (0.03n + 72) \times \alpha \times \beta \times \gamma$ (本/日) ただし $80 \times \alpha \times \beta \times \gamma \leq Q \leq 160 \times \alpha \times \beta \times \gamma$ </td> <td>橋りょう世話役</td> <td>1</td> <td rowspan="3">25</td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>橋梁架設工事の積算 表4-7-5 鋼桁孔明工歩掛 参照 (注) 1. n: 現場孔明け総本数 2. 諸雑費は、発動発電機の賃料、燃料・油断類、電気ドリルの賃料、ドリル刃、消耗材料等であり、労務費の合計額に上記の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>付表-1 材質による係数 (α)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>α</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SS400</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td>SM490</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>SM570</td> <td>0.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>付表-2 板厚による係数 (β)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>板厚 t (mm)</th> <th>β</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>t ≤ 30</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>30 < t ≤ 40</td> <td>0.91</td> </tr> <tr> <td>40 < t ≤ 50</td> <td>0.88</td> </tr> <tr> <td>50 < t ≤ 60</td> <td>0.84</td> </tr> </tbody> </table> <p>付表-3 作業姿勢による係数 (γ)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>姿勢</th> <th>γ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水平及び下向き</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>上向き</td> <td>0.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 姿勢が2種類以上ある時は、γは加重平均とする。</p>	日当り施工量	編成人員 (人)		諸雑費率 (%)	86 (本/日)	橋りょう世話役	1	28	橋りょう特殊工	3	普通作業員	1	日当り施工量	編成人員 (人)		諸雑費率 (%)	$Q = (0.03n + 72) \times \alpha \times \beta \times \gamma$ (本/日) ただし $80 \times \alpha \times \beta \times \gamma \leq Q \leq 160 \times \alpha \times \beta \times \gamma$	橋りょう世話役	1	25	橋りょう特殊工	3	普通作業員	1	材質	α	SS400	1.2	SM490	1.0	SM570	0.8	板厚 t (mm)	β	t ≤ 30	1.00	30 < t ≤ 40	0.91	40 < t ≤ 50	0.88	50 < t ≤ 60	0.84	姿勢	γ	水平及び下向き	1.0	上向き	0.6
日当り施工量	編成人員 (人)		諸雑費率 (%)																																																																																																
86 (本/日)	橋りょう世話役	1	28																																																																																																
	橋りょう特殊工	3																																																																																																	
	普通作業員	1																																																																																																	
日当り施工量	編成人員 (人)		諸雑費率 (%)																																																																																																
$Q = (0.03n + 72) \times \alpha \times \beta \times \gamma$ (本/日) ただし $80 \times \alpha \times \beta \times \gamma \leq Q \leq 160 \times \alpha \times \beta \times \gamma$	橋りょう世話役	1	25																																																																																																
	橋りょう特殊工	3																																																																																																	
	普通作業員	1																																																																																																	
材質	α																																																																																																		
SS400	1.2																																																																																																		
SM490	1.0																																																																																																		
SM570	0.8																																																																																																		
板厚 t (mm)	β																																																																																																		
t ≤ 30	1.00																																																																																																		
30 < t ≤ 40	0.91																																																																																																		
40 < t ≤ 50	0.88																																																																																																		
50 < t ≤ 60	0.84																																																																																																		
姿勢	γ																																																																																																		
水平及び下向き	1.0																																																																																																		
上向き	0.6																																																																																																		
日当り施工量	編成人員 (人)		諸雑費率 (%)																																																																																																
86 (本/日)	橋りょう世話役	1	28																																																																																																
	橋りょう特殊工	3																																																																																																	
	普通作業員	1																																																																																																	
日当り施工量	編成人員 (人)		諸雑費率 (%)																																																																																																
$Q = (0.03n + 72) \times \alpha \times \beta \times \gamma$ (本/日) ただし $80 \times \alpha \times \beta \times \gamma \leq Q \leq 160 \times \alpha \times \beta \times \gamma$	橋りょう世話役	1	25																																																																																																
	橋りょう特殊工	3																																																																																																	
	普通作業員	1																																																																																																	
材質	α																																																																																																		
SS400	1.2																																																																																																		
SM490	1.0																																																																																																		
SM570	0.8																																																																																																		
板厚 t (mm)	β																																																																																																		
t ≤ 30	1.00																																																																																																		
30 < t ≤ 40	0.91																																																																																																		
40 < t ≤ 50	0.88																																																																																																		
50 < t ≤ 60	0.84																																																																																																		
姿勢	γ																																																																																																		
水平及び下向き	1.0																																																																																																		
上向き	0.6																																																																																																		

頁	項目	改定前	改定後																																								
371	第7章② 高力ボルト工 (リベット含む)	<p style="text-align: right;">② 高力ボルト工 (リベット含む) 371</p> <p>②-11 ピン孔明工</p> <p>ピン孔明工の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表2-11 ピン孔明工歩掛</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>日当り施工量</th> <th colspan="2">編成人員 (人)</th> <th rowspan="2">諸雑費率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">$20 \times \alpha$ (本/日)</td> <td>横りよう世話役</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">15</td> </tr> <tr> <td>横りよう特殊工</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">橋梁架設工事の積算 表4-7-5 ピン孔明工歩掛 参照 (注) 諸雑費は、発動発電機の賃料、燃料・油類類、孔明工具、消耗材料等であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>付表-1 孔径による補正係数 (α)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>ピン孔径 d (mm)</th> <th>α</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>$d < \phi 50$</td> <td style="text-align: center;">1.00</td> </tr> <tr> <td>$\phi 50 \leq d < \phi 100$</td> <td style="text-align: center;">0.85</td> </tr> <tr> <td>$\phi 100 \leq d$</td> <td style="text-align: center;">0.70</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: x-small;">(注) d: ピン孔径</p>	日当り施工量	編成人員 (人)		諸雑費率 (%)	$20 \times \alpha$ (本/日)	横りよう世話役	1	15	横りよう特殊工	3	普通作業員	1	ピン孔径 d (mm)	α	$d < \phi 50$	1.00	$\phi 50 \leq d < \phi 100$	0.85	$\phi 100 \leq d$	0.70	<p style="text-align: right;">② 高力ボルト工 (リベット含む) 371</p> <p>②-11 ピン孔明工</p> <p>ピン孔明工の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表2-11 ピン孔明工歩掛</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>日当り施工量</th> <th colspan="2">編成人員 (人)</th> <th rowspan="2">諸雑費率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">$20 \times \alpha$ (本/日)</td> <td>横りよう世話役</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">15</td> </tr> <tr> <td>横りよう特殊工</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">橋梁架設工事の積算 表4-7-6 ピン孔明工歩掛 参照 (注) 諸雑費は、発動発電機の賃料、燃料・油類類、孔明工具、消耗材料等であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>付表-1 孔径による補正係数 (α)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>ピン孔径 d (mm)</th> <th>α</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>$d < \phi 50$</td> <td style="text-align: center;">1.00</td> </tr> <tr> <td>$\phi 50 \leq d < \phi 100$</td> <td style="text-align: center;">0.85</td> </tr> <tr> <td>$\phi 100 \leq d$</td> <td style="text-align: center;">0.70</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: x-small;">(注) d: ピン孔径</p>	日当り施工量	編成人員 (人)		諸雑費率 (%)	$20 \times \alpha$ (本/日)	横りよう世話役	1	15	横りよう特殊工	3	普通作業員	1	ピン孔径 d (mm)	α	$d < \phi 50$	1.00	$\phi 50 \leq d < \phi 100$	0.85	$\phi 100 \leq d$	0.70
日当り施工量	編成人員 (人)		諸雑費率 (%)																																								
$20 \times \alpha$ (本/日)	横りよう世話役	1		15																																							
	横りよう特殊工	3																																									
	普通作業員	1																																									
ピン孔径 d (mm)	α																																										
$d < \phi 50$	1.00																																										
$\phi 50 \leq d < \phi 100$	0.85																																										
$\phi 100 \leq d$	0.70																																										
日当り施工量	編成人員 (人)		諸雑費率 (%)																																								
$20 \times \alpha$ (本/日)	横りよう世話役	1		15																																							
	横りよう特殊工	3																																									
	普通作業員	1																																									
ピン孔径 d (mm)	α																																										
$d < \phi 50$	1.00																																										
$\phi 50 \leq d < \phi 100$	0.85																																										
$\phi 100 \leq d$	0.70																																										

頁	項目	改定前	改定後																																																																																
378	第7章⑥ 検査路撤去・再設置工	<p>378 第7章 歩掛編</p> <p>6 検査路撤去・再設置工</p> <p>補修工事における、検査路撤去・再設置工事の歩掛は、表6-1及び表6-2を標準とする。</p> <p>落橋防止装置設置に当り、検査路本体及び手摺等が干渉する場合に、撤去して再設置を行う場合に使用する。</p> <p>新規に全体を設置する場合は使用しない。</p> <p>6-1 検査路撤去工</p> <p>表6-1 検査路撤去工歩掛</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>項目</th> <th>日当り施工量</th> <th colspan="2">編成人員(人)</th> <th>諸雑費率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">撤去工</td> <td>廃業</td> <td>1.30(t/日)</td> <td>橋りょう世話役</td> <td>1</td> <td rowspan="3">4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">再利用</td> <td rowspan="2">0.98(t/日)</td> <td>橋りょう特殊工</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>橋梁架設工事の積算 表4-22-2 部材撤去工歩掛</p> <p>(注) 1. クレーン賃料及び高所作業車、架設工具損料等を別途計上する。 2. アンカー孔処理を実施する場合は別途計上する。 3. 諸雑費は、撤去用雑材料の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 4. 検査路支持金具(ブラケット)も撤去する場合は撤去数量(質量)に含めて計上する。</p> <p>6-2 検査路再設置工</p> <p>表6-2 検査路再設置工歩掛</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>項目</th> <th>日当り施工量</th> <th colspan="2">編成人員(人)</th> <th>諸雑費率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">再設置工</td> <td>新規材</td> <td>0.82(t/日)</td> <td>橋りょう世話役</td> <td>1</td> <td rowspan="4">4</td> </tr> <tr> <td>再利用材</td> <td>0.77(t/日)</td> <td rowspan="2">橋りょう特殊工</td> <td rowspan="2">4</td> </tr> <tr> <td>F R P 検査路</td> <td>3.6(部材/日)</td> </tr> <tr> <td>アルミ検査路</td> <td>12(m/日)</td> <td>普通作業員</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>橋梁架設工事の積算 表4-22-3 部材再設置工歩掛</p> <p>(注) 1. クレーン賃料及び高所作業車、架設工具損料、発動発電機賃料等を別途計上する。 2. FRP検査路部材長は平均4.0mから6.0mとし、手摺材・床材を組立てた形状を標準とする。 3. 諸雑費は組立用雑材料の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 4. 検査路支持金具(ブラケット)も再設置する場合は撤去数量(質量)に含めて計上する。 5. 部材再設置時に桁本体にボルト孔明を実施する場合は、表8-3芯出し調整工、表2-10鋼桁孔明工歩掛を標準とする。 6. アルミ検査路は歩面部と昇降はこの延長とする。 7. アルミ検査路を設置する場合、吊足場上への荷役機械として、25t吊りラフテレーンクレーンを計上する。 8. アンカーの穿孔及び取付は別途計上する。</p>	種別	項目	日当り施工量	編成人員(人)		諸雑費率(%)	撤去工	廃業	1.30(t/日)	橋りょう世話役	1	4	再利用	0.98(t/日)	橋りょう特殊工	4	普通作業員	1	種別	項目	日当り施工量	編成人員(人)		諸雑費率(%)	再設置工	新規材	0.82(t/日)	橋りょう世話役	1	4	再利用材	0.77(t/日)	橋りょう特殊工	4	F R P 検査路	3.6(部材/日)	アルミ検査路	12(m/日)	普通作業員	1	<p>378 第7章 歩掛編</p> <p>6 検査路撤去・再設置工</p> <p>補修工事における、検査路撤去・再設置工事の歩掛は、表6-1及び表6-2を標準とする。</p> <p>落橋防止装置設置に当り、検査路本体及び手摺等が干渉する場合に、既設検査路を部分的に撤去して再設置を行う場合に使用する。</p> <p>新規に全体を設置する場合は使用しない。</p> <p>6-1 検査路撤去工</p> <p>表6-1 検査路撤去工歩掛</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>項目</th> <th>日当り施工量</th> <th colspan="2">編成人員(人)</th> <th>諸雑費率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">撤去工</td> <td>廃業</td> <td>1.30(t/日)</td> <td>橋りょう世話役</td> <td>1</td> <td rowspan="3">4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">再利用</td> <td rowspan="2">0.98(t/日)</td> <td>橋りょう特殊工</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>橋梁架設工事の積算 表4-22-2 部材撤去工歩掛</p> <p>(注) 1. クレーン賃料及び高所作業車、架設工具損料等を別途計上する。 2. アンカー孔処理を実施する場合は別途計上する。 3. 諸雑費は、撤去用雑材料の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 4. 検査路支持金具(ブラケット)も撤去する場合は撤去数量(質量)に含めて計上する。</p> <p>6-2 検査路再設置工</p> <p>表6-2 検査路再設置工歩掛</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>項目</th> <th>日当り施工量</th> <th colspan="2">編成人員(人)</th> <th>諸雑費率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">再設置工</td> <td>新規材</td> <td>0.82(t/日)</td> <td>橋りょう世話役</td> <td>1</td> <td rowspan="4">4</td> </tr> <tr> <td>再利用材</td> <td>0.77(t/日)</td> <td rowspan="2">橋りょう特殊工</td> <td rowspan="2">4</td> </tr> <tr> <td>F R P 検査路</td> <td>3.6(部材/日)</td> </tr> <tr> <td>アルミ検査路</td> <td>12(m/日)</td> <td>普通作業員</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>橋梁架設工事の積算 表4-22-3 部材再設置工歩掛</p> <p>(注) 1. クレーン賃料及び高所作業車、架設工具損料、発動発電機賃料等を別途計上する。 2. FRP検査路部材長は平均4.0mから6.0mとし、手摺材・床材を組立てた形状を標準とする。 3. 諸雑費は組立用雑材料の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 4. 検査路支持金具(ブラケット)も再設置する場合は撤去数量(質量)に含めて計上する。 5. 部材再設置時に桁本体にボルト孔明を実施する場合は、表8-3芯出し調整工(鋼材加用)、表2-10鋼桁孔明工歩掛を標準とする。 6. アルミ検査路は歩面部と昇降はこの延長とする。 7. アルミ検査路を設置する場合、吊足場上への荷役機械として、25t吊りラフテレーンクレーンを計上する。 8. アンカーの穿孔及び取付は別途計上する。</p>	種別	項目	日当り施工量	編成人員(人)		諸雑費率(%)	撤去工	廃業	1.30(t/日)	橋りょう世話役	1	4	再利用	0.98(t/日)	橋りょう特殊工	4	普通作業員	1	種別	項目	日当り施工量	編成人員(人)		諸雑費率(%)	再設置工	新規材	0.82(t/日)	橋りょう世話役	1	4	再利用材	0.77(t/日)	橋りょう特殊工	4	F R P 検査路	3.6(部材/日)	アルミ検査路	12(m/日)	普通作業員	1
種別	項目	日当り施工量	編成人員(人)		諸雑費率(%)																																																																														
撤去工	廃業	1.30(t/日)	橋りょう世話役	1	4																																																																														
	再利用	0.98(t/日)	橋りょう特殊工	4																																																																															
			普通作業員	1																																																																															
種別	項目	日当り施工量	編成人員(人)		諸雑費率(%)																																																																														
再設置工	新規材	0.82(t/日)	橋りょう世話役	1	4																																																																														
	再利用材	0.77(t/日)	橋りょう特殊工	4																																																																															
	F R P 検査路	3.6(部材/日)																																																																																	
	アルミ検査路	12(m/日)	普通作業員	1																																																																															
種別	項目	日当り施工量	編成人員(人)		諸雑費率(%)																																																																														
撤去工	廃業	1.30(t/日)	橋りょう世話役	1	4																																																																														
	再利用	0.98(t/日)	橋りょう特殊工	4																																																																															
			普通作業員	1																																																																															
種別	項目	日当り施工量	編成人員(人)		諸雑費率(%)																																																																														
再設置工	新規材	0.82(t/日)	橋りょう世話役	1	4																																																																														
	再利用材	0.77(t/日)	橋りょう特殊工	4																																																																															
	F R P 検査路	3.6(部材/日)																																																																																	
	アルミ検査路	12(m/日)	普通作業員	1																																																																															

頁	項目	改定前	改定後																																																																																																																
379	第7章⑦ 部材取付工 (架設工)	<p style="text-align: right;">⑦ 部材取付工 (架設工) 379</p> <p>⑦ 部材取付工 (架設工)</p> <p>⑦-1 補強部材取付工(撤去工)(ボルトによる補強部材)200kg以下</p> <p>補強部材取付工200kg以下の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表7-1 補強部材取付工歩掛</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日当り施工量</th> <th>編成人員 (人)</th> <th>諸雑費率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">4×α (部材/日)</td> <td>橋りよう世話役</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>橋りよう特殊工</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">22</td> </tr> </tbody> </table> <p>橋梁架設工事の積算 表4-7-6 補強部材取付工歩掛 参照 (注) 1. 本歩掛に含まれる作業は、補脚材、ガセットプレート等の人力による作業であり、ラフフレンクレーンを使用する場合は別途計上する。 2. 上表には、ボルトの締付(取外し)工、仮置場からの小運搬は含まない。 3. 取付部材の製作及び材料費は、別途計上するものとする。 4. 諸雑費は、発動発電機の賃料、燃料・油断類、架設工具、消耗材料等であり、労務費の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 5. α: 1部材当り平均質量による補正係数</p> <p>付表-1 1部材当り平均質量による補正係数(α)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1部材当り平均質量 G (kg)</th> <th>α</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>G ≤ 20</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>20 < G ≤ 40</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>40 < G ≤ 100</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>100 < G ≤ 200</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>⑦-2 荷卸し～横取り～仮置工 200kg以上</p> <p>荷卸し～横取り～仮置工200kg以上の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表7-2 補強部材 荷卸し～横取り～仮置工歩掛</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日当り施工量</th> <th>労務編成 (人)</th> <th>諸雑費率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">6×a×β (部材/日)</td> <td>橋りよう世話役</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>橋りよう特殊工</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">20</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. クレーンの賃料は、別途計上する。 2. 諸雑費は、発動発電機の賃料及び燃料、油断、架設工具損料及び横取設備損料等であり、労務費の合計額に上記の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. a: 1部材平均質量による係数(付表-1) β: 荷卸し高さによる係数(付表-2)</p> <p>付表-1 1部材当り平均質量による補正係数(α)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1部材当り平均質量 G (kg)</th> <th>α</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>200 < G ≤ 500</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>500 < G ≤ 1000</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>1000 < G ≤ 1500</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td>1500 < G ≤ 2500</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>2500 < G ≤ 5000</td> <td>0.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>付表-2 荷卸し高さによる係数(β)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>高さ h (m)</th> <th>β</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0 ≤ h ≤ 15</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>15 < h ≤ 20</td> <td>0.85</td> </tr> <tr> <td>20 < h</td> <td>0.75</td> </tr> </tbody> </table>	日当り施工量	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)	4×α (部材/日)	橋りよう世話役	1	橋りよう特殊工	3	普通作業員	1	22			1部材当り平均質量 G (kg)	α	G ≤ 20	4	20 < G ≤ 40	3	40 < G ≤ 100	2	100 < G ≤ 200	1	日当り施工量	労務編成 (人)	諸雑費率 (%)	6×a×β (部材/日)	橋りよう世話役	0.3	橋りよう特殊工	2.0	普通作業員	0.3	20			1部材当り平均質量 G (kg)	α	200 < G ≤ 500	2	500 < G ≤ 1000	1	1000 < G ≤ 1500	0.9	1500 < G ≤ 2500	0.8	2500 < G ≤ 5000	0.7	高さ h (m)	β	0 ≤ h ≤ 15	1.00	15 < h ≤ 20	0.85	20 < h	0.75	<p style="text-align: right;">⑦ 部材取付工 (架設工) 379</p> <p>⑦ 部材取付工 (架設工)</p> <p>⑦-1 補強部材取付工(撤去工)(ボルトによる補強部材)200kg以下</p> <p>補強部材取付工200kg以下の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表7-1 補強部材取付工歩掛</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日当り施工量</th> <th>編成人員 (人)</th> <th>諸雑費率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">4×α (部材/日)</td> <td>橋りよう世話役</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>橋りよう特殊工</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">22</td> </tr> </tbody> </table> <p>橋梁架設工事の積算 表4-7-7 補強部材取付工歩掛 参照 (注) 1. 本歩掛に含まれる作業は、補脚材、ガセットプレート等の人力による作業であり、ラフフレンクレーンを使用する場合は別途計上する。 2. 上表には、ボルトの締付(取外し)工、仮置場からの小運搬は含まない。 3. 取付部材の製作及び材料費は、別途計上するものとする。 4. 諸雑費は、発動発電機の賃料、燃料・油断類、架設工具、消耗材料等であり、労務費の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 5. α: 1部材当り平均質量による補正係数</p> <p>付表-1 1部材当り平均質量による補正係数(α)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1部材当り平均質量 G (kg)</th> <th>α</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>G ≤ 20</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>20 < G ≤ 40</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>40 < G ≤ 100</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>100 < G ≤ 200</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>⑦-2 荷卸し～横取り～仮置工 200kg以上</p> <p>荷卸し～横取り～仮置工200kg以上の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表7-2 補強部材 荷卸し～横取り～仮置工歩掛</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日当り施工量</th> <th>労務編成 (人)</th> <th>諸雑費率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">6×a×β (部材/日)</td> <td>橋りよう世話役</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>橋りよう特殊工</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">20</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. クレーンの賃料は、別途計上する。 2. 諸雑費は、発動発電機の賃料及び燃料、油断、架設工具損料及び横取設備損料等であり、労務費の合計額に上記の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. a: 1部材平均質量による係数(付表-1) β: 荷卸し高さによる係数(付表-2)</p> <p>付表-1 1部材当り平均質量による補正係数(α)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1部材当り平均質量 G (kg)</th> <th>α</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>200 < G ≤ 500</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>500 < G ≤ 1000</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>1000 < G ≤ 1500</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td>1500 < G ≤ 2500</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>2500 < G ≤ 5000</td> <td>0.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>付表-2 荷卸し高さによる係数(β)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>高さ h (m)</th> <th>β</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0 ≤ h ≤ 15</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>15 < h ≤ 20</td> <td>0.85</td> </tr> <tr> <td>20 < h</td> <td>0.75</td> </tr> </tbody> </table>	日当り施工量	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)	4×α (部材/日)	橋りよう世話役	1	橋りよう特殊工	3	普通作業員	1	22			1部材当り平均質量 G (kg)	α	G ≤ 20	4	20 < G ≤ 40	3	40 < G ≤ 100	2	100 < G ≤ 200	1	日当り施工量	労務編成 (人)	諸雑費率 (%)	6×a×β (部材/日)	橋りよう世話役	0.3	橋りよう特殊工	2.0	普通作業員	0.3	20			1部材当り平均質量 G (kg)	α	200 < G ≤ 500	2	500 < G ≤ 1000	1	1000 < G ≤ 1500	0.9	1500 < G ≤ 2500	0.8	2500 < G ≤ 5000	0.7	高さ h (m)	β	0 ≤ h ≤ 15	1.00	15 < h ≤ 20	0.85	20 < h	0.75
日当り施工量	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)																																																																																																																	
4×α (部材/日)	橋りよう世話役	1																																																																																																																	
	橋りよう特殊工	3																																																																																																																	
	普通作業員	1																																																																																																																	
22																																																																																																																			
1部材当り平均質量 G (kg)	α																																																																																																																		
G ≤ 20	4																																																																																																																		
20 < G ≤ 40	3																																																																																																																		
40 < G ≤ 100	2																																																																																																																		
100 < G ≤ 200	1																																																																																																																		
日当り施工量	労務編成 (人)	諸雑費率 (%)																																																																																																																	
6×a×β (部材/日)	橋りよう世話役	0.3																																																																																																																	
	橋りよう特殊工	2.0																																																																																																																	
	普通作業員	0.3																																																																																																																	
20																																																																																																																			
1部材当り平均質量 G (kg)	α																																																																																																																		
200 < G ≤ 500	2																																																																																																																		
500 < G ≤ 1000	1																																																																																																																		
1000 < G ≤ 1500	0.9																																																																																																																		
1500 < G ≤ 2500	0.8																																																																																																																		
2500 < G ≤ 5000	0.7																																																																																																																		
高さ h (m)	β																																																																																																																		
0 ≤ h ≤ 15	1.00																																																																																																																		
15 < h ≤ 20	0.85																																																																																																																		
20 < h	0.75																																																																																																																		
日当り施工量	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)																																																																																																																	
4×α (部材/日)	橋りよう世話役	1																																																																																																																	
	橋りよう特殊工	3																																																																																																																	
	普通作業員	1																																																																																																																	
22																																																																																																																			
1部材当り平均質量 G (kg)	α																																																																																																																		
G ≤ 20	4																																																																																																																		
20 < G ≤ 40	3																																																																																																																		
40 < G ≤ 100	2																																																																																																																		
100 < G ≤ 200	1																																																																																																																		
日当り施工量	労務編成 (人)	諸雑費率 (%)																																																																																																																	
6×a×β (部材/日)	橋りよう世話役	0.3																																																																																																																	
	橋りよう特殊工	2.0																																																																																																																	
	普通作業員	0.3																																																																																																																	
20																																																																																																																			
1部材当り平均質量 G (kg)	α																																																																																																																		
200 < G ≤ 500	2																																																																																																																		
500 < G ≤ 1000	1																																																																																																																		
1000 < G ≤ 1500	0.9																																																																																																																		
1500 < G ≤ 2500	0.8																																																																																																																		
2500 < G ≤ 5000	0.7																																																																																																																		
高さ h (m)	β																																																																																																																		
0 ≤ h ≤ 15	1.00																																																																																																																		
15 < h ≤ 20	0.85																																																																																																																		
20 < h	0.75																																																																																																																		

頁	項目	改定前	改定後																																																																																																																																																																																																		
384	第7章⑦ 部材取付工 (架設工)	<p>384 第7章 歩掛編</p> <p>表7-8 落橋防止装置・横変位拘束装置取付工歩掛</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>タイプ</th> <th>日当り施工量</th> <th>編成人員(人)</th> <th>諸雑費率(%)</th> <th>概略図</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">①</td> <td rowspan="3">3×α基/日 (アンカーボルトは除く) (2×α基/日)</td> <td>橋りょう世話役 1</td> <td rowspan="3">32</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工 4</td> </tr> <tr> <td>普通作業員 2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">②</td> <td rowspan="3">4×α組/日 (ヒン取付含む) (3×α組/日)</td> <td>橋りょう世話役 1</td> <td rowspan="3">32</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工 4</td> </tr> <tr> <td>普通作業員 2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">③</td> <td rowspan="3">4×α組/日 (PC鋼線取付含む) (3×α組/日)</td> <td>橋りょう世話役 1</td> <td rowspan="3">24</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工 7</td> </tr> <tr> <td>普通作業員 2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">④-1</td> <td rowspan="3">4×α組/日 (アンカーボルトは除く) (3×α組/日)</td> <td>橋りょう世話役 1</td> <td rowspan="3">24</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工 7</td> </tr> <tr> <td>普通作業員 2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">④-2</td> <td rowspan="3">4×α組/日 (アンカーボルトは除く) (3×α組/日)</td> <td>橋りょう世話役 1</td> <td rowspan="3">24</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工 7</td> </tr> <tr> <td>普通作業員 2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">④-3</td> <td rowspan="3">2.2×α組/日 (アンカーボルトは除く) (1.5×α組/日)</td> <td>橋りょう世話役 1</td> <td rowspan="3">24</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工 7</td> </tr> <tr> <td>普通作業員 2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑤</td> <td rowspan="3">4×α基/日 (3×α基/日)</td> <td>橋りょう世話役 1</td> <td rowspan="3">32</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工 4</td> </tr> <tr> <td>普通作業員 2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑥-1</td> <td rowspan="3">2×α基/日 (1.5×α基/日)</td> <td>橋りょう世話役 1</td> <td rowspan="3">32</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工 4</td> </tr> <tr> <td>普通作業員 2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑥-2</td> <td rowspan="3">2×α基/日 (1.5×α基/日)</td> <td>橋りょう世話役 1</td> <td rowspan="3">32</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工 4</td> </tr> <tr> <td>普通作業員 2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑦</td> <td rowspan="3">4×α組/日 (3×α組/日)</td> <td>橋りょう世話役 1</td> <td rowspan="3">32</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工 4</td> </tr> <tr> <td>普通作業員 2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑧-1</td> <td rowspan="3">2×α組/日 (アンカーバー取付含む) (1.5×α組/日)</td> <td>橋りょう世話役 1</td> <td rowspan="3">32</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工 4</td> </tr> <tr> <td>普通作業員 2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑧-2</td> <td rowspan="3">4×α基/日 (アンカーバー取付含まず) (3×α基/日)</td> <td>橋りょう世話役 1</td> <td rowspan="3">32</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工 4</td> </tr> <tr> <td>普通作業員 2</td> </tr> </tbody> </table> <p>橋梁架設工事の積算 表4-7-7 タイプ別一覧表 参照</p> <p>(注) 1. () 内施工数量は、単部材質量が600kgを超す場合に適用する。2000kgを超えるものは別途積算とする。 2. 上表には、現場環境からの選定を含むものとする。 3. 単部材質量が600kgを超す場合には、ラフテレンクレーンを使用するものとし、別途計上する。 4. 部材の製作及び材料費は、別途計上する。 5. アンカーボルト定着後の引張及び定着長測定等の試験費については別途計上する。 6. PC槽において吊上げ設備等設置のためのアンカーボルト穿孔及び定着が必要な場合は、別途計上する。 7. 取付箇所において図7-1のような複数のタイプを兼用する構造については、別途積算とする。 8. 諸雑費は、発動発電機の賃料、燃料、油断続、組立工具、吊上げ設備、クレーン付トラック運転工及び部材取付用消耗材料の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 9. 現場環境条件により、部材取付工の日当り施工量を、付表-1の係数を乗じ補正する。</p> <p>付表-1 現場環境条件による補正係数(α)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現場環境条件</th> <th>α</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般用地内・河川高水敷部</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>現道よからの部材荷揚げをする場合</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td>主要道路上・鉄道上</td> <td>0.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 時間制約がある場合は別途積算する。</p> <p>図7-1 複数のタイプを兼用する構造例</p>	タイプ	日当り施工量	編成人員(人)	諸雑費率(%)	概略図	①	3×α基/日 (アンカーボルトは除く) (2×α基/日)	橋りょう世話役 1	32		橋りょう特殊工 4	普通作業員 2	②	4×α組/日 (ヒン取付含む) (3×α組/日)	橋りょう世話役 1	32		橋りょう特殊工 4	普通作業員 2	③	4×α組/日 (PC鋼線取付含む) (3×α組/日)	橋りょう世話役 1	24		橋りょう特殊工 7	普通作業員 2	④-1	4×α組/日 (アンカーボルトは除く) (3×α組/日)	橋りょう世話役 1	24		橋りょう特殊工 7	普通作業員 2	④-2	4×α組/日 (アンカーボルトは除く) (3×α組/日)	橋りょう世話役 1	24		橋りょう特殊工 7	普通作業員 2	④-3	2.2×α組/日 (アンカーボルトは除く) (1.5×α組/日)	橋りょう世話役 1	24		橋りょう特殊工 7	普通作業員 2	⑤	4×α基/日 (3×α基/日)	橋りょう世話役 1	32		橋りょう特殊工 4	普通作業員 2	⑥-1	2×α基/日 (1.5×α基/日)	橋りょう世話役 1	32		橋りょう特殊工 4	普通作業員 2	⑥-2	2×α基/日 (1.5×α基/日)	橋りょう世話役 1	32		橋りょう特殊工 4	普通作業員 2	⑦	4×α組/日 (3×α組/日)	橋りょう世話役 1	32		橋りょう特殊工 4	普通作業員 2	⑧-1	2×α組/日 (アンカーバー取付含む) (1.5×α組/日)	橋りょう世話役 1	32		橋りょう特殊工 4	普通作業員 2	⑧-2	4×α基/日 (アンカーバー取付含まず) (3×α基/日)	橋りょう世話役 1	32		橋りょう特殊工 4	普通作業員 2	現場環境条件	α	一般用地内・河川高水敷部	1.0	現道よからの部材荷揚げをする場合	0.9	主要道路上・鉄道上	0.8	<p>384 第7章 歩掛編</p> <p>表7-8 落橋防止装置・横変位拘束装置取付工歩掛</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>タイプ</th> <th>日当り施工量</th> <th>編成人員(人)</th> <th>諸雑費率(%)</th> <th>概略図</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">①</td> <td rowspan="3">3×α基/日 (アンカーボルトは除く) (2×α基/日)</td> <td>橋りょう世話役 1</td> <td rowspan="3">32</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工 4</td> </tr> <tr> <td>普通作業員 2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">②</td> <td rowspan="3">4×α組/日 (ヒン取付含む) (3×α組/日)</td> <td>橋りょう世話役 1</td> <td rowspan="3">32</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工 4</td> </tr> <tr> <td>普通作業員 2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">③</td> <td rowspan="3">4×α組/日 (PC鋼線取付含む) (3×α組/日)</td> <td>橋りょう世話役 1</td> <td rowspan="3">24</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工 7</td> </tr> <tr> <td>普通作業員 2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">④-1</td> <td rowspan="3">4×α組/日 (アンカーボルトは除く) (3×α組/日)</td> <td>橋りょう世話役 1</td> <td rowspan="3">24</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工 7</td> </tr> <tr> <td>普通作業員 2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">④-2</td> <td rowspan="3">4×α組/日 (アンカーボルトは除く) (3×α組/日)</td> <td>橋りょう世話役 1</td> <td rowspan="3">24</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工 7</td> </tr> <tr> <td>普通作業員 2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">④-3</td> <td rowspan="3">2.2×α組/日 (アンカーボルトは除く) (1.5×α組/日)</td> <td>橋りょう世話役 1</td> <td rowspan="3">24</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工 7</td> </tr> <tr> <td>普通作業員 2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑤</td> <td rowspan="3">4×α基/日 (3×α基/日)</td> <td>橋りょう世話役 1</td> <td rowspan="3">32</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工 4</td> </tr> <tr> <td>普通作業員 2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑥-1</td> <td rowspan="3">2×α基/日 (1.5×α基/日)</td> <td>橋りょう世話役 1</td> <td rowspan="3">32</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工 4</td> </tr> <tr> <td>普通作業員 2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑥-2</td> <td rowspan="3">2×α基/日 (1.5×α基/日)</td> <td>橋りょう世話役 1</td> <td rowspan="3">32</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工 4</td> </tr> <tr> <td>普通作業員 2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑦</td> <td rowspan="3">4×α組/日 (3×α組/日)</td> <td>橋りょう世話役 1</td> <td rowspan="3">32</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工 4</td> </tr> <tr> <td>普通作業員 2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑧-1</td> <td rowspan="3">2×α組/日 (アンカーバー取付含む) (1.5×α組/日)</td> <td>橋りょう世話役 1</td> <td rowspan="3">32</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工 4</td> </tr> <tr> <td>普通作業員 2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑧-2</td> <td rowspan="3">4×α基/日 (アンカーバー取付含まず) (3×α基/日)</td> <td>橋りょう世話役 1</td> <td rowspan="3">32</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工 4</td> </tr> <tr> <td>普通作業員 2</td> </tr> </tbody> </table> <p>橋梁架設工事の積算 表4-7-8 タイプ別一覧表 参照</p> <p>(注) 1. () 内施工数量は、単部材質量が600kgを超す場合に適用する。2000kgを超えるものは別途積算とする。 2. 上表には、現場環境からの選定を含むものとする。 3. 単部材質量が600kgを超す場合には、ラフテレンクレーンを使用するものとし、別途計上する。 4. 部材の製作及び材料費は、別途計上する。 5. アンカーボルト定着後の引張及び定着長測定等の試験費については別途計上する。 6. PC槽において吊上げ設備等設置のためのアンカーボルト穿孔及び定着が必要な場合は、別途計上する。 7. 取付箇所において図7-1のような複数のタイプを兼用する構造については、別途積算とする。 8. 諸雑費は、発動発電機の賃料、燃料、油断続、組立工具、吊上げ設備、クレーン付トラック運転工及び部材取付用消耗材料の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 9. 現場環境条件により、部材取付工の日当り施工量を、付表-1の係数を乗じ補正する。</p> <p>付表-1 現場環境条件による補正係数(α)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現場環境条件</th> <th>α</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般用地内・河川高水敷部</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>現道よからの部材荷揚げをする場合</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td>主要道路上・鉄道上</td> <td>0.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 時間制約がある場合は別途積算する。</p> <p>図7-1 複数のタイプを兼用する構造例</p>	タイプ	日当り施工量	編成人員(人)	諸雑費率(%)	概略図	①	3×α基/日 (アンカーボルトは除く) (2×α基/日)	橋りょう世話役 1	32		橋りょう特殊工 4	普通作業員 2	②	4×α組/日 (ヒン取付含む) (3×α組/日)	橋りょう世話役 1	32		橋りょう特殊工 4	普通作業員 2	③	4×α組/日 (PC鋼線取付含む) (3×α組/日)	橋りょう世話役 1	24		橋りょう特殊工 7	普通作業員 2	④-1	4×α組/日 (アンカーボルトは除く) (3×α組/日)	橋りょう世話役 1	24		橋りょう特殊工 7	普通作業員 2	④-2	4×α組/日 (アンカーボルトは除く) (3×α組/日)	橋りょう世話役 1	24		橋りょう特殊工 7	普通作業員 2	④-3	2.2×α組/日 (アンカーボルトは除く) (1.5×α組/日)	橋りょう世話役 1	24		橋りょう特殊工 7	普通作業員 2	⑤	4×α基/日 (3×α基/日)	橋りょう世話役 1	32		橋りょう特殊工 4	普通作業員 2	⑥-1	2×α基/日 (1.5×α基/日)	橋りょう世話役 1	32		橋りょう特殊工 4	普通作業員 2	⑥-2	2×α基/日 (1.5×α基/日)	橋りょう世話役 1	32		橋りょう特殊工 4	普通作業員 2	⑦	4×α組/日 (3×α組/日)	橋りょう世話役 1	32		橋りょう特殊工 4	普通作業員 2	⑧-1	2×α組/日 (アンカーバー取付含む) (1.5×α組/日)	橋りょう世話役 1	32		橋りょう特殊工 4	普通作業員 2	⑧-2	4×α基/日 (アンカーバー取付含まず) (3×α基/日)	橋りょう世話役 1	32		橋りょう特殊工 4	普通作業員 2	現場環境条件	α	一般用地内・河川高水敷部	1.0	現道よからの部材荷揚げをする場合	0.9	主要道路上・鉄道上	0.8
タイプ	日当り施工量	編成人員(人)	諸雑費率(%)	概略図																																																																																																																																																																																																	
①	3×α基/日 (アンカーボルトは除く) (2×α基/日)	橋りょう世話役 1	32																																																																																																																																																																																																		
		橋りょう特殊工 4																																																																																																																																																																																																			
		普通作業員 2																																																																																																																																																																																																			
②	4×α組/日 (ヒン取付含む) (3×α組/日)	橋りょう世話役 1	32																																																																																																																																																																																																		
		橋りょう特殊工 4																																																																																																																																																																																																			
		普通作業員 2																																																																																																																																																																																																			
③	4×α組/日 (PC鋼線取付含む) (3×α組/日)	橋りょう世話役 1	24																																																																																																																																																																																																		
		橋りょう特殊工 7																																																																																																																																																																																																			
		普通作業員 2																																																																																																																																																																																																			
④-1	4×α組/日 (アンカーボルトは除く) (3×α組/日)	橋りょう世話役 1	24																																																																																																																																																																																																		
		橋りょう特殊工 7																																																																																																																																																																																																			
		普通作業員 2																																																																																																																																																																																																			
④-2	4×α組/日 (アンカーボルトは除く) (3×α組/日)	橋りょう世話役 1	24																																																																																																																																																																																																		
		橋りょう特殊工 7																																																																																																																																																																																																			
		普通作業員 2																																																																																																																																																																																																			
④-3	2.2×α組/日 (アンカーボルトは除く) (1.5×α組/日)	橋りょう世話役 1	24																																																																																																																																																																																																		
		橋りょう特殊工 7																																																																																																																																																																																																			
		普通作業員 2																																																																																																																																																																																																			
⑤	4×α基/日 (3×α基/日)	橋りょう世話役 1	32																																																																																																																																																																																																		
		橋りょう特殊工 4																																																																																																																																																																																																			
		普通作業員 2																																																																																																																																																																																																			
⑥-1	2×α基/日 (1.5×α基/日)	橋りょう世話役 1	32																																																																																																																																																																																																		
		橋りょう特殊工 4																																																																																																																																																																																																			
		普通作業員 2																																																																																																																																																																																																			
⑥-2	2×α基/日 (1.5×α基/日)	橋りょう世話役 1	32																																																																																																																																																																																																		
		橋りょう特殊工 4																																																																																																																																																																																																			
		普通作業員 2																																																																																																																																																																																																			
⑦	4×α組/日 (3×α組/日)	橋りょう世話役 1	32																																																																																																																																																																																																		
		橋りょう特殊工 4																																																																																																																																																																																																			
		普通作業員 2																																																																																																																																																																																																			
⑧-1	2×α組/日 (アンカーバー取付含む) (1.5×α組/日)	橋りょう世話役 1	32																																																																																																																																																																																																		
		橋りょう特殊工 4																																																																																																																																																																																																			
		普通作業員 2																																																																																																																																																																																																			
⑧-2	4×α基/日 (アンカーバー取付含まず) (3×α基/日)	橋りょう世話役 1	32																																																																																																																																																																																																		
		橋りょう特殊工 4																																																																																																																																																																																																			
		普通作業員 2																																																																																																																																																																																																			
現場環境条件	α																																																																																																																																																																																																				
一般用地内・河川高水敷部	1.0																																																																																																																																																																																																				
現道よからの部材荷揚げをする場合	0.9																																																																																																																																																																																																				
主要道路上・鉄道上	0.8																																																																																																																																																																																																				
タイプ	日当り施工量	編成人員(人)	諸雑費率(%)	概略図																																																																																																																																																																																																	
①	3×α基/日 (アンカーボルトは除く) (2×α基/日)	橋りょう世話役 1	32																																																																																																																																																																																																		
		橋りょう特殊工 4																																																																																																																																																																																																			
		普通作業員 2																																																																																																																																																																																																			
②	4×α組/日 (ヒン取付含む) (3×α組/日)	橋りょう世話役 1	32																																																																																																																																																																																																		
		橋りょう特殊工 4																																																																																																																																																																																																			
		普通作業員 2																																																																																																																																																																																																			
③	4×α組/日 (PC鋼線取付含む) (3×α組/日)	橋りょう世話役 1	24																																																																																																																																																																																																		
		橋りょう特殊工 7																																																																																																																																																																																																			
		普通作業員 2																																																																																																																																																																																																			
④-1	4×α組/日 (アンカーボルトは除く) (3×α組/日)	橋りょう世話役 1	24																																																																																																																																																																																																		
		橋りょう特殊工 7																																																																																																																																																																																																			
		普通作業員 2																																																																																																																																																																																																			
④-2	4×α組/日 (アンカーボルトは除く) (3×α組/日)	橋りょう世話役 1	24																																																																																																																																																																																																		
		橋りょう特殊工 7																																																																																																																																																																																																			
		普通作業員 2																																																																																																																																																																																																			
④-3	2.2×α組/日 (アンカーボルトは除く) (1.5×α組/日)	橋りょう世話役 1	24																																																																																																																																																																																																		
		橋りょう特殊工 7																																																																																																																																																																																																			
		普通作業員 2																																																																																																																																																																																																			
⑤	4×α基/日 (3×α基/日)	橋りょう世話役 1	32																																																																																																																																																																																																		
		橋りょう特殊工 4																																																																																																																																																																																																			
		普通作業員 2																																																																																																																																																																																																			
⑥-1	2×α基/日 (1.5×α基/日)	橋りょう世話役 1	32																																																																																																																																																																																																		
		橋りょう特殊工 4																																																																																																																																																																																																			
		普通作業員 2																																																																																																																																																																																																			
⑥-2	2×α基/日 (1.5×α基/日)	橋りょう世話役 1	32																																																																																																																																																																																																		
		橋りょう特殊工 4																																																																																																																																																																																																			
		普通作業員 2																																																																																																																																																																																																			
⑦	4×α組/日 (3×α組/日)	橋りょう世話役 1	32																																																																																																																																																																																																		
		橋りょう特殊工 4																																																																																																																																																																																																			
		普通作業員 2																																																																																																																																																																																																			
⑧-1	2×α組/日 (アンカーバー取付含む) (1.5×α組/日)	橋りょう世話役 1	32																																																																																																																																																																																																		
		橋りょう特殊工 4																																																																																																																																																																																																			
		普通作業員 2																																																																																																																																																																																																			
⑧-2	4×α基/日 (アンカーバー取付含まず) (3×α基/日)	橋りょう世話役 1	32																																																																																																																																																																																																		
		橋りょう特殊工 4																																																																																																																																																																																																			
		普通作業員 2																																																																																																																																																																																																			
現場環境条件	α																																																																																																																																																																																																				
一般用地内・河川高水敷部	1.0																																																																																																																																																																																																				
現道よからの部材荷揚げをする場合	0.9																																																																																																																																																																																																				
主要道路上・鉄道上	0.8																																																																																																																																																																																																				

頁	項目	改定前	改定後																																																																						
387	第7章⑧ 現場塗装工及び塗膜研削工	<p>⑧ 現場塗装工及び塗膜研削工 387</p> <p>8 現場塗装工及び塗膜研削工</p> <p>8-1 小規模現場塗装工</p> <p>補修・補強工事で1箇所の規模が20m²未満の現場塗装に用いる。 1箇所の規模が20m²以上の場合は土木工事標準単価を適用する。</p> <p>1箇所の施工面積は下記の要領で橋台、橋体、および工種単位で塗装仕様毎に数量を集計する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 支取替工や落橋防止システム工等の下部構造周囲で施工される工種は、1橋台および1橋脚単位で数量を集計する。 桁補強や高力ボルト取替工、床版取替工等の上部構造で施工される工種は、1橋単位で数量を集計する。 1工事で複数の工種の施工を行う場合は、工種毎に数量を集計する。 <p>表8-1 小規模現場塗装工歩掛</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>日当り施工量 (m²/日)</th> <th>編成人員 (人)</th> <th>諸雑費率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>素地調整工</td> <td>7.6m²/日</td> <td>橋りよう塗装工 4</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>下塗り</td> <td>58.6m²/日 (各1回塗り当り)</td> <td>橋りよう塗装工 4</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>中塗り</td> <td>58.6m²/日 (各1回塗り当り)</td> <td>橋りよう塗装工 4</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>上塗り</td> <td>58.6m²/日 (各1回塗り当り)</td> <td>橋りよう塗装工 4</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <p>橋梁架設工事の積算 表4-5-5 小規模塗装工歩掛 参照 (注) 1. 諸雑費は、塗装工事の刷毛、下げ缶、電動発電機賃料、燃料・油類類、小道具等の費用であり、労務費の合計に上記表の率を乗じた金額を上限として計上する。 2. 上記歩掛は常設定場上での歩掛である。高所作業車での施工の場合、別途積算する。 3. 作業時間は8時間と考える。規制等で時間的制約がある場合は別途積算する。 4. 塗料材料費は別途計上する。 5. 塗料材料が1缶に満たない場合は1缶分の材料費を計上する。 6. 素地調整は2種ケレン相当とする。 7. 塗装面の水分濃度測定が必要な場合は別途計上する。</p> <p>8-2 部材取付部塗膜研削工</p> <p>部材取付部塗膜研削工の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p>表8-2 部材取付部塗膜研削工歩掛</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日当り施工量</th> <th>労務編成 (人)</th> <th>諸雑費率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">10.0 (m²/日)</td> <td>橋りよう世話役 1.0</td> <td rowspan="2">10</td> </tr> <tr> <td>橋りよう特殊工 4.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 部材取付部は、素地調整程度2種とし、旧塗膜及びさびを完全に除去し鋼材面を露出させる。 2. 現場バキュームプラスト工または塗膜除去工(塗膜剥離剤)により剥離作業を行う場合は、⑧-4、⑧-5を適用する。 3. 諸雑費は電動発電機の賃料、燃料・油類類及び消耗材料の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>8-3 芯出し調整工</p> <p>芯出し調整工の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p>表8-3 芯出し調整工歩掛</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日当り施工量</th> <th>編成人員 (人)</th> <th>諸雑費率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">10 (m²/日) 5 (組/日)</td> <td>橋りよう世話役 1</td> <td rowspan="3">7</td> </tr> <tr> <td>橋りよう特殊工 4</td> </tr> <tr> <td>普通作業員 6</td> </tr> </tbody> </table> <p>橋梁架設工事の積算 表4-7-2 芯出し調整工歩掛 参照 (注) 1. 部材取付部の塗膜研削(2種ケレン相当)を含む。 2. 諸雑費は、工具材料であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. 既設塗膜の有害物質含有等の理由により、前段作業で湿式塗膜剥離が必要な場合には湿式塗膜剥離工法を別途計上する。</p>	工種	日当り施工量 (m ² /日)	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)	素地調整工	7.6m ² /日	橋りよう塗装工 4	9	下塗り	58.6m ² /日 (各1回塗り当り)	橋りよう塗装工 4	9	中塗り	58.6m ² /日 (各1回塗り当り)	橋りよう塗装工 4	9	上塗り	58.6m ² /日 (各1回塗り当り)	橋りよう塗装工 4	9	日当り施工量	労務編成 (人)	諸雑費率 (%)	10.0 (m ² /日)	橋りよう世話役 1.0	10	橋りよう特殊工 4.7	日当り施工量	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)	10 (m ² /日) 5 (組/日)	橋りよう世話役 1	7	橋りよう特殊工 4	普通作業員 6	<p>⑧ 現場塗装工及び塗膜研削工 387</p> <p>8 現場塗装工及び塗膜研削工</p> <p>8-1 小規模現場塗装工</p> <p>補修・補強工事で1箇所の規模が20m²未満の現場塗装に用いる。 1箇所の規模が20m²以上の場合は土木工事標準単価を適用する。</p> <p>1箇所の施工面積は下記の要領で橋台、橋体、および工種単位で塗装仕様毎に数量を集計する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 支取替工や落橋防止システム工等の下部構造周囲で施工される工種は、1橋台および1橋脚単位で数量を集計する。 桁補強や高力ボルト取替工、床版取替工等の上部構造で施工される工種は、1橋単位で数量を集計する。 1工事で複数の工種の施工を行う場合は、工種毎に数量を集計する。 <p>表8-1 小規模現場塗装工歩掛</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>日当り施工量 (m²/日)</th> <th>編成人員 (人)</th> <th>諸雑費率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>素地調整工</td> <td>7.6m²/日</td> <td>橋りよう塗装工 4</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>下塗り</td> <td>58.6m²/日 (各1回塗り当り)</td> <td>橋りよう塗装工 4</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>中塗り</td> <td>58.6m²/日 (各1回塗り当り)</td> <td>橋りよう塗装工 4</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>上塗り</td> <td>58.6m²/日 (各1回塗り当り)</td> <td>橋りよう塗装工 4</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <p>橋梁架設工事の積算 表4-5-5 小規模塗装工歩掛 参照 (注) 1. 諸雑費は、塗装工事の刷毛、下げ缶、電動発電機賃料、燃料・油類類、小道具等の費用であり、労務費の合計に上記表の率を乗じた金額を上限として計上する。 2. 上記歩掛は常設定場上での歩掛である。高所作業車での施工の場合、別途積算する。 3. 作業時間は8時間と考える。規制等で時間的制約がある場合は別途積算する。 4. 塗料材料費は別途計上する。 5. 塗料材料が1缶に満たない場合は1缶分の材料費を計上する。 6. 素地調整は2種ケレン相当とする。 7. 塗装面の水分濃度測定が必要な場合は別途計上する。</p> <p>8-2 部材取付部塗膜研削工</p> <p>部材取付部塗膜研削工の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p>表8-2 部材取付部塗膜研削工歩掛</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日当り施工量</th> <th>労務編成 (人)</th> <th>諸雑費率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">10.0 (m²/日)</td> <td>橋りよう世話役 1.0</td> <td rowspan="2">10</td> </tr> <tr> <td>橋りよう特殊工 4.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 部材取付部は、素地調整程度2種とし、旧塗膜及びさびを完全に除去し鋼材面を露出させる。 2. 現場バキュームプラスト工または塗膜除去工(塗膜剥離剤)により剥離作業を行う場合は、⑧-4、⑧-5を適用する。 3. 諸雑費は電動発電機の賃料、燃料・油類類及び消耗材料の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>8-3 芯出し調整工 (鋼材面用)</p> <p>芯出し調整工の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p>表8-3 芯出し調整工(鋼材面用)歩掛</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日当り施工量</th> <th>編成人員 (人)</th> <th>諸雑費率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">10 (m²/日) 5 (組/日)</td> <td>橋りよう世話役 1</td> <td rowspan="3">7</td> </tr> <tr> <td>橋りよう特殊工 4</td> </tr> <tr> <td>普通作業員 6</td> </tr> </tbody> </table> <p>橋梁架設工事の積算 表4-7-2 芯出し調整工(鋼材面用)歩掛 参照 (注) 1. 部材取付部の塗膜研削(2種ケレン相当)を含む。 2. 諸雑費は、工具材料であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. 既設塗膜の有害物質含有等の理由により、前段作業で湿式塗膜剥離が必要な場合には湿式塗膜剥離工法を別途計上する。</p>	工種	日当り施工量 (m ² /日)	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)	素地調整工	7.6m ² /日	橋りよう塗装工 4	9	下塗り	58.6m ² /日 (各1回塗り当り)	橋りよう塗装工 4	9	中塗り	58.6m ² /日 (各1回塗り当り)	橋りよう塗装工 4	9	上塗り	58.6m ² /日 (各1回塗り当り)	橋りよう塗装工 4	9	日当り施工量	労務編成 (人)	諸雑費率 (%)	10.0 (m ² /日)	橋りよう世話役 1.0	10	橋りよう特殊工 4.7	日当り施工量	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)	10 (m ² /日) 5 (組/日)	橋りよう世話役 1	7	橋りよう特殊工 4	普通作業員 6
工種	日当り施工量 (m ² /日)	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)																																																																						
素地調整工	7.6m ² /日	橋りよう塗装工 4	9																																																																						
下塗り	58.6m ² /日 (各1回塗り当り)	橋りよう塗装工 4	9																																																																						
中塗り	58.6m ² /日 (各1回塗り当り)	橋りよう塗装工 4	9																																																																						
上塗り	58.6m ² /日 (各1回塗り当り)	橋りよう塗装工 4	9																																																																						
日当り施工量	労務編成 (人)	諸雑費率 (%)																																																																							
10.0 (m ² /日)	橋りよう世話役 1.0	10																																																																							
	橋りよう特殊工 4.7																																																																								
日当り施工量	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)																																																																							
10 (m ² /日) 5 (組/日)	橋りよう世話役 1	7																																																																							
	橋りよう特殊工 4																																																																								
	普通作業員 6																																																																								
工種	日当り施工量 (m ² /日)	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)																																																																						
素地調整工	7.6m ² /日	橋りよう塗装工 4	9																																																																						
下塗り	58.6m ² /日 (各1回塗り当り)	橋りよう塗装工 4	9																																																																						
中塗り	58.6m ² /日 (各1回塗り当り)	橋りよう塗装工 4	9																																																																						
上塗り	58.6m ² /日 (各1回塗り当り)	橋りよう塗装工 4	9																																																																						
日当り施工量	労務編成 (人)	諸雑費率 (%)																																																																							
10.0 (m ² /日)	橋りよう世話役 1.0	10																																																																							
	橋りよう特殊工 4.7																																																																								
日当り施工量	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)																																																																							
10 (m ² /日) 5 (組/日)	橋りよう世話役 1	7																																																																							
	橋りよう特殊工 4																																																																								
	普通作業員 6																																																																								

頁	項目	改定前	改定後																																																																																																																																
394	第7章⑨ コンクリート アンカー工	<p>394 第7章 歩掛編</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表9-2 コンクリート削孔（電動式コアボーリングマシン） 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>土木一般世話役</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>特殊作業員</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">材料</td> <td rowspan="7">Z1</td> <td>ダイヤモンドビット φ27.6mm</td> <td>アンカー材径17mm以下の場合</td> </tr> <tr> <td>ダイヤモンドビット φ33.1mm</td> <td>アンカー材径17mmを超え23mm以下の場合</td> </tr> <tr> <td>ダイヤモンドビット φ40mm</td> <td>アンカー材径23mmを超え30mm以下の場合</td> </tr> <tr> <td>ダイヤモンドビット φ53.1mm</td> <td>アンカー材径30mmを超え43mm以下の場合</td> </tr> <tr> <td>ダイヤモンドビット φ64.7mm</td> <td>アンカー材径43mmを超え54mm以下の場合</td> </tr> <tr> <td>ダイヤモンドビット φ77.4mm</td> <td>アンカー材径54mmを超え67mm以下の場合</td> </tr> <tr> <td>ダイヤモンドビット φ90.8mm</td> <td>アンカー材径67mmを超え80mm以下の場合</td> </tr> <tr> <td>ダイヤモンドビット φ110mm</td> <td>アンカー材径80mmを超え100mm以下の場合</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 施工パッケージ型積算方式適用範囲外 削孔径110mmを超え130mm以下で、削孔深さが1,300mmを超え1,500mm以下のコンクリート削孔工に適用する。</p> <p>表9-3 コンクリート削孔工歩掛（コアボーリングマシン） (1日当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日当り施工量</th> <th colspan="2">編成人員（人）</th> <th>ダイヤモンドビット（個）</th> <th>諸雑費率（%）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">3（孔/日）</td> <td>土木一般世話役</td> <td>1</td> <td rowspan="2">0.9</td> <td rowspan="2">9</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>橋梁架設工事の積算 表4-7-18 コンクリート削孔工歩掛（コアボーリングマシン） 参照 (注) 1. 本歩掛は不達孔（削孔ロス）を含み、不達孔の有無にかかわらず適用出来る。 2. コンクリート削孔機（コアボーリングマシン）の施工に伴う泥水処理（産業廃棄物の運搬、処理費）が必要な場合は、別途計上する。 3. 諸雑費は削孔機燃料、水中ポンプ燃料、コアボーリングマシン固定アンカー打込みに必要な費用及び発動発電機の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 4. 定増が必要な場合は、別途計上する。 5. アンカー材径に適用する削孔径と使用ビット径は付表-1を標準とする。</p> <p>付表-1 適用削孔径と使用ビット径</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>アンカー材径（mm）</th> <th>適用削孔径（mm）</th> <th>使用ビット径（mm）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100を超え120以下</td> <td>110を超え130以下</td> <td>128</td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K1	-	K2	-	K3	-	労務	R1	土木一般世話役	R2	特殊作業員	R3	-	R4	-	材料	Z1	ダイヤモンドビット φ27.6mm	アンカー材径17mm以下の場合	ダイヤモンドビット φ33.1mm	アンカー材径17mmを超え23mm以下の場合	ダイヤモンドビット φ40mm	アンカー材径23mmを超え30mm以下の場合	ダイヤモンドビット φ53.1mm	アンカー材径30mmを超え43mm以下の場合	ダイヤモンドビット φ64.7mm	アンカー材径43mmを超え54mm以下の場合	ダイヤモンドビット φ77.4mm	アンカー材径54mmを超え67mm以下の場合	ダイヤモンドビット φ90.8mm	アンカー材径67mmを超え80mm以下の場合	ダイヤモンドビット φ110mm	アンカー材径80mmを超え100mm以下の場合	Z2	-	Z3	-	Z4	-	市場単価	S	-	日当り施工量	編成人員（人）		ダイヤモンドビット（個）	諸雑費率（%）	3（孔/日）	土木一般世話役	1	0.9	9	特殊作業員	1	アンカー材径（mm）	適用削孔径（mm）	使用ビット径（mm）	100を超え120以下	110を超え130以下	128	<p>394 第7章 歩掛編</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表9-2 コンクリート削孔（電動式コアボーリングマシン） 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>土木一般世話役</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>特殊作業員</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">材料</td> <td rowspan="7">Z1</td> <td>ダイヤモンドビット φ27.6mm</td> <td>アンカー材径17mm以下の場合</td> </tr> <tr> <td>ダイヤモンドビット φ33.1mm</td> <td>アンカー材径17mmを超え23mm以下の場合</td> </tr> <tr> <td>ダイヤモンドビット φ40mm</td> <td>アンカー材径23mmを超え30mm以下の場合</td> </tr> <tr> <td>ダイヤモンドビット φ53.1mm</td> <td>アンカー材径30mmを超え43mm以下の場合</td> </tr> <tr> <td>ダイヤモンドビット φ64.7mm</td> <td>アンカー材径43mmを超え54mm以下の場合</td> </tr> <tr> <td>ダイヤモンドビット φ77.4mm</td> <td>アンカー材径54mmを超え67mm以下の場合</td> </tr> <tr> <td>ダイヤモンドビット φ90.8mm</td> <td>アンカー材径67mmを超え80mm以下の場合</td> </tr> <tr> <td>ダイヤモンドビット φ110mm</td> <td>アンカー材径80mmを超え100mm以下の場合</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 施工パッケージ型積算方式適用範囲外 削孔径110mmを超え130mm以下で、削孔深さが1,300mmを超え1,500mm以下のコンクリート削孔工に適用する。</p> <p>表9-3 コンクリート削孔工歩掛（コアボーリングマシン） (1日当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日当り施工量</th> <th colspan="2">編成人員（人）</th> <th>ダイヤモンドビット（個）</th> <th>諸雑費率（%）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">3（孔/日）</td> <td>土木一般世話役</td> <td>1</td> <td rowspan="2">0.9</td> <td rowspan="2">9</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>橋梁架設工事の積算 表4-7-19 コンクリート削孔工歩掛（コアボーリングマシン） 参照 (注) 1. 本歩掛は不達孔（削孔ロス）を含み、不達孔の有無にかかわらず適用出来る。 2. コンクリート削孔機（コアボーリングマシン）の施工に伴う泥水処理（産業廃棄物の運搬、処理費）が必要な場合は、別途計上する。 3. 諸雑費は削孔機燃料、水中ポンプ燃料、コアボーリングマシン固定アンカー打込みに必要な費用及び発動発電機の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 4. 定増が必要な場合は、別途計上する。 5. アンカー材径に適用する削孔径と使用ビット径は付表-1を標準とする。</p> <p>付表-1 適用削孔径と使用ビット径</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>アンカー材径（mm）</th> <th>適用削孔径（mm）</th> <th>使用ビット径（mm）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100を超え120以下</td> <td>110を超え130以下</td> <td>128</td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K1	-	K2	-	K3	-	労務	R1	土木一般世話役	R2	特殊作業員	R3	-	R4	-	材料	Z1	ダイヤモンドビット φ27.6mm	アンカー材径17mm以下の場合	ダイヤモンドビット φ33.1mm	アンカー材径17mmを超え23mm以下の場合	ダイヤモンドビット φ40mm	アンカー材径23mmを超え30mm以下の場合	ダイヤモンドビット φ53.1mm	アンカー材径30mmを超え43mm以下の場合	ダイヤモンドビット φ64.7mm	アンカー材径43mmを超え54mm以下の場合	ダイヤモンドビット φ77.4mm	アンカー材径54mmを超え67mm以下の場合	ダイヤモンドビット φ90.8mm	アンカー材径67mmを超え80mm以下の場合	ダイヤモンドビット φ110mm	アンカー材径80mmを超え100mm以下の場合	Z2	-	Z3	-	Z4	-	市場単価	S	-	日当り施工量	編成人員（人）		ダイヤモンドビット（個）	諸雑費率（%）	3（孔/日）	土木一般世話役	1	0.9	9	特殊作業員	1	アンカー材径（mm）	適用削孔径（mm）	使用ビット径（mm）	100を超え120以下	110を超え130以下	128
項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																	
機械	K1	-																																																																																																																																	
	K2	-																																																																																																																																	
	K3	-																																																																																																																																	
労務	R1	土木一般世話役																																																																																																																																	
	R2	特殊作業員																																																																																																																																	
	R3	-																																																																																																																																	
	R4	-																																																																																																																																	
材料	Z1	ダイヤモンドビット φ27.6mm	アンカー材径17mm以下の場合																																																																																																																																
		ダイヤモンドビット φ33.1mm	アンカー材径17mmを超え23mm以下の場合																																																																																																																																
		ダイヤモンドビット φ40mm	アンカー材径23mmを超え30mm以下の場合																																																																																																																																
		ダイヤモンドビット φ53.1mm	アンカー材径30mmを超え43mm以下の場合																																																																																																																																
		ダイヤモンドビット φ64.7mm	アンカー材径43mmを超え54mm以下の場合																																																																																																																																
		ダイヤモンドビット φ77.4mm	アンカー材径54mmを超え67mm以下の場合																																																																																																																																
		ダイヤモンドビット φ90.8mm	アンカー材径67mmを超え80mm以下の場合																																																																																																																																
	ダイヤモンドビット φ110mm	アンカー材径80mmを超え100mm以下の場合																																																																																																																																	
	Z2	-																																																																																																																																	
	Z3	-																																																																																																																																	
Z4	-																																																																																																																																		
市場単価	S	-																																																																																																																																	
日当り施工量	編成人員（人）		ダイヤモンドビット（個）	諸雑費率（%）																																																																																																																															
3（孔/日）	土木一般世話役	1	0.9	9																																																																																																																															
	特殊作業員	1																																																																																																																																	
アンカー材径（mm）	適用削孔径（mm）	使用ビット径（mm）																																																																																																																																	
100を超え120以下	110を超え130以下	128																																																																																																																																	
項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																	
機械	K1	-																																																																																																																																	
	K2	-																																																																																																																																	
	K3	-																																																																																																																																	
労務	R1	土木一般世話役																																																																																																																																	
	R2	特殊作業員																																																																																																																																	
	R3	-																																																																																																																																	
	R4	-																																																																																																																																	
材料	Z1	ダイヤモンドビット φ27.6mm	アンカー材径17mm以下の場合																																																																																																																																
		ダイヤモンドビット φ33.1mm	アンカー材径17mmを超え23mm以下の場合																																																																																																																																
		ダイヤモンドビット φ40mm	アンカー材径23mmを超え30mm以下の場合																																																																																																																																
		ダイヤモンドビット φ53.1mm	アンカー材径30mmを超え43mm以下の場合																																																																																																																																
		ダイヤモンドビット φ64.7mm	アンカー材径43mmを超え54mm以下の場合																																																																																																																																
		ダイヤモンドビット φ77.4mm	アンカー材径54mmを超え67mm以下の場合																																																																																																																																
		ダイヤモンドビット φ90.8mm	アンカー材径67mmを超え80mm以下の場合																																																																																																																																
	ダイヤモンドビット φ110mm	アンカー材径80mmを超え100mm以下の場合																																																																																																																																	
	Z2	-																																																																																																																																	
	Z3	-																																																																																																																																	
Z4	-																																																																																																																																		
市場単価	S	-																																																																																																																																	
日当り施工量	編成人員（人）		ダイヤモンドビット（個）	諸雑費率（%）																																																																																																																															
3（孔/日）	土木一般世話役	1	0.9	9																																																																																																																															
	特殊作業員	1																																																																																																																																	
アンカー材径（mm）	適用削孔径（mm）	使用ビット径（mm）																																																																																																																																	
100を超え120以下	110を超え130以下	128																																																																																																																																	

頁	項目	改定前	改定後																																																														
398	第7章⑨ コンクリート アンカー工	<p>398 第7章 歩掛編</p> <p>⑨-5 充填補修工</p> <p>施工パッケージ型積算方式 適用範囲</p> <p>土木工事標準積算基準書 IV-3-⑬落橋防止装置工 4-7充填補修, 4-8補修材(材料費)参照</p> <p>(1) 条件区分 充填補修における積算条件区分はない。 積算単位は孔とする。 (注) 1. 落橋防止装置工における不達孔の充填補修の他, その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし, 補修材(材料費)は含まない。 2. 補修材の材料費は別途計上する。</p> <p>(2) 代表機労材規格 下表機労材は, 当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表9-10 充填補修 代表機労材規格一覧</p> <table border="1" data-bbox="517 632 1135 920"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機労材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>土木一般世話役</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 補修材(材料費)</p> <p>① 条件区分 補修材(材料費)における積算条件区分はない。 積算単位は孔とする。 (注) 補修材使用量はセメント系グラウト材を標準とし, 1孔当りの注入材使用量は次式による。 使用量(kg/本) = $\{D^2 \times \pi \times 1 / 4 \times \ell\} \times M \times (1 + K)$ D: 削孔径 (m) ℓ: 削孔深さ (m) (削孔深さは不達孔の平均削孔深さとする) M: 単位質量は1,875kg/m³とする。 K: ロス率は+0.15とする。</p>	項目	代表機労材規格	備考	機械	K1	-	K2	-	K3	-	労務	R1	土木一般世話役	R2	普通作業員	R3	-	R4	-	材料	Z1	-	Z2	-	Z3	-	Z4	-	市場単価	S	-	<p>398 第7章 歩掛編</p> <p>⑨-5 充填補修工</p> <p>施工パッケージ型積算方式 適用範囲</p> <p>土木工事標準積算基準書 IV-3-⑬落橋防止装置工 4-7充填補修, 4-8補修材(材料費)参照</p> <p>(1) 条件区分 充填補修における積算条件区分はない。 積算単位は孔とする。 (注) 1. 落橋防止装置工における不達孔の充填補修の他, その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし, 補修材(材料費)は含まない。 2. 補修材の材料費は別途計上する。</p> <p>(2) 代表機労材規格 下表機労材は, 当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表9-10 充填補修 代表機労材規格一覧</p> <table border="1" data-bbox="1352 632 1971 920"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機労材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>土木一般世話役</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 補修材(材料費)</p> <p>① 条件区分 補修材(材料費)における積算条件区分はない。 積算単位は孔とする。 (注) 補修材使用量はセメント系グラウト材を標準とし, 1孔当りの注入材使用量は次式による。 使用量(kg/本) = $\{D^2 \times \pi \times 1 / 4 \times \ell\} \times M \times (1 + K)$ D: 削孔径 (m) ℓ: 削孔深さ (m) (削孔深さは不達孔の平均削孔深さとする) M: 単位質量は1,875kg/m³とする。 K: ロス率は+0.15とする。</p>	項目	代表機労材規格	備考	機械	K1	-	K2	-	K3	-	労務	R1	普通作業員	R2	土木一般世話役	R3	-	R4	-	材料	Z1	-	Z2	-	Z3	-	Z4	-	市場単価	S	-
項目	代表機労材規格	備考																																																															
機械	K1	-																																																															
	K2	-																																																															
	K3	-																																																															
労務	R1	土木一般世話役																																																															
	R2	普通作業員																																																															
	R3	-																																																															
	R4	-																																																															
材料	Z1	-																																																															
	Z2	-																																																															
	Z3	-																																																															
	Z4	-																																																															
市場単価	S	-																																																															
項目	代表機労材規格	備考																																																															
機械	K1	-																																																															
	K2	-																																																															
	K3	-																																																															
労務	R1	普通作業員																																																															
	R2	土木一般世話役																																																															
	R3	-																																																															
	R4	-																																																															
材料	Z1	-																																																															
	Z2	-																																																															
	Z3	-																																																															
	Z4	-																																																															
市場単価	S	-																																																															

頁	項目	改定前	改定後																																																																																																								
399	第7章⑩ その他	<p style="text-align: right;">⑩ その他 399</p> <p>⑩ その他</p> <p>⑩-1 チッピング工（ブラケット背面部）</p> <p>チッピング工の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表10-1 チッピング工歩掛</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日当り施工量</th> <th colspan="2">労務編成（人）</th> <th>諸雑費率（%）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">7.0 (m²/日)</td> <td>土木一般世話役</td> <td>1.0</td> <td rowspan="3">11</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>1.5</td> </tr> </tbody> </table> <p style="border: 1px solid red; padding: 2px;">橋梁架設工事の積算 表4-7-23 チッピング工歩掛 参照</p> <p>(注) 1. チッピング深さは30mm未満とする。 2. 諸雑費は、空気圧縮機の賃料、燃料・油類類、消耗材料等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>⑩-2 注入工（ブラケット背面部）</p> <p>注入工（シールを含む）の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表10-2 注入工歩掛</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日当り施工量</th> <th colspan="2">編成人員（人）</th> <th>諸雑費率（%）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">6.0 (m²/日)</td> <td>土木一般世話役</td> <td>1</td> <td rowspan="3">7</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p style="border: 1px solid red; padding: 2px;">橋梁架設工事の積算 表4-7-24 注入工歩掛 参照</p> <p>(注) 1. 背面のシール、樹脂注入及び仕上げとする。 2. シール材・注入材の材料費は、別途計上する。 3. 諸雑費は、発動発電機の賃料、燃料・油類類、消耗材料等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>⑩-3 小規模コンクリートはつり工</p> <p>小規模コンクリートはつり工の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表10-3 小規模コンクリートはつり工歩掛</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日当り施工量</th> <th colspan="2">労務編成（人）</th> <th>諸雑費率（%）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">1.0×α×β (m³/日)</td> <td>土木一般世話役</td> <td>1.0</td> <td rowspan="3">10</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>2.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. はつり量は5m未満0.1m以上とする。 2. 諸雑費は、空気圧縮機の賃料、燃料・油類類、消耗材料等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>付表-1 施工規模による補正係数（α）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工規模</th> <th>補正係数（α）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1m以上5m未満</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>0.5m以上1m未満</td> <td>0.75</td> </tr> <tr> <td>0.1m以上0.5m未満</td> <td>0.60</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="text-align: center;"> <p>付表-2 姿勢による補正係数（β）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>姿勢</th> <th>補正係数（β）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下向き</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>横向き</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>上向き</td> <td>0.6</td> </tr> </tbody> </table> </div> </div>	日当り施工量	労務編成（人）		諸雑費率（%）	7.0 (m ² /日)	土木一般世話役	1.0	11	特殊作業員	2.0	普通作業員	1.5	日当り施工量	編成人員（人）		諸雑費率（%）	6.0 (m ² /日)	土木一般世話役	1	7	特殊作業員	4	普通作業員	1	日当り施工量	労務編成（人）		諸雑費率（%）	1.0×α×β (m ³ /日)	土木一般世話役	1.0	10	特殊作業員	3.0	普通作業員	2.5	施工規模	補正係数（α）	1m以上5m未満	1.00	0.5m以上1m未満	0.75	0.1m以上0.5m未満	0.60	姿勢	補正係数（β）	下向き	1.0	横向き	0.8	上向き	0.6	<p style="text-align: right;">⑩ その他 399</p> <p>⑩ その他</p> <p>⑩-1 チッピング工（ブラケット背面部）</p> <p>チッピング工の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表10-1 チッピング工歩掛</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日当り施工量</th> <th colspan="2">労務編成（人）</th> <th>諸雑費率（%）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">7.0 (m²/日)</td> <td>土木一般世話役</td> <td>1.0</td> <td rowspan="3">11</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>1.5</td> </tr> </tbody> </table> <p style="border: 1px solid red; padding: 2px;">橋梁架設工事の積算 表4-7-24 チッピング工歩掛 参照</p> <p>(注) 1. チッピング深さは30mm未満とする。 2. 諸雑費は、空気圧縮機の賃料、燃料・油類類、消耗材料等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>⑩-2 注入工（ブラケット背面部）</p> <p>注入工（シールを含む）の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表10-2 注入工歩掛</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日当り施工量</th> <th colspan="2">編成人員（人）</th> <th>諸雑費率（%）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">6.0 (m²/日)</td> <td>土木一般世話役</td> <td>1</td> <td rowspan="3">7</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p style="border: 1px solid red; padding: 2px;">橋梁架設工事の積算 表4-7-25 注入工歩掛 参照</p> <p>(注) 1. 背面のシール、樹脂注入及び仕上げとする。 2. シール材・注入材の材料費は、別途計上する。 3. 諸雑費は、発動発電機の賃料、燃料・油類類、消耗材料等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>⑩-3 小規模コンクリートはつり工</p> <p>小規模コンクリートはつり工の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表10-3 小規模コンクリートはつり工歩掛</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日当り施工量</th> <th colspan="2">労務編成（人）</th> <th>諸雑費率（%）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">1.0×α×β (m³/日)</td> <td>土木一般世話役</td> <td>1.0</td> <td rowspan="3">10</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>2.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. はつり量は5m未満0.1m以上とする。 2. 諸雑費は、空気圧縮機の賃料、燃料・油類類、消耗材料等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>付表-1 施工規模による補正係数（α）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工規模</th> <th>補正係数（α）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1m以上5m未満</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>0.5m以上1m未満</td> <td>0.75</td> </tr> <tr> <td>0.1m以上0.5m未満</td> <td>0.60</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="text-align: center;"> <p>付表-2 姿勢による補正係数（β）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>姿勢</th> <th>補正係数（β）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下向き</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>横向き</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>上向き</td> <td>0.6</td> </tr> </tbody> </table> </div> </div>	日当り施工量	労務編成（人）		諸雑費率（%）	7.0 (m ² /日)	土木一般世話役	1.0	11	特殊作業員	2.0	普通作業員	1.5	日当り施工量	編成人員（人）		諸雑費率（%）	6.0 (m ² /日)	土木一般世話役	1	7	特殊作業員	4	普通作業員	1	日当り施工量	労務編成（人）		諸雑費率（%）	1.0×α×β (m ³ /日)	土木一般世話役	1.0	10	特殊作業員	3.0	普通作業員	2.5	施工規模	補正係数（α）	1m以上5m未満	1.00	0.5m以上1m未満	0.75	0.1m以上0.5m未満	0.60	姿勢	補正係数（β）	下向き	1.0	横向き	0.8	上向き	0.6
日当り施工量	労務編成（人）		諸雑費率（%）																																																																																																								
7.0 (m ² /日)	土木一般世話役	1.0	11																																																																																																								
	特殊作業員	2.0																																																																																																									
	普通作業員	1.5																																																																																																									
日当り施工量	編成人員（人）		諸雑費率（%）																																																																																																								
6.0 (m ² /日)	土木一般世話役	1	7																																																																																																								
	特殊作業員	4																																																																																																									
	普通作業員	1																																																																																																									
日当り施工量	労務編成（人）		諸雑費率（%）																																																																																																								
1.0×α×β (m ³ /日)	土木一般世話役	1.0	10																																																																																																								
	特殊作業員	3.0																																																																																																									
	普通作業員	2.5																																																																																																									
施工規模	補正係数（α）																																																																																																										
1m以上5m未満	1.00																																																																																																										
0.5m以上1m未満	0.75																																																																																																										
0.1m以上0.5m未満	0.60																																																																																																										
姿勢	補正係数（β）																																																																																																										
下向き	1.0																																																																																																										
横向き	0.8																																																																																																										
上向き	0.6																																																																																																										
日当り施工量	労務編成（人）		諸雑費率（%）																																																																																																								
7.0 (m ² /日)	土木一般世話役	1.0	11																																																																																																								
	特殊作業員	2.0																																																																																																									
	普通作業員	1.5																																																																																																									
日当り施工量	編成人員（人）		諸雑費率（%）																																																																																																								
6.0 (m ² /日)	土木一般世話役	1	7																																																																																																								
	特殊作業員	4																																																																																																									
	普通作業員	1																																																																																																									
日当り施工量	労務編成（人）		諸雑費率（%）																																																																																																								
1.0×α×β (m ³ /日)	土木一般世話役	1.0	10																																																																																																								
	特殊作業員	3.0																																																																																																									
	普通作業員	2.5																																																																																																									
施工規模	補正係数（α）																																																																																																										
1m以上5m未満	1.00																																																																																																										
0.5m以上1m未満	0.75																																																																																																										
0.1m以上0.5m未満	0.60																																																																																																										
姿勢	補正係数（β）																																																																																																										
下向き	1.0																																																																																																										
横向き	0.8																																																																																																										
上向き	0.6																																																																																																										

頁	項目	改定前	改定後																																																																																												
400	第7章⑩ その他	<p>400 第7章 歩掛編</p> <p>⑩ - 4 鉄筋探査工</p> <p>橋台、橋脚及びバラベット部へのコンクリートアンカー工を行う作業に先立って、既設構造物の鉄筋位置等の確認を行う歩掛である。検査機器はRCレーダーで、測定深度は200mm程度、測定距離は10mとする。 施工規模が下表の日当り施工量に満たない場合は別途積算する。</p> <p>表10-4 鉄筋探査工歩掛</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日当り施工量</th> <th>編成人員 (人)</th> <th>諸雑費率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>横向き: 12.5 (㎡/日)</td> <td>技師 (A) 1</td> <td rowspan="3">5</td> </tr> <tr> <td>上向き: 9.0 (㎡/日)</td> <td>技師 (B) 2</td> </tr> <tr> <td>下向き: 18.0 (㎡/日)</td> <td>技師 (C) 2</td> </tr> </tbody> </table> <p>橋梁架設工事の積算 表4-7-3 鉄筋探査工歩掛 参照 (注) 1. 鉄筋探査に必要な足場、高所作業車及び規制等は別途計上する。 2. 諸雑費は、探査機器燃料、消耗品、用紙等であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限とし計上する。 3. 報告書作成費用含む。</p> <p>⑩ - 5 足場上部材運搬工</p> <p>足場上部材運搬工の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p>表10-5 足場上部材運搬工歩掛</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日当り施工量</th> <th>編成人員 (人)</th> <th>諸雑費率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">18×α×β (個/日)</td> <td>構りよう世話役 1</td> <td rowspan="3">15</td> </tr> <tr> <td>構りよう特殊工 4</td> </tr> <tr> <td>普通作業員 1</td> </tr> </tbody> </table> <p>橋梁架設工事の積算 表4-8-5 足場上部材運搬工歩掛 参照 (注) 1. 作業は部材の取卸、荷揚げ、運搬とする。 2. 諸雑費は取卸、荷揚げ、運搬の機械器具費用及び消耗材料であり、労務費の合計額に諸雑費率を乗じた金額を上限として計上する。 3. 取卸及び積込用のクレーンが必要な場合は別途計上する。</p> <p>付表-1 運搬長による補正係数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>運搬長 L (m)</th> <th>α</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>L ≤ 20</td><td>1.00</td></tr> <tr><td>20 < L ≤ 30</td><td>0.95</td></tr> <tr><td>30 < L ≤ 40</td><td>0.90</td></tr> <tr><td>40 < L ≤ 50</td><td>0.85</td></tr> <tr><td>50 < L ≤ 60</td><td>0.80</td></tr> <tr><td>60 < L ≤ 70</td><td>0.75</td></tr> <tr><td>70 < L ≤ 80</td><td>0.70</td></tr> </tbody> </table> <p>付表-2 1部材平均質量による補正係数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1部材当り質量 G (kg)</th> <th>β</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>G ≤ 100</td><td>1.10</td></tr> <tr><td>100 < G ≤ 300</td><td>1.05</td></tr> <tr><td>300 < G ≤ 500</td><td>1.00</td></tr> <tr><td>500 < G ≤ 700</td><td>0.95</td></tr> <tr><td>700 < G ≤ 900</td><td>0.90</td></tr> </tbody> </table>	日当り施工量	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)	横向き: 12.5 (㎡/日)	技師 (A) 1	5	上向き: 9.0 (㎡/日)	技師 (B) 2	下向き: 18.0 (㎡/日)	技師 (C) 2	日当り施工量	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)	18×α×β (個/日)	構りよう世話役 1	15	構りよう特殊工 4	普通作業員 1	運搬長 L (m)	α	L ≤ 20	1.00	20 < L ≤ 30	0.95	30 < L ≤ 40	0.90	40 < L ≤ 50	0.85	50 < L ≤ 60	0.80	60 < L ≤ 70	0.75	70 < L ≤ 80	0.70	1部材当り質量 G (kg)	β	G ≤ 100	1.10	100 < G ≤ 300	1.05	300 < G ≤ 500	1.00	500 < G ≤ 700	0.95	700 < G ≤ 900	0.90	<p>400 第7章 歩掛編</p> <p>⑩ - 4 鉄筋探査工</p> <p>橋台、橋脚及びバラベット部へのコンクリートアンカー工を行う作業に先立って、既設構造物の鉄筋位置等の確認を行う歩掛である。検査機器はRCレーダーで、測定深度は200mm程度、測定距離は10mとする。 施工規模が下表の日当り施工量に満たない場合は別途積算する。</p> <p>表10-4 鉄筋探査工歩掛</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日当り施工量</th> <th>編成人員 (人)</th> <th>諸雑費率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>横向き: 12.5 (㎡/日)</td> <td>技師 (A) 1</td> <td rowspan="3">5</td> </tr> <tr> <td>上向き: 9.0 (㎡/日)</td> <td>技師 (B) 2</td> </tr> <tr> <td>下向き: 18.0 (㎡/日)</td> <td>技師 (C) 2</td> </tr> </tbody> </table> <p>橋梁架設工事の積算 表4-7-4 鉄筋探査工歩掛 参照 (注) 1. 鉄筋探査に必要な足場、高所作業車及び規制等は別途計上する。 2. 諸雑費は、探査機器燃料、消耗品、用紙等であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限とし計上する。 3. 報告書作成費用含む。</p> <p>⑩ - 5 足場上部材運搬工</p> <p>足場上部材運搬工の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p>表10-5 足場上部材運搬工歩掛</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日当り施工量</th> <th>編成人員 (人)</th> <th>諸雑費率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">18×α×β (部材/日)</td> <td>構りよう世話役 1</td> <td rowspan="3">15</td> </tr> <tr> <td>構りよう特殊工 4</td> </tr> <tr> <td>普通作業員 1</td> </tr> </tbody> </table> <p>橋梁架設工事の積算 表4-8-5 足場上部材運搬工歩掛 参照 (注) 1. 作業は定場上での部材運搬及び部材運搬時の取回しとする。 2. 諸雑費は部材運搬、部材取回しの機械器具費用及び消耗材料であり労務費の合計額に諸雑費率を乗じた金額を上限として計上する。 なお、トrolleyなどの運搬設備が必要な場合の設備設置費用、機材費用は別途計上する。 3. 定場上への部材取込、定場上からの部材取下し及び箱内部材運搬は別途計上する。</p> <p>付表-1 運搬長による補正係数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>運搬長 L (m)</th> <th>α</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>L ≤ 20</td><td>1.00</td></tr> <tr><td>20 < L ≤ 30</td><td>0.95</td></tr> <tr><td>30 < L ≤ 40</td><td>0.90</td></tr> <tr><td>40 < L ≤ 50</td><td>0.85</td></tr> <tr><td>50 < L ≤ 60</td><td>0.80</td></tr> <tr><td>60 < L ≤ 70</td><td>0.75</td></tr> <tr><td>70 < L ≤ 80</td><td>0.70</td></tr> </tbody> </table> <p>付表-2 1部材平均質量による補正係数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1部材当り質量 G (kg)</th> <th>β</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>G ≤ 100</td><td>1.10</td></tr> <tr><td>100 < G ≤ 300</td><td>1.05</td></tr> <tr><td>300 < G ≤ 500</td><td>1.00</td></tr> <tr><td>500 < G ≤ 700</td><td>0.95</td></tr> <tr><td>700 < G ≤ 900</td><td>0.90</td></tr> </tbody> </table>	日当り施工量	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)	横向き: 12.5 (㎡/日)	技師 (A) 1	5	上向き: 9.0 (㎡/日)	技師 (B) 2	下向き: 18.0 (㎡/日)	技師 (C) 2	日当り施工量	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)	18×α×β (部材/日)	構りよう世話役 1	15	構りよう特殊工 4	普通作業員 1	運搬長 L (m)	α	L ≤ 20	1.00	20 < L ≤ 30	0.95	30 < L ≤ 40	0.90	40 < L ≤ 50	0.85	50 < L ≤ 60	0.80	60 < L ≤ 70	0.75	70 < L ≤ 80	0.70	1部材当り質量 G (kg)	β	G ≤ 100	1.10	100 < G ≤ 300	1.05	300 < G ≤ 500	1.00	500 < G ≤ 700	0.95	700 < G ≤ 900	0.90
日当り施工量	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)																																																																																													
横向き: 12.5 (㎡/日)	技師 (A) 1	5																																																																																													
上向き: 9.0 (㎡/日)	技師 (B) 2																																																																																														
下向き: 18.0 (㎡/日)	技師 (C) 2																																																																																														
日当り施工量	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)																																																																																													
18×α×β (個/日)	構りよう世話役 1	15																																																																																													
	構りよう特殊工 4																																																																																														
	普通作業員 1																																																																																														
運搬長 L (m)	α																																																																																														
L ≤ 20	1.00																																																																																														
20 < L ≤ 30	0.95																																																																																														
30 < L ≤ 40	0.90																																																																																														
40 < L ≤ 50	0.85																																																																																														
50 < L ≤ 60	0.80																																																																																														
60 < L ≤ 70	0.75																																																																																														
70 < L ≤ 80	0.70																																																																																														
1部材当り質量 G (kg)	β																																																																																														
G ≤ 100	1.10																																																																																														
100 < G ≤ 300	1.05																																																																																														
300 < G ≤ 500	1.00																																																																																														
500 < G ≤ 700	0.95																																																																																														
700 < G ≤ 900	0.90																																																																																														
日当り施工量	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)																																																																																													
横向き: 12.5 (㎡/日)	技師 (A) 1	5																																																																																													
上向き: 9.0 (㎡/日)	技師 (B) 2																																																																																														
下向き: 18.0 (㎡/日)	技師 (C) 2																																																																																														
日当り施工量	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)																																																																																													
18×α×β (部材/日)	構りよう世話役 1	15																																																																																													
	構りよう特殊工 4																																																																																														
	普通作業員 1																																																																																														
運搬長 L (m)	α																																																																																														
L ≤ 20	1.00																																																																																														
20 < L ≤ 30	0.95																																																																																														
30 < L ≤ 40	0.90																																																																																														
40 < L ≤ 50	0.85																																																																																														
50 < L ≤ 60	0.80																																																																																														
60 < L ≤ 70	0.75																																																																																														
70 < L ≤ 80	0.70																																																																																														
1部材当り質量 G (kg)	β																																																																																														
G ≤ 100	1.10																																																																																														
100 < G ≤ 300	1.05																																																																																														
300 < G ≤ 500	1.00																																																																																														
500 < G ≤ 700	0.95																																																																																														
700 < G ≤ 900	0.90																																																																																														

頁	項目	改定前	改定後																																																																																																				
421	第7章⑬ 横断歩道橋補修工	<p style="text-align: right;">⑬ 横断歩道橋補修工 421</p> <p>⑬ 横断歩道橋補修工</p> <p>⑬-1 既設舗装はぎ取り工</p> <p>既設舗装をはぎ取り、はぎ取り後の既設舗装材の集積までの施工歩掛は次表を標準とする。 既設舗装には、薄層舗装、インターロッキングブロック、アスファルト、擬石タイル、アスファルトブロック、ノンスリップタイルを含む。</p> <p style="text-align: center;">表13-1 既設舗装はぎ取り歩掛 (1㎡当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.04</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.08</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.09</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸雑費率</td> <td></td> <td>%</td> <td>3</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>土木工事標準積算基準書 B-3-⑬-1 表3.1 既設舗装はぎ取り歩掛 参照 (注) 1. 上記歩掛には、はぎ取り後の既設舗装材を横断歩道橋から積込箇所まで搬出する現場内小運搬を含む。 2. はぎ取り後の既設舗装材を一時運搬及び処分等を行う場合の運搬費については別途計上する。 3. 上記歩掛は、調整モルタルの撤去の有無に関わらず適用できる。 4. 諸雑費は、舗装はぎ取り用の機械・器具、舗装材集積用の器具等及び電力に関する費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>⑬-2 ノンスリップ撤去工</p> <p>ノンスリップ(ノンスリップ金物の撤去を含む。)撤去歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表13-2 ノンスリップ撤去歩掛 (100m当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.58</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.52</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.76</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸雑費率</td> <td></td> <td>%</td> <td>6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>土木工事標準積算基準書 IV-3-⑬-2 表3.2 ノンスリップ撤去歩掛 参照 (注) 1. 上記歩掛には、撤去したノンスリップ材の集積手間及び施工した横断歩道橋から積込箇所までの現場内小運搬を含む。 2. 撤去したノンスリップ材の一時運搬及び処分等を行う場合の運搬費については別途計上する。 3. 諸雑費は、ノンスリップ撤去用の機械・器具等の費用及び電力に関する費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	名称	規格	単位	数量	適用	土木一般世話役		人	0.04		特殊作業員		人	0.08		普通作業員		人	0.09		諸雑費率		%	3		名称	規格	単位	数量	適用	土木一般世話役		人	0.58		特殊作業員		人	0.52		普通作業員		人	0.76		諸雑費率		%	6		<p style="text-align: right;">⑬ 横断歩道橋補修工 421</p> <p>⑬ 横断歩道橋補修工</p> <p>⑬-1 既設舗装はぎ取り工</p> <p>既設舗装をはぎ取り、はぎ取り後の既設舗装材の集積までの施工歩掛は次表を標準とする。 既設舗装には、薄層舗装、インターロッキングブロック、アスファルト、擬石タイル、アスファルトブロック、ノンスリップタイルを含む。</p> <p style="text-align: center;">表13-1 既設舗装はぎ取り歩掛 (1㎡当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.04</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.08</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.09</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸雑費率</td> <td></td> <td>%</td> <td>3</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>土木工事標準積算基準書 IV-3-⑬-1 表3.1 既設舗装はぎ取り歩掛 参照 (注) 1. 上記歩掛には、はぎ取り後の既設舗装材を横断歩道橋から積込箇所まで搬出する現場内小運搬を含む。 2. はぎ取り後の既設舗装材を一時運搬及び処分等を行う場合の運搬費については別途計上する。 3. 上記歩掛は、調整モルタルの撤去の有無に関わらず適用できる。 4. 諸雑費は、舗装はぎ取り用の機械・器具、舗装材集積用の器具等及び電力に関する費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>⑬-2 ノンスリップ撤去工</p> <p>ノンスリップ(ノンスリップ金物の撤去を含む。)撤去歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表13-2 ノンスリップ撤去歩掛 (100m当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.58</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.52</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.76</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸雑費率</td> <td></td> <td>%</td> <td>6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>土木工事標準積算基準書 IV-3-⑬-2 表3.2 ノンスリップ撤去歩掛 参照 (注) 1. 上記歩掛には、撤去したノンスリップ材の集積手間及び施工した横断歩道橋から積込箇所までの現場内小運搬を含む。 2. 撤去したノンスリップ材の一時運搬及び処分等を行う場合の運搬費については別途計上する。 3. 諸雑費は、ノンスリップ撤去用の機械・器具等の費用及び電力に関する費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	名称	規格	単位	数量	適用	土木一般世話役		人	0.04		特殊作業員		人	0.08		普通作業員		人	0.09		諸雑費率		%	3		名称	規格	単位	数量	適用	土木一般世話役		人	0.58		特殊作業員		人	0.52		普通作業員		人	0.76		諸雑費率		%	6	
名称	規格	単位	数量	適用																																																																																																			
土木一般世話役		人	0.04																																																																																																				
特殊作業員		人	0.08																																																																																																				
普通作業員		人	0.09																																																																																																				
諸雑費率		%	3																																																																																																				
名称	規格	単位	数量	適用																																																																																																			
土木一般世話役		人	0.58																																																																																																				
特殊作業員		人	0.52																																																																																																				
普通作業員		人	0.76																																																																																																				
諸雑費率		%	6																																																																																																				
名称	規格	単位	数量	適用																																																																																																			
土木一般世話役		人	0.04																																																																																																				
特殊作業員		人	0.08																																																																																																				
普通作業員		人	0.09																																																																																																				
諸雑費率		%	3																																																																																																				
名称	規格	単位	数量	適用																																																																																																			
土木一般世話役		人	0.58																																																																																																				
特殊作業員		人	0.52																																																																																																				
普通作業員		人	0.76																																																																																																				
諸雑費率		%	6																																																																																																				

頁	項目	改定前	改定後																																																																																								
422	第7章 ^⑭ 旧橋撤去工	<p>422 第7章 歩掛編</p> <p>⑭ 旧橋撤去工</p> <p>⑭-1 高欄撤去工</p> <p>1. 施工パッケージ型積算方式適用範囲 土木工事標準積算基準書 II-2-⑭ 旧橋撤去工 3-1 高欄撤去参照</p> <p>(1) 条件区分 高欄撤去における積算条件区分はない。 積算単位は、mとする。</p> <p>(注) 1. 旧橋撤去における高欄（鋼製、橋梁用ガードレール、アルミ）の切断から運搬車両への積み込みまでの費用の他、高欄等の切断に必要なガス切断機損料、酸素・アセチレン、玉掛作業に必要なワイヤロープ等の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。</p> <p>2. 設計数量は、高欄撤去の総延長であり、両車線の総撤去延長である。</p> <p>3. コンクリート高欄（壁高欄含む）は床版1次破砕を含む。</p> <p>4. 高欄撤去で生じた現場発生品の運搬については、別途計上する。</p> <p>5. 高欄撤去で生じた現場発生品については、別途適正に処理する。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表14-1 高欄撤去工 代表機材規格一覧</p> <table border="1" data-bbox="519 802 1140 1109"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>トラック[クレーン装置付]ベストラック4 t級 吊能力2.9 t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>溶接工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>運転手（特殊）</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>軽油1.2号 バトルール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>⑭-2 アスファルト舗装版破砕・積込み工</p> <p>1. 施工パッケージ型積算方式適用範囲 土木工事標準積算基準書 II-2-⑭ 旧橋撤去工 3-2 アスファルト舗装版破砕・積込み参照</p> <p>(1) 条件区分 アスファルト舗装版破砕・積込みにおける積算条件区分はない。 積算単位は、m²とする。</p> <p>(注) 1. 旧橋撤去における大型ブレーカによるアスファルト舗装版の破砕から運搬車両への積み込みの他、チゼルの損耗費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。</p>	項目	代表機材規格		備考	機械	K1	トラック[クレーン装置付]ベストラック4 t級 吊能力2.9 t		K2	-		K3	-		労務	R1	溶接工		R2	特殊作業員		R3	土木一般世話役		R4	運転手（特殊）		材料	Z1	軽油1.2号 バトルール給油		Z2	-		Z3	-		Z4	-		市場単価	S	-		<p>422 第7章 歩掛編</p> <p>⑭ 旧橋撤去工</p> <p>⑭-1 高欄撤去工</p> <p>1. 施工パッケージ型積算方式適用範囲 土木工事標準積算基準書 II-2-⑭ 旧橋撤去工 3-1 高欄撤去参照</p> <p>(1) 条件区分 高欄撤去における積算条件区分はない。 積算単位は、mとする。</p> <p>(注) 1. 旧橋撤去における高欄（鋼製、橋梁用ガードレール、アルミ）の切断から運搬車両への積み込みまでの費用の他、高欄等の切断に必要なガス切断機損料、酸素・アセチレン、玉掛作業に必要なワイヤロープ等の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。</p> <p>2. 設計数量は、高欄撤去の総延長であり、両車線の総撤去延長である。</p> <p>3. コンクリート高欄（壁高欄含む）は床版1次破砕を含む。</p> <p>4. 高欄撤去で生じた現場発生品の運搬については、別途計上する。</p> <p>5. 高欄撤去で生じた現場発生品については、別途適正に処理する。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表14-1 高欄撤去工 代表機材規格一覧</p> <table border="1" data-bbox="1357 802 1977 1109"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>トラック[クレーン装置付]ベストラック4 t級 吊能力2.9 t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>溶接工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>運転手（特殊）</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>軽油 バトルール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>⑭-2 アスファルト舗装版破砕・積込み工</p> <p>1. 施工パッケージ型積算方式適用範囲 土木工事標準積算基準書 II-2-⑭ 旧橋撤去工 3-2 アスファルト舗装版破砕・積込み参照</p> <p>(1) 条件区分 アスファルト舗装版破砕・積込みにおける積算条件区分はない。 積算単位は、m²とする。</p> <p>(注) 1. 旧橋撤去における大型ブレーカによるアスファルト舗装版の破砕から運搬車両への積み込みの他、チゼルの損耗費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。</p>	項目	代表機材規格		備考	機械	K1	トラック[クレーン装置付]ベストラック4 t級 吊能力2.9 t		K2	-		K3	-		労務	R1	溶接工		R2	特殊作業員		R3	土木一般世話役		R4	運転手（特殊）		材料	Z1	軽油 バトルール給油		Z2	-		Z3	-		Z4	-		市場単価	S	-	
項目	代表機材規格		備考																																																																																								
機械	K1	トラック[クレーン装置付]ベストラック4 t級 吊能力2.9 t																																																																																									
	K2	-																																																																																									
	K3	-																																																																																									
労務	R1	溶接工																																																																																									
	R2	特殊作業員																																																																																									
	R3	土木一般世話役																																																																																									
	R4	運転手（特殊）																																																																																									
材料	Z1	軽油1.2号 バトルール給油																																																																																									
	Z2	-																																																																																									
	Z3	-																																																																																									
	Z4	-																																																																																									
市場単価	S	-																																																																																									
項目	代表機材規格		備考																																																																																								
機械	K1	トラック[クレーン装置付]ベストラック4 t級 吊能力2.9 t																																																																																									
	K2	-																																																																																									
	K3	-																																																																																									
労務	R1	溶接工																																																																																									
	R2	特殊作業員																																																																																									
	R3	土木一般世話役																																																																																									
	R4	運転手（特殊）																																																																																									
材料	Z1	軽油 バトルール給油																																																																																									
	Z2	-																																																																																									
	Z3	-																																																																																									
	Z4	-																																																																																									
市場単価	S	-																																																																																									

頁	項目	改定前	改定後																																																																																						
423	第7章⑭ 旧橋撤去工	<p style="text-align: right;">⑭ 旧橋撤去工 423</p> <p>2. 設計数量は、アスファルト舗装版のみの体積である。</p> <p>3. アスファルト塊の積込みは、大型ブレーカのベースマシンであるバックホウによるものであり、大型ブレーカからバケットに付替える方法を標準とする。</p> <p>4. アスファルト舗装版破砕で生じた、アスファルト塊の運搬は「14-7 アスファルト塊運搬」により、別途計上する。</p> <p>5. アスファルト塊処理費は、別途考慮する。</p> <p>(2) 代表機材材規格 下表機材材は、当該施工パッケージで使用されている機材材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表14-2 アスファルト舗装版破砕・積込み工 代表機材材規格一覧</p> <table border="1" data-bbox="521 523 1140 847"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>バックホウ（クローラ型）【標準型・排出ガス対策型（第2次基準値）】山積0.8m³（平積0.6m³）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>大型ブレーカ（ベースマシン含まず）【油圧式】質量600～800kg級</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>運転手（特殊）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>軽油1.2号 バトルール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>⑭-3 床版1次破砕・撤去工</p> <p>1. 施工パッケージ型積算方式適用範囲 土木工事標準積算基準書 II-2-⑭ 旧橋撤去工 3-3 床版1次破砕・撤去参照</p> <p>(1) 条件区分 床版1次破砕・撤去における積算条件区分はない。 積算単位は、m³とする。</p> <p>(注) 1. 床版をブロック状（1ブロック当りの大きさは、おおよそ2m×5m程度）に1次破砕後、鉄筋をガス切断したのちクレーンで吊上げて、床版分割ブロックを作業半径内における1次仮置場に仮置きする、もしくは直接積込む作業の他、チゼルの損耗費及び鉄筋切断に必要なガス切断機損料、酸素・アセチレン、玉掛作業に必要なワイヤロープ等の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。</p> <p>2. 設計数量は、床版の体積である。なお、コンクリート舗装版及びコンクリート高欄（壁高欄含む）の場合についても設計数量に含む。</p> <p>3. コンクリート版の積込みは、大型ブレーカのベースマシンであるバックホウによるものであり、大型ブレーカからバケットに付替える方法を標準とする。</p> <p>4. 床版1次破砕・撤去後における運搬については「14-8 床版運搬」により、別途計上する。</p> <p>5. 床版1次破砕で生じたコンクリート版処理費は、別途計上する。</p>	項目	代表機材材規格	備考	機械	K1	バックホウ（クローラ型）【標準型・排出ガス対策型（第2次基準値）】山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）		K2	大型ブレーカ（ベースマシン含まず）【油圧式】質量600～800kg級		K3	-		労務	R1	土木一般世話役		R2	運転手（特殊）		R3	普通作業員		R4	-		材料	Z1	軽油1.2号 バトルール給油		Z2	-		Z3	-		Z4	-		市場単価	S	-		<p style="text-align: right;">⑭ 旧橋撤去工 423</p> <p>2. 設計数量は、アスファルト舗装版のみの体積である。</p> <p>3. アスファルト塊の積込みは、大型ブレーカのベースマシンであるバックホウによるものであり、大型ブレーカからバケットに付替える方法を標準とする。</p> <p>4. アスファルト舗装版破砕で生じた、アスファルト塊の運搬は「14-7 アスファルト塊運搬」により、別途計上する。</p> <p>5. アスファルト塊処理費は、別途考慮する。</p> <p>(2) 代表機材材規格 下表機材材は、当該施工パッケージで使用されている機材材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表14-2 アスファルト舗装版破砕・積込み工 代表機材材規格一覧</p> <table border="1" data-bbox="1355 523 1973 847"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>バックホウ（クローラ型）【標準型・排出ガス対策型（第2次基準値）】山積0.8m³（平積0.6m³）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>大型ブレーカ（ベースマシン含まず）【油圧式】質量600～800kg級</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>運転手（特殊）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>軽油 バトルール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>⑭-3 床版1次破砕・撤去工</p> <p>1. 施工パッケージ型積算方式適用範囲 土木工事標準積算基準書 II-2-⑭ 旧橋撤去工 3-3 床版1次破砕・撤去参照</p> <p>(1) 条件区分 床版1次破砕・撤去における積算条件区分はない。 積算単位は、m³とする。</p> <p>(注) 1. 床版をブロック状（1ブロック当りの大きさは、おおよそ2m×5m程度）に1次破砕後、鉄筋をガス切断したのちクレーンで吊上げて、床版分割ブロックを作業半径内における1次仮置場に仮置きする、もしくは直接積込む作業の他、チゼルの損耗費及び鉄筋切断に必要なガス切断機損料、酸素・アセチレン、玉掛作業に必要なワイヤロープ等の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。</p> <p>2. 設計数量は、床版の体積である。なお、コンクリート舗装版及びコンクリート高欄（壁高欄含む）の場合についても設計数量に含む。</p> <p>3. コンクリート版の積込みは、大型ブレーカのベースマシンであるバックホウによるものであり、大型ブレーカからバケットに付替える方法を標準とする。</p> <p>4. 床版1次破砕・撤去後における運搬については「14-8 床版運搬」により、別途計上する。</p> <p>5. 床版1次破砕で生じたコンクリート版処理費は、別途計上する。</p>	項目	代表機材材規格	備考	機械	K1	バックホウ（クローラ型）【標準型・排出ガス対策型（第2次基準値）】山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）		K2	大型ブレーカ（ベースマシン含まず）【油圧式】質量600～800kg級		K3	-		労務	R1	土木一般世話役		R2	運転手（特殊）		R3	普通作業員		R4	-		材料	Z1	軽油 バトルール給油		Z2	-		Z3	-		Z4	-		市場単価	S	-	
項目	代表機材材規格	備考																																																																																							
機械	K1	バックホウ（クローラ型）【標準型・排出ガス対策型（第2次基準値）】山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）																																																																																							
	K2	大型ブレーカ（ベースマシン含まず）【油圧式】質量600～800kg級																																																																																							
	K3	-																																																																																							
労務	R1	土木一般世話役																																																																																							
	R2	運転手（特殊）																																																																																							
	R3	普通作業員																																																																																							
	R4	-																																																																																							
材料	Z1	軽油1.2号 バトルール給油																																																																																							
	Z2	-																																																																																							
	Z3	-																																																																																							
	Z4	-																																																																																							
市場単価	S	-																																																																																							
項目	代表機材材規格	備考																																																																																							
機械	K1	バックホウ（クローラ型）【標準型・排出ガス対策型（第2次基準値）】山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）																																																																																							
	K2	大型ブレーカ（ベースマシン含まず）【油圧式】質量600～800kg級																																																																																							
	K3	-																																																																																							
労務	R1	土木一般世話役																																																																																							
	R2	運転手（特殊）																																																																																							
	R3	普通作業員																																																																																							
	R4	-																																																																																							
材料	Z1	軽油 バトルール給油																																																																																							
	Z2	-																																																																																							
	Z3	-																																																																																							
	Z4	-																																																																																							
市場単価	S	-																																																																																							

頁	項目	改定前	改定後																																																																																						
424	第7章 ^⑭ 旧橋撤去工	<p>424 第7章 歩掛編</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表14-3 床版1次破碎・撤去工 代表機材規格一覧</p> <table border="1" data-bbox="524 373 1144 715"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>ラフテレンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 25 t吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山積0.8m³ (平積0.6m³)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>大型ブレーカ (ベースマシン含まず) [油圧式] 質量600~800kg 級</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>溶接工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>軽油1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>⑭-4 床版1次及び2次破碎・撤去工</p> <p>1. 施工パッケージ型積算方式 適用範囲 土木工事標準積算基準書 II-2-⑭ 旧橋撤去工 3-4 床版1次及び2次破碎・撤去参照</p> <p>(1) 条件区分 床版1次及び2次破碎・撤去における積算条件区分はない。 積算単位は、m²とする。</p> <p>(注) 1. 1次破碎作業 (作業内容は「14-3 床版1次破碎・撤去」(注) 1. 参照) の後、その床版分割ブロックをおおよそ30cm×30cm程度まで破碎 (2次破碎) 及び積込む作業の他、チゼルの損耗費及び鉄筋切断に必要なガス切断機損料、酸素・アセチレン、玉掛作業に必要なワイヤロープ等の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料等を含む) を含む。</p> <p>2. 設計数量は、床版の体積である。なお、コンクリート舗装版及びコンクリート高欄 (壁高欄含む) の場合についても設計数量を含む。</p> <p>3. コンクリート殻の積込みは、大型ブレーカのベースマシンであるバックホウによるものであり、大型ブレーカからバケットに付替える方法を標準とする。</p> <p>4. 床版1次破碎・撤去で生じたコンクリート殻の運搬については「14-8 床版運搬」により、別途計上する。</p> <p>5. 床版2次破碎・撤去で生じたコンクリート殻の運搬については「土木工事標準積算基準書 II編第2章共通工^⑯殻運搬」により、別途計上する。</p> <p>6. 床版2次破碎までに生じたコンクリート殻の処理費は、別途計上する。</p>	項目	代表機材規格	備考	機械	K1	ラフテレンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 25 t吊	賃料	K2	バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)		K3	大型ブレーカ (ベースマシン含まず) [油圧式] 質量600~800kg 級		労務	R1	溶接工		R2	普通作業員		R3	土木一般世話役		R4	特殊作業員		材料	Z1	軽油1.2号 バトロール給油		Z2	-		Z3	-		Z4	-		市場単価	S	-		<p>424 第7章 歩掛編</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表14-3 床版1次破碎・撤去工 代表機材規格一覧</p> <table border="1" data-bbox="1361 373 1982 715"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>ラフテレンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 25 t吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山積0.8m³ (平積0.6m³)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>大型ブレーカ (ベースマシン含まず) [油圧式] 質量600~800kg 級</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>溶接工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>軽油 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>⑭-4 床版1次及び2次破碎・撤去工</p> <p>1. 施工パッケージ型積算方式 適用範囲 土木工事標準積算基準書 II-2-⑭ 旧橋撤去工 3-4 床版1次及び2次破碎・撤去参照</p> <p>(1) 条件区分 床版1次及び2次破碎・撤去における積算条件区分はない。 積算単位は、m²とする。</p> <p>(注) 1. 1次破碎作業 (作業内容は「14-3 床版1次破碎・撤去」(注) 1. 参照) の後、その床版分割ブロックをおおよそ30cm×30cm程度まで破碎 (2次破碎) 及び積込む作業の他、チゼルの損耗費及び鉄筋切断に必要なガス切断機損料、酸素・アセチレン、玉掛作業に必要なワイヤロープ等の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料等を含む) を含む。</p> <p>2. 設計数量は、床版の体積である。なお、コンクリート舗装版及びコンクリート高欄 (壁高欄含む) の場合についても設計数量を含む。</p> <p>3. コンクリート殻の積込みは、大型ブレーカのベースマシンであるバックホウによるものであり、大型ブレーカからバケットに付替える方法を標準とする。</p> <p>4. 床版1次破碎・撤去で生じたコンクリート殻の運搬については「14-8 床版運搬」により、別途計上する。</p> <p>5. 床版2次破碎・撤去で生じたコンクリート殻の運搬については「土木工事標準積算基準書 II編第2章共通工^⑯殻運搬」により、別途計上する。</p> <p>6. 床版2次破碎までに生じたコンクリート殻の処理費は、別途計上する。</p>	項目	代表機材規格	備考	機械	K1	ラフテレンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 25 t吊	賃料	K2	バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)		K3	大型ブレーカ (ベースマシン含まず) [油圧式] 質量600~800kg 級		労務	R1	溶接工		R2	普通作業員		R3	土木一般世話役		R4	特殊作業員		材料	Z1	軽油 バトロール給油		Z2	-		Z3	-		Z4	-		市場単価	S	-	
項目	代表機材規格	備考																																																																																							
機械	K1	ラフテレンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 25 t吊	賃料																																																																																						
	K2	バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)																																																																																							
	K3	大型ブレーカ (ベースマシン含まず) [油圧式] 質量600~800kg 級																																																																																							
労務	R1	溶接工																																																																																							
	R2	普通作業員																																																																																							
	R3	土木一般世話役																																																																																							
	R4	特殊作業員																																																																																							
材料	Z1	軽油1.2号 バトロール給油																																																																																							
	Z2	-																																																																																							
	Z3	-																																																																																							
	Z4	-																																																																																							
市場単価	S	-																																																																																							
項目	代表機材規格	備考																																																																																							
機械	K1	ラフテレンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 25 t吊	賃料																																																																																						
	K2	バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)																																																																																							
	K3	大型ブレーカ (ベースマシン含まず) [油圧式] 質量600~800kg 級																																																																																							
労務	R1	溶接工																																																																																							
	R2	普通作業員																																																																																							
	R3	土木一般世話役																																																																																							
	R4	特殊作業員																																																																																							
材料	Z1	軽油 バトロール給油																																																																																							
	Z2	-																																																																																							
	Z3	-																																																																																							
	Z4	-																																																																																							
市場単価	S	-																																																																																							

頁	項目	改定前	改定後																																																																																																		
425	第7章 ^⑭ 旧橋撤去工	<p style="text-align: right;">⑭ 旧橋撤去工 425</p> <p>(2) 代表機劣材規格 下表機劣材は、当該施工パッケージで使用されている機劣材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表14-4 床版1次及び2次破碎・撤去工 代表機劣材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機劣材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 25 t 吊</td> <td rowspan="3">賃料</td> </tr> <tr> <td>K2 バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山積0.8m³ (平積0.6m³)</td> </tr> <tr> <td>K3 大型ブレーカ (ベースマシン含まず) [油圧式] 質量600~800kg 級</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 溶接工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 軽油1.2号 バトルール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">⑭-5 桁1次切断・撤去工</p> <p>1. 施工パッケージ型積算方式 適用範囲 土木工事標準積算基準書 II-2-⑭ 旧橋撤去工 3-5 桁1次切断・撤去参照</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表14-5 桁1次切断・撤去 積算条件区分一覧 (積算単位：t)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>クレーン規格</th> <th>相吊クレーンの有無</th> <th>相吊クレーン規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">(表14-6)</td> <td>有り</td> <td>(表14-6)</td> </tr> <tr> <td>無し</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、桁材の撤去及び積込みの他、切断作業に必要なガス切断機賃料、酸素・アセチレン、玉掛作業に必要なワイヤーロープ等の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 撤去部材の大きさと現場条件に応じてクレーンの機種・規格を決定する。 3. 桁材の運搬については別途計上する。 4. 桁1次切断・撤去で生じた現場発生産品については、別途適正に処理する。</p> <p style="text-align: center;">表14-6 クレーン規格(相吊クレーン規格)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8">クレーン規格 (相吊クレーン規格)</td> <td>ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 35 t 吊</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 45 t 吊</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 50 t 吊</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 100 t 吊</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 120 t 吊</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 160 t 吊</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 200 t 吊</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 360 t 吊</td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機劣材規格	備考	機械	K1 ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 25 t 吊	賃料	K2 バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	K3 大型ブレーカ (ベースマシン含まず) [油圧式] 質量600~800kg 級	労務	R1 溶接工		R2 普通作業員		R3 土木一般世話役		R4 特殊作業員		材料	Z1 軽油1.2号 バトルール給油		Z2 -		Z3 -		Z4 -		市場単価	S -		クレーン規格	相吊クレーンの有無	相吊クレーン規格	(表14-6)	有り	(表14-6)	無し	-	積算条件	区分	クレーン規格 (相吊クレーン規格)	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 35 t 吊	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 45 t 吊	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 50 t 吊	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 100 t 吊	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 120 t 吊	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 160 t 吊	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 200 t 吊	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 360 t 吊	<p style="text-align: right;">⑭ 旧橋撤去工 425</p> <p>(2) 代表機劣材規格 下表機劣材は、当該施工パッケージで使用されている機劣材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表14-4 床版1次及び2次破碎・撤去工 代表機劣材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機劣材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 25 t 吊</td> <td rowspan="3">賃料</td> </tr> <tr> <td>K2 バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山積0.8m³ (平積0.6m³)</td> </tr> <tr> <td>K3 大型ブレーカ (ベースマシン含まず) [油圧式] 質量600~800kg 級</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 溶接工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 軽油 バトルール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">⑭-5 桁1次切断・撤去工</p> <p>1. 施工パッケージ型積算方式 適用範囲 土木工事標準積算基準書 II-2-⑭ 旧橋撤去工 3-5 桁1次切断・撤去参照</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表14-5 桁1次切断・撤去 積算条件区分一覧 (積算単位：t)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>クレーン規格</th> <th>相吊クレーンの有無</th> <th>相吊クレーン規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">(表14-6)</td> <td>有り</td> <td>(表14-6)</td> </tr> <tr> <td>無し</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、桁材の撤去及び積込みの他、切断作業に必要なガス切断機賃料、酸素・アセチレン、玉掛作業に必要なワイヤーロープ等の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 撤去部材の大きさと現場条件に応じてクレーンの機種・規格を決定する。 3. 桁材の運搬については別途計上する。 4. 桁1次切断・撤去で生じた現場発生産品については、別途適正に処理する。</p> <p style="text-align: center;">表14-6 クレーン規格(相吊クレーン規格)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8">クレーン規格 (相吊クレーン規格)</td> <td>ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 35 t 吊</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 45 t 吊</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 50 t 吊</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 100 t 吊</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 120 t 吊</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 160 t 吊</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 200 t 吊</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 360 t 吊</td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機劣材規格	備考	機械	K1 ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 25 t 吊	賃料	K2 バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	K3 大型ブレーカ (ベースマシン含まず) [油圧式] 質量600~800kg 級	労務	R1 溶接工		R2 普通作業員		R3 土木一般世話役		R4 特殊作業員		材料	Z1 軽油 バトルール給油		Z2 -		Z3 -		Z4 -		市場単価	S -		クレーン規格	相吊クレーンの有無	相吊クレーン規格	(表14-6)	有り	(表14-6)	無し	-	積算条件	区分	クレーン規格 (相吊クレーン規格)	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 35 t 吊	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 45 t 吊	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 50 t 吊	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 100 t 吊	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 120 t 吊	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 160 t 吊	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 200 t 吊	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 360 t 吊
項目	代表機劣材規格	備考																																																																																																			
機械	K1 ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 25 t 吊	賃料																																																																																																			
	K2 バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)																																																																																																				
	K3 大型ブレーカ (ベースマシン含まず) [油圧式] 質量600~800kg 級																																																																																																				
労務	R1 溶接工																																																																																																				
	R2 普通作業員																																																																																																				
	R3 土木一般世話役																																																																																																				
	R4 特殊作業員																																																																																																				
材料	Z1 軽油1.2号 バトルール給油																																																																																																				
	Z2 -																																																																																																				
	Z3 -																																																																																																				
	Z4 -																																																																																																				
市場単価	S -																																																																																																				
クレーン規格	相吊クレーンの有無	相吊クレーン規格																																																																																																			
(表14-6)	有り	(表14-6)																																																																																																			
	無し	-																																																																																																			
積算条件	区分																																																																																																				
クレーン規格 (相吊クレーン規格)	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊																																																																																																				
	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 35 t 吊																																																																																																				
	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 45 t 吊																																																																																																				
	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 50 t 吊																																																																																																				
	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 100 t 吊																																																																																																				
	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 120 t 吊																																																																																																				
	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 160 t 吊																																																																																																				
	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 200 t 吊																																																																																																				
トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 360 t 吊																																																																																																					
項目	代表機劣材規格	備考																																																																																																			
機械	K1 ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 25 t 吊	賃料																																																																																																			
	K2 バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)																																																																																																				
	K3 大型ブレーカ (ベースマシン含まず) [油圧式] 質量600~800kg 級																																																																																																				
労務	R1 溶接工																																																																																																				
	R2 普通作業員																																																																																																				
	R3 土木一般世話役																																																																																																				
	R4 特殊作業員																																																																																																				
材料	Z1 軽油 バトルール給油																																																																																																				
	Z2 -																																																																																																				
	Z3 -																																																																																																				
	Z4 -																																																																																																				
市場単価	S -																																																																																																				
クレーン規格	相吊クレーンの有無	相吊クレーン規格																																																																																																			
(表14-6)	有り	(表14-6)																																																																																																			
	無し	-																																																																																																			
積算条件	区分																																																																																																				
クレーン規格 (相吊クレーン規格)	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊																																																																																																				
	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 35 t 吊																																																																																																				
	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 45 t 吊																																																																																																				
	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 50 t 吊																																																																																																				
	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 100 t 吊																																																																																																				
	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 120 t 吊																																																																																																				
	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 160 t 吊																																																																																																				
	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 200 t 吊																																																																																																				
トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 360 t 吊																																																																																																					

頁	項目	改定前	改定後																																																																																																				
429	第7章⑭ 旧橋撤去工	<p style="text-align: right;">⑭ 旧橋撤去工 429</p> <p style="text-align: center;">表14-12 運搬距離⁽²⁾</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="16" style="text-align: center; vertical-align: middle;">運搬距離</td><td>0.3km 以下</td></tr> <tr><td>0.5km 以下</td></tr> <tr><td>1.0km 以下</td></tr> <tr><td>1.5km 以下</td></tr> <tr><td>2.0km 以下</td></tr> <tr><td>3.0km 以下</td></tr> <tr><td>3.5km 以下</td></tr> <tr><td>5.0km 以下</td></tr> <tr><td>6.0km 以下</td></tr> <tr><td>7.0km 以下</td></tr> <tr><td>8.5km 以下</td></tr> <tr><td>11.0km 以下</td></tr> <tr><td>14.0km 以下</td></tr> <tr><td>19.5km 以下</td></tr> <tr><td>31.5km 以下</td></tr> <tr><td>60.0km 以下</td></tr> </tbody> </table> <p>(2) 代表機券材規格 下表機券材は、当該施工パッケージで使用されている機券材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表14-13 アスファルト塊運搬工 代表機券材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機券材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10 t 積級</td> <td>タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む</td> </tr> <tr> <td>K2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 運転手(一般)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 軽油1.2号 バトルール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	積算条件	区分	運搬距離	0.3km 以下	0.5km 以下	1.0km 以下	1.5km 以下	2.0km 以下	3.0km 以下	3.5km 以下	5.0km 以下	6.0km 以下	7.0km 以下	8.5km 以下	11.0km 以下	14.0km 以下	19.5km 以下	31.5km 以下	60.0km 以下	項目	代表機券材規格	備考	機械	K1 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10 t 積級	タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む	K2 -		K3 -		労務	R1 運転手(一般)		R2 -		R3 -		R4 -		材料	Z1 軽油1.2号 バトルール給油		Z2 -		Z3 -		Z4 -		市場単価	S -		<p style="text-align: right;">⑭ 旧橋撤去工 429</p> <p style="text-align: center;">表14-12 運搬距離⁽²⁾</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="16" style="text-align: center; vertical-align: middle;">運搬距離</td><td>0.3km 以下</td></tr> <tr><td>0.5km 以下</td></tr> <tr><td>1.0km 以下</td></tr> <tr><td>1.5km 以下</td></tr> <tr><td>2.0km 以下</td></tr> <tr><td>3.0km 以下</td></tr> <tr><td>3.5km 以下</td></tr> <tr><td>5.0km 以下</td></tr> <tr><td>6.0km 以下</td></tr> <tr><td>7.0km 以下</td></tr> <tr><td>8.5km 以下</td></tr> <tr><td>11.0km 以下</td></tr> <tr><td>14.0km 以下</td></tr> <tr><td>19.5km 以下</td></tr> <tr><td>31.5km 以下</td></tr> <tr><td>60.0km 以下</td></tr> </tbody> </table> <p>(2) 代表機券材規格 下表機券材は、当該施工パッケージで使用されている機券材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表14-13 アスファルト塊運搬工 代表機券材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機券材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10 t 積級</td> <td>タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む</td> </tr> <tr> <td>K2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 運転手(一般)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 軽油 バトルール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	積算条件	区分	運搬距離	0.3km 以下	0.5km 以下	1.0km 以下	1.5km 以下	2.0km 以下	3.0km 以下	3.5km 以下	5.0km 以下	6.0km 以下	7.0km 以下	8.5km 以下	11.0km 以下	14.0km 以下	19.5km 以下	31.5km 以下	60.0km 以下	項目	代表機券材規格	備考	機械	K1 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10 t 積級	タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む	K2 -		K3 -		労務	R1 運転手(一般)		R2 -		R3 -		R4 -		材料	Z1 軽油 バトルール給油		Z2 -		Z3 -		Z4 -		市場単価	S -	
積算条件	区分																																																																																																						
運搬距離	0.3km 以下																																																																																																						
	0.5km 以下																																																																																																						
	1.0km 以下																																																																																																						
	1.5km 以下																																																																																																						
	2.0km 以下																																																																																																						
	3.0km 以下																																																																																																						
	3.5km 以下																																																																																																						
	5.0km 以下																																																																																																						
	6.0km 以下																																																																																																						
	7.0km 以下																																																																																																						
	8.5km 以下																																																																																																						
	11.0km 以下																																																																																																						
	14.0km 以下																																																																																																						
	19.5km 以下																																																																																																						
	31.5km 以下																																																																																																						
	60.0km 以下																																																																																																						
項目	代表機券材規格	備考																																																																																																					
機械	K1 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10 t 積級	タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む																																																																																																					
	K2 -																																																																																																						
	K3 -																																																																																																						
労務	R1 運転手(一般)																																																																																																						
	R2 -																																																																																																						
	R3 -																																																																																																						
	R4 -																																																																																																						
材料	Z1 軽油1.2号 バトルール給油																																																																																																						
	Z2 -																																																																																																						
	Z3 -																																																																																																						
	Z4 -																																																																																																						
市場単価	S -																																																																																																						
積算条件	区分																																																																																																						
運搬距離	0.3km 以下																																																																																																						
	0.5km 以下																																																																																																						
	1.0km 以下																																																																																																						
	1.5km 以下																																																																																																						
	2.0km 以下																																																																																																						
	3.0km 以下																																																																																																						
	3.5km 以下																																																																																																						
	5.0km 以下																																																																																																						
	6.0km 以下																																																																																																						
	7.0km 以下																																																																																																						
	8.5km 以下																																																																																																						
	11.0km 以下																																																																																																						
	14.0km 以下																																																																																																						
	19.5km 以下																																																																																																						
	31.5km 以下																																																																																																						
	60.0km 以下																																																																																																						
項目	代表機券材規格	備考																																																																																																					
機械	K1 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10 t 積級	タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む																																																																																																					
	K2 -																																																																																																						
	K3 -																																																																																																						
労務	R1 運転手(一般)																																																																																																						
	R2 -																																																																																																						
	R3 -																																																																																																						
	R4 -																																																																																																						
材料	Z1 軽油 バトルール給油																																																																																																						
	Z2 -																																																																																																						
	Z3 -																																																																																																						
	Z4 -																																																																																																						
市場単価	S -																																																																																																						

頁	項目	改定前	改定後																																																																																				
430	第7章 ^⑭ 旧橋撤去工	<p>430 第7章 歩掛編</p> <p>⑭-8 床版運搬工</p> <p>1. 施工パッケージ型積算方式適用範囲 土木工事標準積算基準書 II-2-⑭ 旧橋撤去工 3-8 床版運搬参照</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表14-14 床版運搬 積算条件区分一覧 (積算単位：m²)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>運搬距離</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>0.7km 以下</td></tr> <tr><td>2.2km 以下</td></tr> <tr><td>5.0km 以下</td></tr> <tr><td>7.9km 以下</td></tr> <tr><td>12.1km 以下</td></tr> <tr><td>17.8km 以下</td></tr> <tr><td>25.0km 以下</td></tr> <tr><td>34.9km 以下</td></tr> <tr><td>47.8km 以下</td></tr> <tr><td>60.0km 以下</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、床版1次破砕後のコンクリート殻の運搬の他、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 運搬機械におけるタイヤの損耗及び修理に掛かる費用を含む。 3. タイヤ損耗の「良好」「普通」「不良」にかかわらず適用出来る。 4. 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なる場合は、平均値とする。 5. 自動車専用道路を利用する場合には、別途考慮する。 6. DID（人口集中地区）区間の通過にかかわらず適用出来る。 7. 運搬距離が60kmを超える場合は、別途考慮する。 8. 床版2次破砕後における運搬については「土木工事標準積算基準書第II編第2章共通工⑨般運搬」により、別途計上する。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表14-15 床版運搬工 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t 積級</td> <td>タイヤ損耗費及び補修費（良好）を含む</td> </tr> <tr> <td>K2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 運転手（一般）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	運搬距離	0.7km 以下	2.2km 以下	5.0km 以下	7.9km 以下	12.1km 以下	17.8km 以下	25.0km 以下	34.9km 以下	47.8km 以下	60.0km 以下	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t 積級	タイヤ損耗費及び補修費（良好）を含む	K2 -		K3 -		労務	R1 運転手（一般）		R2 -		R3 -		R4 -		材料	Z1 軽油 1.2号 バトロール給油		Z2 -		Z3 -		Z4 -		市場単価	S -		<p>430 第7章 歩掛編</p> <p>⑭-8 床版運搬工</p> <p>1. 施工パッケージ型積算方式適用範囲 土木工事標準積算基準書 II-2-⑭ 旧橋撤去工 3-8 床版運搬参照</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表14-14 床版運搬 積算条件区分一覧 (積算単位：m²)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>運搬距離</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>0.7km 以下</td></tr> <tr><td>2.2km 以下</td></tr> <tr><td>5.0km 以下</td></tr> <tr><td>7.9km 以下</td></tr> <tr><td>12.1km 以下</td></tr> <tr><td>17.8km 以下</td></tr> <tr><td>25.0km 以下</td></tr> <tr><td>34.9km 以下</td></tr> <tr><td>47.8km 以下</td></tr> <tr><td>60.0km 以下</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、床版1次破砕後のコンクリート殻の運搬の他、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 運搬機械におけるタイヤの損耗及び修理に掛かる費用を含む。 3. タイヤ損耗の「良好」「普通」「不良」にかかわらず適用出来る。 4. 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なる場合は、平均値とする。 5. 自動車専用道路を利用する場合には、別途考慮する。 6. DID（人口集中地区）区間の通過にかかわらず適用出来る。 7. 運搬距離が60kmを超える場合は、別途考慮する。 8. 床版2次破砕後における運搬については「土木工事標準積算基準書第II編第2章共通工⑨般運搬」により、別途計上する。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表14-15 床版運搬工 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t 積級</td> <td>タイヤ損耗費及び補修費（良好）を含む</td> </tr> <tr> <td>K2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 運転手（一般）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 軽油 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	運搬距離	0.7km 以下	2.2km 以下	5.0km 以下	7.9km 以下	12.1km 以下	17.8km 以下	25.0km 以下	34.9km 以下	47.8km 以下	60.0km 以下	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t 積級	タイヤ損耗費及び補修費（良好）を含む	K2 -		K3 -		労務	R1 運転手（一般）		R2 -		R3 -		R4 -		材料	Z1 軽油 バトロール給油		Z2 -		Z3 -		Z4 -		市場単価	S -	
運搬距離																																																																																							
0.7km 以下																																																																																							
2.2km 以下																																																																																							
5.0km 以下																																																																																							
7.9km 以下																																																																																							
12.1km 以下																																																																																							
17.8km 以下																																																																																							
25.0km 以下																																																																																							
34.9km 以下																																																																																							
47.8km 以下																																																																																							
60.0km 以下																																																																																							
項目	代表機材規格	備考																																																																																					
機械	K1 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t 積級	タイヤ損耗費及び補修費（良好）を含む																																																																																					
	K2 -																																																																																						
	K3 -																																																																																						
労務	R1 運転手（一般）																																																																																						
	R2 -																																																																																						
	R3 -																																																																																						
	R4 -																																																																																						
材料	Z1 軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																						
	Z2 -																																																																																						
	Z3 -																																																																																						
	Z4 -																																																																																						
市場単価	S -																																																																																						
運搬距離																																																																																							
0.7km 以下																																																																																							
2.2km 以下																																																																																							
5.0km 以下																																																																																							
7.9km 以下																																																																																							
12.1km 以下																																																																																							
17.8km 以下																																																																																							
25.0km 以下																																																																																							
34.9km 以下																																																																																							
47.8km 以下																																																																																							
60.0km 以下																																																																																							
項目	代表機材規格	備考																																																																																					
機械	K1 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t 積級	タイヤ損耗費及び補修費（良好）を含む																																																																																					
	K2 -																																																																																						
	K3 -																																																																																						
労務	R1 運転手（一般）																																																																																						
	R2 -																																																																																						
	R3 -																																																																																						
	R4 -																																																																																						
材料	Z1 軽油 バトロール給油																																																																																						
	Z2 -																																																																																						
	Z3 -																																																																																						
	Z4 -																																																																																						
市場単価	S -																																																																																						

頁	項目	改定前	改定後												
438	第7章⑳ 表面被覆工	<p>438 第7章 歩掛編</p> <p>㉑-2 表面被覆工（塗装工法）</p> <p>(1) 編成人員 表面被覆工（塗装工法）の編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表21-6 編成人員 (人/橋)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>土木一般世役</th> <th>特殊作業員</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small; text-align: center;">土木工事標準積算基準書 IV-3-㉑-18 表3.1 編成人員 参照</p> <p>(2) 施工歩掛</p> <p>(2)-1 1橋当り施工日数（下地処理） 下地処理1橋当りの施工日数Dは次式による。 $D = 0.0047 \times A + 0.37$ D：1橋当り施工日数（日/橋） A：1橋当りの延べ施工量（m²/橋）</p> <p>(2)-2 1橋当り施工日数（プライマー塗布） プライマー塗布1橋当りの施工日数Dは次式による。 $D = 0.0024 \times A + 0.25$ D：1橋当り施工日数（日/橋） A：1橋当りの延べ施工量（m²/橋）</p> <p>(2)-3 1橋当り施工日数【下塗り（パテ塗布）】 下塗り（パテ）塗布1橋当りの施工日数Dは次式による。 $D = 0.0052 \times A + 0.53$ D：1橋当り施工日数（日/橋） A：1橋当りの延べ施工量（m²/橋）</p> <p>(2)-4 1橋当り施工日数（中塗り材塗布・上塗り材塗布） 中塗り材塗布・上塗り材塗布1層・1橋当りの施工日数Dは次式による。 $D = 0.0096 \times A + 0.52$ D：1橋当り施工日数（日/橋） A：1橋当りの延べ施工量（m²/橋）</p> <p>(注) 1. 施工日数Dは小数点第3位を四捨五入し、第2位とする。 2. 歩掛は、全ての施工方向に適用出来る。 3. 現場条件により特殊な養生が必要な場合は、別途考慮する。 4. コンクリート殻の積込み・運搬及び処分費は別途計上する。 5. 足場等については、現場条件を考慮の上、別途計上する。 6. 中塗り材・上塗り材を複数回塗布する場合は、回数分を計上する。</p>	土木一般世役	特殊作業員	普通作業員	1	2	1	<p>438 第7章 歩掛編</p> <p>㉑-2 表面被覆工（塗装工法）</p> <p>(1) 編成人員 表面被覆工（塗装工法）の編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表21-6 編成人員 (人/橋)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>土木一般世役</th> <th>特殊作業員</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small; text-align: center;">土木工事標準積算基準書 IV-3-㉑-22 表3.1 編成人員 参照</p> <p>(2) 施工歩掛</p> <p>(2)-1 1橋当り施工日数（下地処理） 下地処理1橋当りの施工日数Dは次式による。 $D = 0.0047 \times A + 0.37$ D：1橋当り施工日数（日/橋） A：1橋当りの延べ施工量（m²/橋）</p> <p>(2)-2 1橋当り施工日数（プライマー塗布） プライマー塗布1橋当りの施工日数Dは次式による。 $D = 0.0024 \times A + 0.25$ D：1橋当り施工日数（日/橋） A：1橋当りの延べ施工量（m²/橋）</p> <p>(2)-3 1橋当り施工日数【下塗り（パテ塗布）】 下塗り（パテ）塗布1橋当りの施工日数Dは次式による。 $D = 0.0052 \times A + 0.53$ D：1橋当り施工日数（日/橋） A：1橋当りの延べ施工量（m²/橋）</p> <p>(2)-4 1橋当り施工日数（中塗り材塗布・上塗り材塗布） 中塗り材塗布・上塗り材塗布1層・1橋当りの施工日数Dは次式による。 $D = 0.0096 \times A + 0.52$ D：1橋当り施工日数（日/橋） A：1橋当りの延べ施工量（m²/橋）</p> <p>(注) 1. 施工日数Dは小数点第3位を四捨五入し、第2位とする。 2. 歩掛は、全ての施工方向に適用出来る。 3. 現場条件により特殊な養生が必要な場合は、別途考慮する。 4. コンクリート殻の積込み・運搬及び処分費は別途計上する。 5. 足場等については、現場条件を考慮の上、別途計上する。 6. 中塗り材・上塗り材を複数回塗布する場合は、回数分を計上する。</p>	土木一般世役	特殊作業員	普通作業員	1	2	1
土木一般世役	特殊作業員	普通作業員													
1	2	1													
土木一般世役	特殊作業員	普通作業員													
1	2	1													

改訂2版 橋梁補修の解説と積算 改定情報

(2023年7月)

頁	項目	改定前	改定後																
439	第7章① 表面被覆工	<p style="text-align: right;">① 表面被覆工 439</p> <p>(2)-5 諸雑費 諸雑費は、各作業に必要な器具（サンダー、刷毛、コテ等）、替え刃、材料攪拌に関わる器具等及び電力に関する費用等であり、労務費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表21-7 諸雑費率 (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>下地処理</td><td>22</td></tr> <tr><td>プライマー塗布</td><td>6</td></tr> <tr><td>下塗り（バテ塗布）</td><td>6</td></tr> <tr><td>中・上塗り材塗布</td><td>6</td></tr> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid red; padding: 2px;">土木工事標準積算基準書 IV-3-⑫-18 表4.1 諸雑費率 参照</p>	下地処理	22	プライマー塗布	6	下塗り（バテ塗布）	6	中・上塗り材塗布	6	<p style="text-align: right;">① 表面被覆工 439</p> <p>(2)-5 諸雑費 諸雑費は、各作業に必要な器具（サンダー、刷毛、コテ等）、替え刃、材料攪拌に関わる器具等及び電力に関する費用等であり、労務費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表21-7 諸雑費率 (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>下地処理</td><td>22</td></tr> <tr><td>プライマー塗布</td><td>6</td></tr> <tr><td>下塗り（バテ塗布）</td><td>6</td></tr> <tr><td>中・上塗り材塗布</td><td>6</td></tr> </table> <p style="text-align: center;">土木工事標準積算基準書 IV-3-⑫-23 表4.1 諸雑費率 参照</p>	下地処理	22	プライマー塗布	6	下塗り（バテ塗布）	6	中・上塗り材塗布	6
下地処理	22																		
プライマー塗布	6																		
下塗り（バテ塗布）	6																		
中・上塗り材塗布	6																		
下地処理	22																		
プライマー塗布	6																		
下塗り（バテ塗布）	6																		
中・上塗り材塗布	6																		

頁	項目	改定前	改定後																																																																														
444	第7章⑭ グラウト再注 入工	<p>444 第7章 歩掛編</p> <p>⑭-2 コンクリート削孔工（さく岩機）</p> <p>1. 施工パッケージ型積算方式適用範囲 土木工事標準積算基準書 Ⅱ-2-⑮ 3-2コンクリート削孔（さく岩機）</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表24-3 コンクリート削孔工（さく岩機） 積算条件区分一覧 (積算単位：孔)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>削孔深さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>100mm 以上200mm 未満</td></tr> <tr><td>200mm 以上300mm 未満</td></tr> <tr><td>300mm 以上400mm 未満</td></tr> <tr><td>400mm 以上600mm 未満</td></tr> <tr><td>600mm 以上800mm 未満</td></tr> <tr><td>800mm 以上1,000mm 未満</td></tr> <tr><td>1,000mm 以上1,100mm 以下</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、さく岩機によるコンクリート構造物の削孔（用心鉄筋（さし筋）、あと施工アンカー、防護柵類、排水穴等）作業の他、ロッド、ビットの費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 不達孔（削孔ロス）を含み、不達孔の有無に関わらず適用できる。ただし、不達孔の補修にかかる費用は含まないため、必要に応じて別途考慮する。 3. 足場が必要な場合は、別途計上する。 4. 鉄筋を切断しないように事前に鉄筋位置の確認を行う場合には、共通仮設費の技術管理費にて別途計上する。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表24-4 コンクリート削孔工（さく岩機） 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 空気圧縮機【可搬式・エンジン駆動・スクリュ型（低騒音型）・排出ガス対策型（第1次基準値）】 3.5～3.7m³/min</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2 さく岩機【ハンドドリル（空圧式）】 質量15kg級</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1 軽油1.2号 バトルール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	削孔深さ	100mm 以上200mm 未満	200mm 以上300mm 未満	300mm 以上400mm 未満	400mm 以上600mm 未満	600mm 以上800mm 未満	800mm 以上1,000mm 未満	1,000mm 以上1,100mm 以下	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 空気圧縮機【可搬式・エンジン駆動・スクリュ型（低騒音型）・排出ガス対策型（第1次基準値）】 3.5～3.7m ³ /min	賃料	K 2 さく岩機【ハンドドリル（空圧式）】 質量15kg級		K 3 -		労務	R 1 特殊作業員		R 2 普通作業員		R 3 土木一般世話役		R 4 -		材料	Z 1 軽油1.2号 バトルール給油		Z 2 -		Z 3 -		Z 4 -		市場単価	S -		<p>444 第7章 歩掛編</p> <p>⑭-2 コンクリート削孔工（さく岩機）</p> <p>1. 施工パッケージ型積算方式適用範囲 土木工事標準積算基準書 Ⅱ-2-⑮ 3-2コンクリート削孔（さく岩機）</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表24-3 コンクリート削孔工（さく岩機） 積算条件区分一覧 (積算単位：孔)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>削孔深さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>100mm 以上200mm 未満</td></tr> <tr><td>200mm 以上300mm 未満</td></tr> <tr><td>300mm 以上400mm 未満</td></tr> <tr><td>400mm 以上600mm 未満</td></tr> <tr><td>600mm 以上800mm 未満</td></tr> <tr><td>800mm 以上1,000mm 未満</td></tr> <tr><td>1,000mm 以上1,100mm 以下</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、さく岩機によるコンクリート構造物の削孔（用心鉄筋（さし筋）、あと施工アンカー、防護柵類、排水穴等）作業の他、ロッド、ビットの費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 不達孔（削孔ロス）を含み、不達孔の有無に関わらず適用できる。ただし、不達孔の補修にかかる費用は含まないため、必要に応じて別途考慮する。 3. 足場が必要な場合は、別途計上する。 4. 鉄筋を切断しないように事前に鉄筋位置の確認を行う場合には、共通仮設費の技術管理費にて別途計上する。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表24-4 コンクリート削孔工（さく岩機） 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 空気圧縮機【可搬式・エンジン駆動・スクリュ型（低騒音型）・排出ガス対策型（第1次基準値）】 3.5～3.7m³/min</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2 さく岩機【ハンドドリル（空圧式）】 質量15kg級</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1 軽油 バトルール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	削孔深さ	100mm 以上200mm 未満	200mm 以上300mm 未満	300mm 以上400mm 未満	400mm 以上600mm 未満	600mm 以上800mm 未満	800mm 以上1,000mm 未満	1,000mm 以上1,100mm 以下	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 空気圧縮機【可搬式・エンジン駆動・スクリュ型（低騒音型）・排出ガス対策型（第1次基準値）】 3.5～3.7m ³ /min	賃料	K 2 さく岩機【ハンドドリル（空圧式）】 質量15kg級		K 3 -		労務	R 1 特殊作業員		R 2 普通作業員		R 3 土木一般世話役		R 4 -		材料	Z 1 軽油 バトルール給油		Z 2 -		Z 3 -		Z 4 -		市場単価	S -	
削孔深さ																																																																																	
100mm 以上200mm 未満																																																																																	
200mm 以上300mm 未満																																																																																	
300mm 以上400mm 未満																																																																																	
400mm 以上600mm 未満																																																																																	
600mm 以上800mm 未満																																																																																	
800mm 以上1,000mm 未満																																																																																	
1,000mm 以上1,100mm 以下																																																																																	
項目	代表機材規格	備考																																																																															
機械	K 1 空気圧縮機【可搬式・エンジン駆動・スクリュ型（低騒音型）・排出ガス対策型（第1次基準値）】 3.5～3.7m ³ /min	賃料																																																																															
	K 2 さく岩機【ハンドドリル（空圧式）】 質量15kg級																																																																																
	K 3 -																																																																																
労務	R 1 特殊作業員																																																																																
	R 2 普通作業員																																																																																
	R 3 土木一般世話役																																																																																
	R 4 -																																																																																
材料	Z 1 軽油1.2号 バトルール給油																																																																																
	Z 2 -																																																																																
	Z 3 -																																																																																
	Z 4 -																																																																																
市場単価	S -																																																																																
削孔深さ																																																																																	
100mm 以上200mm 未満																																																																																	
200mm 以上300mm 未満																																																																																	
300mm 以上400mm 未満																																																																																	
400mm 以上600mm 未満																																																																																	
600mm 以上800mm 未満																																																																																	
800mm 以上1,000mm 未満																																																																																	
1,000mm 以上1,100mm 以下																																																																																	
項目	代表機材規格	備考																																																																															
機械	K 1 空気圧縮機【可搬式・エンジン駆動・スクリュ型（低騒音型）・排出ガス対策型（第1次基準値）】 3.5～3.7m ³ /min	賃料																																																																															
	K 2 さく岩機【ハンドドリル（空圧式）】 質量15kg級																																																																																
	K 3 -																																																																																
労務	R 1 特殊作業員																																																																																
	R 2 普通作業員																																																																																
	R 3 土木一般世話役																																																																																
	R 4 -																																																																																
材料	Z 1 軽油 バトルール給油																																																																																
	Z 2 -																																																																																
	Z 3 -																																																																																
	Z 4 -																																																																																
市場単価	S -																																																																																